

平成 27 年度

佐賀大学授業アンケート・授業改善に関する報告書

平成 28 年 12 月

佐賀大学教育委員会
教育質保証専門委員会

はじめに

平成18年10月1日から施行された「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に基づき、学部・大学院の全授業科目で授業評価アンケートが実施されるようになってから平成27年度で10年目を迎えます。本年度の実施率は、医学部を除く学部が88.4%、医学部は97.7%であり、医学研究科を除く研究科では71.9%、医学研究科では93.6%でした。この数値はアンケート実施開始時から比べると大きく増加しており、授業評価アンケートの実施が当たり前のようになってきたことを意味します。

また、本学は平成18年度より授業評価結果を用いた授業改善を実施するために、各学部等に組織別授業評価を行うことを義務付けてきました。各学部等は、評価の高かった科目の選考や授業改善への取り組み状況、次年度へ向けた授業改善の目標などを教育委員会に報告するようになっていました。また、各教員には授業点検・改善報告書の提出が義務づけられ、その作成率も100%に近づいてきました。

さらに、平成27年度からは、授業アンケートを「評価」のためでなく、「教育の質の改善・向上」のために実施することを「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に明示するとともに、アンケート項目も大幅に見直し、名称も「授業アンケート」とし、授業アンケートそのものの改善も図っております。

平成19年4月から大学院教育において、平成20年4月からは学部教育においてFDの義務化がはじまり、大学教育は大きな局面を迎えています。また、認証評価では、FDの取り組み状況やそれが教育改善にどのように活用されているかが問われました。本学では、平成23年度にポートフォリオ学習支援統合システムを導入し、その際に教員の教育改善を支援する仕組みとして簡易版ティーチング・ポートフォリオ（TP）作成機能も組み込みました。平成27年度には、簡易版TP作成率100%を達成し、授業の1回目で教員は自身の教育理念や教育方法について説明することにいたしました。このように全学的な教育改善システムは整って参りましたので、今後は、各部局および教員が、これらの仕組みを十分に活用し、さらなる教育改善に結びつけることを希望します。これらの利活用が、第3期以降の本学の運命を左右するといっても過言ではないでしょう。

本学の教職員の方々には今まで以上にご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

国立大学法人 佐賀大学教育委員会委員長

滝澤 登

目次

はじめに	1
目次	2
I. 経過	3
II. 実施状況	4
III. 授業評価アンケートの結果と分析	
III-（1）学部別の結果と分析	22
III-（2）研究科別の結果	37
III-（3）文化教育学部・教育学研究科の結果と分析	38
III-（4）経済学部・経済学研究科の結果と分析	60
III-（5）理工学部・工学系研究科の結果と分析	81
III-（6）農学部・農学研究科の結果と分析	94
III-（7）全学教育機構の結果と分析	112
おわりに	126
資料1 佐賀大学学生による授業評価実施要領	127
資料2 授業評価結果を用いた授業改善実施要領	129
資料3 学生による授業評価アンケート様式	130
資料4 共通様式以外のアンケート様式	132
資料5 項目の基礎集計表	135

I. 経過

佐賀大学では平成 12 年度前学期の「学生による授業評価」の試行的実施を経て、同年度の大学教育委員会で承認された「授業評価実施要領」に基づき平成 13 年度より本格導入に至っている。さらに佐賀医科大学との統合後には、佐賀大学大学教育委員会（平成 15 年 11 月 26 日開催）で「学生に対する授業評価システムに対応する専門委員会」の設置が承認され、継続的に実施する体制が整えられた。法人化後の平成 17 年度には「授業評価実施要領」を一部改訂し、従来の教員による選択的实施を改め、講義科目（演習、実験、少人数ゼミを除く）を対象に共通アンケートによる 100%の実施を目標に活動を続けてきた。また、翌平成 18 年度後学期より全ての授業科目（大学院も含む）を対象に授業評価を実施することが定められた「佐賀大学学生による授業評価実施要領」（以下、授業評価実施要領とする）（平成 18 年 10 月 1 日施行）（資料 1）が新たに制定された。これにより佐賀大学の全ての授業科目において基本的に共通アンケートもしくは独自アンケートによって学生の意見を聴く機会が設けられていると言える。また、アンケート結果の教員へのフィードバックについても全学平均や学部平均との比較をレーダーチャートに示し、自らの授業改善に活かせるような工夫が施された。さらに、「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」（平成 18 年 12 月 22 日施行）（資料 2）が制定され、この授業評価アンケート結果に基づき、各教員は自らの授業の改善点について授業点検・評価報告書を提出することが義務づけられた。平成 22 年度後学期からはそれまでの共通アンケート用紙に変わり、LiveCampus を利用した共通アンケート形式が導入され、ウェブ上でアンケートが実施された。一方、この授業評価アンケートと並行に学生対象アンケートも実施され、佐賀大学の教育目的、施設、教育システム全般にわたって広く学生の声を取り入れようとする試みも行われた。さらには教員対象アンケートや卒業生対象アンケートも実施され、佐賀大学における教育活動を多面的に分析する準備を整備しつつある。

平成 27 年度からは、授業アンケートを「評価」のためでなく、「教育の質の改善・向上」のために実施することを「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に明示するとともに、アンケート項目も大幅に見直し、名称も「授業アンケート」とした。

本報告では平成 27 年度に実施した授業評価アンケートの結果および授業評価結果を用いた授業改善実施要領に基づいた佐賀大学の授業改善への取り組みについて述べる。なお、医学部および e ラーニングで受講するネット授業については、授業形態の差異に配慮し、本報告書では扱っていない。

II. 実施状況

平成 27 年度に佐賀大学で行われた授業アンケートは、ウェブ上の共通アンケートシステムを用いて行った。さらに、共通様式を用いない授業アンケートの実施も認めている。そこで、授業アンケートの結果を述べる前にアンケートの実施方法及び実施状況について示す。

本年度に実施した授業評価アンケートは以下の 3 つに大別される。

- 1) 授業アンケートシステム (資料 3)
- 2) 個別授業アンケート
- 3) 医学部授業評価アンケート (資料 4)

このうち本報告書では授業アンケートシステムの結果について取り扱う。医学部は統合前の佐賀医科大学時代から先進的な FD 活動を展開しており、授業評価アンケートも科目種毎に分けて通年で実施し、詳しい分析が行われているので本報告では扱わない。ネット授業は授業形態が異なるため質問内容が異なっているため別項とし、概要をまとめ分析を行った。

次に、本年度の授業アンケートの実施率について述べる。表 1 に部局毎の実施率をまとめた。共通アンケートシステムを用いていない授業アンケート (つまり、独自形式アンケート) の実施率も示している。独自形式アンケートは受講者が極端に少ない場合や複数の教員が担当している場合など、Web 上の選択回答形式の共通アンケートにはそぐわない場合に実施する授業アンケートと位置づけられている。科目としては少人数での実験、教育実習、ゼミなどが該当すると考えられる。実施率の高い部局は、学部では医学部、農学部、教養教育運営機構、研究科では経済学研究科、教育学研究科であった。学部での実施率は医学部の 99.2% が最も大きく、科目数では 126 科目に達する。また、大学院では医学研究科の実施率が 86.2% に達している。共通アンケートシステムの導入によりアンケートの実施に教員の関与が無くなったため、例年報告している「個別授業評価に係わる情報が一切無い授業科目名」について、平成 22 年度より掲載していない。

(1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準（とその活用方法）

文化教育学部，教育学研究科

毎年のように選定基準を変えることは、徒に混乱を招くとして、今年度も昨年度と同じ基準を用いることとした。すなわち文化教育学部では、学部 FD 委員会にて学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準を協議し、満足度及び興味・関心の 2 項目を合計した値を用いることとしている。なお、対象となる科目は受講生が 10 名以上の科目であり、学部、大学院別に抽出することとしている。

経済学部，経済学研究科

経済学部・経済学研究科では「学生から高い評価を得ている授業科目」を選定しておらず、その選考基準も作成していない。

理工学部，工学系研究科

数理科学科

以前は、授業評価アンケートの「満足度」を利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪く、参考にならないため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

物理科学科

満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。

知能情報システム学科

D-1（学生の満足度）の高い科目を利用している。

機能物質化学科

例年、卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・実験・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査した。この結果を教員毎に纏め、上位 2 名の教員を機能物質化学科ベストプロフェッサーとして表彰した。循環物質化学専攻でも修了予定者を対象とした専攻独自のアンケートから同様に行っている。

機械システム工学科

特に実施していない

電気電子工学科

学科内で学生から高い評価を得ている授業科目の選考は行っていない。

都市工学科

授業評価アンケートの回収率が低いいため特に実施していない。

農学部

昨年度までの報告でも述べたとおり、学部内・学科内における各学科の内容（必須科目・非必須科目の違いを含む）や受講生数に違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは現状では困難であるが、現状で入手できる資料を用いて基準を精査することは重要である。まずは、選考基準として、教員の授業に対する熱意や授業に対する全体の満足度などを質問した、アンケートの質問事項 B～D で高い評価を得ている科目が挙げられる。次に、講義だけでなく、自学によって高度な知識や見識を身に付けたり、知的好奇心が満たされたりすることから得られる満足感を評価する必要があると考えられることから、授業時間外学習が確保されている科目も選考基準として挙げられる。また、学生によるアンケート入力率が高い科目も選考基準の一つとして考慮すべきと考えられる。

農学研究科

「学生から高い評価を得ている授業科目」については、学部の総括でも述べたとおり、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは困難であると判断した。特に、農学研究科では 1 科目の受講者数が少ないため、授業科目を選択することは適切ではないと考えられる。

全学教育機構

全学教育機構では、この項目に対する明確な選考基準の確定に至っていないが、佐賀大学教育功績等表彰（2号表彰）の選考時には授業アンケート結果も利用している。

(2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

文化教育学部および教育学研究科

平成 27 年度においても、文化教育学部および教育学研究科に対する組織別授業評価を実施した。本年度も昨年度までと同様に、すべての課程・専攻を横断的に眺めることによって、学部と研究科がもっている特徴と改善点を浮き彫りにした。

授業改善の取り組みにおいて優れた点を挙げるのは、今年度に限ってというならば、非常に難しい。敢えて挙げるとするならば、教員が成績評価を下すに当たって、その適切さと厳格性に関し、より意識を深めることができた点が指摘できよう。もちろん従来より、成績評価の公正性、厳密性については、教員各自が心がけてきたことは言うまでもないが、昨年度初めての試みとして、GPA を活用した授業点検および改善が行われ、成績分布状況が授業担当教員だけでなく、同じ講座の同僚教員の目にも晒されることとなった。その結果として、客観的立場からの検証を経ることにより、授業担当教員は新たな視点から自らの成績評価の方法を見直すこと可能となった。また他の教員の成績評価の実状を知ること、自分の従来への遣り方に対する反省を促す契機ともなっている。但し、GPA を活用した授業点検は、昨年度に引き続いて、今年度も継続する予定との話であったが、結局実施されずに年度末を迎えてしまった。確かにこれを毎年度実施するのは、教職員の負担を考えれば、致し方ないところであるが、成績の客観的厳密評価という観念を植え付けるためには、単発的試みでは心許ない。

優れた取り組みの第二点目としては、PROG テストの実施が挙げられよう。学生のリテラシー能力とコンピテンシー能力を測定するため、今年 1 月に本学初の試みとして、3 年生を対象に PROG テストが実施された。原則自由参加であるため、どれほどの人数の学生が受験してくれるかとの当初の懸念を払拭して、文化教育学部では約 150 名もの学生が参加してくれた。また、その試験結果を受けて、約 1 ヶ月後には解説セミナーも開催された。個々の学生が自らの強みと弱みを把握し、今後の学習および就職活動に活かしてくれるものと期待される。また同時に、試験結果は FD 委員会の方でも保管しており、これを如何に次年度以降の学生指導に活用していくかが、今後の課題ともなろう。但し、今年度の PROG テストは業者の思惑もあって、無料に近い料金でもって実施されたが、来年度以降、本格的に導入するとなると、決して馬鹿にならない金額を要することになる。そうでなくとも大学の財政状況が苦しい昨今、果たして教育・研究費など必須の予算を削ってまで、PROG テストを実施することの意義が問われよう。ましてや今年度は 3 年生のみを受験対象としたが、学生の能力の伸び具合を測るため、1 年生をも対象とするとなると、財政的負担はますます大きくなる。

次に改善すべき点は、前年度に引き続き、授業評価アンケートの提出率が低く、結果の統計として意味が減じる傾向にあることである。このことは、各授業科目の履修者が少数である研究科において甚だしい。また、学生による授業評価アンケートを受けて、教員が授業点検・改善を実施し、その旨、報告を行うことが求められているが、報告書を作成・入力するどころか、アンケート結果を見さえもしない教員が少なからずいる。今年度も FD 委員会より再三再四にわたり入力要請を行ったが、それでも昨年度と比べて、大して入力率は上がっていない。また他学部と比較しても、文化教育学部の数値が低い事実は否めない。来年度から文化教育学部は教育学部に様変わりし、学部の規模が小さくなるのと引き換えに、少数精鋭主義で臨むからには、従来を上回るきめ細かな指導が求められよう。

第二に改善すべき点は、上記の学生アンケート結果を踏まえたシラバスの改善・充実である。そのためにも、まず教員一人一人がアンケート結果をしっかりと読み、分析・検討を行う必要がある。その上で授業改善を図り、その内容をシラバスに記載することが求められる。シラバスの記述内容は客観的にして正確で、なおかつ大学より求められた基準をクリアして、過不足ないものでなくてはならない。そのことを保証するため、シラバス点検の作業が行われているが、残念ながら今年度の文化教育学部のシラバスチェックの結果は惨憺たるものであった。その理由については、忖度すべき事情も種々あろうが、シラバスチェックは PDCA サイクルを然るべく機能させるためにも不可欠であり、来年度における改善は避けて通れまい。

経済学部

授業改善の取り組み状況に係る優れた点は、第 1 に学部全体・各学科を合わせて計 13 回の FD 活動を平成 27 年度に実施したことである。例えば学部全体の FD 活動ではゼミの実施、専門科目の工夫等をテーマに行われている。ゼミの実施についての FD は、過去に行った企業アンケート及び卒業生アンケートの結果を踏まえ、ゼミ教育におけるコミュニケーション能力の向上について意見交換した。事前に各教員にとったアンケート結果では概ね 8 割がゼミ教育におけるコミュニケーション能力の向上（積極的な意見・質問、論理的な説明、責任感）を実感しており、その成果としてゼミの円滑な実施にも繋がっているという学業面での利点も確認された。コミュニケーション能力向上の工夫としては、報告題材の工夫や学外調査、他大学との合同ゼミ等が挙げられ、その効果について話し合われた。また、ゼミ単位を落とす学生への対策についても議論された。専門科目の工夫に関する FD では、主に 1,2 年次科目において学生の関心を高めること及び前提知識の不足への対応に焦点を絞り、議論が行われた。題材としてニュースや実データ使用の有効性について話し合われ、平成 28 年度より佐賀新聞電子版と契約し講義に活用可能とすることが確認された。ま

た、社会への関心の低さや特定分野への理解不足がある場合の対処について別途検討した。

第2に、1年次カリキュラムの充実について検討した点である。授業評価アンケートでは、1年次科目は他学年次科目に比べて理解度が低く、満足度も低い結果となっており、検討課題としていた。そのため、平成28年度より1年次に入門科目を新規に追加することとした。追加される科目及び内容は、各学科のFD会議で検討し、専門科目を受講する前の入門的な科目内容を各学科で設置している。

第3に、ティーチング・ポートフォリオ作成率の増加である。教員の増減等で9%となっていた標準版TPの作成率は14%に、簡易版TPの作成率は77%から100%へとそれぞれ増加している。平成27年度より授業評価アンケートの項目として、教育理念の説明が新設されたため過年度との比較は難しいが、TP作成が授業評価に反映されることを期待する。

改善すべき点としては、学部改組から3年が経過したが成果の検証準備が不十分となっている点である。学習成果を測定するコア科目群確認試験が平成28年度より実施される予定だが、骨子はできているものの、運用面で準備不足となっているため、実施体制の整備が必要である。

経済学研究科

授業改善の取り組み状況に係る優れた点は、第1に学部でも取り上げたFD活動とTP作成率の増加である。FD活動及びTP作成は学部及び研究科の全教員が参加しており、学部のみならず研究科においても授業改善の促進に繋がっているといえよう。学部専門科目及びゼミにおける指導方法は研究科においても相通ずるものがあり、FD活動及びTP作成の効果は研究科の授業改善に資するものとなっている。第2に修士論文執筆を促進する取り組みとして総合セミナーを実施して、論文執筆の基本的な考え方を講義し、修士論文の中間報告及び討論を行っているが、その実施体制を変更した点である。従来までは各専攻で個別に行われていたが、中間報告及び討論には両専攻の受講生が参加可能となるよう変更している。中間報告及び討論に触れる機会を拡充し、他分野研究を理解する場が確保されたため、論文執筆の一助となることが期待される。

改善すべき点としては、経済学研究科は平成27年度入学生の修了をもって廃止され、新研究科が平成28年度より開始されるため、円滑に新研究科への移行を整備することである。

理工学部

数理科学科

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取

り組んでいる。

物理科学科

学科として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

知能情報システム学科

(優れた点)

- ・eラーニングや紙での独自アンケート・コミュニケーションカード・小テスト時の自由記述欄などで学生の意見を吸い上げ授業改善を行っている。
- ・一部科目では、毎回の小テスト・宿題により講義内容の理解度・出席率を高めるとともに、採点結果を返却し復習に役立たせた。
- ・学習アドバイザー（プログラミング系・数学系）による学習支援を行っている。成績不振の学生を優先して指定しており、成績に反映させている。
- ・プログラミング演習支援システムによるプログラミングの自学自習（問題数 200 題程度、回答し正解した問題総数が半期で約 1000 題ほど、1 人平均で年間 30 問ぐらい解いている）。
- ・eラーニングシステムを活用することで課題提出の管理を向上させた。
- ・一部演習の電子化により、フィードバックが多少改善された。
- ・毎回の授業後に Moodle 小テストを用いた「確認テスト」を実施した。これにより学生の理解度を把握するとともに、学生が確実に復習を行うように工夫した。小テストの答えは自動採点され、学生にフィードバックされるとともに、成績にも反映される。
- ・「Moodle 版大福帳」を活用して、学生の質問やコメントを毎回の授業後に収集し、次の授業までに教員が回答する仕組みを運用している。教官室を訪問するのと比較すると、学生が質問する際のハードルは低い。また、教員の側も、質問を収集することで学生の理解状況が分かる。
- ・ PowerPoint スライドで授業をしているが、一部を空欄にして学生に書き取りをさせる方法は、学生の評判も良い。居眠りを減らす効果もある。
- ・提示資料を講義終了後にホームページにアップロードしたことで、講義中にノートを取る学生が多くいるなど、意欲を高める効果があったと考える。
- ・授業の難易度が多少高くても、意味のある内容であることをきちんと説明すれば、学生は納得もするし、ついてもきている。

(改善を要する点)

- ・数学科目では、なかなか学習到達目標の達成を実感させるのが難しいが、内容を精査し、

講義順序も再検討して「わかった」ことを実感させられるように講義設計を見直したい。

- ・時間外学習の課題を与えているが、その進行状況の把握が十分ではなかった。時間外の学習に関する改善方法を検討する。

- ・学習到達目標の達成や、学生自身が考えることを促す配慮の項目の評価がやや低くなっている科目があった。学生にシラバスや到達目標をしっかりと意識させ、学生が考えるよう配慮していくよう授業の改善を行っていききたい。

- ・学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

- ・学生の学力低下や学習意欲の低下が目立つため、できるだけ学生に作業を行わせ、手を動かすことを通じて授業内容を理解させることに努めたい。

- ・自学自習があまり行われなかった。自学自習を促す方法としてレポート課題などを再検討する。

- ・グループ学習・アクティブラーニングを導入する。教員側から質問するなどし、より講義に参加する形を作る。

- ・講義の難易度が上がると学生の興味が薄れる傾向にある。これを克服すべく、改善が必要と考える。

機能物質化学科

実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価に、平成19年度より実験・実習用の独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教育点検システムとして設置している教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育FD委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。平成23年度からは教育改善委員会を新たに設置し、要改善の科目については、次年度の授業改善を担当教員に報告してもらい、教育改善委員会でのその妥当性についてチェックしている。

機械システム工学科

学部として組織的には行なっていないが、改善を要する点に関しては学期ごとに提出するFDレポート内で各教員がそれぞれ改善に取り組んでいる。

電気電子工学科

同僚による授業評価（ピア・レビュー）を前後期に実施して、授業改善を行った。

都市工学科

学科内で教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。また、学科内に ICT チームを立ち上げ、教育の ICT 化について検討を行っている。

なお、JABEE を実施している 4 学科に関しては、JABEE の基準に従い、定期的に教育の改善に関する会議を開催し、逐次、教育改善を進めているはずである。

工学系研究科博士前期課程

数理科学専攻

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理科学専攻

専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

知能情報システム学専攻

概ね良好であるため維持したい。

循環物質化学専攻

機能物質化学科と合わせて、循環物質化学専攻でも分野別教員会議において、専門の近い教員グループにより授業の改善を続けている。

機械システム工学専攻

専攻として組織的には行なっておらず、各教員がライブキャンパスから個別に次年度の授業改善目標を設定している。

電気電子工学専攻

授業点検・改善報告による授業改善が行われている。

都市工学専攻

専攻内で教育システム委員会を開催し、学部から大学院までの体系的な教育方法の検討などを行っている。

先端融合工学専攻

優れた点としては、先端融合工学専攻では、26年度より電気系、機械系、化学系の学生が融合して実験や演習を行う科目としてプロジェクトスタディを開設し、各系の学生が3人一組になって、各系の研究内容を体験するという、他専攻にはない科目を継続して実施している。改善すべき点としては、授業評価アンケートの満足度（3.846（回答46%）、学部平均4.14）が、他の講義科目に比べて低く、改善が必要と考えられる。

工学系研究科博士後期課程

優れた点 授業アンケートの回答があった科目にかんしては、よい評価を得ている。

改善すべき点 授業アンケートの回答率が低い。

農学部

まず、出席率に関しては、出席率80%以上の学生が前後期通じて88.64%～98.10%という高い値を示した。授業時間外学習は、全く行っていないと答えた学生が4.97%～21.62%であった一方で、前年度はアンケートの質問の仕方がやや違うものの、予習、復習を全く行っていないと答えた学生が各々4割、及び3割前後いたことを考えると、今年度は授業時間外学習を行った学生が増えており、これは教員側から予習・復習の重要性を説明している結果が表れているのではないかと考えられる。また、教員の授業に対する意欲や熱意に関しても満足度は良好であり、授業に全体として満足できたとする割合が73.45%～89.64%とかなり高かったのは評価できると考えられる。一方で、シラバスの活用度はまだ十分であるとは言い難い状況であり、学生に引き続きシラバスの活用を促していく必要があると考えられる。また、アクティブラーニングの実施がまだ十分に浸透していないと考えられ、この点についても改善が必要であると考えられる。

大学院農学研究科

出席率は、出席率80%以上の学生が、前期で98.41%、後期で93.39%と高かった。また、教員の授業に対する意欲や熱意、並びに授業の全体としての満足度に関しては、前後期でばらつきがあったものの良好であったと言える。また、学部ではアクティブラーニングの実施は十分とは言い難かったが、大学院に関しては、アンケートの結果からかなり充実していると考えられる。一方、授業時間外学習については、全くしていない、あるいは1時間未満と答えた学生が、前期で合計27.78%、後期で合計47.11%と高い率を示した。大学院では自ら学ぶ姿勢も非常に重要であることから、今後、指導を行っていく必要があると考えられる。また、シラバスの活用に関しても、学部生と比較すると若干高いものの十分

とは言い難い状況であるため、この点も改善が必要である。

全学教育機構

優れた点：

インターフェース科目では、アクティブラーニングを積極的に取り入れている。また、「インターフェース科目履修者に対するアンケート」を実施し、インターフェース教育の中間段階における教育目的の達成度や学生の関心度などを調査した。その結果、平成 26 年度に比べて、「履修しているプログラムのテーマについて興味を沸きましたか」、「グループ活動や調査・実習などに、積極的に参加できましたか」、「グループ活動などで、相手の立場に立って考え、発言することができましたか」などの項目で肯定的に回答する割合が向上しているのを確認した。

改善すべき点：

授業改善に対する取り組みとして、シラバス組織的な点検、教員会議における FD 講演会の開催、授業評価アンケートの実施、TA 実施報告書の作成、および授業点検・改善報告書のオンライン入力を行った。しかしながら、授業点検・改善報告書の作成率が 50%に留まっている。

(3) 次年度の授業改善目標（学部・研究科等別）

文化教育学部および教育学研究科

次年度の改善目標は、まず第一にシラバスチェックの徹底である。昨年度提出した「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」という文書の中で、「優れた点」として、シラバスチェックが慣例化したおかげで、シラバスの記載内容がより適切かつ充実した点を挙げた。ところが今年度は逆にルーティーン化した故の弊害であろうか、シラバスチェックへの意識と意欲の減退が見られ、その結果として、シラバス点検実施率の著しい低下を来した。昨年度はほぼ 100 パーセントの実施率であったのに対して、今年度はそれを大きく下回って、70 パーセント前後に留まっている。

だが他学部の実施率と比べてみると、シラバスチェックへの慣れが生んだ意識の低下だけが、その原因とはいえない。事実、他学部は例年と変わることなく、高い実施率を保っている。そこで他に原因を求めるならば、学部改組に伴う組織上の混乱と指示の不徹底が思い当たる。従来は文化教育学部 FD 委員会の依頼を受けて、文化教育学部の教務委員長が、文化教育学部の各講座および教育学研究科の各専攻の教務委員にシラバスチェックの実施を指示し、教務委員は各所属の教員に点検をお願いするという方法を行っていた。ところが今度の場合、来年度 4 月より文化教育学部は教育学部に、教育学研究科は学校教育学研究科にそれぞれ改編されるに伴い、4 つの部局が同時に存在することになり、FD 委員長は文化教育学部教務委員長ならびに各講座の教務委員の作業量の増大と煩雑さを慮って、上記 4 部局の教務委員長に各部局単位でのシラバス点検作業の実施をお願いした。そのため部局ごとに指示の徹底に濃淡が生じ、実施率の高い部局もあれば、低率に留まった部局もあるという結果となってしまった。

更には、教務委員の負担軽減のため、部局ごとの点検の実施をお願いしたわけであるが、場合によっては一人の教員が同時に 4 つの部局で授業を担当しているため、4 つの異なる教務委員会からシラバス点検の依頼を受け、教員個人にとっては逆に負担が増えてしまったという側面も否めまい。教員は上記のシラバスチェック慣れと同時に、シラバスチェック疲れを起こしているものと考えられる。昨今の大学教員の勤務状況を鑑みるに、教育・研究に加えて、大学運営に伴う事務作業の量が著しく増大している。とりわけ年度末の時期には、その傾向が顕著である。そこに更に学部改組に伴う膨大な仕事加わり、教員は肉体的にも精神的にも疲弊しきっている。そこでシラバスチェックにまで手が回らなかったというのが実状であろう。もちろん、それでも敢えてシラバス点検の完全実施へと教員を駆り立てようとしなかった FD 委員長の責任は大であることは言うを俟たない。4 つの部局が混在する状況は今後 3~4 年は続く見込みであり、シラバスチェックの仕組みそのものを

根本的に見直す必要があるのかもしれない。

第二に学生による授業評価アンケートの回答率の向上である。この目標は昨年度も挙げられていたが、改善されるどころか、却ってますます状況は悪化しているように見受けられる。今年度からは全学的な取り組みとして、アンケートの名称を変更したり、今まで無記名式であったものを基本的に記名式に改めるなどして、学生に責任をもって回答するよう自覚を促すと同時に、回答率の向上を目指す試みがなされた。しかしながら、さしたる効果が上がっているとは思われない。そこで来年度からは授業中にアンケート実施時間を定めて、学生にその場でもってスマートフォン等を用いて、アンケートに回答してもらう予定となっている。確かにこの方式を採用すれば、アンケート回答率は確実に上昇しようが、これは一種の強制を伴うものであり、元来アンケートというものは応ずるも断るも当人の自由な意思に基づくものであることを考えれば、果たしてこれが最善の方策であるかについては疑問が残る。

第三の改善目標は、ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップの再受講の促進である。今年度末までに、ワークショップへの参加率ならびにポートフォリオの作成率の100パーセント達成が全学的目標として課されていたが、残念ながら文化教育学部では98パーセント程度に留まった。講習会に参加できなかったに当たっては、それぞれ教員にやむを得ない理由があり、これは当該教員自身の責任とは必ずしも言い切れない部分がある。そもそも個人的に事情の如何を問わず、100パーセントを求めること自体に無理がある。来年度以降の達成目標については、まだ大学当局より提示されていないが、円滑かつ健全なる学部運営を可能ならしめるためにも、その意に沿うべく、努力する必要がある。もちろん教員個人の意向に反して、参加・作成を強制することは、到底許されることではないが、ティーチング・ポートフォリオの意義と効用をアピールすることで、教員の自主的参加を促す必要がある。

経済学部

授業アンケート回答率の向上および標準版ティーチング・ポートフォリオの作成率向上を図りたい。

理工学部

数理科学科

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。

物理科学科

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行っている。カリキュラム編成とともに授業改善も検討している。

知能情報システム学科

学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

機能物質化学科

教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育 FD 委員会による科目履修状況の分析をもとに前年度入学生よりカリキュラムを改訂している。このカリキュラムと教育改善委員会で取り上げた科目について、点検や評価を学科全体で継続的に行っていく。

機械システム工学科

個別の授業改善目標というよりは、専攻・学科内で組織的な授業改善が行えるよう、専攻内の教務・JABEE グループ会議で検討を行う。

電気電子工学科

授業参観を授業評価の高い授業を参観する形にして、具体的に参考になる優れた授業方法を見つけて、学科内に周知するようにする。

都市工学科

授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。

工学系研究科博士前期課程

数理科学専攻

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。

物理科学専攻

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行っている。カリキュラム編成とともに授業改善も検討している。

知能情報システム学専攻

学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

循環物質化学専攻

教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育 FD 委員会による科目履修状況の分析をもとに前年度入学生よりカリキュラムを改訂している。このカリキュラムと教育改善委員会で取り上げた科目について、点検や評価を学科全体で継続的に行っていく。

機械システム工学専攻

個別の授業改善目標というよりは、専攻・学科内で組織的な授業改善が行えるよう、専攻内の教務・JABEE グループ会議で検討を行う。

電気電子工学専攻

授業参観を授業評価の高い授業を参観する形にして、具体的に参考になる優れた授業方法を見つけて、学科内に周知するようにする。

都市工学専攻

授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。

先端融合工学専攻

授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。

工学系研究科博士後期課程

現状の授業評価アンケートでは履修者数も少なく、アンケートとしては匿名性もないので、複数の科目をまとめてアンケートを行うなど、アンケートの収集方法について検討を行い、アンケートに基づく授業改善を進める。

独自アンケートを実施した科目数

理工学部

数理科学科：なし

物理科学科：4科目

知能情報システム学科：なし

機能物質化学科：3科目

機械システム工学科：なし

電気電子工学科：授業アンケートの独自質問項目を設定した科目は、学部授業で同一教員による2科目だけであった。

都市工学科：なし

工学系研究科博士前期課程

数理科学専攻：なし

物理科学専攻：3科目

知能情報システム学専攻：なし

循環物質化学専攻：なし

機械システム工学専攻：なし

電気電子工学専攻：なし

都市工学専攻：なし

先端融合工学専攻：なし

工学系研究科博士後期課程

なし

農学部

「(2) 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上に取り組み、学習管理を支援するラーニングポートフォリオの活用を促す。

大学院農学研究科

上記に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上とポートフォリオシステム（研究指導実施報告）の効果的活用に取り組む。

全学教育機構

平成27年度にはインターフェース科目の完成年度を迎えた。これまでの実績や教員の

退職や異動などの状況を踏まえて、インターフェース科目を継続実施できるよう必要に応じて見直しを行う。また、授業点検・改善報告書および標準版ティーチング・ポートフォリオの作成率向上を図る。

表1 部局別の授業評価アンケート回答率(独自形式アンケートは除く)

	平成27年度前学期			平成27年度後学期		
	回答数	対象数	回答率	回答数	対象数	回答率
文化教育学部	375	403	93.1%	348	441	78.9%
経済学部	101	127	79.5%	132	186	71.0%
理工学部	210	212	99.1%	229	251	91.2%
農学部	85	106	80.2%	94	103	91.3%
全学教育機構	423	447	94.6%	362	393	92.1%
全体	1194	1295	92.2%	1165	1374	84.8%
教育学研究科	56	84	66.7%	73	132	55.3%
経済学研究科	13	14	92.9%	11	15	73.3%
工学系研究科	142	187	75.9%	130	153	85.0%
農学研究科	42	58	72.4%	66	98	67.3%
全体	253	343	73.8%	280	398	70.4%

通年の講義については後期に含めている。

受講者が一人でも回答していれば回答している科目数とする。

表2 医学部の授業評価アンケート実施率(独自形式アンケートは除く)

	平成27年度前期			平成27年度後期		
	実施数	対象数	実施率	実施数	対象数	実施率
医学部				128	131	97.7%
医学系研究科	35	36	97.2%	68	74	91.9%

表3 部局別の独自形式アンケート実施科目数

	前学期	後学期
文化教育学部	0	0
経済学部	13	11
理工学部	0	2
全学教育機構	0	3
経済学研究科	2	0
工学系研究科	2	2
全体	17	18

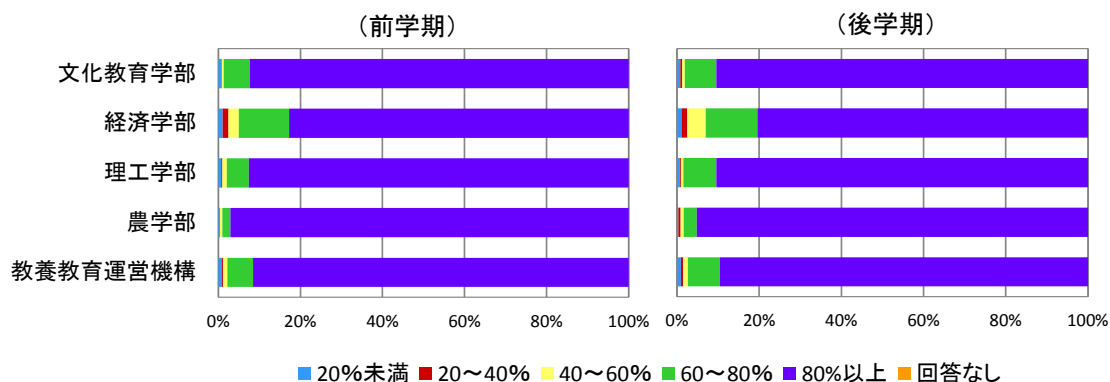
Ⅲ 授業評価アンケートの結果と分析

平成 27 年度に佐賀大学では 4 種類の授業評価アンケートを実施した。独自形式アンケートに関しては統計処理を行うのに適していないため、ここでは共通アンケート様式による授業評価アンケートのみを取り扱うものとする。研究科別分析については、研究科で回答した学生数に隔たりが大きく、その回答傾向も偏っていることがこれまでの調査から見られたため、昨年度に引き続き本年度も実施しなかった。なお、平成 25 年度より教養教育運営機構が開設していた科目が全学教育機構にて開講されているが、ここでは教養教育運営機構として記載している。

Ⅲ-（１）学部別の結果と解析

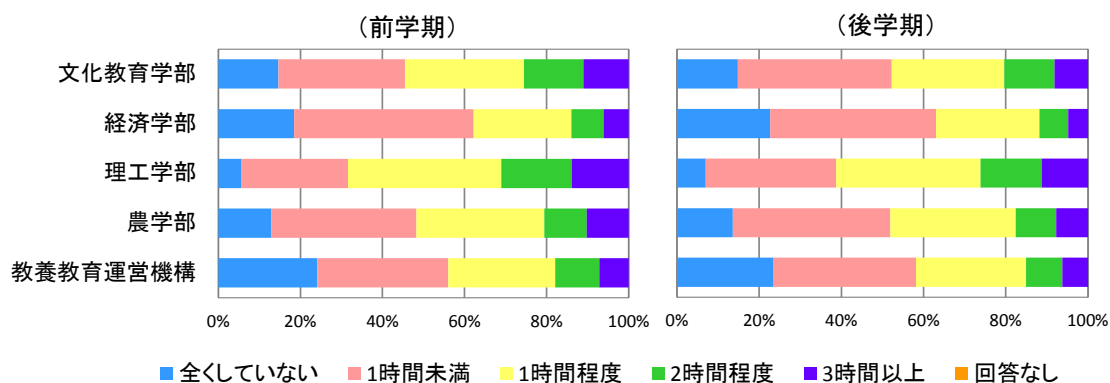
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか

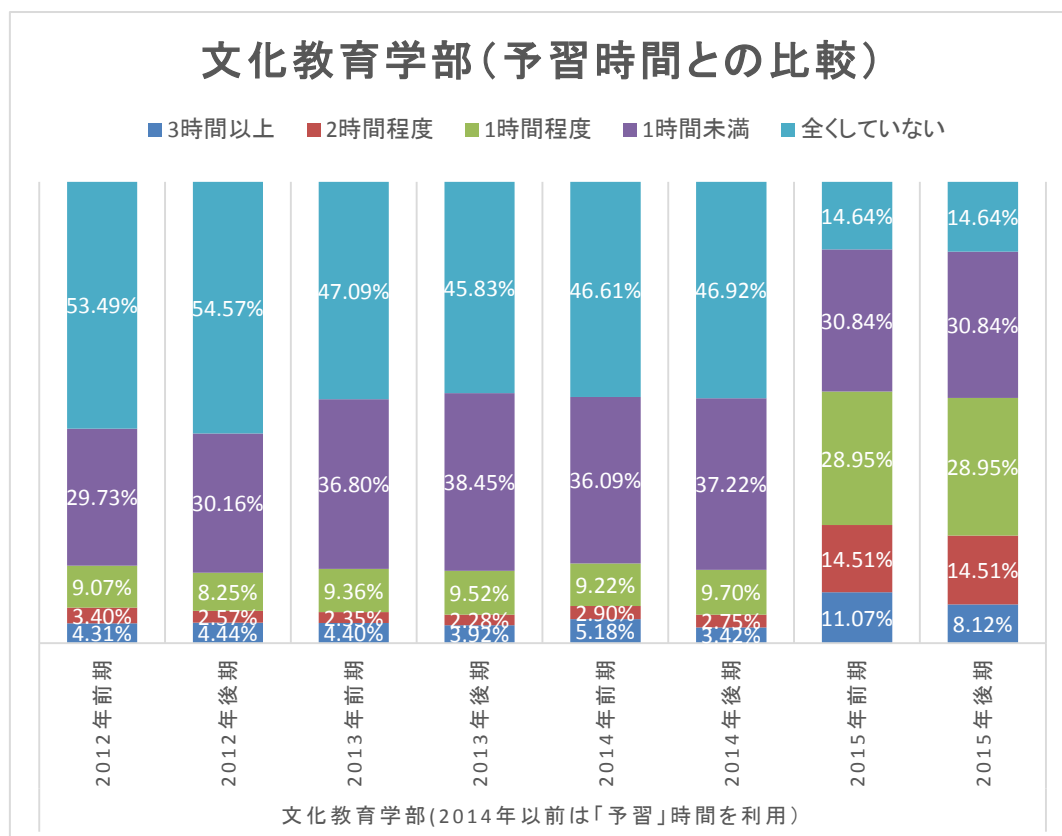


前学期と後学期でほぼ同じ傾向を示している。やや経済学部の出席率が低い傾向にあるが、いずれの学部とも良好な出席状況であると言える。

A-2 授業時間外学習（予習や復習，授業時間後に行ったレポート作成など）は，1 回の授業ごとにどの程度しましたか

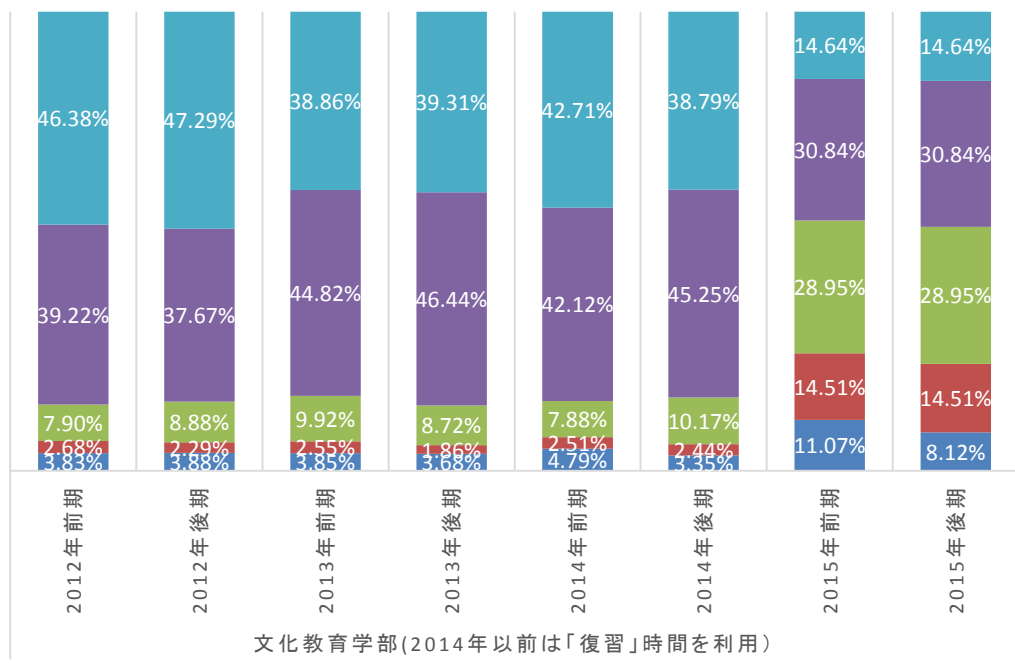


前学期と後学期でほぼ同じ傾向を示している。全授業のシラバスにおいて授業時間外学習を明示しているにも関わらず、依然として授業時間外学習を「全くしていない」と回答する学生がいる。しかしながら、以下に示すように、昨年度までに比べれば全体的に授業時間外学習が増加している。昨年度までは、授業アンケートの項目が「予習時間」と「復習時間」に分かれていたことを考慮しても、「全くしていない」割合は減り、学習時間が増加していると言える。



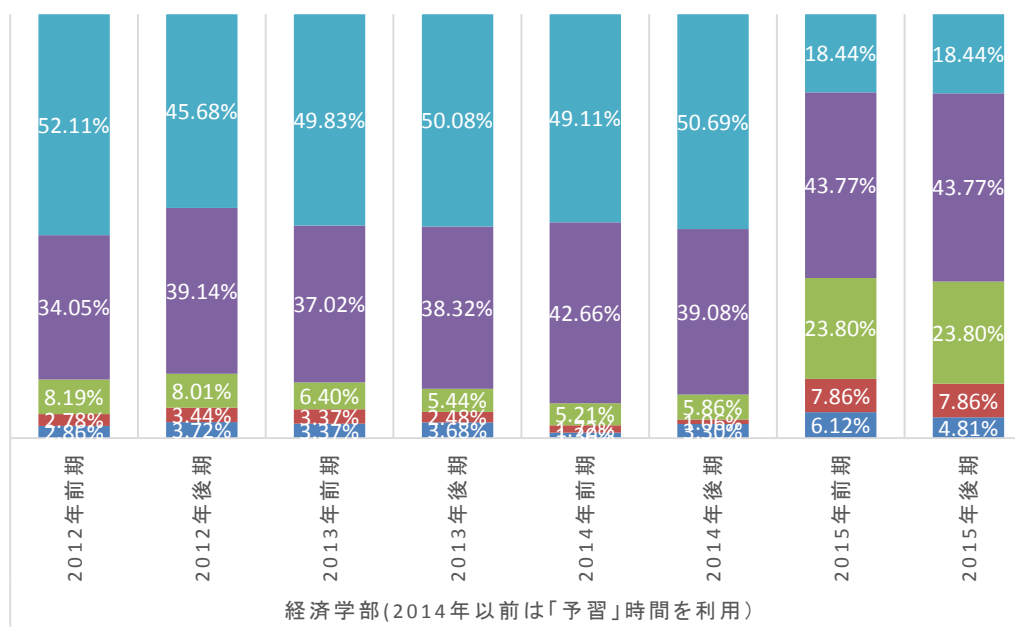
文化教育学部(復習時間との比較)

■3時間以上 ■2時間程度 ■1時間程度 ■1時間未満 ■全くしていない



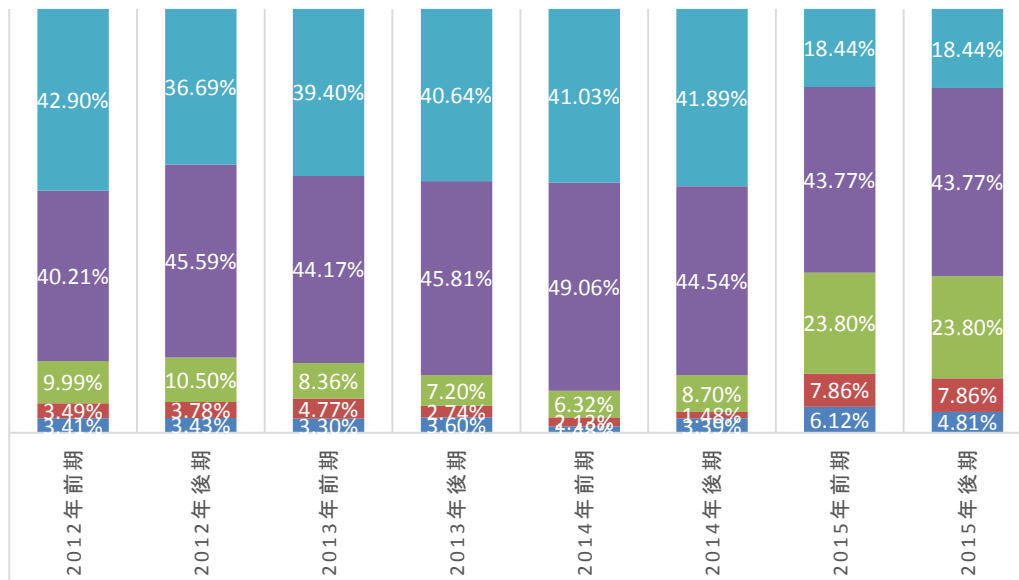
経済学部(予習時間との比較)

■3時間以上 ■2時間程度 ■1時間程度 ■1時間未満 ■全くしていない



経済学部(復習時間との比較)

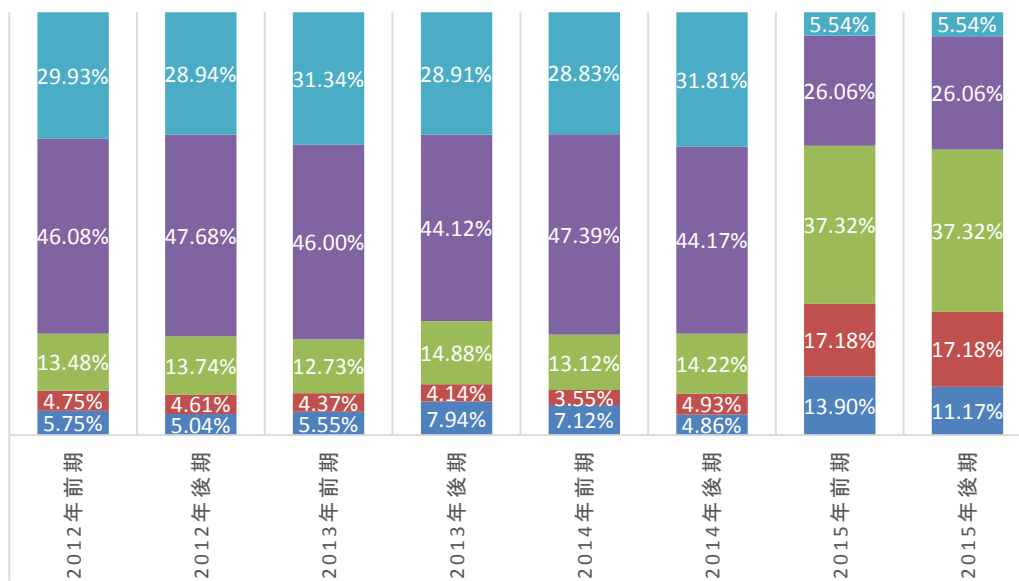
■ 3時間以上 ■ 2時間程度 ■ 1時間程度 ■ 1時間未満 ■ 全くしていない



経済学部(2014年以前は「復習」時間を利用)

理工学部(予習時間との比較)

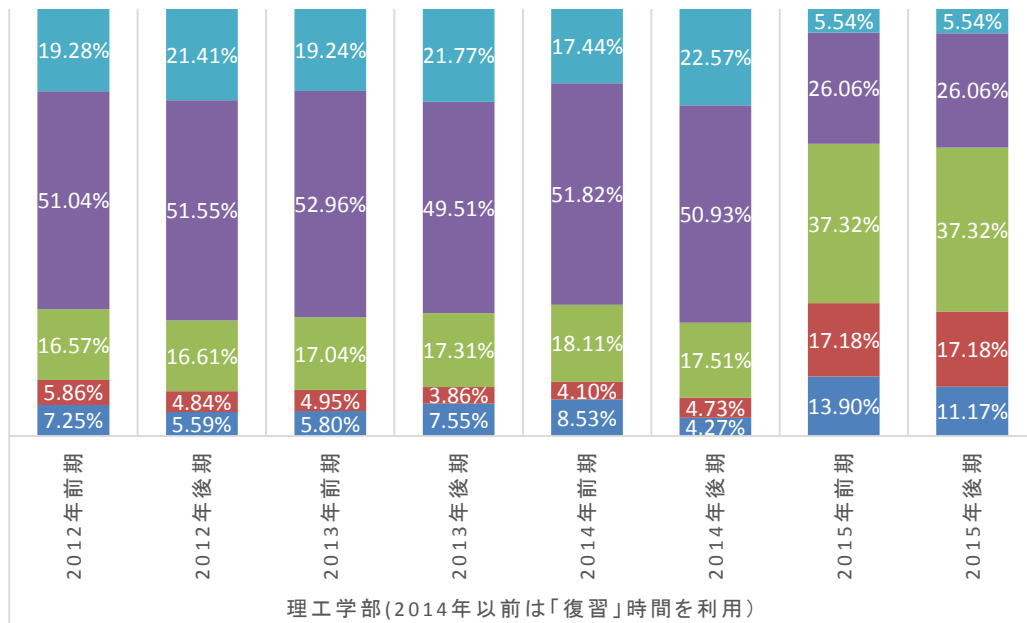
■ 3時間以上 ■ 2時間程度 ■ 1時間程度 ■ 1時間未満 ■ 全くしていない



理工学部(2014年以前は「予習」時間を利用)

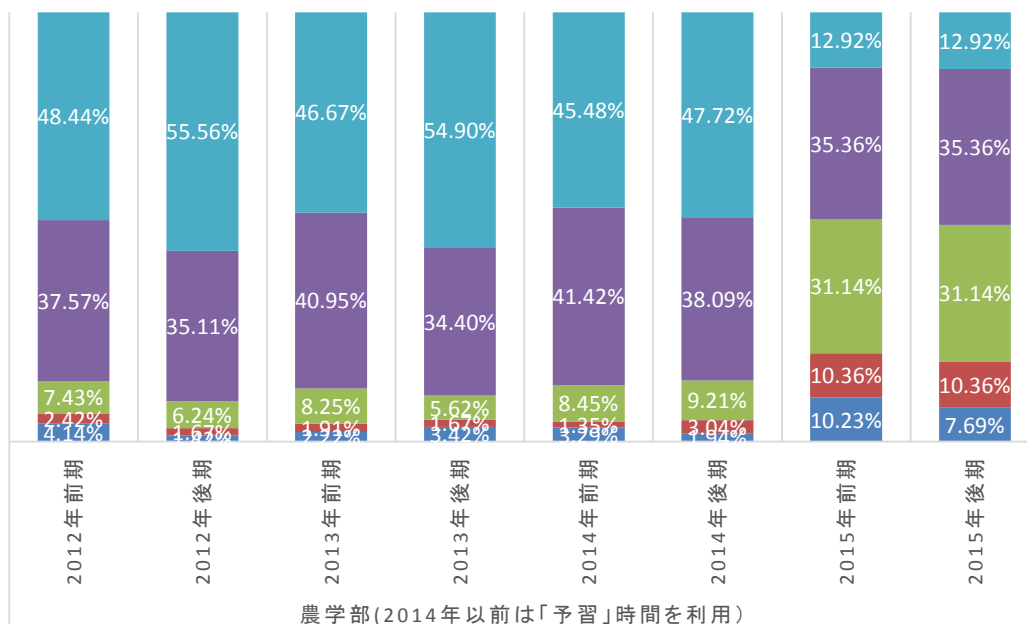
理工学部(復習時間との比較)

■ 3時間以上 ■ 2時間程度 ■ 1時間程度 ■ 1時間未満 ■ 全くしていない



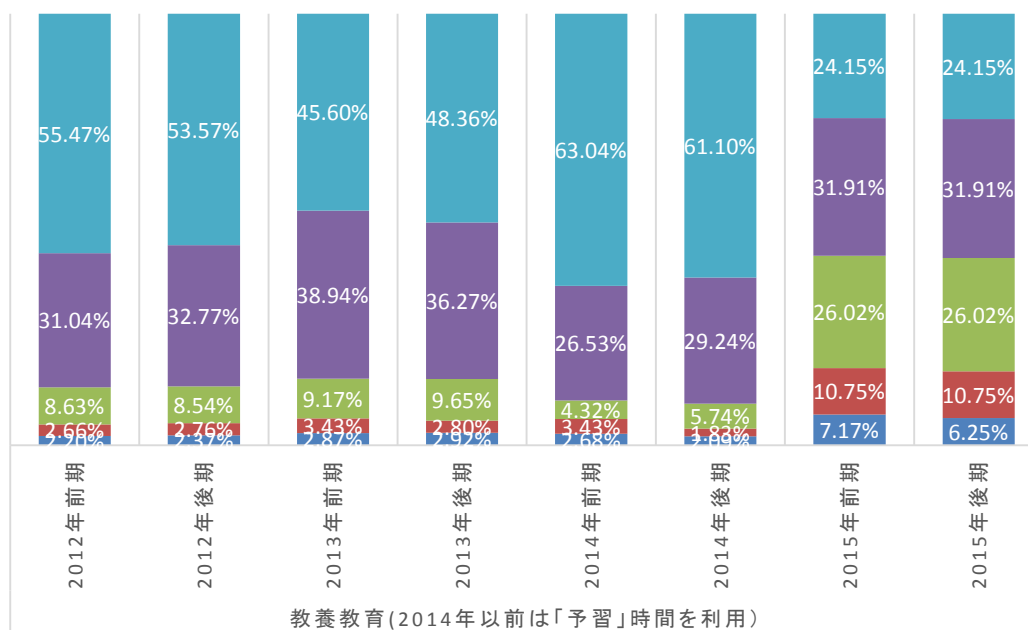
農学部(予習時間との比較)

■ 3時間以上 ■ 2時間程度 ■ 1時間程度 ■ 1時間未満 ■ 全くしていない



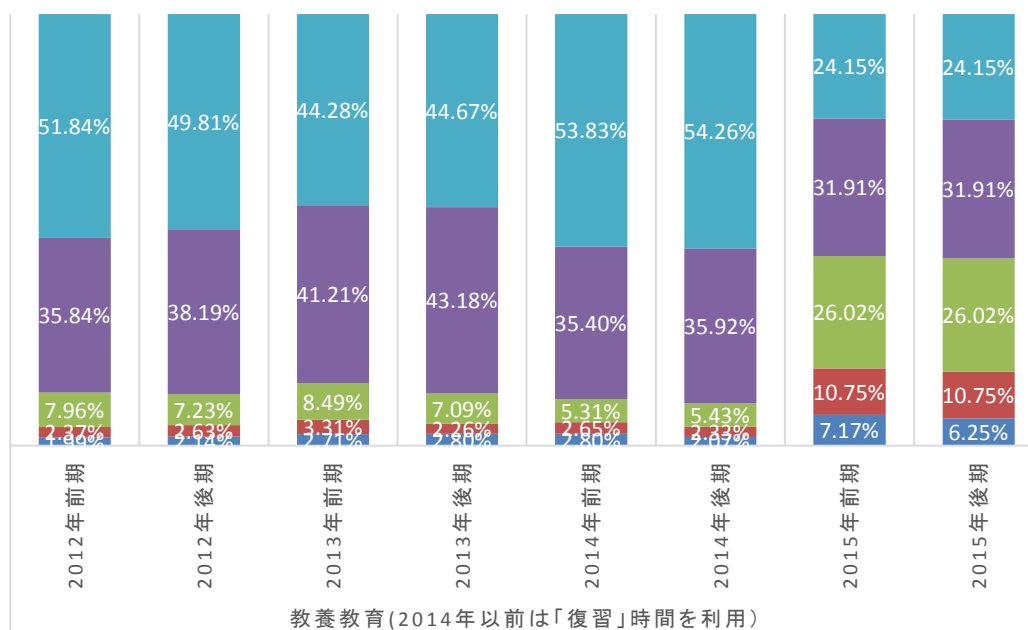
教養教育運営機構(予習時間との比較)

■ 3時間以上 ■ 2時間程度 ■ 1時間程度 ■ 1時間未満 ■ 全くしていない



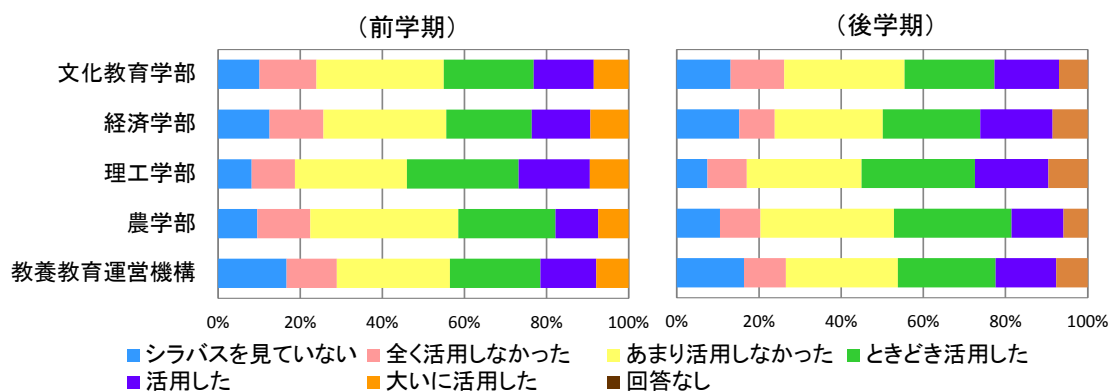
教養教育運営機構(復習時間との比較)

■ 3時間以上 ■ 2時間程度 ■ 1時間程度 ■ 1時間未満 ■ 全くしていない



この結果の要因としては、平成26年度分のシラバスより実施されている組織的なシラバス点検やアンケート項目で「授業時間外学習」を「予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など」と明記したことが挙げられる。さらなる授業時間外学習の増加を図るため、教員には、シラバスや授業時間内に予習課題を明示して実際に行ったかを確認する、予習を重視した授業設計を行う、といった工夫が求められる。

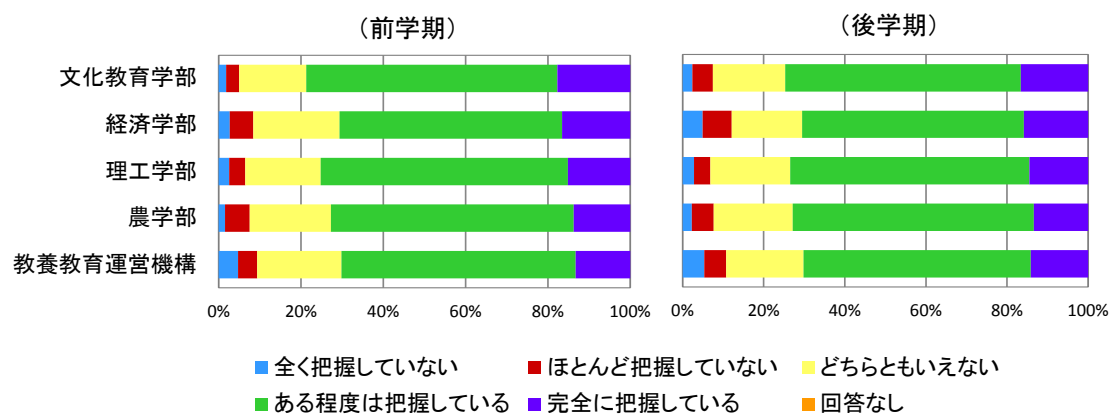
A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



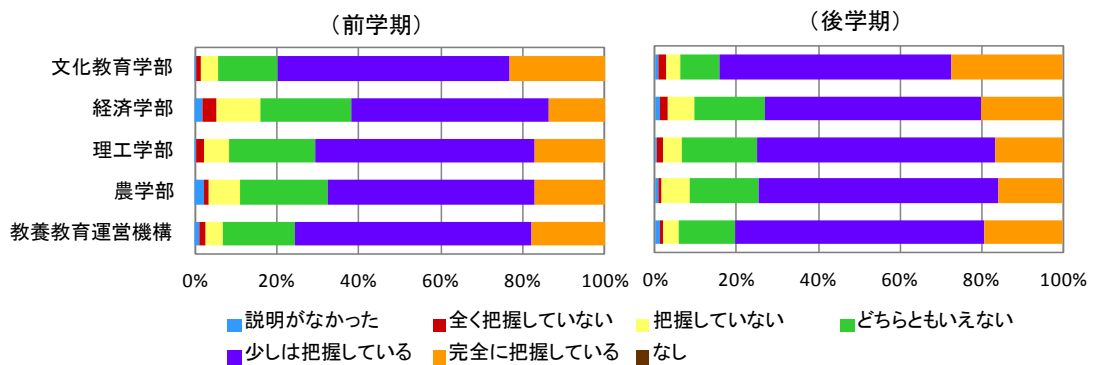
「大いに活用した」、「活用した」、「ときどき活用した」と回答している学生が40から50%に留まっている。一方、約20%の学生が「シラバスを見ていない」、「全く活用しなかった」と回答しており、全体としては、科目の選択や予習・復習におけるシラバスの活用状況は芳しくない。

授業の第1回目において、授業担当者が、今まで以上にシラバスの説明を丁寧に行ったり、普段の授業において学生にシラバスを読ませるような工夫が必要と思われる。

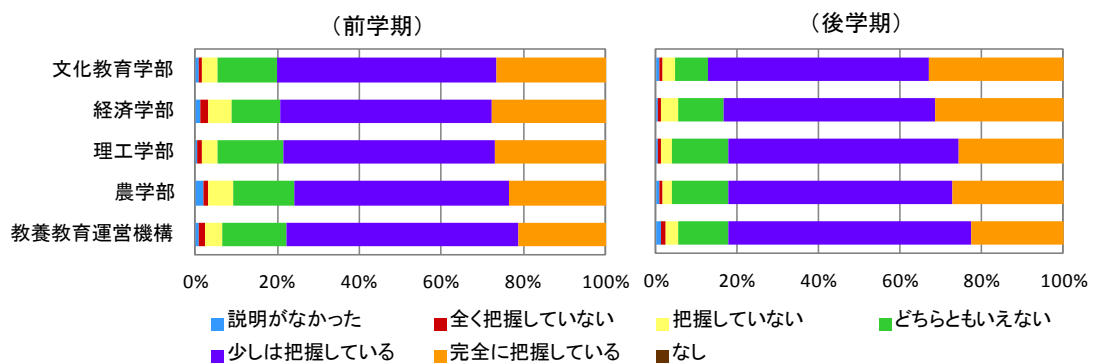
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



授業の学習到達目標や成績評価基準を「完全に把握している」、「ある程度は把握している」と回答している学生は70%程度であり、前学期と後学期ではほぼ同じ傾向を示している。昨年度は「学習目標の把握」と「成績評価基準の把握」は分けて質問していたため、直接的な比較はできないが、全体的に把握している学生の割合が少し減っている。



平成26年度授業評価アンケート「この授業の学習目標を把握している」

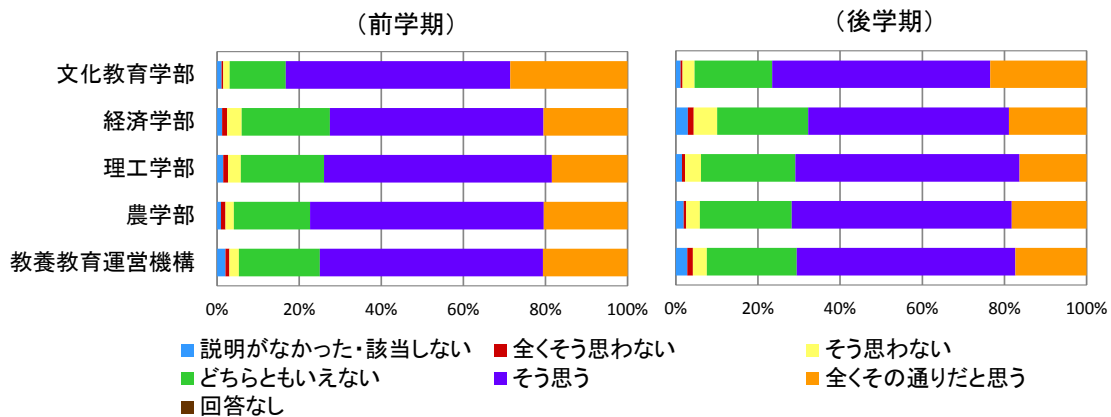


平成26年度授業評価アンケート「この授業の成績評価基準を把握している」

学生が主体的に学んでいくためには、学生自身が学習教育目標や成績評価基準を把握することが重要なので、「ある程度は把握している」、「完全に把握している」という割合を100%に近づけるようにすべきである。シラバスの組織的な点検を通じて、シラバスでは学習目標や成績評価基準を可能な限り具体的に記載し、授業でも詳しく説明するといった取り組みをさらに推し進める必要がある。

B. 教員の対応

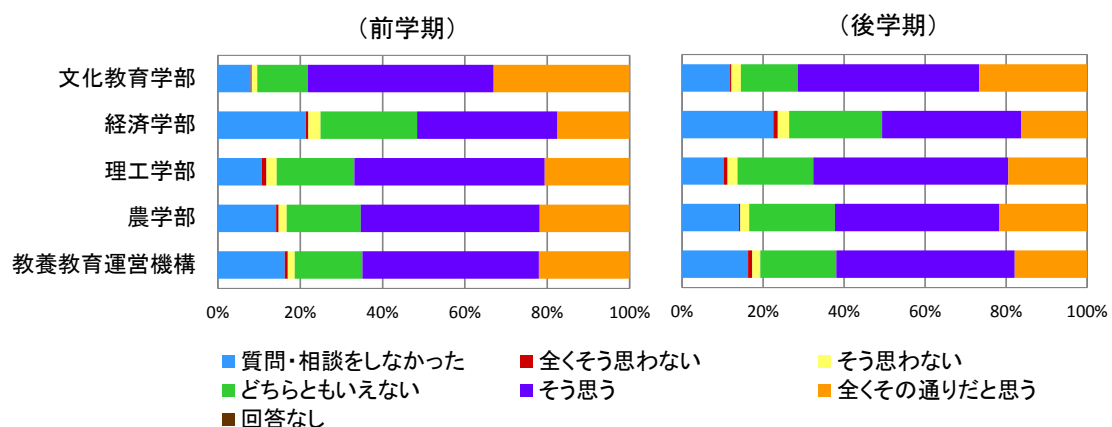
B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



本項目は、簡易版ティーチング・ポートフォリオの作成率が向上し、その活用として、教員が授業の第1回目で教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法を学生へ説明することになったことに伴い設けられたものである。

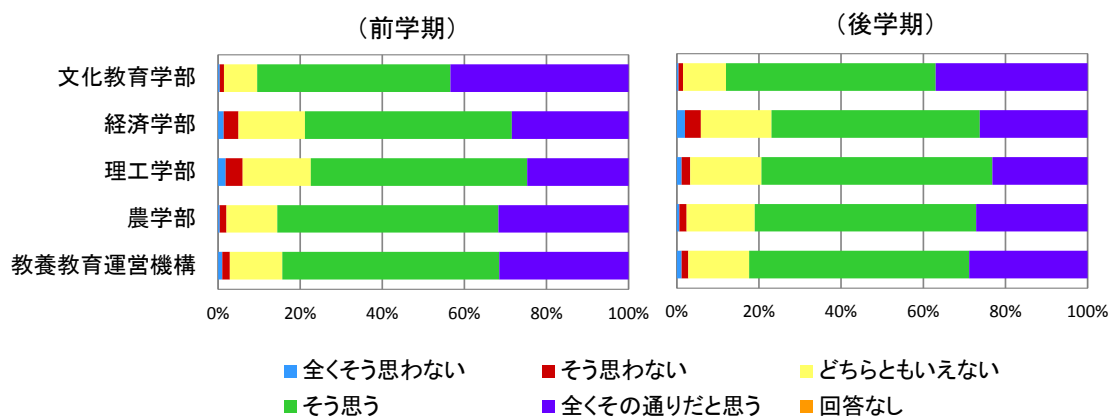
前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。約70～80%の学生が、「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答しており、教育理念に基づいた教育方針や成績評価方法等の説明は、概ね好評であると判断される。特に文化教育学部では、その割合がやや高い。一方、いずれの学部、機構においても「そうは思わない」、「全くそう思わない」という否定的な回答が10%前後ある。これらを0%にすることは難しいと思われるが、平成27年度には簡易版ティーチング・ポートフォリオの作成率が100%に達しており、平成28年度からは新任教員を除けば、全教員が教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法の説明ができるため、少なくとも「説明がなかった・該当しない」と回答する学生の割合が減ることを期待したい。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答をみると、文化教育学部が最も高く、70%以上の学生が肯定的に回答している。逆に、経済学部では、肯定的な回答が約50%に留まっており、「質問・相談しなかった」という割合が高い。それ以外の学部と機構は「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答が約60%であり、概ね適切な対応が取られていると判断される。

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

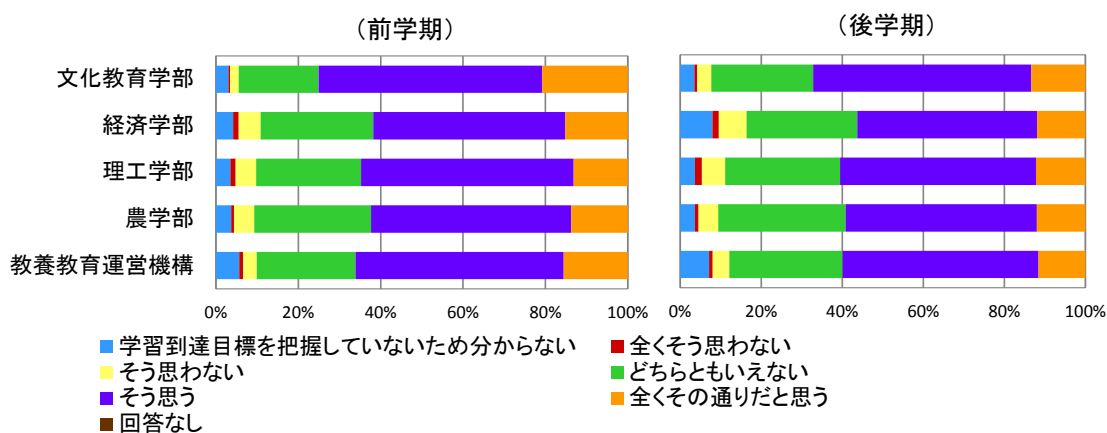


「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答が80%前後で、「そう思わない」、「全くそう思わない」の回答は5%程度に留まっており、教員の授業に対する意欲や熱意が学生へ伝わっていると思われる。前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。

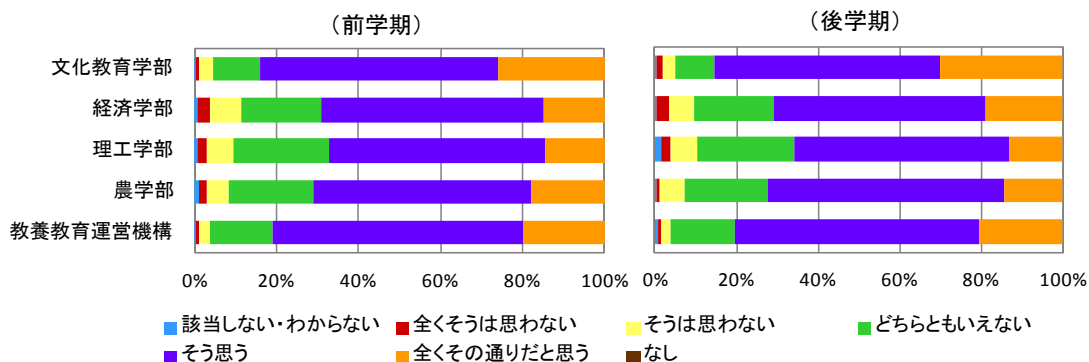
この結果は、B-1の結果と傾向が似ていることから、授業に対する意欲や熱意を学生に伝える上では、教員が自身の教育理念を語る事が大切であることを示しているのかもしれない。

C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。約60%の学生が、「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している。平成26年度までは、この項目は「この授業の内容は理解できる」であったので単純比較はできないが、平成26年度より全体的に肯定的な回答割合が減っている。

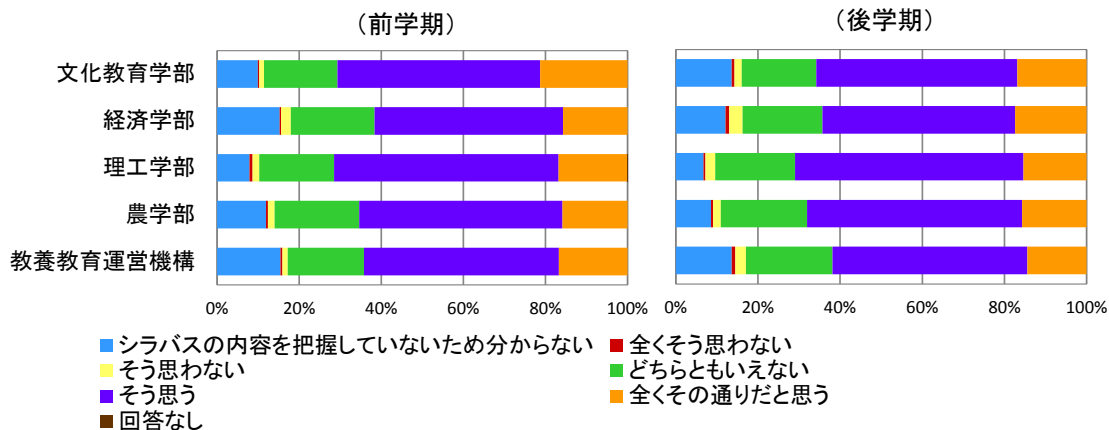


平成26年度授業評価アンケート「この授業の内容は理解できる」

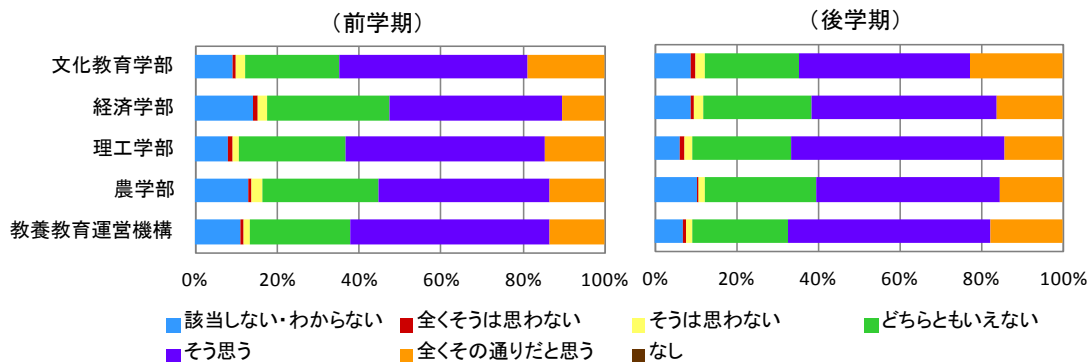
これらを踏まえると、授業の内容は理解できたが、学習到達目標の達成については「どちらともいえない」という学生の割合が増えていると思われる。

学生自身が身に付けた能力を説明できるようになるには、学習到達目標の達成を実感することが大切であり、「学習到達目標を把握していないため分からない」との回答も約10%あることを鑑みると、今後はより一層、学習到達目標を意識した授業展開を図る必要があるだろう。

G-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



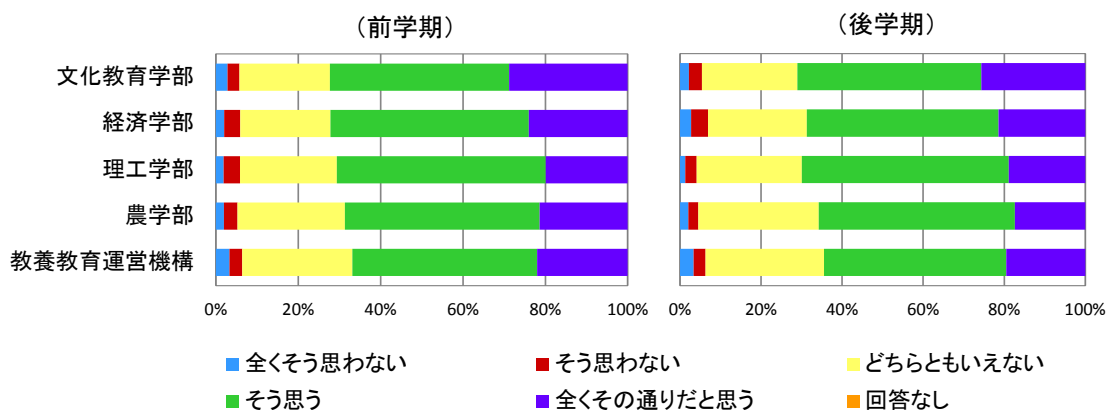
「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生が、すべての学部と機構で60%以上であることから概ねシラバスに基づいた授業が行われていると判断できる。昨年度は60%に達していない部局もあったため、改善傾向にある。シラバス点検によりその内容が充実された結果かもしれない。



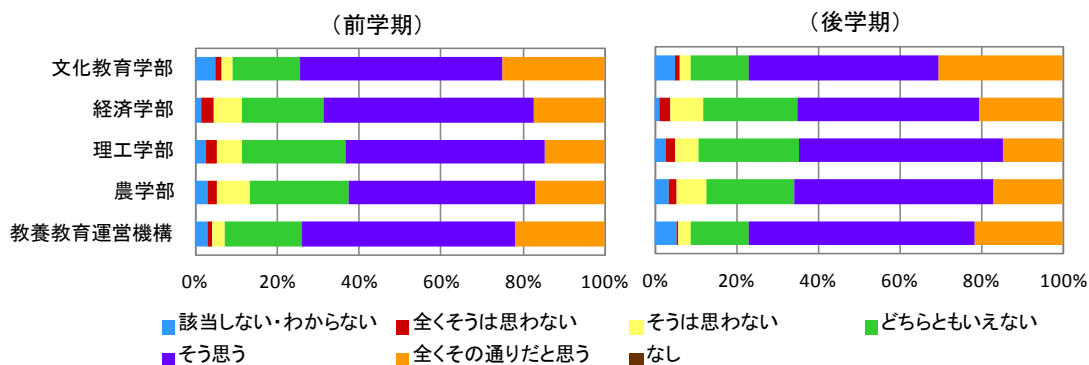
平成26年度授業アンケート「授業内容はシラバスに沿っている」

ただし、「どちらともいえない」と回答している学生が20~30%おり、また、「シラバスの内容を把握していないため分からない」と回答している割合が15%前後であり、この割合は、この割合は「A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか」において、「シラバスを見ていない」とほぼ同じである。まずは、チューター面談などを通じて、学生にシラバスを見る習慣を身に付けさせることが望まれる。

C-3 教材（教科書，配布資料）やICT環境（LiveCampus，講義配信システム，各授業の講義用Webページ，ネット授業，eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

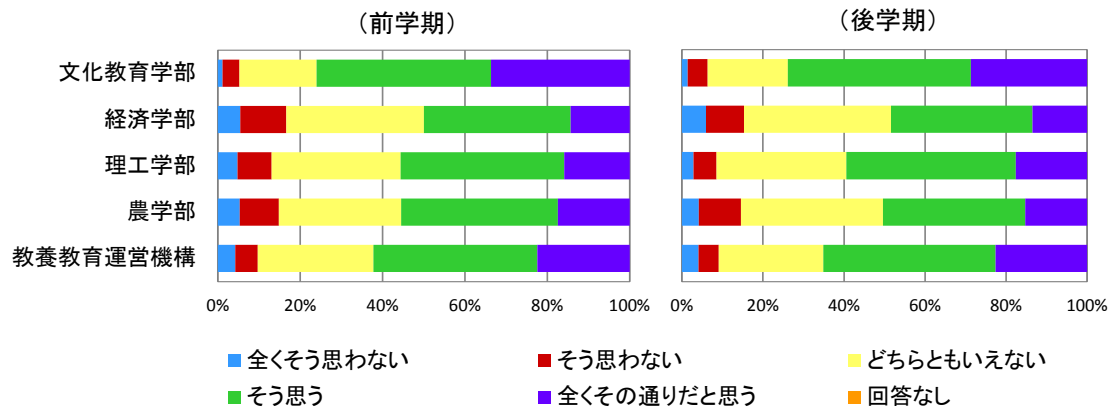


前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。約60～70%の学生が、「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答しており、教材（教科書，配布資料）やICT環境（LiveCampus，講義配信システム，各授業の講義用Webページ，ネット授業，eラーニングなど）の使用に関しては，概ね好評であると判断される。ただし，平成26年度のアンケート項目「教材（テキスト，配布資料，その他）はわかりやすかった」と比べると，文化教育学部と全学教育機構で「全くその通りだと思う」と「そう思う」の割合が減っている。この影響が，アンケート項目にICT環境が加わったことによるものだとすれば，ICT環境の活用を意識した授業展開を図る必要があるのかもしれない。



平成26年度授業アンケート「教材（テキスト，配布資料，その他）はわかりやすかった」

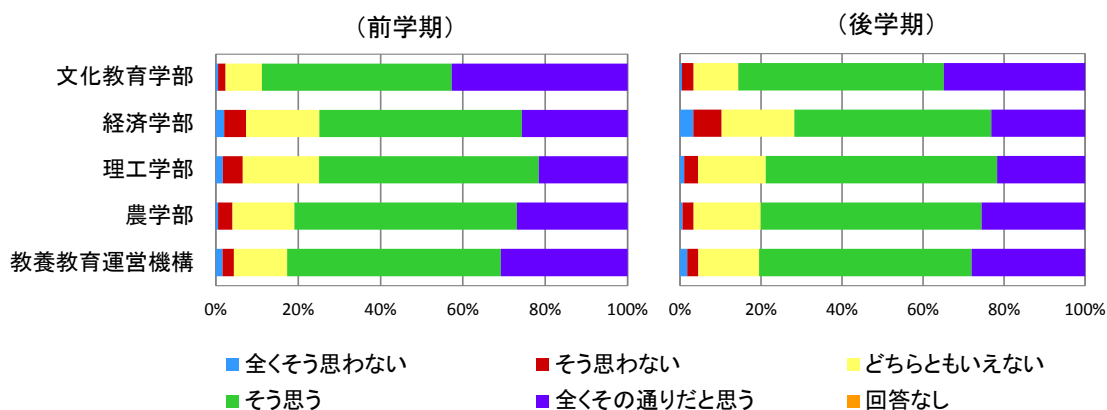
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



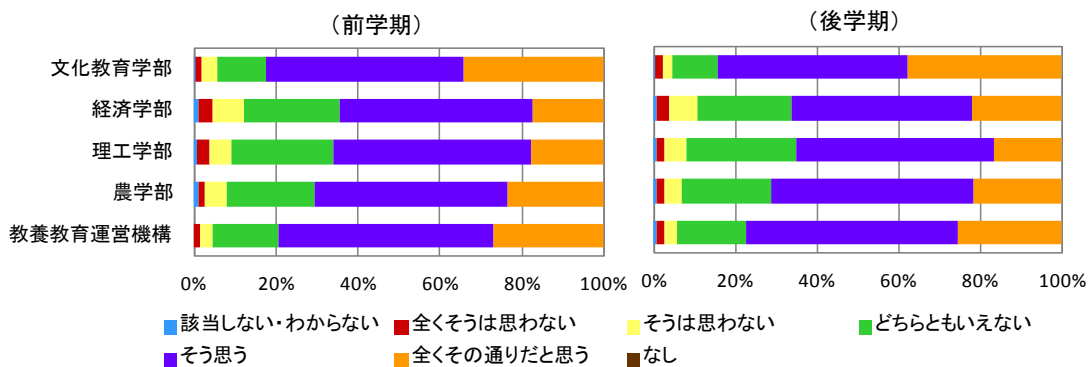
本項目は、アクティブ・ラーニングの全学的な導入を踏まえて本年度から授業アンケートに追加されたものである。まず、前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。文化教育学部では、70%以上の学生が「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答しており、次いで全学教育機構（旧教養教育運営機構）において、60%以上の学生が同様に回答している。これらの学部・機構ではアクティブ・ラーニングを意識した授業展開が図られていると思われる。今後、全学的なアクティブ・ラーニングの導入により、肯定的に回答する割合が増えていくことが期待される。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



前学期と後学期で回答の傾向に差は見られない。「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生は、文化教育学部が80-90%と最も高く、教養教育運営機構と農学部で約80%、経済学部と理工学部で70%前後であり、概ね満足のいく授業がなされていると判断される。平成26年度のアンケート項目「この授業を受講して満足が得られた」と比べても全体として、肯定的に回答している学生の割合が増えており、全学的な教育改善活動（ティーチング・ポートフォリオ、シラバス点検、授業改善報告書等）と授業担当者の努力により、授業改善が図られていることが窺える。



平成26年度授業アンケート「この授業を受講して満足が得られた」

Ⅲ-(2) 研究科別の結果

研究科別分析については、資料5「項目の基礎集計表」が示すように、研究科で回答した学生数に隔たりが大きく、その回答傾向も偏っているため、全体的な分析は行わない。各研究科の結果と分析を参照されたい。

佐賀大学文化教育学部
平成 27 年度「学生による授業評価アンケート」
組織別分析結果報告

平成 28 年 9 月

佐賀大学文化教育学部 FD 委員会

概要

学生による授業評価がウェブ入力方式になり、今年度で5年目を迎えることになった。その変更に伴って、学生による回答率が、手書きアンケート方式時代と比べて、著しい低下を示し、その傾向がその後、変わることなく続いてきた。そこで学生に自覚を持って回答してもらうため、従来学生アンケートは無記名で行われていたものを、平成27年度より全学的に記名式に改めることとなった。これにより学生が自らの回答により強い責任を持つと同時に、アンケートの回答率が向上することが期待された。

ところが現実には、当初期待されていた程には、アンケート回答率は上がっていない。平成27年度の文化教育学部における授業開講数は、前期が434科目、後期が541科目であったが、そのうち前期36科目、後期94科目においてアンケート回答数がゼロであった。これは全授業科目数の、それぞれ8%と17%に相当する。確かに割合においては、昨年度前期が11%、後期が19%であったことと比べれば、一定の改善は見られるものの、総数においては前年度よりも増加している。またアンケート回答数がゼロではないものの、回答率が一桁から10%台の科目が多く見受けられ、50%に達しているものはごく少数である。

このようにアンケートの回答率が低くても、教員が自らの授業を学生目線から客観的に評価し、次年度の授業改善につなげることが困難であるばかりか、場合によっては評価を誤る可能性さえなしとしない。というのも、教員はアンケート結果を受けて、授業点検・評価報告書を作成することを義務づけられているが、ごく一部の几帳面な性格の学生による評価に基づいて、次年度の授業改善目標を立てる恐れがある。ましてや学生による回答が皆無とあっては、来年度に向けて改善の試みようにも、そのためのデータが存在しなくても、方策の立てようがない。

アンケート回答率の低さについては、文化教育学部はその教育内容の性格上、少人数クラスが多いこと、また後期においては卒業論文が授業科目に含まれていることなどが、原因として挙げられよう。今のところ抜本的な解決策は、全学の教育質保証専門委員会においても、また文化教育学部FD委員会においても見出されておらず、教員が地道にアンケートへの回答を学生に呼びかけるしか方法はあるまい。平成28年度より新たに教育学部、ならびに芸術・地域デザイン学部が発足し、教員による更にきめ細かい指導が可能となったのを期に、改善が進むことを期待したい。

アンケートの質問項目は、学生の受講態度についての自己評価に関するものと授業担当教員に対する評価に分かれる。学生自身の評価では、予習・復習の時間、授業の目的の把握、成績基準の把握、授業内容の理解、内容への興味、満足度などが項目として挙げられている。一方、教員への評価では、教材やICT環境活用の適切性、シラバスの有効活用、適切な授業の進み方、質問への適切な対応などが項目に挙げられている。以下の報告は、授業アンケートの各質問項目についての結果のデータとそれにもとづく分析とコメントである。

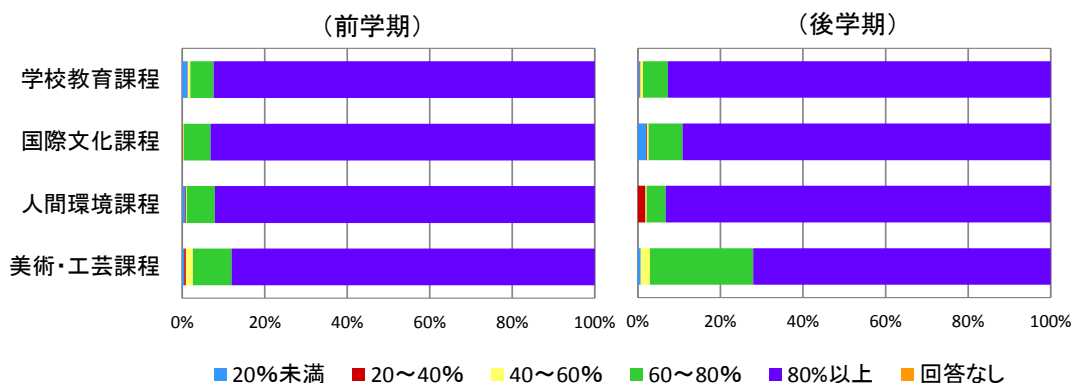
文化教育学部組織別授業評価分析

分析の仕方

文化教育学部には、学校教育課程、国際文化課程、人間環境課程、美術・工芸課程の4課程がある。本分析ではこれらの課程のアンケート結果を比較して、課程ごとの特徴を抽出した。課程ごとの差異が認められない場合はすべての課程に見られる特徴を述べた。また前学期と後学期についても、差異が認められる場合にかぎってその違いについて言及している。更には必要に応じて、前年度のデータとの比較も試みた。

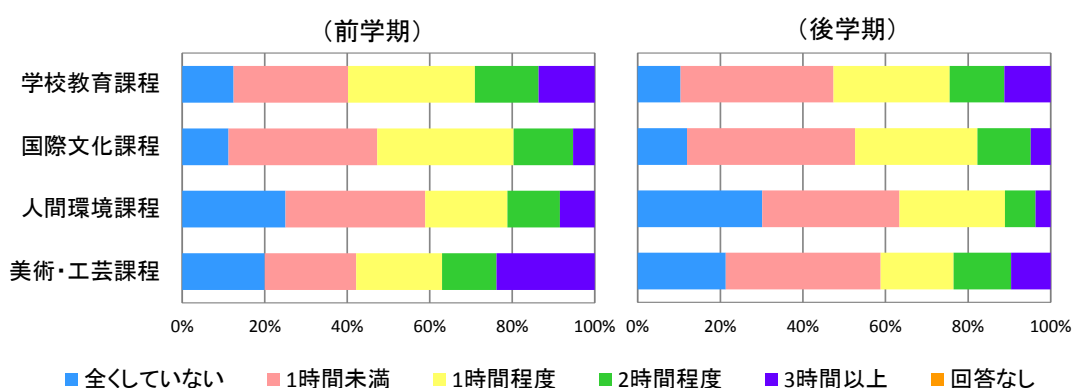
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



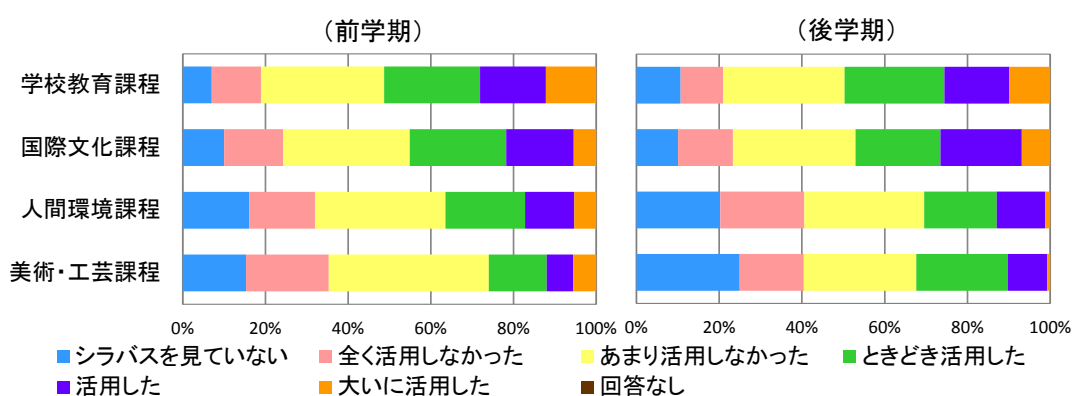
美術・工芸課程においては、他の3課程と比べて出席率が低く、これは前年度と変わらぬ傾向である。昨年度は人間環境課程が最も出席率が高かったが、今年度は学校教育課程、国際文化課程もそれに劣らぬ数値を示しており、学部全体として向上が見られる。先年度は前期より後期の方が出席率は下がる傾向にあったが、今年度は美術・工芸課程を除いては、後期も前期に遜色ない出席率を示している。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



昨年度までのアンケートでは、A-2の項目では毎週の予習時間を問うており、予習時間ゼロという学生が大半を占めていた。これでは体裁が悪かろうとのことで、今年度は質問を変えて、予習・復習・レポート作成に要した時間を尋ねているため、そこそこ恥ずかしくない結果を得ることができた。とはいえ、前・後期通じて、美術・工芸課程では約20%、人間環境課程では約25%が授業時間外学習をまったくしていないと答えており、これには驚きを禁じ得ない。というのも、復習をしていないということは、学期末テストのための試験勉強をしていないことを意味し、加えてレポート作成もしていないとなると、一体その学生はどうやって単位を取得したのであろうか。

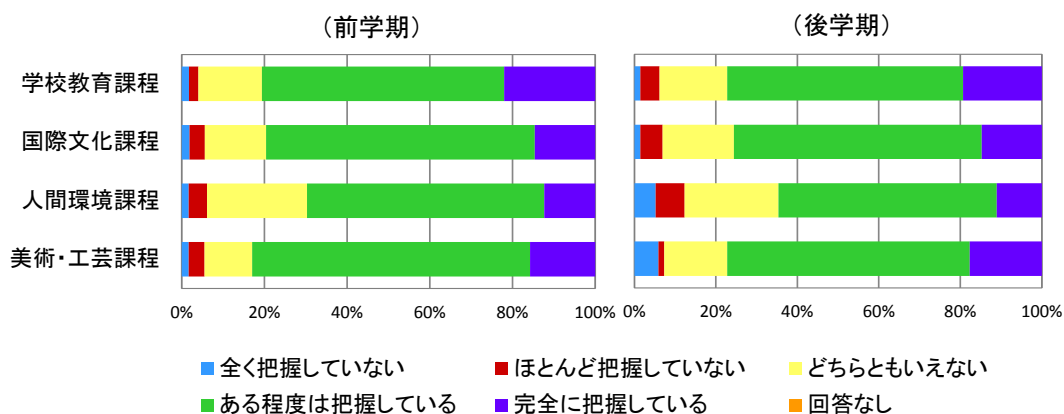
A-3 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



このアンケート項目の質問A-2と同じで、おそらく間違いと思われるが、おそらく、「あなたは授業に際して、どれくらいシラバスを活用しましたか」といった程度の内容であろう。これも従来のアンケートにはなかった質問であり、従って前年度と比較して、結果を評価することはできない。課程によってシラバス活用の度合いはまちまちであるが、「シラバスを見ていない」と「全く活用しなかった」を併せた数字が、多くて40%、少なくとも20%とい

うのは、あまり胸を張れることではあるまい。せつかく教員側が多くの時間と労力を使って、シラバスチェックを行い、その記載内容の充実に努めても、この結果を目にしては、やる気も失せるというものである。

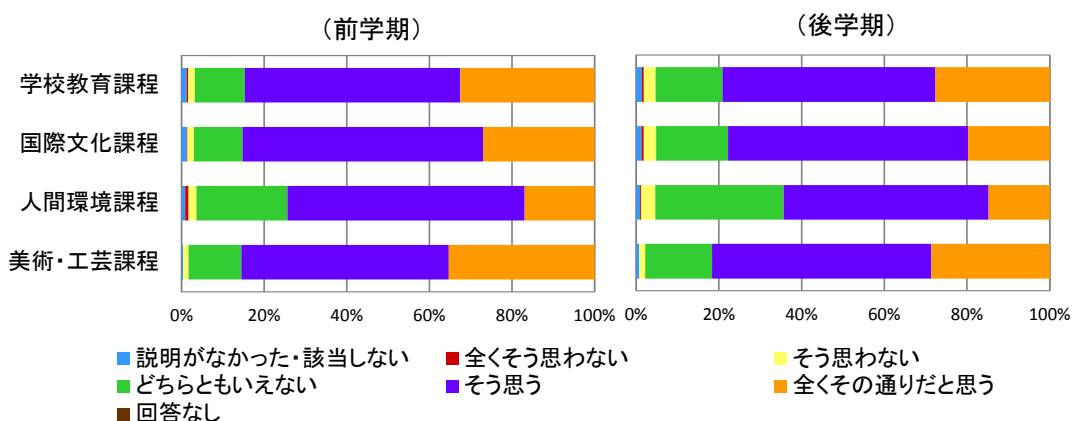
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



A-3 の質問に対し、「シラバスを見ていない」と答えた学生の割合に比して、学習到達目標や成績評価基準を把握している学生の割合が少ないのは、腑に落ちないところである。これは教員が一回目の授業時におけるオリエンテーションの際、この点について丁寧な説明を行っているということか。「どちらともいえない」という回答が、いずれの講座でも20%近くあるが、これがどういう意味か不明である。自分が把握しているかどうかさえも、把握できていないという意味か。

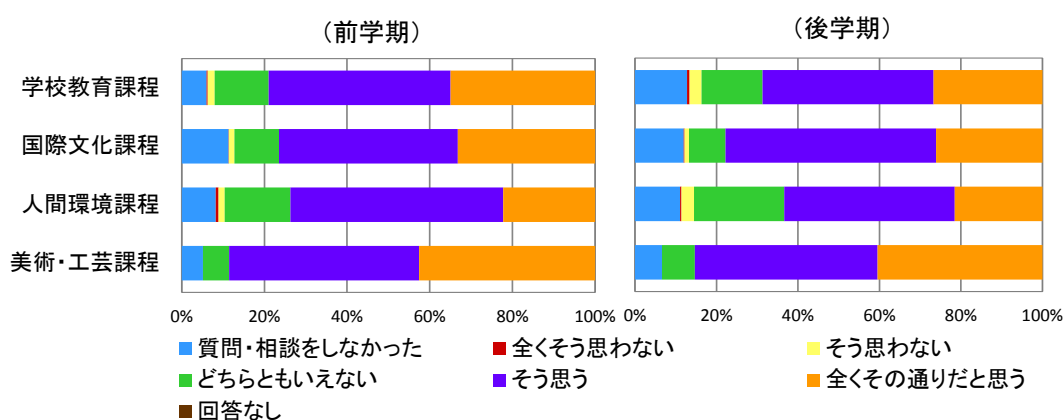
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



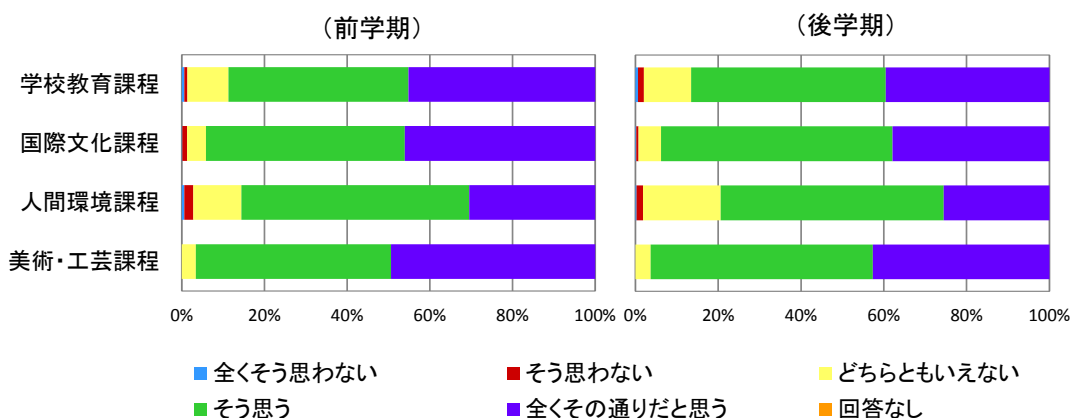
この質問項目も前回までのアンケートには存在しなかったものである。この質問項目は、教員が作成したティーチングポートフォリオの記載内容と連動するものであり、学生にとってはその趣意が解りづらかったのではあるまいか。その割には、肯定的回答の割合が高かったのは意外である。その中であって、他課程と比較して、人間環境課程の数値が少々低いのが気になる。教員からの説明が不十分だったのか、あるいは学生の理解力が足りなかったのか。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



いずれの課程においても、肯定的な回答が 60%以上に達しているが、中でも美術・工芸課程については、前・後期ともに 80%を超えて、昨年度に引き続き、高い割合を示している。これは美術・工芸課程の科目が実習としての性格が色濃く、教員と学生の関係が親密であるせいであろうか。人間環境課程の科目も、教員・学生間の距離が近いと思われるが、なぜか文化教育学部の中で数値が一番低い。

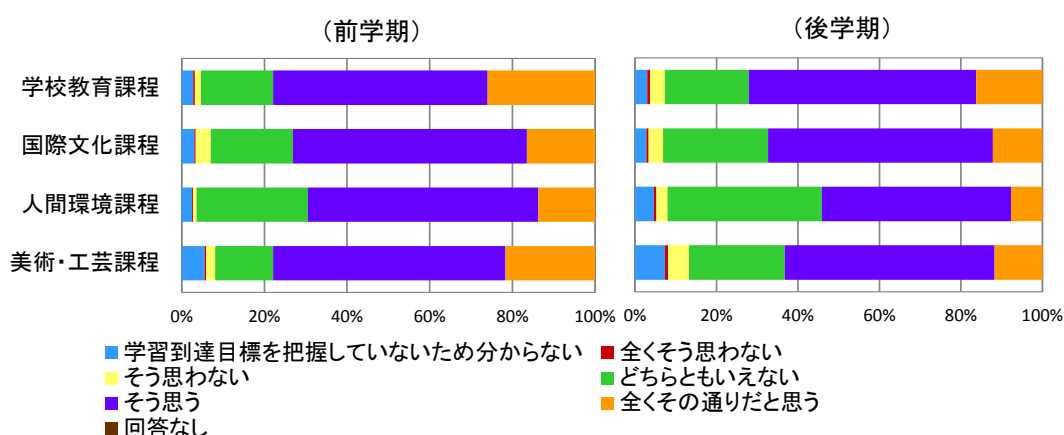
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



どの講座においても、肯定的回答が 80%を超えており、文化教育学部全体として、教員の授業に対する意欲が高いものと認められる。特に美術・工芸課程は学生から高い評価を得ており、学生の教員に対する信頼度の大きさを感ぜさせる。だが、少しも誇るべきものではなく、課程によっては否定的、あるいは中間的回答が、10~20%もあること自体が問題であろう。この割合を限りなくゼロに近づけるよう、更なる努力が求められる。

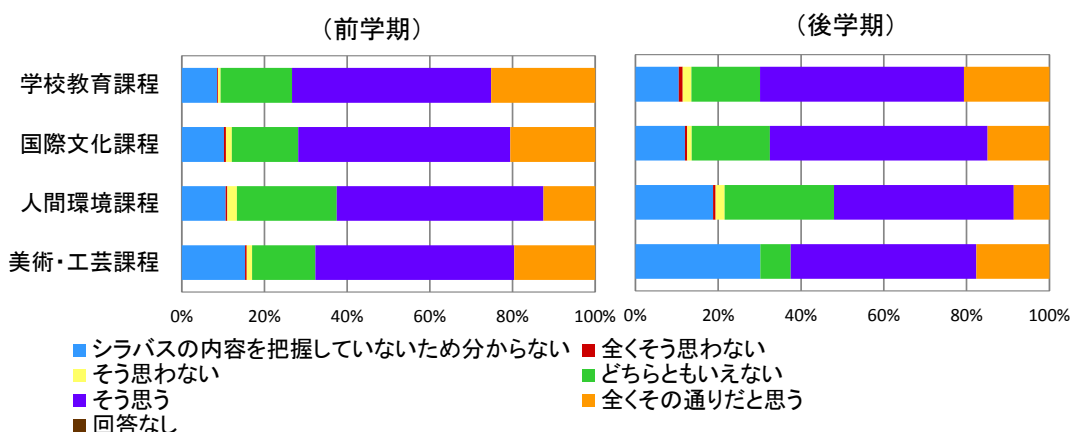
G. 授業内容および授業方法について

G-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



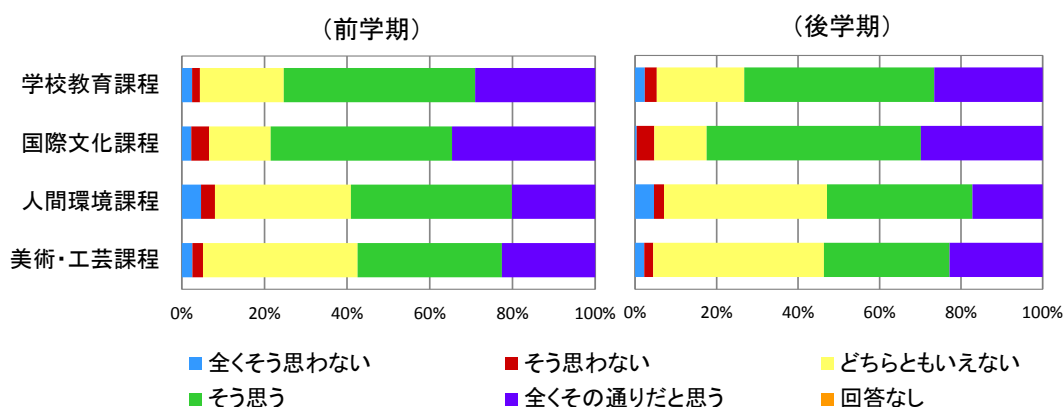
学習目標達成の如何は、ある意味、学生に自身の努力によるところが大きく、この目標を達成できなかったからといって、必ずしも教員の責任ということにはなるまい。しかしながら、学生の半分近くが目標を達成できたとは思わないと感じているとなると、教員側にも工夫・再考の余地があるということになる。概して、前期よりも後期の方が数値が悪くなっている。その原因はよく分からないが、後期になると、1年間の勉強疲れのせいで、学生の学習意欲が低下してくるせいであろうか。

G-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



美術・工芸課程では、他課程に比べて、「シラバスの内容を把握していないため分からない」という回答が多い。特に後期は、その数字が 30% 近くとなっており、これは要するに学生の 1/3 がシラバスを碌に読んでいないということを意味する。それだけ美術・工芸課程の授業科目は、頭で理屈を理解するのではなく、身体で技術を覚え、心で感性を養うという性質のものであるということか。全講座について言えることは、前期よりも後期の方が、「シラバスの内容を把握していない」という項目の数字を着実に伸ばしている。後期になると、授業にも慣れて、それほどシラバスを読む必要性を感じなくなるのであろうか。シラバスを読んでいる学生については、シラバスの記載内容と実際の授業内容がずれていると回答している学生は少ない。

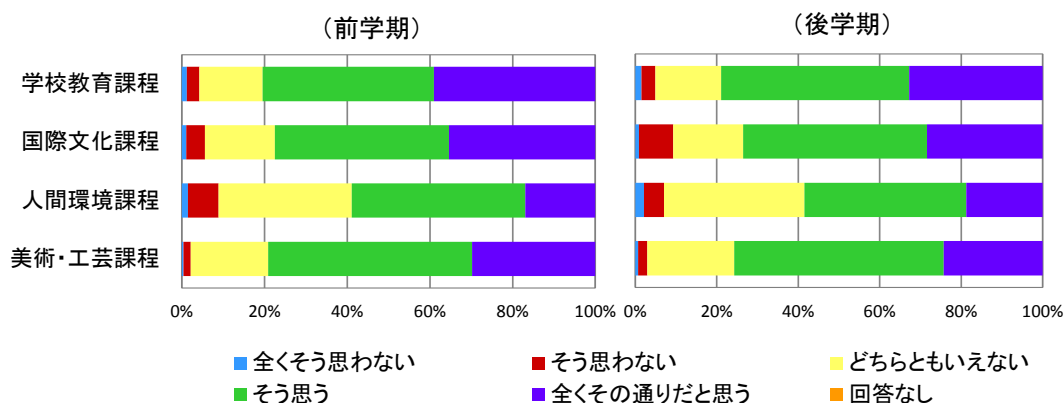
G-3 教材（教科書、配布資料）や I C T 環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



学校教育課程と国際文化課程では約 20%、人間環境課程と美術・工芸課程では約 40%が、「どちらともいえない」と回答しているが、この高い数字には、I C T 環境が授業に役立ったか否かという問題以前に、I T C 環境が授業で利用されていないという現状を反映しているものと思われる。実習関係の授業が多い人間環境課程と美術・工芸課程の数値が、他の 2 課程の数値の 2 倍近いことにも、そのことは表れている。そもそも I C T 環境を使わずとも、優れた授業を行うことは可能であり、利用率が高ければよく、低ければ悪いということにはなるまい。また教科書についても、美術・工芸課程では使わないことが多く、この質問自体意味をなさない。

G-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

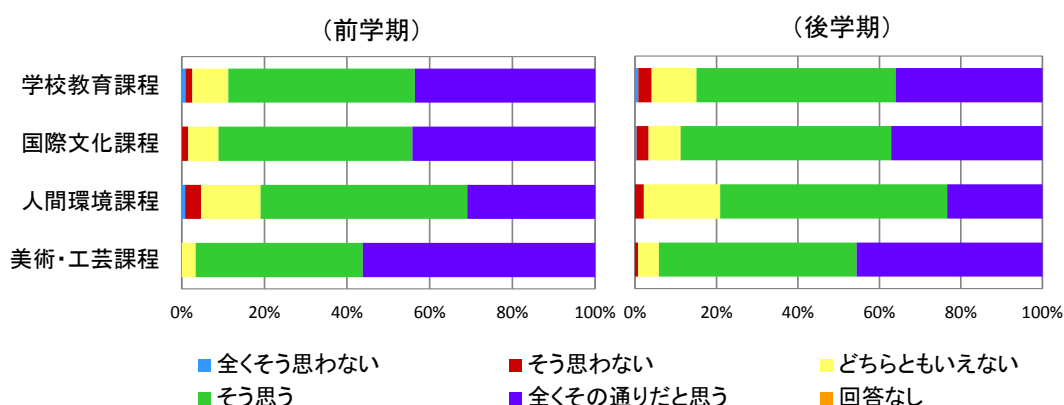
たか



この質問項目はアクティブラーニング促進を意図して、今年度より新たに加えられたものと推察される。肯定的回答の多い講座もあれば、少ない講座もあるが、これは一概にどちらがよいとはいえない。というのも、学生がグループワークやディスカッションを通して、口を達者に動かすよりも、まず体を動かすことを優先する科目が多く設けられている講座も存在するからである。先程からアンケート結果の分析をしていて、どうも人間環境講座が分が悪いように感じられるが、これはあくまで講座の授業の性格に左右されるところが大であり、誓って筆者に他意はない。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



美術・工芸課程の学生が授業に対し、特に高い満足度を感じていることが分かる。それと比べると、人間環境課程の学生の満足度は低いように感じられる。しかし学部全体としては、いずれの課程も 80% 近くの学生が満足を感じており、これには教員側も満足を感じることであろう。

佐賀大学大学院教育学研究科
平成 27 年度「学生による授業評価アンケート」
組織別分析結果報告

平成 28 年 9 月

佐賀大学文化教育学部 FD 委員会

概要

学生による授業評価がウェブ入力方式になり、今年度で5年目を迎えることになった。その変更に伴って、学生による回答率が、手書きアンケート方式時代と比べて、著しい低下を示し、その傾向がその後、変わることなく続いてきた。そこで学生に自覚を持って回答してもらうため、従来学生アンケートは無記名で行われていたものを、平成27年度より全学的に記名式に改めることとなった。これにより学生が自らの回答により強い責任を持つと同時に、アンケートの回答率が向上することが期待された。

ところが現実には、当初期待されていた程には、アンケート回答率は上がっていない。平成27年度の教育学研究科における授業開講数は、前期が92科目、後期が132科目であったが、そのうち前期32科目、後期59科目においてアンケート回答数がゼロであった。これは全授業科目数の、それぞれ35%と45%に相当する。前年度の割合が、前期17%、後期44%であったのと比べてみると、事態は改善されたどころか、却って悪化している。教育学研究科の消滅を間近に控え、教員も学生も意気上がらない気持ちは理解できるにせよ、現に授業がまだ行われていることを考えれば、これで仕方がないでは済まされまい。

もちろん大学院研究科には斟酌すべき事情が存在することは承知している。大学院はその教育の性格上、大部分のクラスが少人数であり、学生数一人というケースも多数見受けられる。受講生一人のクラスでは、その学生がアンケートに答えねば、回答率はゼロになってしまう。その裏返しとして、教育学研究科では、回答率100%のクラスも、ゼロ%のクラスと同じぐらい存在する。またそもそもたった一人の学生の評価が、クラス全体の評価とイコールであっては、客観性が著しく低下することは否めない。また学生の立場からすれば、アンケート回答者が教員により容易に特定されてしまうので、教員の意に染まぬことは書きづらからう。

このように状況にあって、教員が自らの授業を客観的に評価し、次年度の授業改善につなげることが困難であるばかりか、場合によっては評価を誤る可能性さえなしとしない。というのも、教員はアンケート結果を受けて、授業点検・評価報告書を作成することを義務づけられているが、ごく少数の学生による評価に基づいて、次年度の授業改善目標を立てる恐れがある。

アンケートの質問項目は、学生の受講態度についての自己評価に関するものと授業担当教員に対する評価に分かれる。学生自身の評価では、予習・復習の時間、授業の目的の把握、成績基準の把握、授業内容の理解、内容への興味、満足度などが項目として挙げられている。一方、教員への評価では、教材やICT環境の使用の適切性、シラバスの有効活用、適切な授業の進み方、質問への適切な対応などが項目に挙げられている。以下の報告は、授業アンケートの各質問項目についての結果のデータとそれにもとづく分析とコメントである。

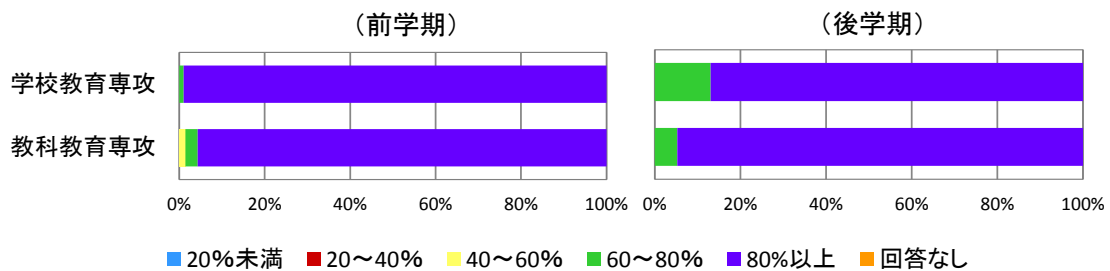
教育学研究科組織別授業評価分析

分析の仕方

教育学研究科には、学校教育専攻、教科教育専攻の2つの組織がある。本分析ではこれらの専攻のアンケート結果を比較して、専攻ごとの特徴を抽出した。専攻ごとの差異が認められない場合は両方の専攻に見られる特徴を述べた。また前学期と後学期についても、差異が認められる場合にかぎってその違いについて言及している。更には必要に応じて、前年度のデータとの比較も試みた。

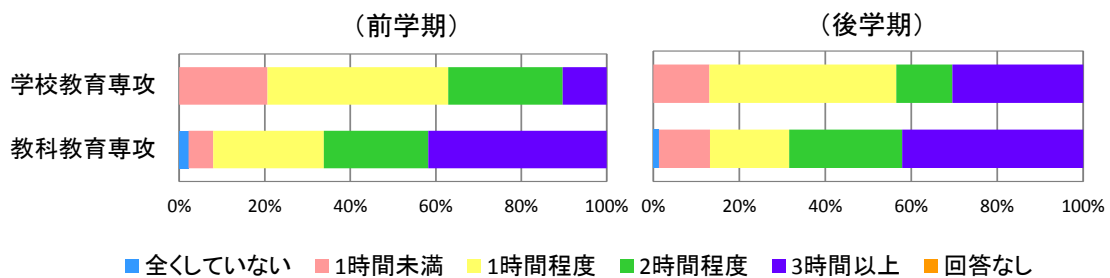
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



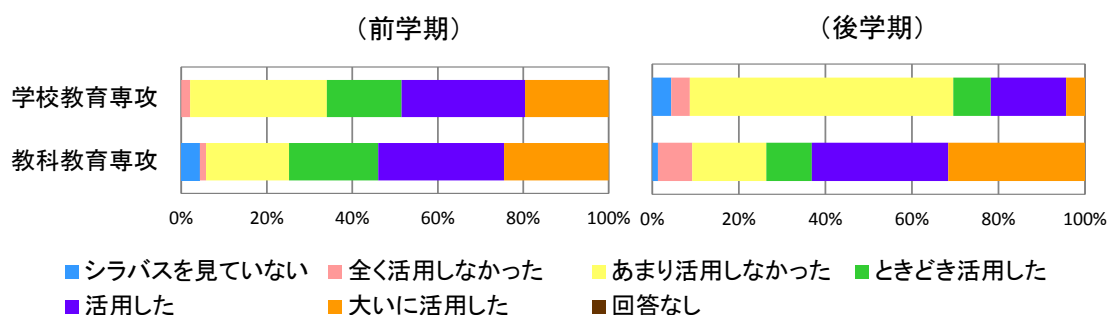
大学院は少人数クラスであるだけに、出席率は極めて良好である。但し学校教育専攻では、後学期になると出席率が少々低下している点が気になる。このことは教科教育専攻にも共通している。これは2年生の後期ともなると、修士論文執筆のため、必ずしも授業に出席することを教員が求めないためであろうか。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



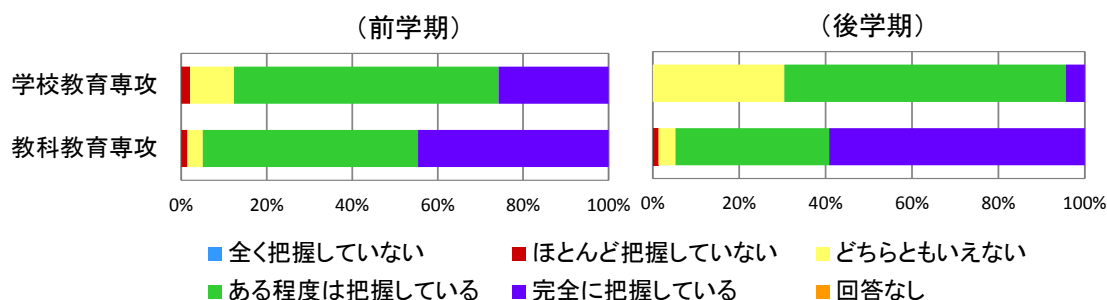
大学院ともなれば、授業中の勉強よりも、授業時間外学習の方が重要性を増し、従ってその時間数が増えるのは当然である。確かに学部アンケート結果と比べてみれば、大学院の授業時間外学習の時間は多くなっている。しかしながら、学校教育専攻について見てみると、「1時間未満」と「1時間程度」を足した割合が、60%前後となっており、これでは大学院生の学習時間として、如何にも物足りない。加えて、学校教育専攻では、「3時間以上」と回答した学生の割合は、教科教育専攻よりもかなり少ない。

A-3 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



このアンケート項目の質問A-2と同じで、おそらく間違いと思われるが、おそらく、「あなたは授業に際して、どれくらいシラバスを活用しましたか」といった程度の内容であろう。学部と比べて、シラバスを活用していない学生の比率が高いように感じられる。おそらく大学院たるもの、シラバスなどに対して頼らずとも、学習を進めて行けるということであろう。それにしても学校教育専攻の、「あまり活用しなかった」という回答の後期における伸びは、ほとんど驚異的である。

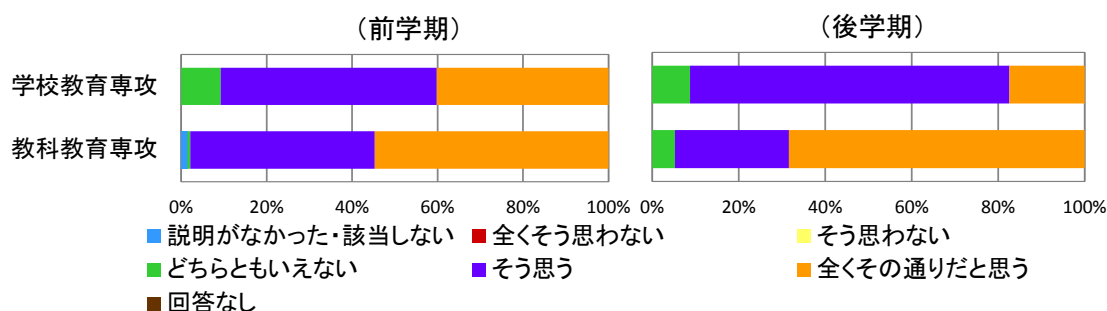
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



さすがに大学院生だけあって、両専攻ともに、学習到達目標や成績評価基準をしっかりと把握している。それだけ授業に対する意欲と自覚が強いということなのだろうが、それにしても、学習到達目標と成績評価基準を「完全に把握している」と言い切れる、この学生の自信は一体どこから来ているのであろうか。

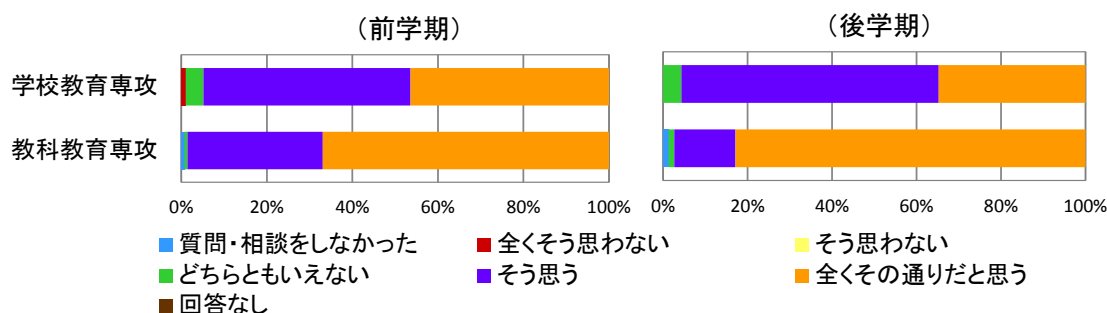
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



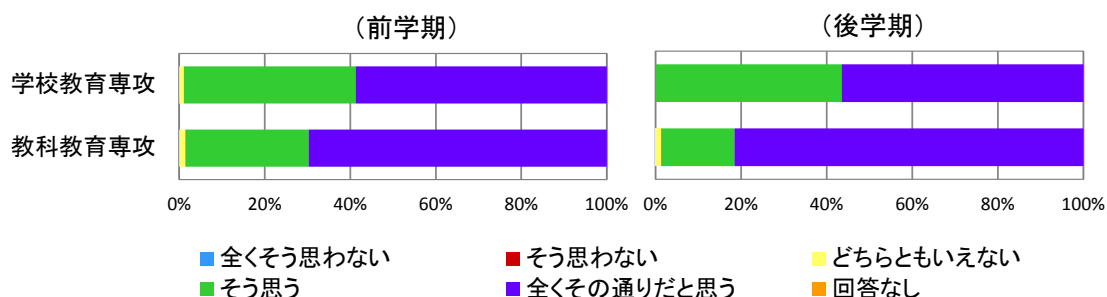
この質問項目は昨年度までのアンケート調査には存在しなかったものである。今までも教育理念や教育方法について、教員は授業初回のオリエンテーションの際、説明を行ってきたとは思われるが、今回よりアンケートの質問項目に入れられたため、教員はその説明に特に力を入れたものらしく、非常に良好なアンケート結果が得られている。教科教育専攻の後期のアンケートでは、最高評価の「全くその通りだと思う」が70%近くに達している。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



大学院は概して少人数クラスであるため、学生の質問や相談に対して、教員が適切に対応しているとする回答率が極めて高い。学部対象アンケートでも、この項目については高い評価を得ていたが、大学院の場合は更にこれを上回っている。今年度より教職大学院の発足に伴い、教育学研究科は廃止の憂き目を見たが、この良き伝統は今後、教職大学院にも引き継がれていくことを願ってやまない。

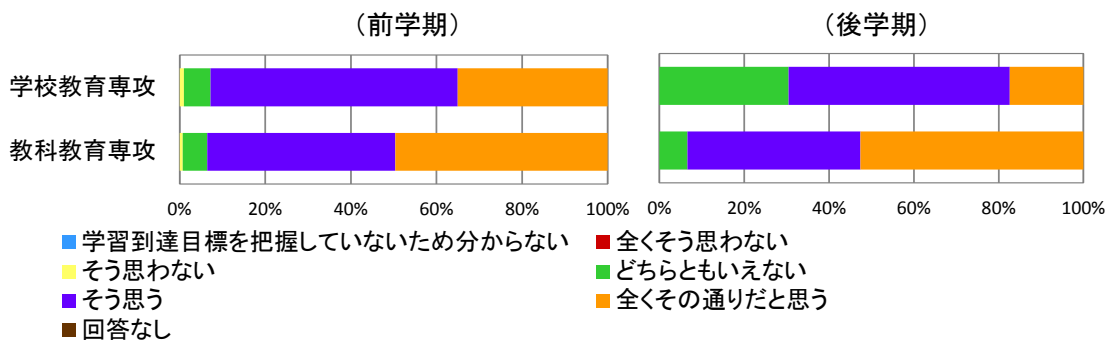
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



ほとんど一対一の関係の個人教授に近い形態の授業において、まさか教員はやる気のなさを表に出すわけにはいきまい。また自らの専門に近い学問内容を、授業で教えることができるとなれば、教員としても自ずと力が入るものである。従って、肯定的回答が学部学生に対する場合よりも、更に高くなっており、その数値はほぼ 100%に近い。

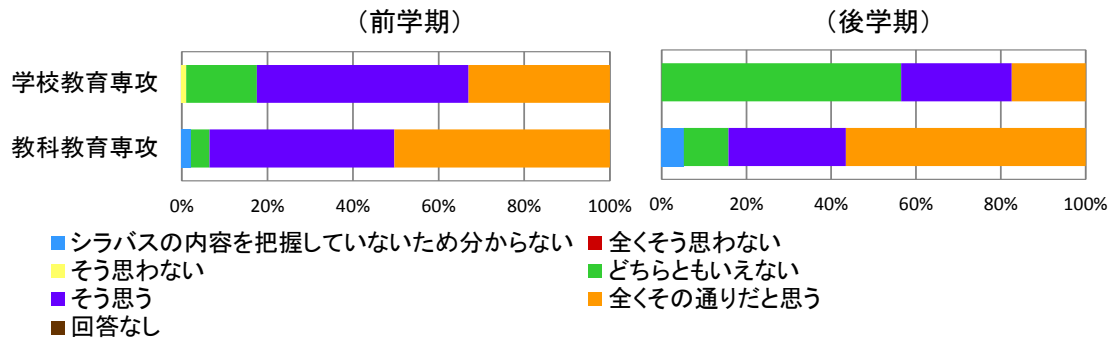
G. 授業内容および授業方法について

G-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



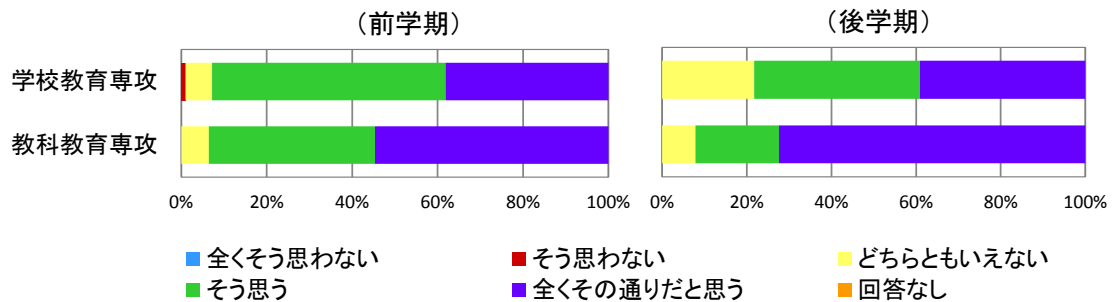
学習到達目標を達成できたと考えている学生が大部分を占めるが、概ね 90%を超えているが、学校教育専攻の後学期だけは、「そう思う」と「全くその通りだと思う」を併せた数字が、75%程度にまでしか達していない。その分、「どちらともいえない」という回答が多くなっている。A-4 のアンケート項目に対する回答に示されている通り、元々後期において学校教育専攻では、学習到達目標を把握している学生が 75%程度しかおらず、目標を把握していなくては、達成したか否かも分からないことからして、この数字は納得できるところである。

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



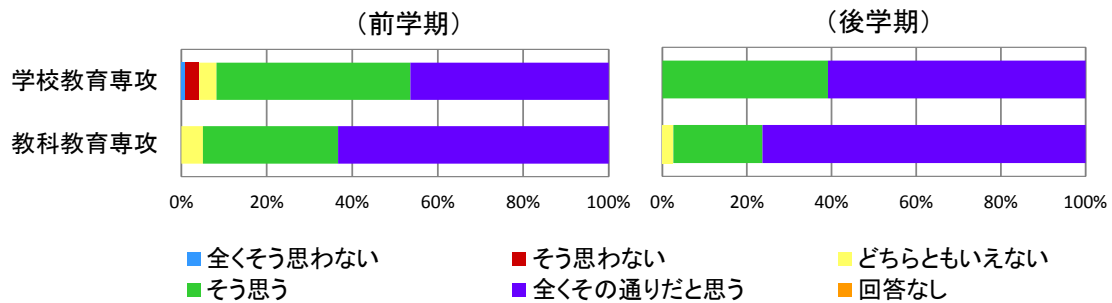
前年度の類似の質問項目に対する結果では、両専攻とも肯定的回答が90%を超えており、とりわけ学校教育専攻の後期では、ほぼ100%の学生が、「そう思う」、もしくは「全くその通りだと思う」と答えている。ところが今年度は、教科教育専攻においては、昨年度の数字と比べて遜色ないが、学校教育専攻の後期では、「そう思う」と「全くその通りだと思う」を足しても、40%強に留まっている。つまり昨年度の数字から半分以下に減ってしまっている。その原因は何なのか、次年度の教育にその反省を活かすためにも、学校教育専攻に関わる教員は、自らに問いかけてみる必要があるだろう。

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



両専攻とも、総じて肯定的回答の割合が高い。特に教科教育専攻の後期では、3/4以上の学生が、最高の評価である「全くその通りだと思う」と答えている。このアンケート項目は今年度になって初めて設けられたため、昨年度との比較はできないが、学部学生に対する同じ質問のアンケート結果と比べてみると、肯定的回答の割合がかなり高くなっている。大学院ではICT環境の活用がうまくいっているということであろう。

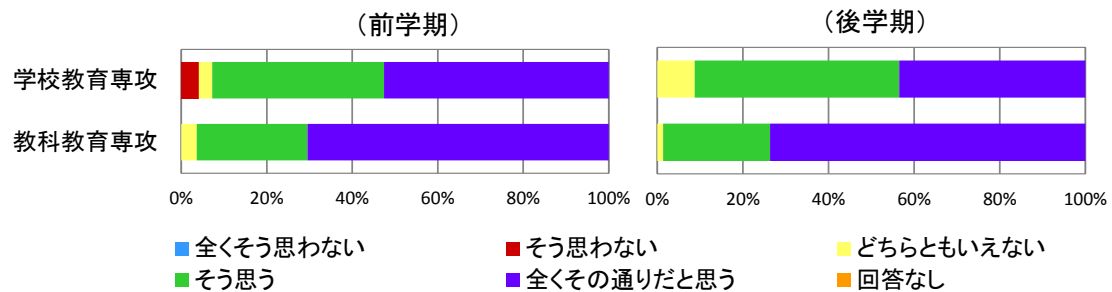
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



この質問項目に対して、学校教育専攻、教科教育専攻共に、学生から高い評価を得ている。そもそも大学院の授業では学生にディスカッション、プレゼンテーションなどをさせることが多いことから、この評価は極めて穏当なものといえよう。学部での授業と比べても、高い評価を示しているが、これまた当然の結果といえよう。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



これは非常に重要なアンケート項目であるが、両専攻とも高い満足度を示している。その割合は、学部学生が80%強であったのに対して、大学院では90%強となっている。教員の日々の努力が報われたと言ってよかろう。とりわけ教科教育専攻において満足度は高い。これはこの質問項目のみならず、今アンケート全体について言えることであるが、ほぼ全ての質問項目について、教科教育専攻が学校教育専攻の評価を大きく上回っている。これは本当に教科教育専攻の方が学校教育専攻より優れた教育を行っていたということなのか、それとも教科教育専攻の学生はサービス精神旺盛で、学校教育専攻の学生は謙虚で慎ましやかであるというだけのことなのか、慎重に考える必要がある。一概に教科教育専攻を称揚し、学校教育専攻を貶めるのは、厳に慎むべきであろう。

学生から高い評価を得ている授業科目の選定基準

文化教育学部

毎年のように選定基準を変えることは、徒に混乱を招くとして、今年度も昨年度と同じ基準を用いることとした。すなわち文化教育学部では、学部FD委員会にて学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準を協議し、満足度及び興味・関心の2項目を合計した値を用いることとしている。なお、対象となる科目は受講生が10名以上の科目であり、学部、大学院別に抽出することとしている。

授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

文化教育学部および教育学研究科

平成 27 年度においても、文化教育学部および教育学研究科に対する組織別授業評価を実施した。本年度も昨年度までと同様に、すべての課程・専攻を横断的に眺めることによって、学部と研究科がもっている特徴と改善点を浮き彫りにした。

授業改善の取り組みにおいて優れた点を挙げるのは、今年度に限っていうならば、非常に難しい。敢えて挙げるとするならば、教員が成績評価を下すに当たって、その適切さと厳格性に関し、より意識を深めることができた点が指摘できよう。もちろん従来より、成績評価の公正性、厳密性については、教員各自が心がけてきたことは言うまでもないが、昨年度初めての試みとして、GPA を活用した授業点検および改善が行われ、成績分布状況が授業担当教員だけでなく、同じ講座の同僚教員の目にも晒されることとなった。その結果として、客観的立場からの検証を経ることにより、授業担当教員は新たな視点から自らの成績評価の方法を見直すこと可能となった。また他の教員の成績評価の実状を知ること、自分の従来の遣り方に対する反省を促す契機ともなっている。但し、GPA を活用した授業点検は、昨年度に引き続いて、今年度も継続する予定との話であったが、結局実施されずに年度末を迎えてしまった。確かにこれを毎年度実施するのは、教職員の負担を考えれば、致し方ないところであるが、成績の客観的厳密評価という観念を植え付けるためには、単発的試みでは心許ない。

優れた取り組みの第二点目としては、PROG テストの実施が挙げられよう。学生のリテラシー能力とコンピテンシー能力を測定するため、今年 1 月に本学初の試みとして、3 年生を対象に PROG テストが実施された。原則自由参加であるため、どれほどの人数の学生が受験してくれるかとの当初の懸念を払拭して、文化教育学部では約 150 名もの学生が参加してくれた。また、その試験結果を受けて、約 1 ヶ月後には解説セミナーも開催された。個々の学生が自らの強みと弱みを把握し、今後の学習および就職活動に活かしてくれるものと期待される。また同時に、試験結果は FD 委員会の方でも保管しており、これを如何に次年度以降の学生指導に活用していくかが、今後の課題ともなろう。但し、今年度の PROG テストは業者の思惑もあって、無料に近い料金でもって実施されたが、来年度以降、本格的に導入するとなると、決して馬鹿にならない金額を要することになろう。そうでなくとも大学の財政状況が苦しい昨今、果たして教育・研究費など必須の予算を削ってまで、PROG テストを実施することの意義が問われよう。ましてや今年度は 3 年生のみを受験対象としたが、学生の能力の伸び具合を測るため、1 年生をも対象とするとなると、財政的負担はますます大きくなる。

次に改善すべき点は、前年度に引き続き、授業評価アンケートの提出率が低く、結果の統計として意味が減じる傾向にあることである。このことは、各授業科目の履修者が少数である研究科において甚だしい。また、学生による授業評価アンケートを受けて、教員が授業点

検・改善を実施し、その旨、報告を行うことが求められているが、報告書を作成・入力するどころか、アンケート結果を見さえもしない教員が少なからずいる。今年度もFD委員会より再三再四にわたり入力要請を行ったが、それでも昨年度と比べて、大して入力率は上がっていない。また他学部と比較しても、文化教育学部の数値が低い事実は否めない。来年度から文化教育学部は教育学部に様変わりし、学部の規模が小さくなるのと引き換えに、少数精鋭主義で臨むからには、従来を上回るきめ細かな指導が求められよう。

第二に改善すべき点は、上記の学生アンケート結果を踏まえたシラバスの改善・充実である。そのためにも、まず教員一人一人がアンケート結果をしっかりと読み、分析・検討を行う必要がある。その上で授業改善を図り、その内容をシラバスに記載することが求められる。シラバスの記述内容は客観的にして正確で、なおかつ大学より求められた基準をクリアして、過不足ないものでなくてはならない。そのことを保証するため、シラバス点検の作業が行われているが、残念ながら今年度の文化教育学部のシラバスチェックの結果は惨憺たるものであった。その理由については、忖度すべき事情も種々あろうが、シラバスチェックはPDCAサイクルを然るべく機能させるためにも不可欠であり、来年度における改善は避けて通れまい。

次年度（平成 28 年度）の授業改善目標(学部・研究科)

次年度の改善目標は、まず第一にシラバスチェックの徹底である。昨年度提出した「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」という文書の中で、「優れた点」として、シラバスチェックが慣例化したおかげで、シラバスの記載内容がより適切かつ充実した点を挙げた。ところが今年度は逆にルーティーン化した故の弊害であろうか、シラバスチェックへの意識と意欲の減退が見られ、その結果として、シラバス点検実施率の著しい低下を来した。昨年度はほぼ 100 パーセントの実施率であったのに対して、今年度はそれを大きく下回って、70 パーセント前後に留まっている。

だが他学部の実施率と比べてみると、シラバスチェックへの慣れが生んだ意識の低下だけが、その原因とはいえない。事実、他学部は例年と変わることなく、高い実施率を保っている。そこで他に原因を求めると、学部改組に伴う組織上の混乱と指示の不徹底が思い当たる。従来は文化教育学部 FD 委員会の依頼を受けて、文化教育学部の教務委員長が、文化教育学部の各講座および教育学研究科の各専攻の教務委員にシラバスチェックの実施を指示し、教務委員は各所属の教員に点検をお願いするという方法を行っていた。ところが今年度の場合、来年度 4 月より文化教育学部は教育学部に、教育学研究科は学校教育学研究科にそれぞれ改編されるに伴い、4 つの部局が同時に存在することになり、FD 委員長は文化教育学部教務委員長ならびに各講座の教務委員の作業量の増大と煩雑さを慮って、上記 4 部局の教務委員長に各部局単位でのシラバス点検作業の実施をお願いした。そのため部局ごとに指示の徹底に濃淡が生じ、実施率の高い部局もあれば、低率に留まった部局もあるという結果となってしまった。

更には、教務委員の負担軽減のため、部局ごとの点検の実施をお願いしたわけであるが、場合によっては一人の教員が同時に 4 つの部局で授業を担当しているため、4 つの異なる教務委員会からシラバス点検の依頼を受け、教員個人にとっては逆に負担が増えてしまったという側面も否めまい。教員は上記のシラバスチェック慣れと同時に、シラバスチェック疲れを起こしているものと考えられる。昨今の大学教員の勤務状況を鑑みるに、教育・研究に加えて、大学運営に伴う事務作業の量が著しく増大している。とりわけ年度末の時期には、その傾向が顕著である。そこに更に学部改組に伴う膨大な仕事に加わり、教員は肉体的にも精神的にも疲弊しきっている。そこでシラバスチェックにまで手が回らなかったというのが実状であろう。もちろん、それでも敢えてシラバス点検の完全実施へと教員を駆り立てようとしなかった FD 委員長の責任は大であることは言うを俟たない。4 つの部局が混在する状況は今後 3～4 年は続く見込みであり、シラバスチェックの仕組みそのものを根本的に見直す必要があるのかもしれない。

第二に学生による授業評価アンケートの回答率の向上である。この目標は昨年度も挙げられていたが、改善されるどころか、却ってますます状況は悪化しているように見受けられる。今年度からは全学的な取り組みとして、アンケートの名称を変更したり、今まで無記名

式であったものを基本的に記名式に改めるなどして、学生に責任をもって回答するよう自覚を促すと同時に、回答率の向上を目指す試みがなされた。しかしながら、さしたる効果が上がっているとは思われない。そこで来年度からは授業中にアンケート実施時間を定めて、学生にその場でもってスマートフォン等を用いて、アンケートに回答してもらう予定となっている。確かにこの方式を採用すれば、アンケート回答率は確実に上昇しようが、これは一種の強制を伴うものであり、元来アンケートというものは応ずるも断るも本人の自由な意思に基づくものであることを考えれば、果たしてこれが最善の方策であるかについては疑問が残る。

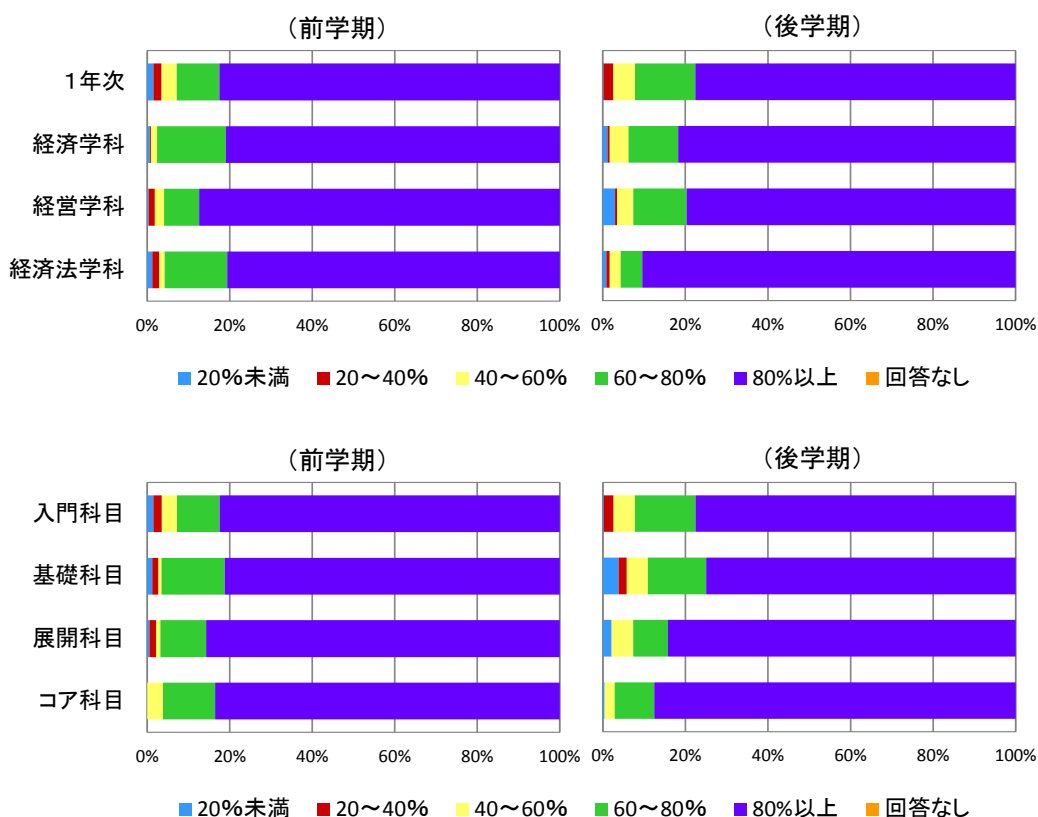
第三の改善目標は、ティーチングポートフォリオ作成ワークショップの再受講の促進である。今年度末までに、ワークショップへの参加率ならびにポートフォリオの作成率の100パーセント達成が全学的目標として課されていたが、残念ながら文化教育学部では98パーセント程度に留まった。講習会に参加できなかったに当たっては、それぞれ教員にやむを得ない理由があり、これは当該教員自身の責任とは必ずしも言い切れない部分がある。そもそも個人的に事情の如何を問わず、100パーセントを求めること自体に無理がある。来年度以降の達成目標については、まだ大学当局より提示されていないが、円滑かつ健全なる学部運営を可能ならしめるためにも、その意に沿うべく、努力する必要がある。もちろん教員個人の意向に反して、参加・作成を強制することは、到底許されることではないが、ティーチングポートフォリオの意義と効用をアピールすることで、教員の自主的参加を促す必要がある。

平成 27 年度 経済学部授業評価報告書

経済学部では、授業を学年及び学科別に 1 年次科目（全学科）、2 年次以上の科目（経済学科科目、経営学科科目、経済法学科科目）に分けると共に、科目分類別に入門科目（1 年次科目）、基礎科目（2 年次科目）、展開科目（3,4 年次科目）、コア科目（2 年次後学期以上の科目）に分けて、アンケートを集計している。全体的に学科別の集計結果は前・後学期では若干差異が見られるものの、前・後学期を平均すると差異はあまり見られず、科目分類別（学年別）では差異が見られた。以下、アンケート項目ごとに分析を行う。なお、平成 27 年度よりアンケート項目が変更されているため、平成 26 年度との比較が困難となっているが、可能な限り比較を試みている。

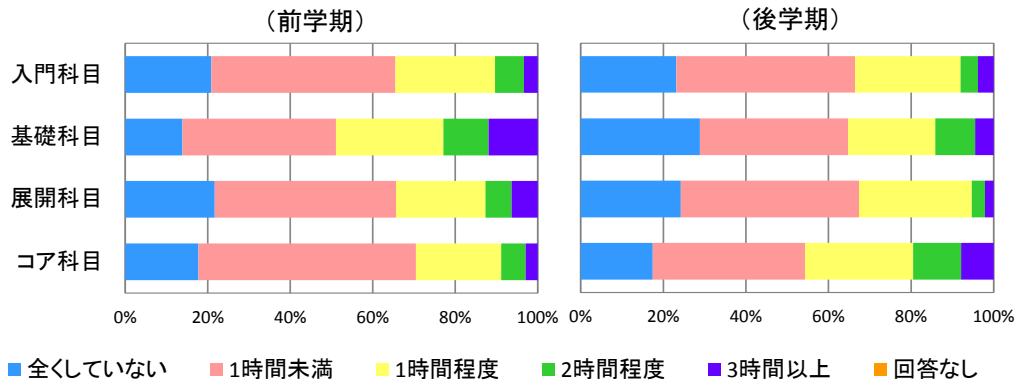
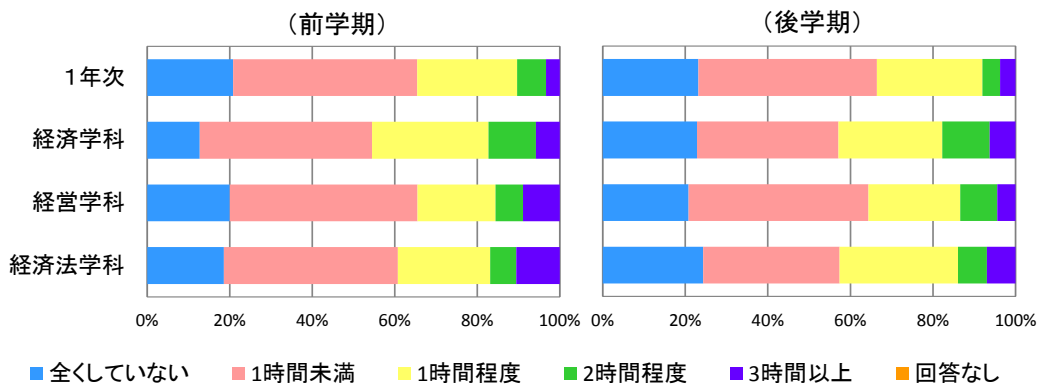
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



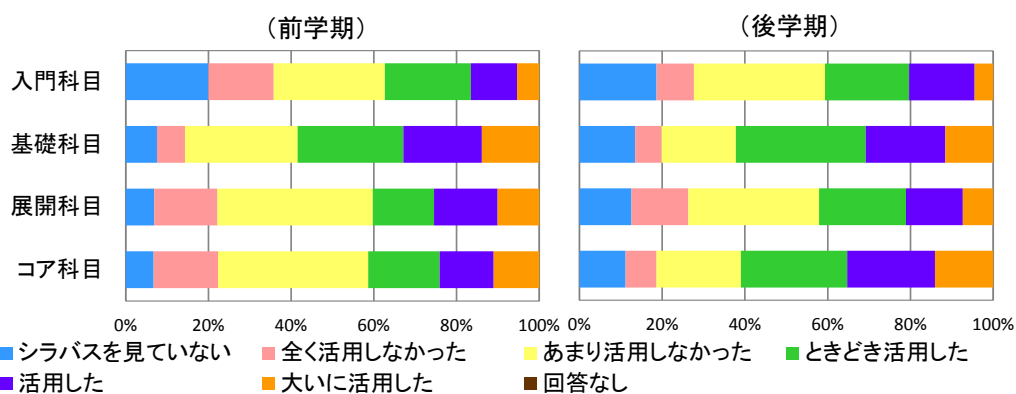
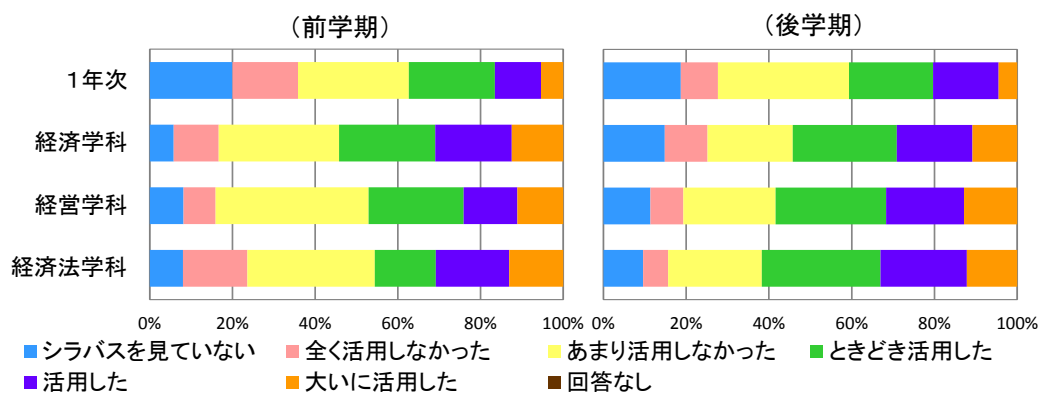
経済学部全体で前・後学期平均すると約 8 割が「80%以上」の出席率となっており、平成 26 年度よりも出席率は平均して増加している。入門科目、基礎科目及び経営学科では後学期になると出席率が低下する傾向にあるが、展開科目及びコア科目では年間を通して出席率が相対的に高くなっている。特にコア科目では出席率が 40%に満たない学生がほぼおらず、他の科目分類に比して高い出席率となっている。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



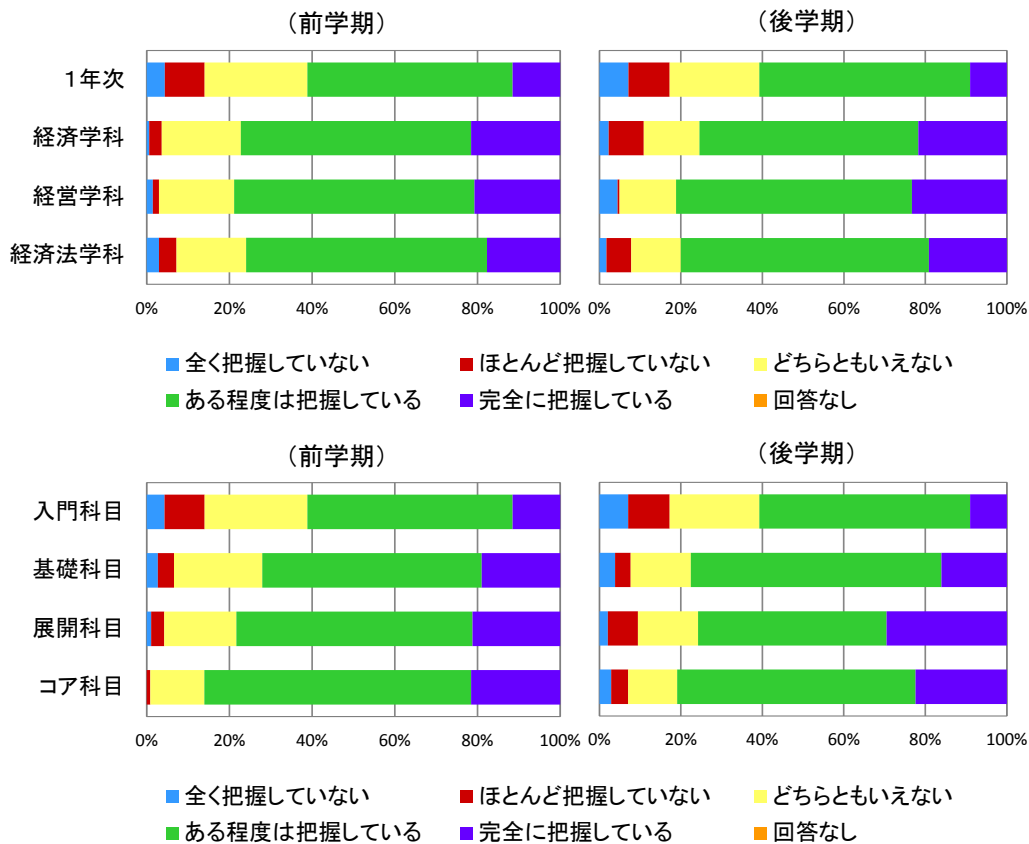
アンケート項目が変更しているため、経年変化は読みづらくなっているが、平成26年度は平均すると予習「0時間」が50%、「1時間未満」が41%、復習「0時間」が41%、「1時間未満」が47%となっている。平成27年度は平均して時間外学習を「全くしていない」割合が20%、「1時間未満」が42%、「1時間程度」が24%となっているため、8割の学生は何らかの時間外学習を行っており、予習・復習の何れかに偏っていることが窺える。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。



平均すると 25%の学生が「シラバスを見ていない」か、「全く活用していない」状況にある。入門科目ではその傾向が顕著であり、19%がシラバスを見ず、13%が全く活用していない。他の科目分類においても 10%近くがシラバスを見てもいない結果となっている。ただし、その反省からか基礎科目では相対的にシラバスの活用度が増している。

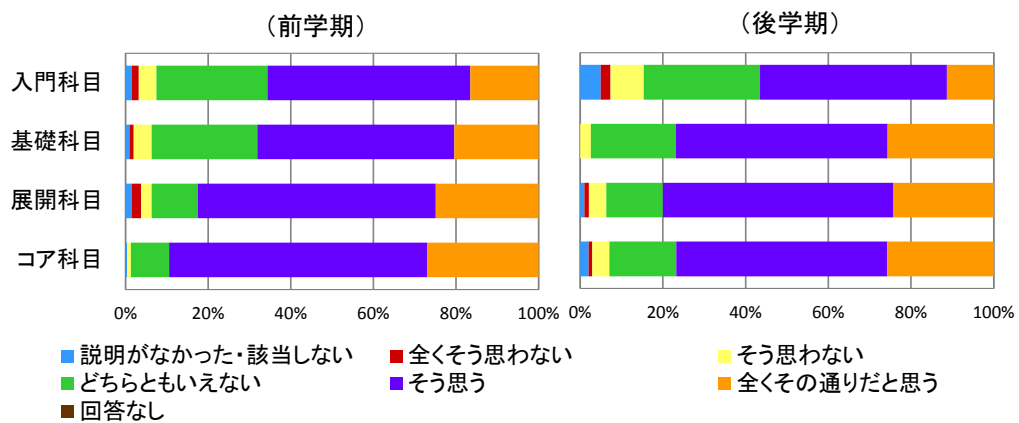
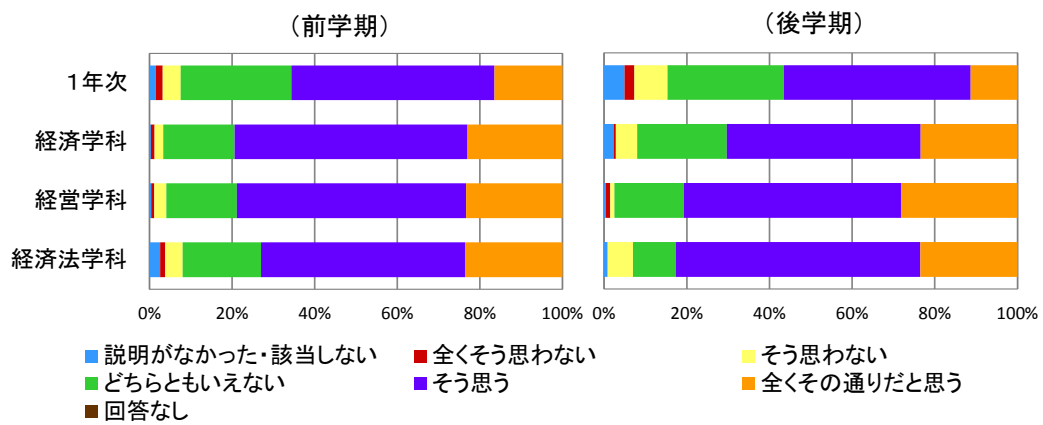
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



平均して約7割が「ある程度」、または「完全に把握している」と回答している。ここでも入門科目の割合は相対的に低くなっているものの、年次が上がるにつれて学習到達目標・成績評価基準の把握度が増している。平成26年度と比較すると基礎科目(2年次科目)、コア科目(2,3年次科目)の把握度が増しており、年度始めに実施した履修ガイダンスの効果が表れているのかもしれない。

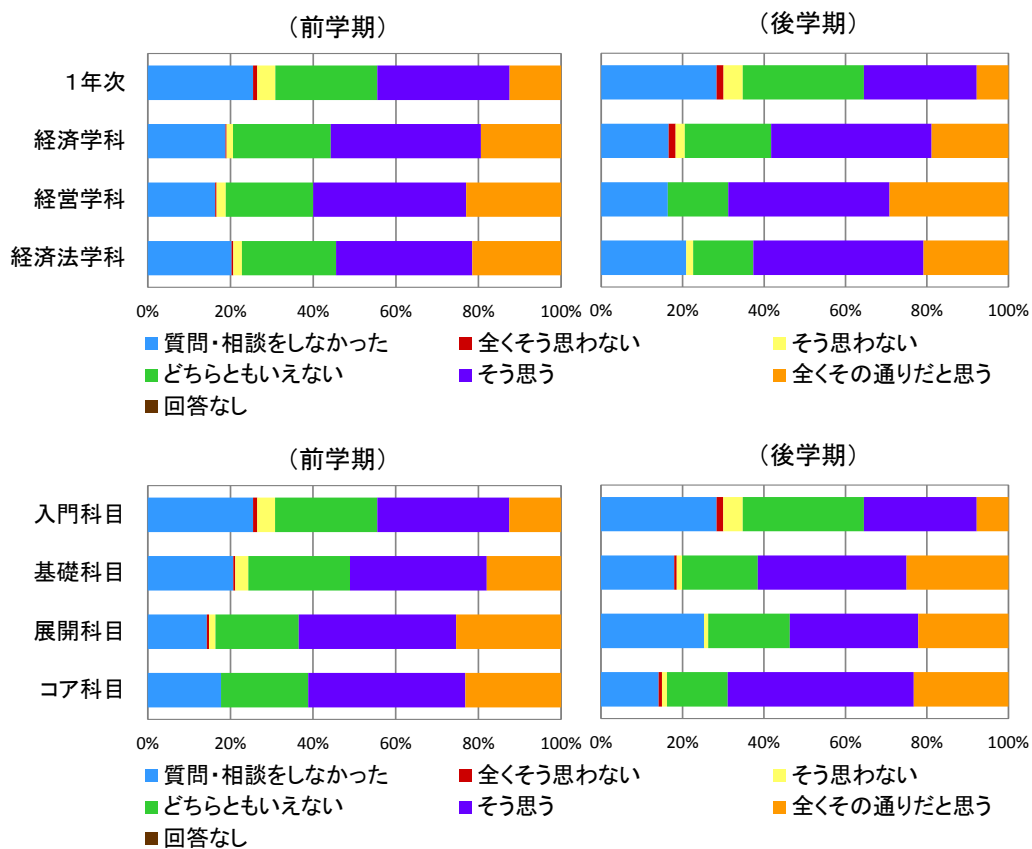
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



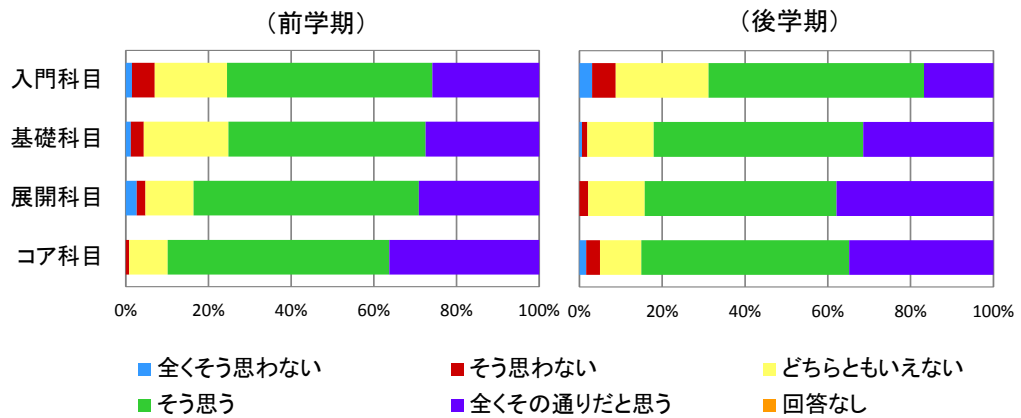
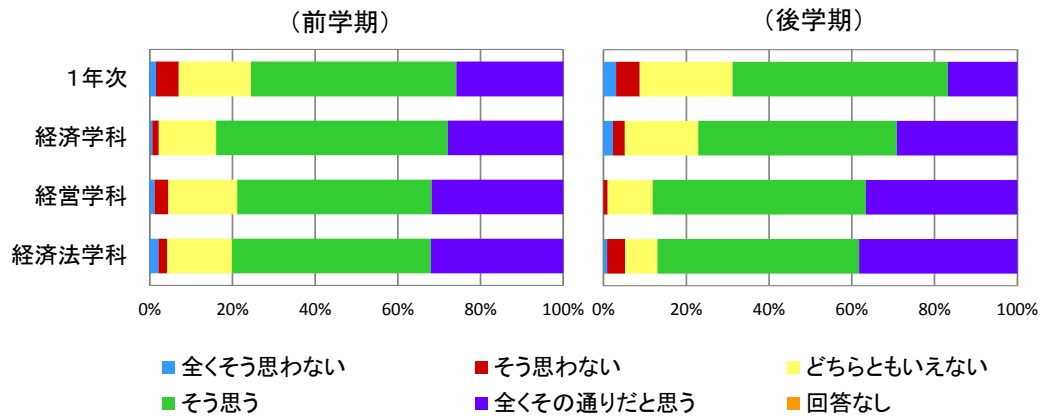
平均して 7 割以上が有益だと感じている。新たに追加されたアンケート項目であるため平成 26 年度との比較はできないが、年次が上がると共に有益と回答する割合が増加している。その傾向はコア科目で最も高く、教員・学生共にコア科目の重要性が認知されていることが窺える。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



平成 26 年度に比して、「全くそう思わない」・「そう思わない」・「どちらともいえない」・「そう思う」・「全くその通りだと思う」の 5 項目で回答割合が低下しており、「質問・相談をしなかった」（平成 26 年度は「該当なし」の回答欄）割合が 14 ポイント増加している。ただの回答欄の変更による影響か、教員の指導技術が向上して理解度が増したため質問・相談が減少したのかは、理解度を問う項目がなくなったため検証が難しい。

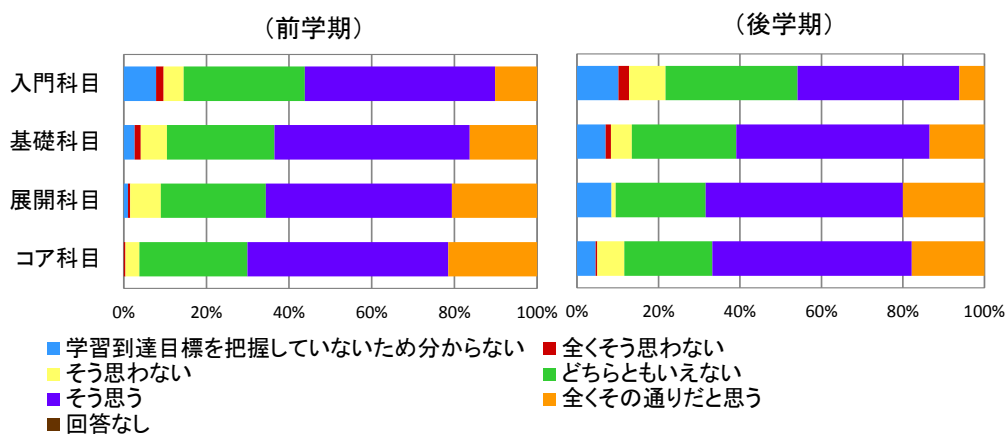
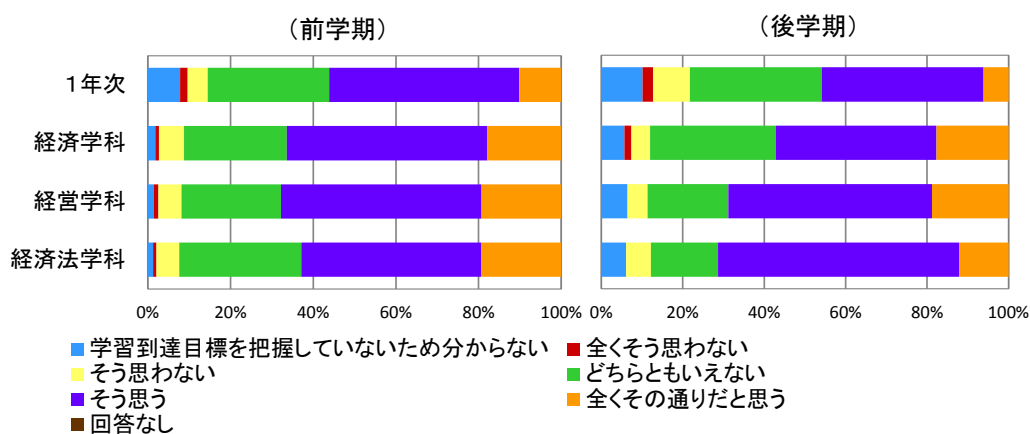
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



新設のアンケート項目である。「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が約8割で「全くそう思わない」・「そう思わない」の割合が5%となっており、教員の意欲や熱意が十分に伝わっていることが窺える。

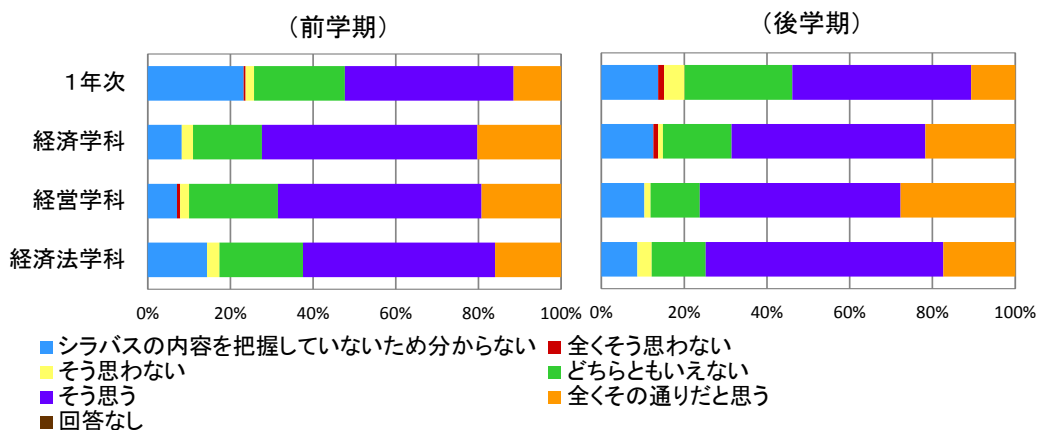
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

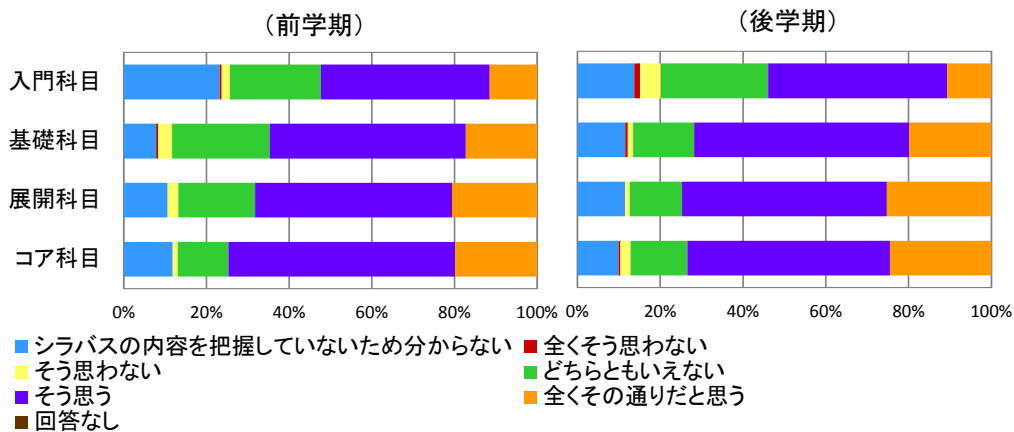


「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が6割、「全くそう思わない」・「そう思わない」の割合が7%となっている。新設のアンケート項目であるため、平成26年度の似た項目である理解度を問う項目と比較すると、上記4項目の回答割合は何れも低下しており、「分らない」・「どちらともいえない」の割合が増加している。平成26年度は理解度を問う項目で「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が7割であったことに鑑みると、授業内容は理解できたが、学習到達目標を達成できたかを問われると、どちらともいえないと回答する割合が増加しているように見受けられる。

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



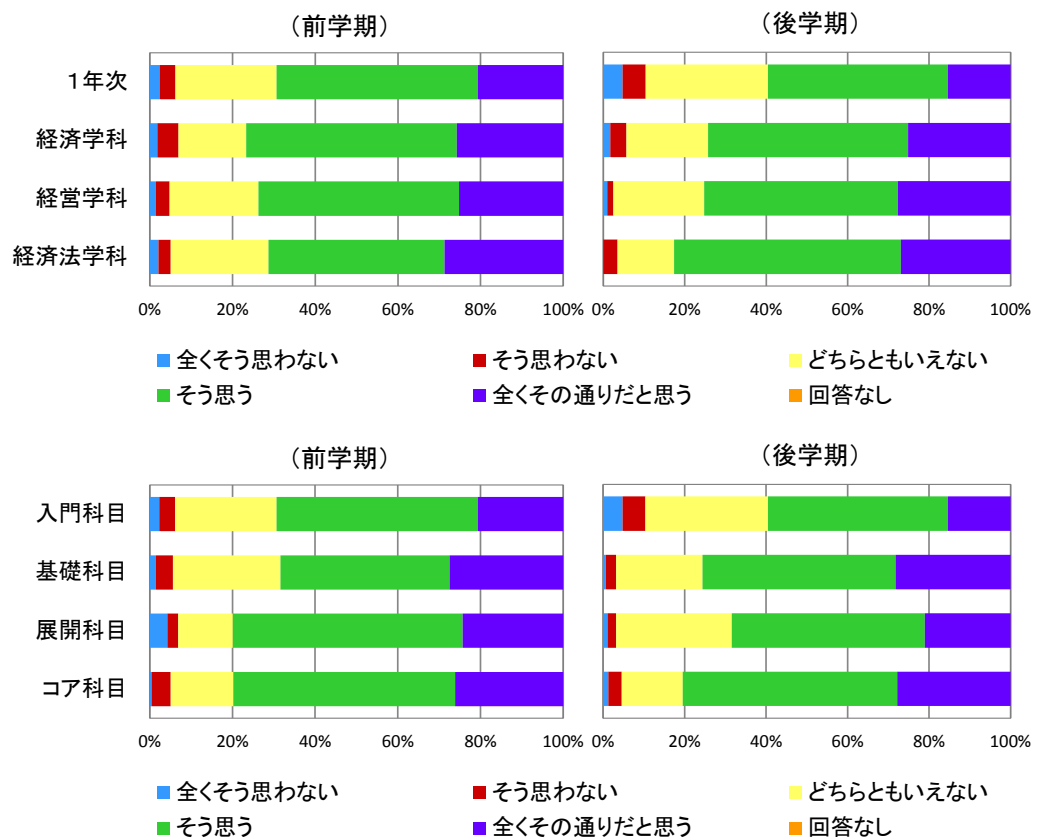
■ シラバスの内容を把握していないため分からない ■ 全くそう思わない
■ そう思わない ■ どちらともいえない
■ そう思う ■ 全くその通りだと思う
■ 回答なし



■ シラバスの内容を把握していないため分からない ■ 全くそう思わない
■ そう思わない ■ どちらともいえない
■ そう思う ■ 全くその通りだと思う
■ 回答なし

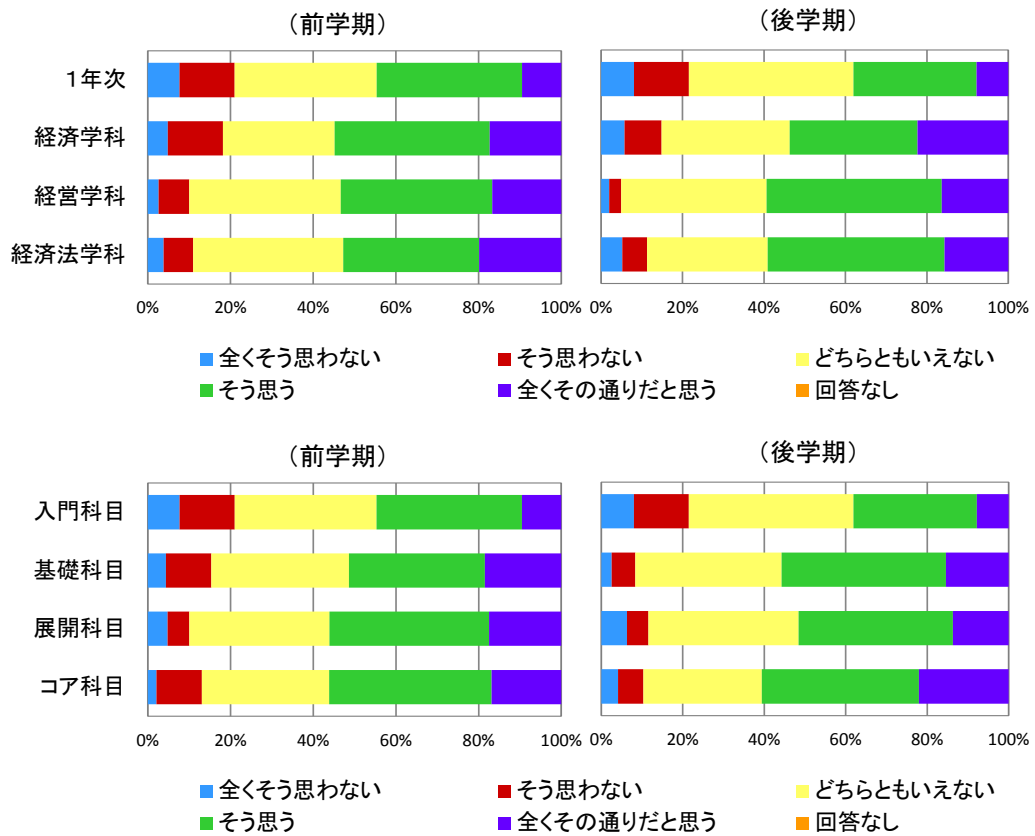
「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が 63%となっており、平成 26 年度よりも 7 ポイント増加している。「全くそう思わない」・「どちらともいえない」の割合が共に減少しているため、シラバス点検によりシラバス内容が拡充されたことが反映されているのではないだろうか。

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



平成 26 年度のアンケート項目（「黒板・ホワイトボード，スライド等の使い方が効果的である」と「教材（テキスト，配布資料，その他）はわかりやすかった」の平均）と比較すると「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が 6 ポイント改善して 71%に、「全くそう思わない」・「そう思わない」の割合が 6 ポイント低下して 6%となっている。総じて教材や ICT 環境が充実されて，理解度向上に貢献していることが窺える。

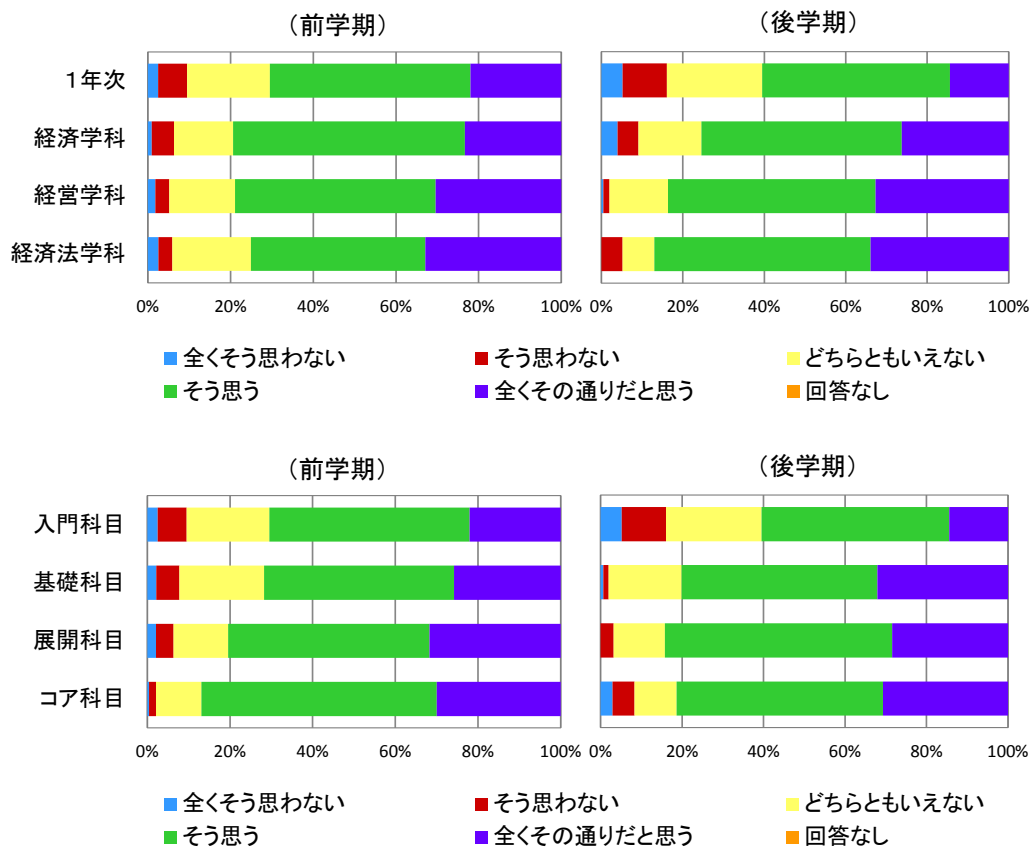
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



平成 27 年度より新たに追加された質問項目である。「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が 5 割, 「全くそう思わない」・「そう思わない」の割合が 16%となっている。入門ゼミ・演習の少人数授業が集計結果から除外されていることに鑑みると, 大人数の授業であっても学生の思考を促す取り組みがなされていることが窺える。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



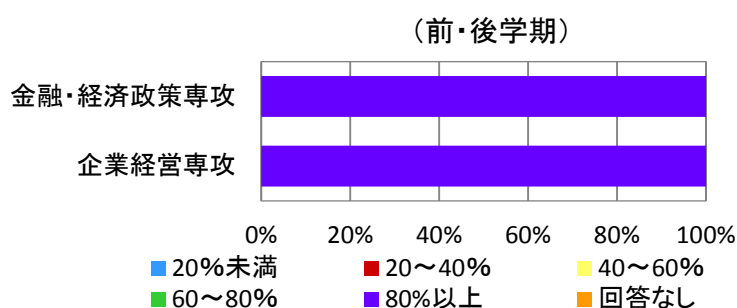
「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が平成 26 年度よりも 9 ポイント改善して 74%、「全くそう思わない」・「そう思わない」の割合が 2 ポイント低下して 9%となっている。総じて満足度は改善傾向にあるものの、入門科目の満足度は相対的に低く、「全くその通りだと思う」の割合が他の科目分類が平均して 3 割となっていることに比べて、19%にとどまっている。ただし、平成 26 年度の入門科目（1 年次科目）では「全くその通りだと思う」の割合が 14%だったことから考えると、入門科目でも改善が見られる。また、平成 26 年度 1 年次生が平成 27 年度受講した基礎科目（2 年次科目）では 28%となっているため、入門・基礎・応用（展開科目・コア科目）と進展するに従って、満足度が向上していることが分かる。

平成 27 年度 経済学研究科授業評価報告書

経済学研究科では、専攻別に金融・経済政策専攻、企業経営専攻に分けて前・後学期を合算してアンケートを集計している。学生数・授業科目数が少ないため、異常値により大きく集計結果が影響されると考えられるが、以下、アンケート項目ごとに分析を行う。なお、平成 27 年度よりアンケート項目が変更されているため、平成 26 年度との比較が困難となっているが、可能な限り平成 26 年度との比較を試みている。

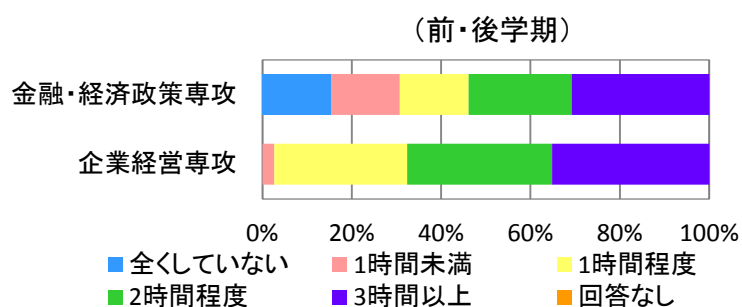
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



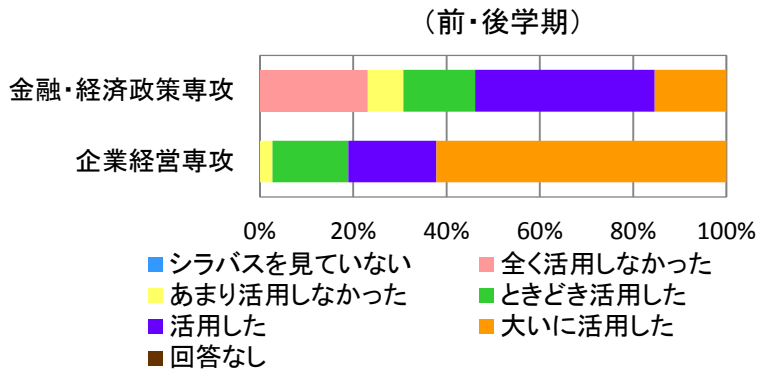
平成 26 年度同様、何れの専攻においても全ての科目において全員が「80%以上」と回答しており、出席率は非常に高い。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



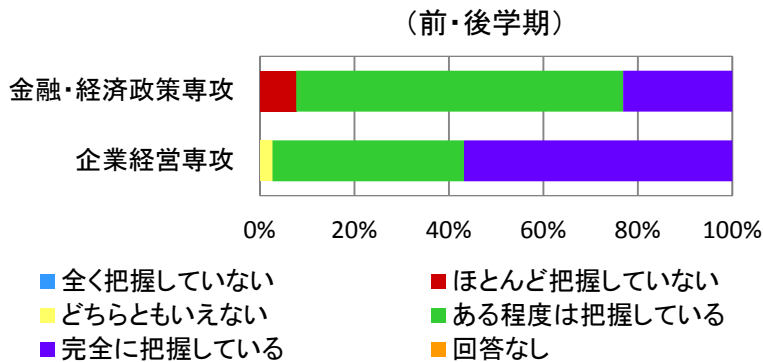
「全くしていない」の割合が、平成 26 年度は予習・復習を平均すると 2%だったが、4%に増加している。金融・経済専攻で 15%と 15 ポイント増加していることが要因である。ただし、授業時間外学習をしている場合の学習時間は若干増加している。平成 26 年度と同様の傾向であれば、復習よりも予習に多くの時間を割いている。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。



「活用した」・「大いに活用した」の割合が平均して74%、「全く活用しなかった」・「あまり活用しなかった」の割合が10%となっている。「シラバスを見ていない」の割合は平成26年度よりも低下しているものの、シラバスの活用状況は平成26年度よりも総じて悪化している。

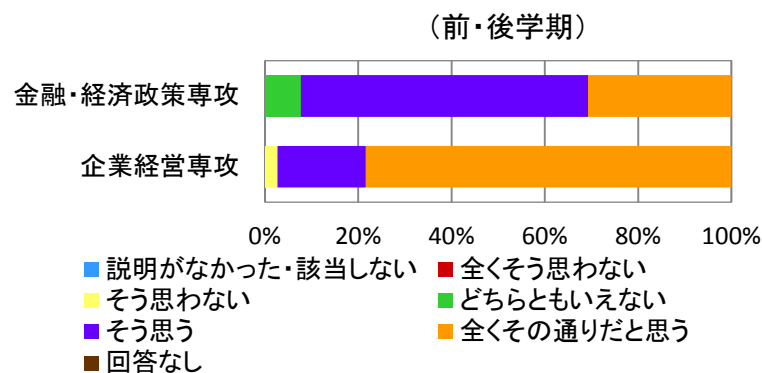
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



「ある程度把握している」・「完全に把握している」の割合が平成26年度同様、96%となっており、学習到達目標・成績評価基準を把握して授業に臨む姿勢が見られる。

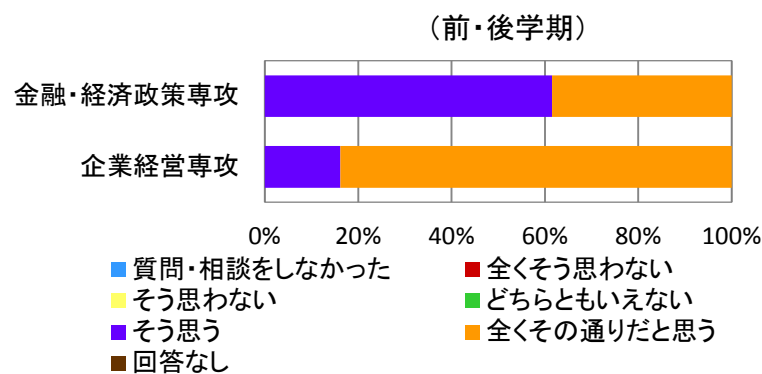
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



96%の割合で教育方法・成績評価方法の説明が有益だと感じており、教員の懇切な説明を心掛ける姿勢が窺える。

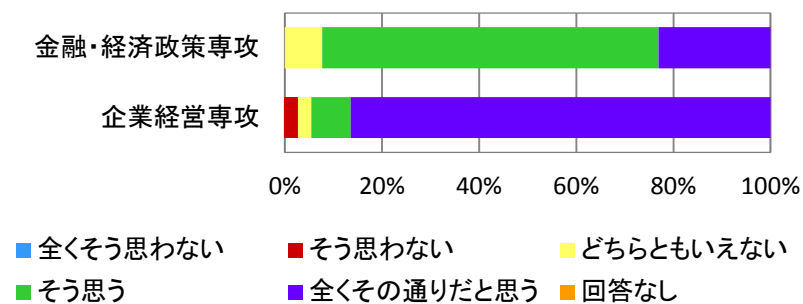
B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



平成 26 年度同様、「そう思う」・「全くその通りだと思う」と回答した学生が 100%となっている。研究科では少人数教育となっていることもあり、質問しやすい環境となっており、それに適切に対応している状況となっている。

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

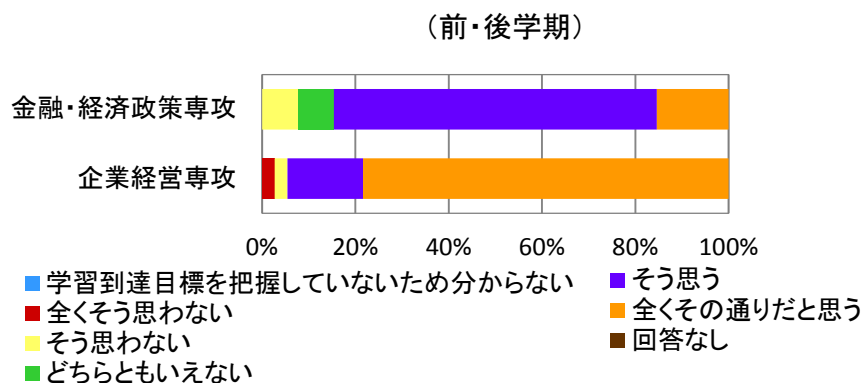
(前・後学期)



「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が 94%となっており、上記の通り、教員の授業に真摯に臨む姿勢が窺える。

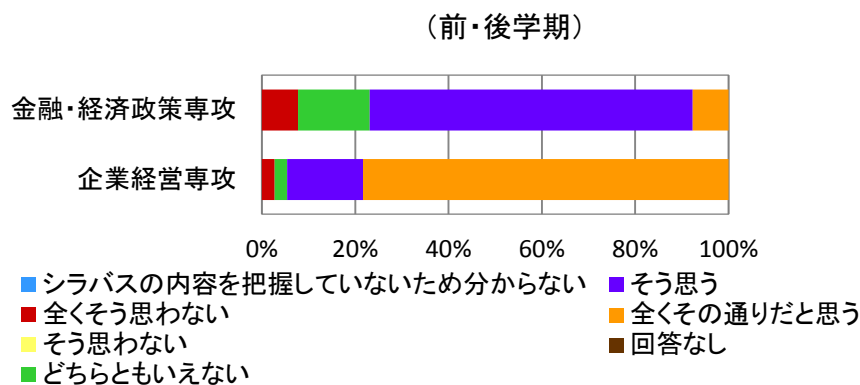
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が 92%となっており、概ね学習到達目標を達成できている。平成 26 年度は授業を理解していると回答した割合が 100%となっており、平成 27 年度も同様の傾向であると想定した場合、授業は理解したものの学習到達目標を達成できたと回答した割合は若干低下していると考えられる。

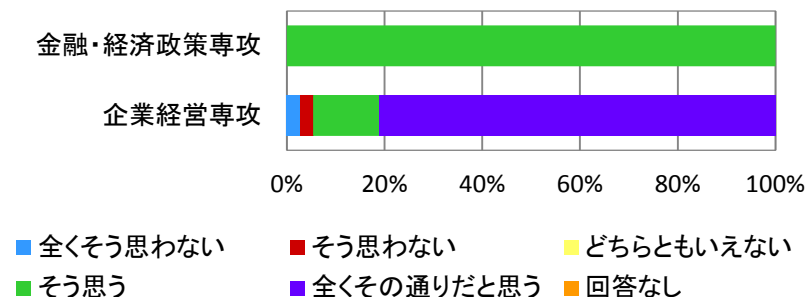
C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



平成 26 年度は「そう思う」・「全くその通りだと思う」と 100%が回答していたものの、平成 27 年度は 92%に低下しており、「全くそう思わない」の割合が 4%になっている。シラバス作成時では受講生の人数・専攻分野が想定できないため、実際の受講生の志望に合わせて授業内容を変更しているのではないだろうか。

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか

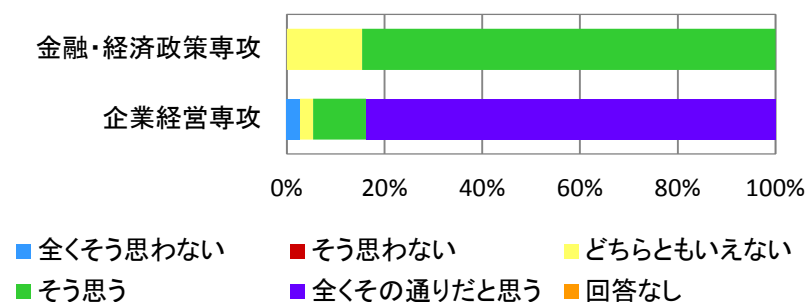
（前・後学期）



「そう思う」・「全くその通りだと思う」の割合が96%となっており、平成26年度同様、高水準にある。事前に教材やICT環境の準備を整えて授業に臨んでいる成果が表れているといえよう。

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

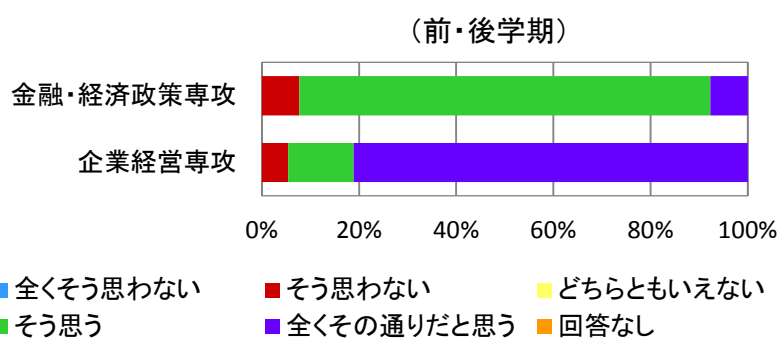
（前・後学期）



「そう思う」・「全くその通りだと思う」と92%が回答している。少人数教育ならではのグループディスカッションや思考を促す取り組みが窺える。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



「そう思う」・「全くその通りだと思う」と回答している割合が 94%となっている。平成 26 年度は 100%であったため、若干低下しており、「そう思わない」と 6%が回答している。学習到達目標を達成していないと回答した割合も 6%となっているため、その結果が反映されているのかもしれない。

平成 27 年度 経済学部・経済学研究科組織別授業評価報告書

学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準

経済学部・経済学研究科では「学生から高い評価を得ている授業科目」を選定しておらず、その選考基準も作成していない。

授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

(経済学部)

授業改善の取り組み状況に係る優れた点は、第 1 に学部全体・各学科を合わせて計 13 回の FD 活動を平成 27 年度に実施したことである。例えば学部全体の FD 活動ではゼミの実施、専門科目の工夫等をテーマに行われている。ゼミの実施についての FD は、過去に行った企業アンケート及び卒業生アンケートの結果を踏まえ、ゼミ教育におけるコミュニケーション能力の向上について意見交換した。事前に各教員にとったアンケート結果では概ね 8 割がゼミ教育におけるコミュニケーション能力の向上（積極的な意見・質問、論理的な説明、責任感）を実感しており、その成果としてゼミの円滑な実施にも繋がっているという学業面での利点も確認された。コミュニケーション能力向上の工夫としては、報告題材の工夫や学外調査、他大学との合同ゼミ等が挙げられ、その効果について話し合われた。また、ゼミ単位を落とす学生への対策についても議論された。専門科目の工夫に関する FD では、主に 1,2 年次科目において学生の関心を高めること及び前提知識の不足への対応に焦点を絞り、議論が行われた。題材としてニュースや実データ使用の有効性について話し合われ、平成 28 年度より佐賀新聞電子版と契約し講義に活用可能とすることが確認された。また、社会への関心の低さや特定分野への理解不足がある場合の対処について別途検討した。

第 2 に、1 年次カリキュラムの充実について検討した点である。授業評価アンケートでは、1 年次科目は他学年次科目に比べて理解度が低く、満足度も低い結果となっており、検討課題としていた。そのため、平成 28 年度より 1 年次に入門科目を新規に追加することとした。追加される科目及び内容は、各学科の FD 会議で検討し、専門科目を受講する前の入門的な科目内容を各学科で設置している。

第 3 に、ティーチング・ポートフォリオ作成率の増加である。教員の増減等で 9%となっていた標準版 TP の作成率は 14%に、簡易版 TP の作成率は 77%から 100%へとそれぞれ増加している。平成 27 年度より授業評価アンケートの項目として、教育理念の説明が新設されたため過年度との比較は難しいが、TP 作成が授業評価に反映されることを期待する。

改善すべき点としては、学部改組から 3 年が経過したが成果の検証準備が不十分となっている点である。学習成果を測定するコア科目群確認試験が平成 28 年度より実施される予定だが、骨子ではできているものの、運用面で準備不足となっているため、実施体制の整備が必要である。

(経済学研究科)

授業改善の取り組み状況に係る優れた点は、第 1 に学部でも取り上げた FD 活動と TP 作成率の増加である。FD 活動及び TP 作成は学部及び研究科の全教員が参加しており、学部のみならず研究科においても授業改善の促進に繋がっているといえよう。学部専門科目及びゼミにおける指導方法は研究科においても相通ずるものがあり、FD 活動及び TP 作成の効果は研究科の授業改善に資するものとなっている。第 2 に修士論文執筆を促進する取り組みとして総合セミナーを実施して、論文執筆の基本的な考え方を講義し、修士論文の中間報告及び討論を行っているが、その実施体制を変更した点である。従来までは各専攻で個別に行われていたが、中間報告及び討論には両専攻の受講生が参加可能となるよう変更している。中間報告及び討論に触れる機会を拡充し、他分野研究を理解する場が確保されたため、論文執筆の一助となることが期待される。

改善すべき点としては、経済学研究科は平成 27 年度入学生の修了をもって廃止され、新研究科が平成 28 年度より開始されるため、円滑に新研究科への移行を整備することである。

平成27年度組織別授業評価報告書

(1) 学士課程

学生による授業評価は、「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に従い、共通のアンケート様式を用いて実施された。また、いくつかの科目では、共通のアンケート様式の使用が適さないとの判断から、独自様式でのアンケートが実施された。平成22年度後学期からは、Live Campus を活用した Web 形式を採用しているため、すべての科目で実施していることになる。平成27年度は、全開講科目463科目の中で学生が何らかの情報を投入したものは439科目であり、有効な回答を得た科目は全体の95%であった。なお、受講登録学生数に対する回答数が過半数に満たないものは、前学期、後学期ともに84%を占めていた。したがって、回答数の改善が今後の課題である。

なお、専門周辺科目と教職科目は、除外して集計している。

各学科の状況は以下のとおりである。

数理科学科

学生による授業評価アンケート結果は、概ね学部平均相当の良好な結果が得られている。

物理科学科

学生による授業評価の結果は、満足度をはじめ全項目において、良好な結果を得ている。科目によるばらつきもとくに見られない。

知能情報システム学科

予習・復習時間が1時間未満と答えた学生が前年度の65%から今年度は約33%と減少し、改善している。到達目標の達成度・学生の満足度については前年と同様に約65%の学生が肯定的に回答しているが、約10%の学生が否定的に回答している。回答率は47%程度であり、科目によるばらつきが見られる。

機能物質化学科

学生による授業評価アンケート結果は、概ね学部平均相当の良好な結果が得られている。予習・復習をしていない学生は学部平均より少なめであるが、内容の理解、興味の増加の点ではそれほど高くはなく、学生の受け身の姿勢が見て取れる。別途、学生要望アンケートを収集しており、授業内容などの要望については会議で紹介している。さらに学科内の教育FD委員会による点検と教育改善委員会による改善提案により、学習成果の向上に向けた継続的改善を図っ

ている。

機械システム工学科

学生による授業評価では概ね学部平均相当となっており良好な結果といえる。学士課程は JABEE 認定のプログラムであり厳密な出席管理や成績評価が相応に評価されたものである。各教員の FD レポートでは授業評価アンケート等の結果に基づきさらなる教育の改善が行われている。

電気電子工学科

(A-2) 授業時間外学習： 「1 時間未満」または「全くしていない」と答えた学生は、前期で 33.9%であった。3 分の 1 の学生であり、多いと言える。

(B-2) 質問への対応： 「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期で 64.0%であった。「どちらとも言えない」を含めれば 84.4%となり、おおむね教員の質問への対応は評価されている。

(B-3) 教員の授業に対する意欲： 「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期で 80.2%であり、高く評価されている。

(C-1) 目標の達成： 「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期で 65.7%であった。「目標を把握していない」は 1.5%とごく少数であり、授業目標は学生によく伝わっている。

(C-4) 発言の促進、グループワーク：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期で 55.2%であり、評価されている授業は半数程度と考えられる。

(D-1) 満足度：「そう思う」または「全くそう思う」と答えた学生は、前期で 75.2%であり、おおむね学生は授業に満足していると言える。

都市工学科

学生による授業評価の満足度はばらつきも少なく概ね高い評価を得ている。学科内の教育システム委員会での基礎教育の内容の見直し等の成果が現れ始めている。

(2) 博士前期課程

平成 27年度は、全開講科目 311 科目の中で学生が何らかの情報を投入したものは 259 科目であり、前の項目と同じく、Live Campus を活用した共通のアンケート様式の授業評価が実施された。有効な回答が得られた科目は全体の 83%であり、学士課程と比較しても回答率は同程度であった。また、過半数以上が回答を行った科目は全科目数の 43%であり学士課程よりよい結果となっている。昨年度

までは、どちらも学士課程より低い結果となっていたが、授業アンケートを WEB 入力化した後の学生が進学してきており、入力を行う習慣がついているものと思われる。ただ、いずれにせよ全体からすると回答数は少なく、回答数の改善が今後の課題である。

なお、研究科共通科目は、除外して集計している。

各専攻の状況は以下のとおりである。

数理科学専攻

学生による授業評価アンケート結果は、非常に高い評価を得ている。

物理科学専攻

学生による授業評価の結果は、満足度をはじめ全項目において、概ね良好な結果を得ている。受講者数の少ない科目もあり科目ごとのデータの有効性は高くないが、科目による大きなばらつきは見られない。

知能情報システム学専攻

授業評価の結果は、シラバスの活用に肯定的な回答が 18%と工学系全体の 33%と比較して少なく見られるが、その他は達成度・満足度を含むほぼ全項目において概ね良好な回答が得られているように見える。受講者数の少ない科目もあり科目ごとのデータの有効性は高くないように思われる。科目による大きなばらつきは見られない。

循環物質化学専攻

専攻開講科目の満足度は良好であり、基礎科目に比して専門科目が高い傾向にある。少人数クラスであるため、満足度や理解度が高くなっていると思われる。学生と教員の議論を中心とした指導形態の循環物質化学特別実習・演習を通じて、学生の要望等を組み入れた教育環境の改善に取り組んでいる。

機械システム工学専攻

学生による授業評価では、いずれの科目においても高い満足度が得られている。学部と大学院都の接続授業である機械設計特論および熱流体力学特論を必修としているため、基礎学力の充実を図ることができ、その後の専門科目の理解の充実度が上がったことを示している。

大学院生とは科目講義以外に各研究室で行われるゼミや研究指導で学部生以上に密接なコンタクトを取っており、これらで行なう学生との意見交換を通じ教育環境の改善に取り組んでいる。

電気電子工学専攻

満足度を見ると、「全くそう思う」または「そう思う」と答えた学生は前期で 76.7%であり、学生の満足度は高いと言える。

都市工学専攻

学生による授業評価の満足度はばらつきも少なく概ね高い評価を得ている。

先端融合工学専攻

概ね講義科目に関しては授業に関する満足度が高く、良好な評価を得ている。ただ、昨年度から電気系、機械系、化学系の学生の融合を目指して新たに始めたプロジェクトスタディの満足度が他の講義科目に比較するとやや低く、減少傾向にある（昨年度 4.043（回答 56%）、今年度 3.846（回答 46%））。専攻としては力をいれている科目であり、なんらかの改善が必要であると考えられる。

(3) 博士後期課程

平成 27年度は、全開講科目29科目の中で学生が何らかの情報を投入したものは13科目であり、前の項目と同じく、Live Campus を活用した共通のアンケート様式の授業評価が実施された。有効な回答が得られた科目は全体の 45%であった。これは受講者数1という科目が多く、授業アンケート入力についても、教員の指示が行き届いていないためではないかと考えられる。また、受講者数1の科目では学生の匿名性がないため、入力しにくいのではないかと考えられる。

学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準

(1) 学士課程

数理科学科

以前は、授業評価アンケートの「満足度」を利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートをwebで収集するようになってから回収率が悪く、参考にならないため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

物理科学科

満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。

知能情報システム学科

D-1（学生の満足度）の高い科目

機能物質化学科

例年、卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・実験・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査した。この結果を教員毎に纏め、上位2名の教員を機能物質化学科ベストプロフェッサーとして表彰した。循環物質化学専攻でも修了予定者を対象とした専攻独自のアンケートから同様に行っている。

機械システム工学科

特に実施していない

電気電子工学科

学科内で学生から高い評価を得ている授業科目の選考は行っていない。

都市工学科

授業評価アンケートの回収率が低いため特に実施していない。

(2) 博士前期課程

数理科学専攻

以前は、授業評価アンケートの「満足度」を利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートをwebで収集するようになってから回収率が悪く、参考にならないため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

物理科学専攻

満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。

知能情報システム学専攻

D-1（学生の満足度）の高い科目

循環物質化学専攻

例年、卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・実験・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査した。この結果を教員毎に纏め、上位2名の教員を機能物質化学科ベストプロフェッサーとして表彰した。循環物質化学専攻でも修了予定者を対象とした専攻独自のアンケートから同様に行っている。

機械システム工学専攻

特に実施していない

電気電子工学専攻

学科内で学生から高い評価を得ている授業科目の選考は行っていない。

都市工学専攻

授業評価アンケートの回収率が低いため特に実施していない。

先端融合工学専攻

特に実施していない。

(3) 博士後期課程

博士後期課程は各講座毎では学生の人数が少なく、講義の履修者数も少ないため、講座毎の組織別授業評価は行っていない

また、理工学部、工学系研究科全体として、授業アンケートがWEB入力になってからアンケートの入力率が低いため、授業アンケートが学生からの高い評価の基準としてあてにならないという学科、専攻が多く、結果として選考自体が行われていない学科、専攻がみられ、アンケートの回収率の向上が望まれる。

授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点（学部・研究科等別）

(1) 学士課程

数理科学科

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理科学科

学科として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

知能情報システム学科

(優れた点)

- ・ e ラーニングや紙での独自アンケート・コミュニケーションカード・小テスト時の自由記述欄などで学生の意見を吸い上げ授業改善を行っている。
- ・ 一部科目では、毎回の小テスト・宿題により講義内容の理解度・出席率を高めるとともに、採点結果を返却し復習に役立たせた。
- ・ 学習アドバイザー（プログラミング系・数学系）による学習支援を行っている。成績不振の学生を優先して指定しており、成績に反映させている。
- ・ プログラミング演習支援システムによるプログラミングの自学自習（問題数 200 題程度、回答し正解した問題総数が半期で約 1000 題ほど、1 人平均で年間 30 問ぐらい解いている）。
- ・ e ラーニングシステムを活用することで課題提出の管理を向上させた。
- ・ 一部演習の電子化により、フィードバックが多少改善された。
- ・ 毎回の授業後に Moodle 小テストを用いた「確認テスト」を実施した。これにより学生の理解度を把握するとともに、学生が確実に復習を行うように工夫した。小テストの答えは自動採点され、学生にフィードバックされるとともに、成績にも反映される。
- ・ 「Moodle 版大福帳」を活用して、学生の質問やコメントを毎回の授業後に収集し、次回の授業までに教員が回答する仕組みを運用している。教官室を訪問するのと比較すると、学生が質問する際のハードルは低い。また、教員の側も、質問を収集することで学生の理解状況が分かる。
- ・ PowerPoint スライドで授業をしているが、一部を空欄にして学生に書き取りをさせる方法は、学生の評判も良い。居眠りを減らす効果もある。
- ・ 提示資料を講義終了後にホームページにアップロードしたことで、講義中にノー

トを取る学生が多くいるなど、意欲を高める効果があったと考える。

・授業の難易度が多少高くても、意味のある内容であることをきちんと説明すれば、学生は納得もするし、ついてもきている。

(改善を要する点)

・数学科目では、なかなか学習到達目標の達成を実感させるのが難しいが、内容を精査し、講義順序も再検討して「わかった」ことを実感させられるように講義設計を見直したい。

・時間外学習の課題を与えているが、その進行状況の把握が十分ではなかった。時間外の学習に関する改善方法を検討する。

・学習到達目標の達成や、学生自身が考えることを促す配慮の項目の評価がやや低くなっている科目があった。学生にシラバスや到達目標をしっかりと意識させ、学生が考えるよう配慮していくよう授業の改善を行っていきたい。

・学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

・学生の学力低下や学習意欲の低下が目立つため、できるだけ学生に作業を行わせ、手を動かすことを通じて授業内容を理解させることに努めたい。

・自学自習があまり行われなかった。自学自習を促す方法としてレポート課題などを再検討する。

・グループ学習・アクティブラーニングを導入する。教員側から質問するなどし、より講義に参加する形を作る。

・講義の難易度が上がると学生の興味が薄れる傾向にある。これを克服すべく、改善が必要と考える。

機能物質化学科

実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価に、平成 19 年度より実験・実習用の独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教育点検システムとして設置している教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育 FD 委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。平成 23 年度からは教育改善委員会を新たに設置し、要改善の科目については、次年度の授業改善を担当教員に報告してもらい、教育改善委員会でその妥当性についてチェックしている。

機械システム工学科

学部として組織的には行なっていないが、改善を要する点に関しては学期ごとに提出する FD レポート内で各教員がそれぞれ改善に取り組んでいる。

電気電子工学科

同僚による授業評価（ピア・レビュー）を前後期に実施して、授業改善を行った。

都市工学科

学科内で教育システム委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。また、学科内に ICT チームを立ち上げ、教育の ICT 化について検討を行っている。

なお、JABEE を実施している 4 学科に関しては、JABEE の基準に従い、定期的に教育の改善に関する会議を開催し、逐次、教育改善を進めているはずである。

(2) 博士前期課程

数理科学専攻

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理科学専攻

専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

知能情報システム学専攻

概ね良好であるため維持したい。

循環物質化学専攻

機能物質化学科と合わせて、循環物質化学専攻でも分野別教員会議において、専門の近い教員グループにより授業の改善を続けている。

機械システム工学専攻

専攻として組織的には行なっておらず、各教員がライブキャンパスから個別に次年度の授業改善目標を設定している。

電気電子工学専攻

授業点検・改善報告による授業改善が行われている。

都市工学専攻

専攻内で教育システム委員会を開催し、学部から大学院までの体系的な教育方法の検討などを行っている。

先端融合工学専攻

優れた点としては、先端融合工学専攻では、26年度より電気系、機械系、化学系の学生が融合して実験や演習を行う科目としてプロジェクトスタディを開設し、各系の学生が3人一組になって、各系の研究内容を体験するという、他専攻にはない科目を継続して実施している。改善すべき点としては、授業評価アンケートの満足度（3.846（回答 46%）、学部平均 4.14）が、他の講義科目に比べて低く、改善が必要と考えられる。

（3）博士後期課程

優れた点 授業アンケートの回答があった科目にかんしては、よい評価を得ている。

改善すべき点 授業アンケートの回答率が低い。

次年度の授業改善目標（学部・研究科等別）

（1）学士課程

数理科学科

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。

物理科学科

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行っている。カリキュラム編成とともに授業改善も検討している。

知能情報システム学科

学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

機能物質化学科

教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育FD委員会による科目履修状況の分析をもとに前年度入学生よりカリキュラムを改訂している。このカリキュラム

と教育改善委員会で取り上げた科目について、点検や評価を学科全体で継続的に行っていく。

機械システム工学科

個別の授業改善目標というよりは、専攻・学科内で組織的な授業改善が行えるよう、専攻内の教務・JABEE グループ会議で検討を行う。

電気電子工学科

授業参観を授業評価の高い授業を参観する形にして、具体的に参考になる優れた授業方法を見つけて、学科内に周知するようにする。

都市工学科

授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。

(2) 博士前期課程

数理科学専攻

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。

物理科学専攻

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行っている。カリキュラム編成とともに授業改善も検討している。

知能情報システム学専攻

学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

循環物質化学専攻

教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育 FD 委員会による科目履修状況の分析をもとに前年度入学生よりカリキュラムを改訂している。このカリキュラムと教育改善委員会で取り上げた科目について、点検や評価を学科全体で継続的に行っていく。

機械システム工学専攻

個別の授業改善目標というよりは、専攻・学科内で組織的な授業改善が行えるよう、専攻内の教務・JABEE グループ会議で検討を行う。

電気電子工学専攻

授業参観を授業評価の高い授業を参観する形にして、具体的に参考になる優れた授業方法を見つけて、学科内に周知するようにする。

都市工学専攻

授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。

先端融合工学専攻

授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。

(3) 博士後期課程

現状の授業評価アンケートでは履修者数も少なく、アンケートとしては匿名性もないので、複数の科目をまとめてアンケートを行うなど、アンケートの収集方法について検討を行い、アンケートに基づく授業改善を進める。

独自アンケートを実施した科目数

(1) 学士課程

数理科学科

なし

物理科学科

4科目

知能情報システム学科

なし

機能物質化学科

3科目

機械システム工学科

なし

電気電子工学科

授業アンケートの独自質問項目を設定した科目は、学部授業で同一教員による2科目だけであった。

都市工学科

なし

(2) 博士前期課程

数理科学専攻

なし

物理科学専攻

3科目

知能情報システム学専攻

なし

循環物質化学専攻

なし

機械システム工学専攻

なし

電気電子工学専攻

なし

都市工学専攻

なし

先端融合工学専攻

なし

(3) 博士後期課程

なし

平成 27 年度 授業評価報告書

佐賀大学農学部

佐賀大学大学院農学研究科

平成 28 年 9 月

佐賀大学農学部 FD 委員会

佐賀大学大学院農学研究科 FD 委員会

はじめに

大学法人化後、佐賀大学は、高等教育機関としての機能を強化・充実することで社会的責任を果すことを求められてきた。その方策のひとつとして、教育活動の実態を適確に把握し、課題を整理し、問題を解決するために、全ての授業科目について全学共通の様式を用いた「学生による授業評価アンケート」とその集計結果をうけての「科目担当教員による授業点検評価報告」による授業改善システムを構築し、運用を行ってきた。

農学部および農学研究科では、カリキュラムの見直しや単位実質化に関する改善など、教育改革や内部質保証のためのさまざまな取り組みとともに、平成 18 年度から授業評価アンケートを実施し、アンケート結果の集計・公表と、授業改善への利活用を進めている。

本報告には、平成 27 年度農学部及び農学研究科の開講科目に関する授業評価アンケートの結果(学科・コース別)取り纏めと、アンケート結果の分析に基づく授業改善を進めるための提言を記している。アンケートでは、学生側の課題として、学習到達目標や成績評価基準の理解度、出席率、授業時間外学習の時間、シラバスの活用度、満足度などについて調査し、分析した。教員側の課題としては、教育方法や成績評価方法の説明、シラバスに準拠した授業の実施、教材の満足度、アクティブラーニングへの配慮、質問や相談への対応などについて調査し、分析した。授業評価アンケートは、大学院農学研究科(修士課程)についても学部開講科目と同様の内容のアンケートを行い、取り纏めと結果の分析を行った。

以上の様な取り組みを通して、活力のある教育システムを構築・実践し、農学部・農学研究科で掲げる教育目標の実質化及び質の向上を達成することによって、教育・研究活動に貢献することを目指している。

平成 28 年 9 月

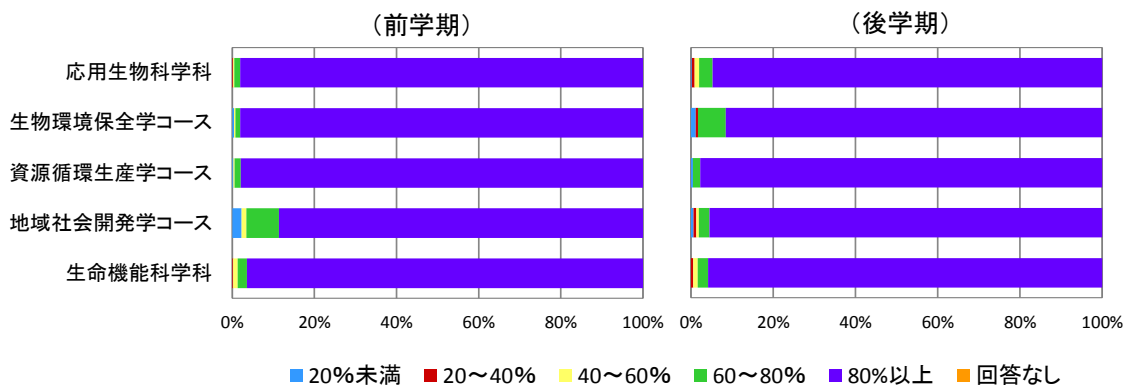
農学部 FD 委員会

大学院農学研究科 FD 委員会

農学部組織別授業評価分析結果

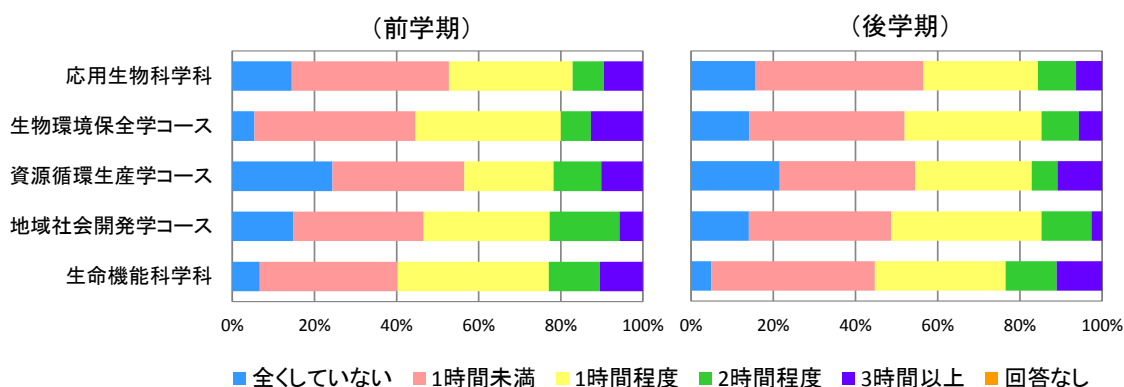
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



出席率が80%以上の学生は、前期では、応用生物科学科が98.10%、生物環境保全学コースが98.08%、資源循環生産学コースが97.97%、地域社会開発学コースが88.64%、生命機能科学科が96.44%であり、後期では、応用生物科学科が94.75%、生物環境保全学コースが91.53%、資源循環生産学コースが97.75%、地域社会開発学コースが95.51%、生命機能科学科が95.86%であった。従って、全ての学科・コースで出席状況は良好であったと言える。

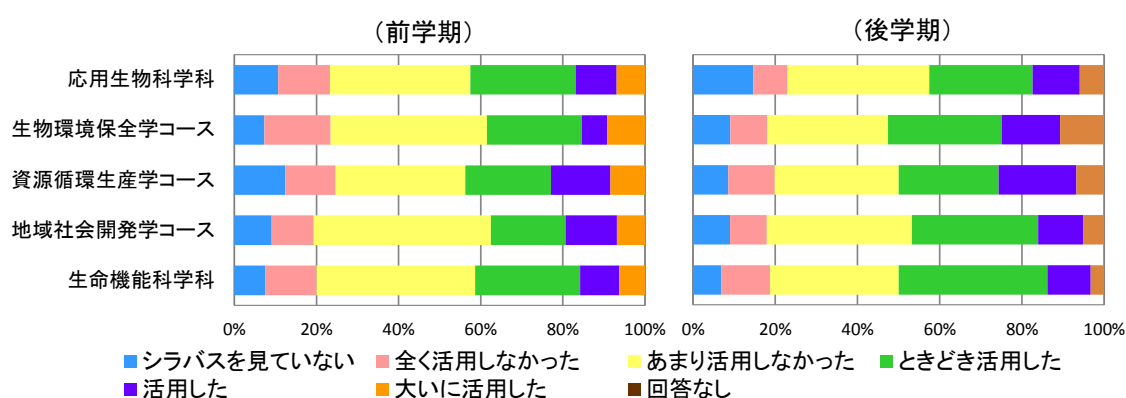
A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



全くしていないと答えた学生は、前期では、応用生物科学科が14.49%、生物環境保全学コースが5.38%、資源循環生産学コースが24.35%、地域社会開発学コースが14.77%、生命機能科学科が6.67%であり、後期では、応用生物科学科が15.76%、生物環境保全学コースが14.12%、資源循環生産学コースが21.62%、地域社会開発学コースが14.10%、生

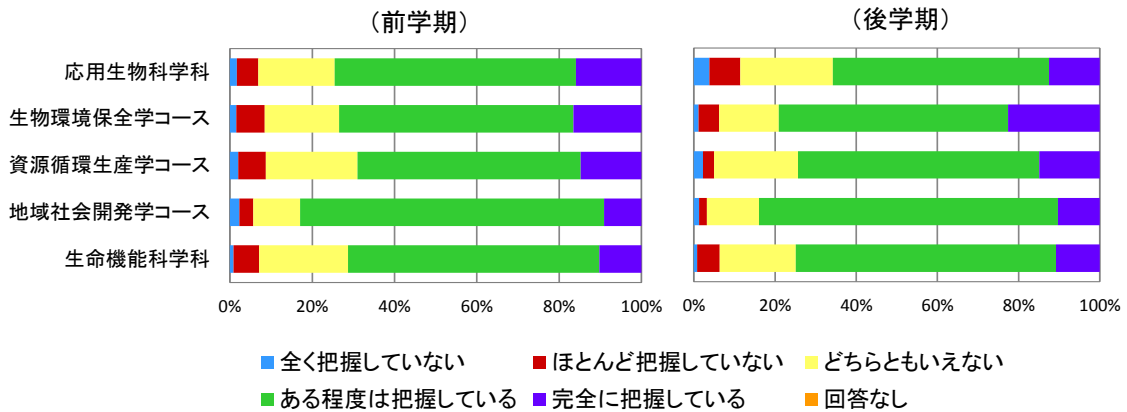
命機能科学科が 4.97%であった。前年度では、予習を全く行っていないと答えた学生が、各学科・コースの 4 割前後おり、また復習を全く行っていないと答えた学生が、各学科・コースの 3 割前後いたことを考えると、今年度は授業時間外学習を行った学生の割合が、増えていると考えられる。これは、教員側からも予習・復習の重要性を説明している結果が出ているのかもしれない。また、2 時間以上、時間外学習に費やしている学生も 2 割ほどいることが分かった。今後とも、学生の授業時間外学習を促すような指導が重要であると考えられる。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスを「大いに活用した」、「活用した」、「ときどき活用した」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が 42.52%、生物環境保全学コースが 38.46%、資源循環生産学コースが 43.77%、地域社会開発学コースが 37.50%、生命機能科学科が 41.33%であり、後期では、応用生物科学科が 42.57%、生物環境保全学コースが 52.54%、資源循環生産学コースが 50.00%、地域社会開発学コースが 46.79%、生命機能科学科が 50.00%であった。従って、シラバスの活用が十分であるとは言い難い状況であり、学生に引き続きシラバスの活用を促していく必要があると考えられる。なお、前期よりも後期のほうが活用した率が高く、これは新生が入学直後に十分にシラバスを活用できていないことを反映している結果かもしれない。

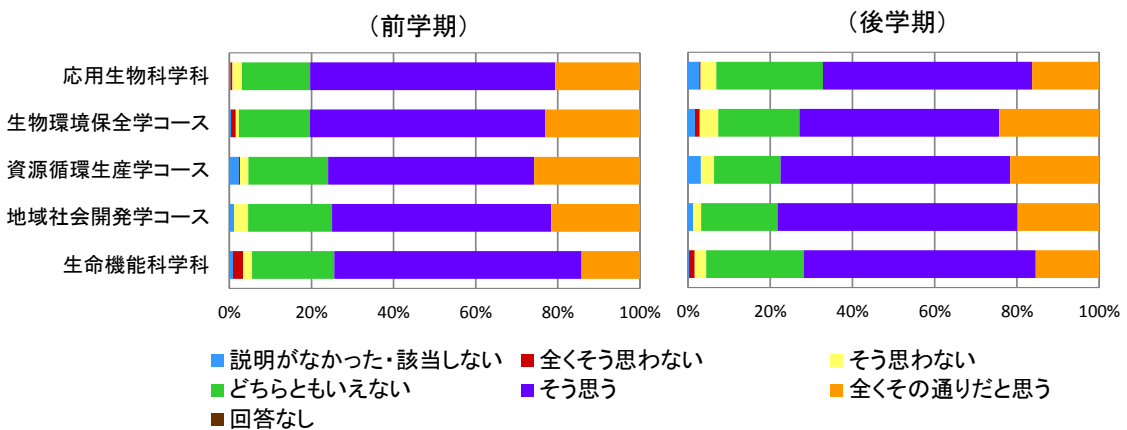
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



学習到達目標や成績評価基準を「完全に把握している」、「ある程度は把握している」と答えた学生の合計は、前期では応用生物科学科が74.58%、生物環境保全学コースが73.46%、資源循環生産学コースが68.99%、地域社会開発学コースが82.95%、生命機能科学科が71.33%、後期では、応用生物科学科が65.76%、生物環境保全学コースが79.10%、資源循環生産学コースが74.32%、地域社会開発学コースが83.97%、生命機能科学科が74.86%であり、地域社会開発学コースが、他学科・コースより高い割合を示していた。大部分の学生は、学習到達目標や成績評価基準を把握していると考えられるが、教員が講義中に十分に周知をはかることで、より高い把握率を目指す必要がある。

B. 教員の対応

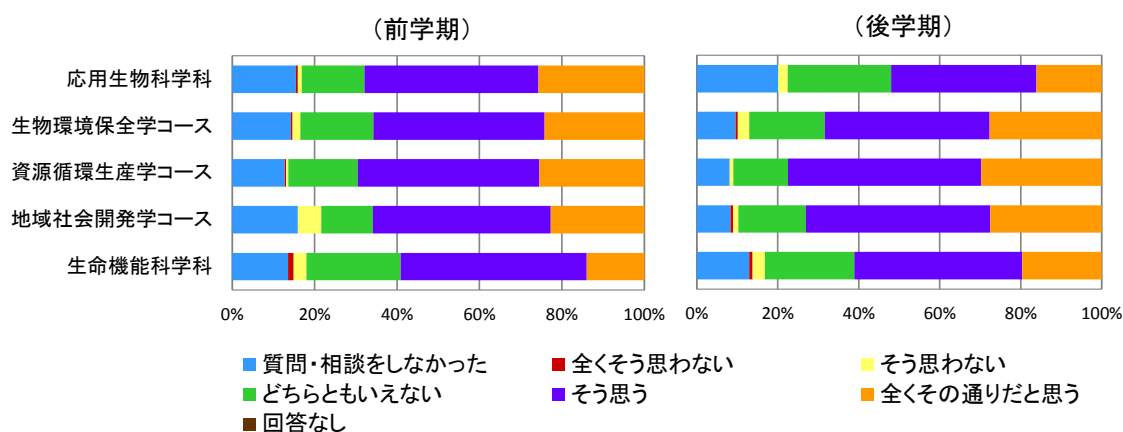
B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



教育方法や成績評価方法等の説明が有益でしたかという問いに、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と答えた学生の合計は、前期では応用生物科学科が80.29%、生物環境保全学コースが80.38%、資源循環生産学コースが75.94%、地域社会開発学コースが75.00%、生命機能科学科が74.44%、後期では、応用生物科学科が67.21%、生物環境保全学コース

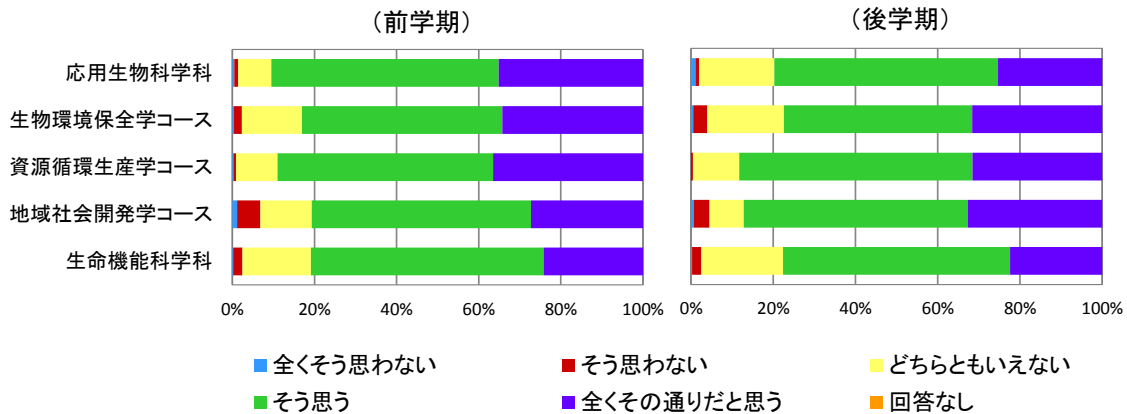
が 72.88%、資源循環生産学コースが 77.48%、地域社会開発学コースが 78.21%、生命機能科学科が 71.82%であり、ある程度の満足が得られていると考えられる。しかし、「全くそう思わない」、「そう思わない」、「どちらともいえない」と回答した学生も一定数いることから、改善が必要な部分もあると思われる。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



質問や相談に適切に対応してくれたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が 67.93%、生物環境保全学コースが 65.77%、資源循環生産学コースが 69.57%、地域社会開発学コースが 65.91%、生命機能科学科が 59.11%、後期では、応用生物科学科が 51.99%、生物環境保全学コースが 68.36%、資源循環生産学コースが 77.48%、地域社会開発学コースが 73.08%、生命機能科学科が 61.05%であり、資源循環生産学コースで高く、応用生物科学科と生命機能科学科でやや低かった。但し、「質問・相談をしなかった」学生の割合が、前期では応用生物科学科が 15.44%、生物環境保全学コースが 14.23%、資源循環生産学コースが 12.75%、地域社会開発学コースが 15.91%、生命機能科学科が 13.56%、後期では、応用生物科学科が 20.11%、生物環境保全学コースが 9.60%、資源循環生産学コースが 8.11%、地域社会開発学コースが 8.33%、生命機能科学科が 12.98%あり、これが全体の率に影響を及ぼしていることも考慮しなければならない。なお、講義の内容に対し、質問しやすい状況を作ることも重要であると考えられる。

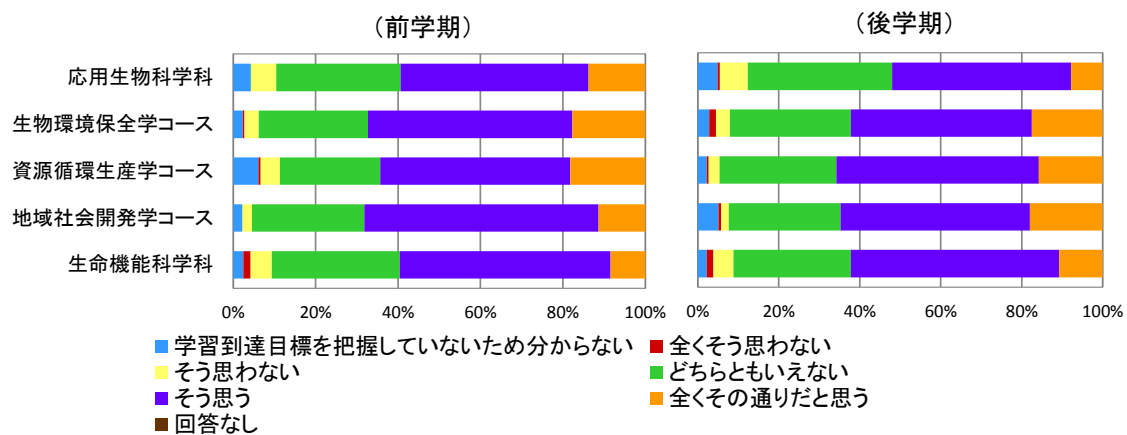
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



意欲や熱意が感じられたという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が 90.50%、生物環境保全学コースが 83.08%、資源循環生産学コースが 88.99%、地域社会開発学コースが 80.68%、生命機能科学科が 80.89%、後期では、応用生物科学科が 79.71%、生物環境保全学コースが 77.40%、資源循環生産学コースが 88.29%、地域社会開発学コースが 87.18%、生命機能科学科が 77.62% であり、前期の応用生物科学科と前期後期を通じた資源循環生産学コースで特に高かった。一方で、「全くそう思わない」、「そう思わない」とした学生もわずかではあるが存在するため、厳しい評価となった科目に関しては改善が必要であると考えられる。

C. 授業内容および授業方法について

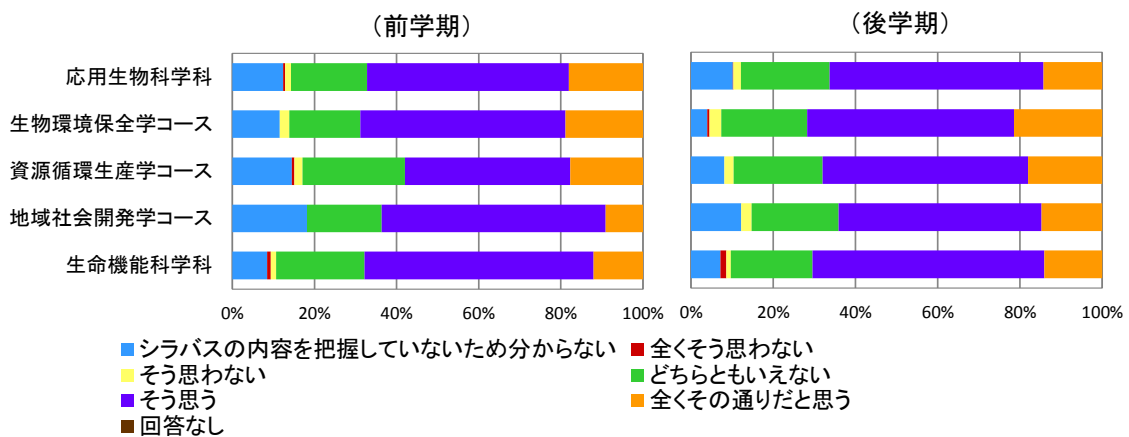
C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



学習到達目標を達成できたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が 59.38%、生物環境保全学コースが 67.31%、資源循環生産学コースが 64.35%、地域社会開発学コースが 68.18%、生命機能

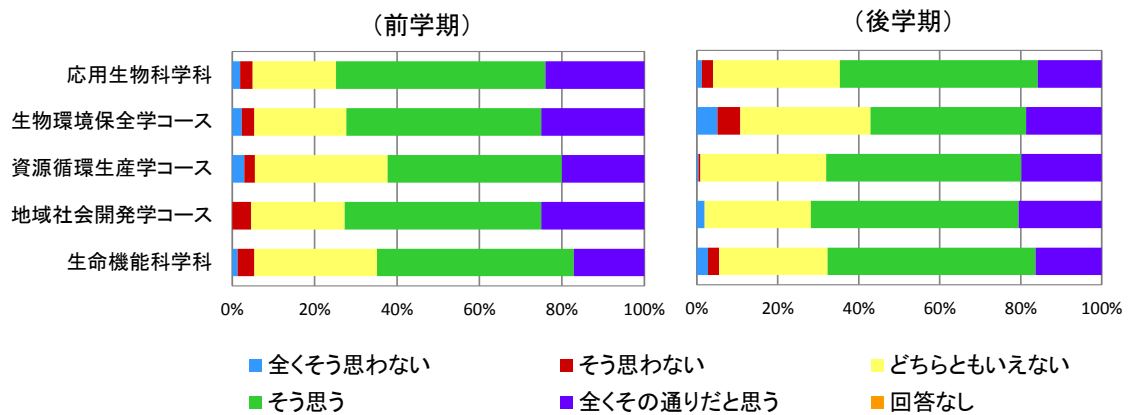
科学科が 59.56%、後期では、応用生物科学科が 51.99%、生物環境保全学コースが 62.15%、資源循環生産学コースが 65.77%、地域社会開発学コースが 64.74%、生命機能科学科が 62.15%であり、応用生物科学科がやや低かった。一方、A-4 とも関連するが、「学習到達目標を把握していないため分からない」という回答も若干見られ、目標の十分な周知が必要であることが分かった。

G-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



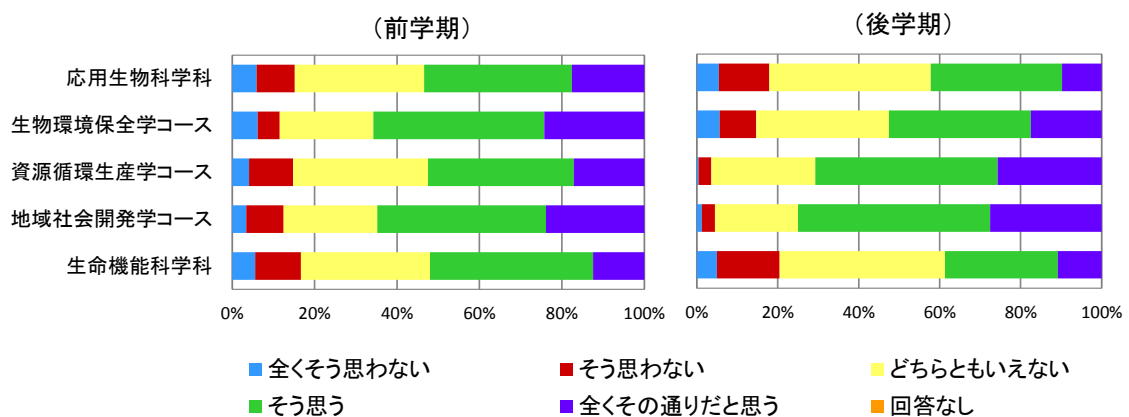
授業内容がシラバスに基づいていたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が 67.22%、生物環境保全学コースが 68.85%、資源循環生産学コースが 57.97%、地域社会開発学コースが 63.64%、生命機能科学科が 67.78%、後期では、応用生物科学科が 66.30%、生物環境保全学コースが 71.75%、資源循環生産学コースが 68.02%、地域社会開発学コースが 64.10%、生命機能科学科が 70.44%であり、生物環境保全学コースと生命機能科学科が比較的高かった。一方、A-3 とも関連するが、「シラバスの内容を把握していないため分からない」と回答した学生も一定数見られ、シラバス活用の周知を一層図っていく必要があることが分かった。

G-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



教材やICT環境が授業の理解に役立ったかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が74.82%、生物環境保全学コースが72.31%、資源循環生産学コースが62.32%、地域社会開発学コースが72.73%、生命機能科学科が64.89%、後期では、応用生物科学科が64.67%、生物環境保全学コースが57.06%、資源循環生産学コースが68.02%、地域社会開発学コースが71.79%、生命機能科学科が67.68%であった。おおむね満足が得られているが、配布資料の更なる充実などを各教員が意識する必要があると考えられる。

G-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

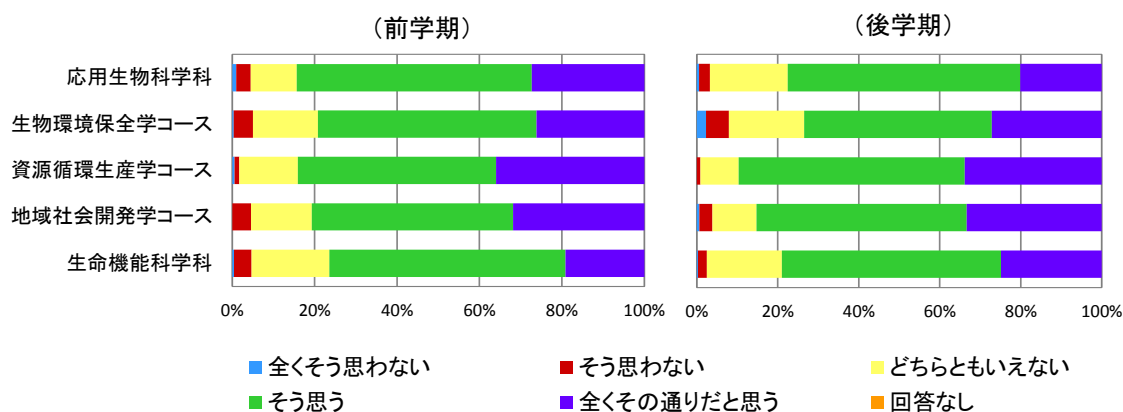


授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があったかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では応用生物科学科が53.44%、生物環境保全学コースが65.77%、資源循環生産学コースが52.46%、地域

社会開発学コースが 64.77%、生命機能科学科が 52.00%、後期では、応用生物科学科が 42.21%、生物環境保全学コースが 52.54%、資源循環生産学コースが 70.72%、地域社会開発学コースが 75.00%、生命機能科学科が 38.67%であった。この結果から、各学科・コースで大きくばらつきがあることが分かり、特に地域社会開発学コースでは高く、生命機能科学科では低かった。講義内容の性質によるところも考慮されるべきであるが、アクティブラーニングの重要性が高まっている昨今の状況を鑑み、改善を図っていく必要があると考えられる。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



授業に全体として満足できた（「全くその通りだと思う」、「そう思う」）と答えた学生の割合は、前期では応用生物科学科が 84.32%、生物環境保全学コースが 79.23%、資源循環生産学コースが 84.06%、地域社会開発学コースが 80.68%、生命機能科学科が 76.44%、後期では、応用生物科学科が 77.54%、生物環境保全学コースが 73.45%、資源循環生産学コースが 89.64%、地域社会開発学コースが 85.26%、生命機能科学科が 79.01%であった。この結果から、大部分の学生が授業に満足しており、特に資源循環生産学コースにおいてその傾向が顕著であることが分かった。

総括

「学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準」

昨年度までの報告でも述べたとおり、学部内・学科内における各学科の内容（必須科目・非必須科目の違いを含む）や受講生数に違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは現状では困難であるが、現状で入手できる資料を用いて基準を精査することは重要である。まずは、選考基準として、教員の授業に対する熱意や授業に対する全体の満足度などを質問した、アンケートの質問事項B～Dで高い評価を得ている科目が挙げられる。次に、講義だけでなく、自学によって高度な知識や見識を身に付けたり、知的好奇心が満たされたりすることから得られる満足感を評価する必要があると考えられることから、授業時間外学習が確保されている科目も選考基準として挙げられる。また、学生によるアンケート入力率が高い科目も選考基準の一つとして考慮すべきと考えられる。

「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」

まず、出席率に関しては、出席率80%以上の学生が前後期通じて88.64%～98.10%という高い値を示した。授業時間外学習は、全く行っていないと答えた学生が4.97%～21.62%であった一方で、前年度はアンケートの質問の仕方がやや違うものの、予習、復習を全く行っていないと答えた学生が各々4割、及び3割前後いたことを考えると、今年度は授業時間外学習を行った学生が増えており、これは教員側から予習・復習の重要性を説明している結果が表れているのではないかと考えられる。また、教員の授業に対する意欲や熱意に関しても満足度は良好であり、授業に全体として満足できたとする割合が73.45%～89.64%とかなり高かったのは評価できると考えられる。一方で、シラバスの活用度はまだ十分であるとは言い難い状況であり、学生に引き続きシラバスの活用を促していく必要があると考えられる。また、アクティブラーニングの実施がまだ十分に浸透していないと考えられ、この点についても改善が必要であると考えられる。

「次年度の授業改善目標」

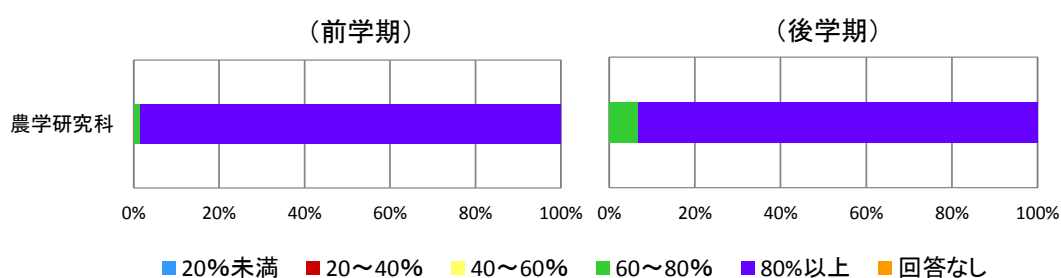
上記に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上に取り組み、学習管理を支援するラーニングポートフォリオの活用を促す。

大学院農学研究科授業評価分析結果

農学研究科は、応用生物科学、生物環境保全学、資源循環生産学、地域社会開発学、生命機能科学の5コースから構成される。授業評価アンケートは5コースの教員が担当する授業科目を一つに集約した結果に基づいて報告する。

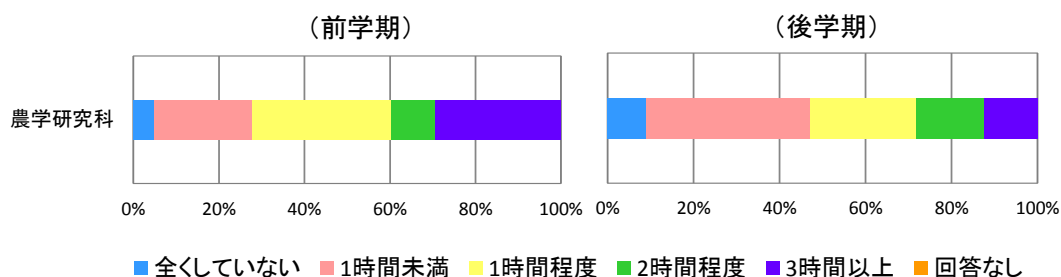
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



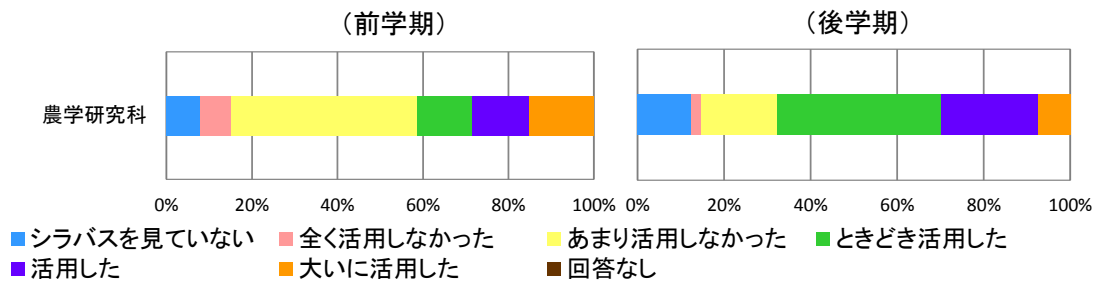
出席率が80%以上の学生は、前期では98.41%、後期では93.39%であり、出席状況は良好であった。後期に若干、出席率が落ちているが、前後期を通じて、出席率が60%未満の学生はいなかった。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



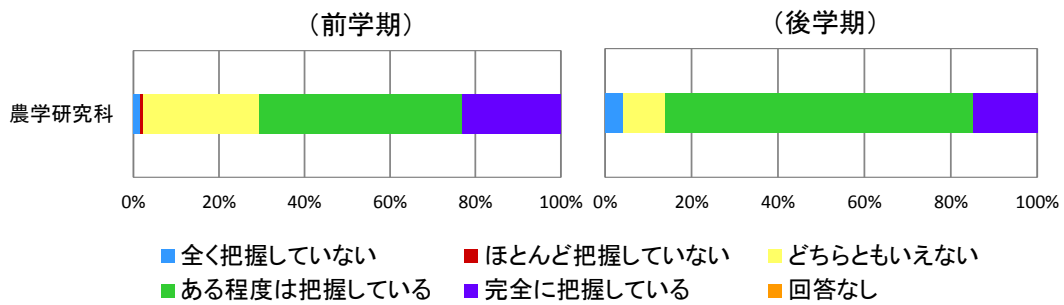
全くしていないと答えた学生は、前期では4.76%、後期では9.09%であった。また、1時間未満と答えた学生は、前期では23.02%、後期では38.02%であった。従って、授業時間外学習が不足している学生が、学部生同様、相当数いることが明らかとなった。一方で、3時間以上と答えた学生も、前期では29.37%、後期では12.40%おり、学生によって授業時間外学習の幅に大きな違いがあることが明らかとなった。なお、前期の方が後期と比較して長時間の授業時間外学習をしている学生が多いことも明らかとなった。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスを「大いに活用した」、「活用した」、「ときどき活用した」、と回答した学生の合計は、前期では41.27%、後期では67.77%であった。学部生と比較すると若干高いが、それでも十分とは言い難い状況であるため、学生に引き続きシラバスの活用を促していく必要があると考えられる。

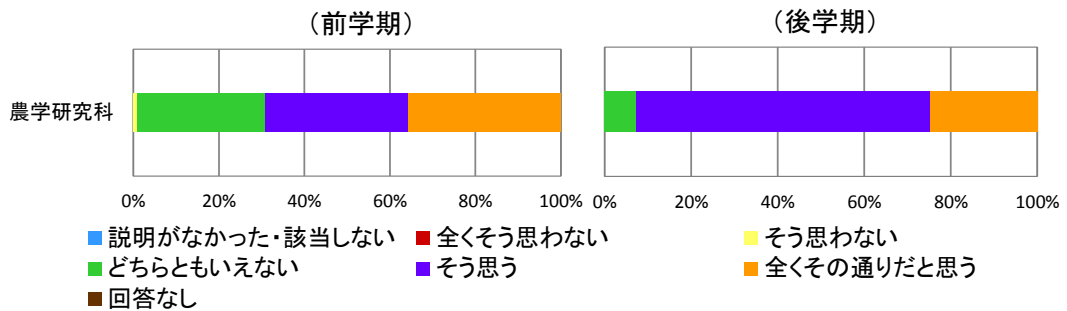
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



学習到達目標や成績評価基準を「完全に把握している」、「ある程度は把握している」、と答えた学生の合計は、前期では70.63%、後期では85.95%であった。大部分は把握しているが、より周知をはかる必要がある。なお、後期の方が、把握率が高かったのは、A-3の結果と関係があるとも思われる。

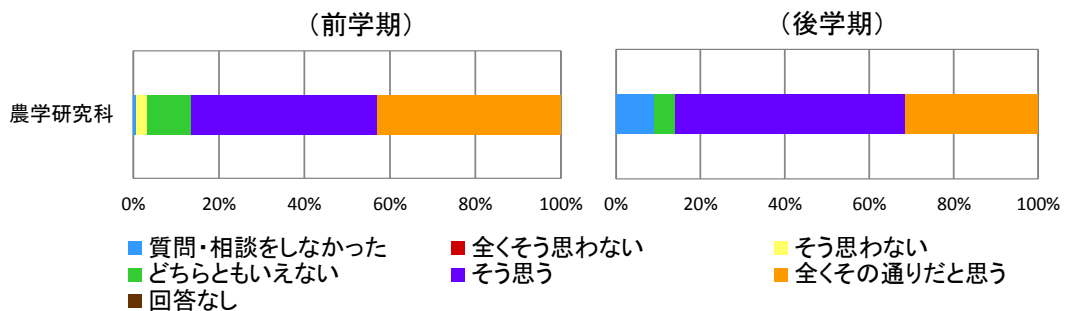
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



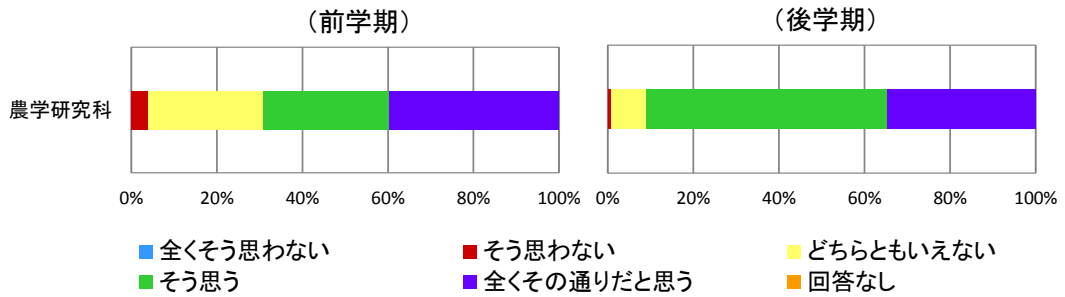
教育方法や成績評価方法等の説明が有益でしたかという問いに、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と答えた学生の合計は、前期では 69.05%、後期では 92.56%であった。従って、特に後期ではほぼ十分な満足が得られていると考えられる。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



質問や相談に適切に対応してくれたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では 86.51%、後期では 85.95%であり、かなりの満足感が得られていることがわかった。なお、この満足度は、学部生の結果よりも高かった。なお、質問・相談をしなかった率は学部生よりも大学院生の方が低く、特に大学院の前期ではわずか 0.79%という値であった。

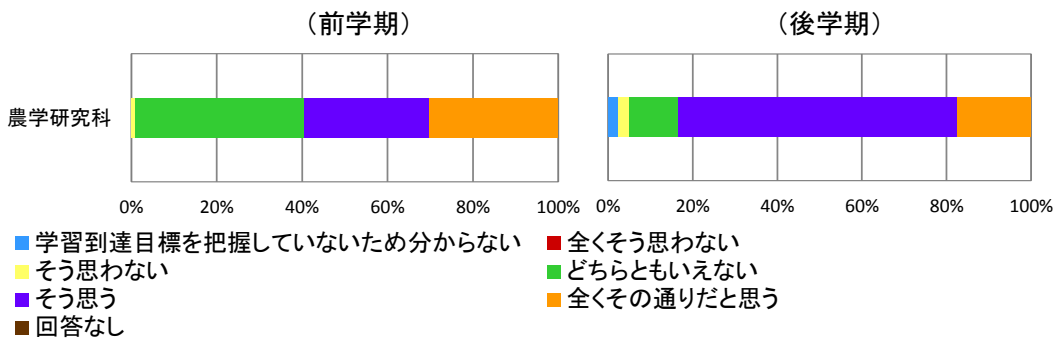
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



意欲や熱意が感じられたという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では69.05%、後期では90.91%であり、特に後期では満足感が高かった。また、「そう思わない」とした学生もわずかに存在するため、厳しい評価となった科目に関しては改善が必要であると考えられる。

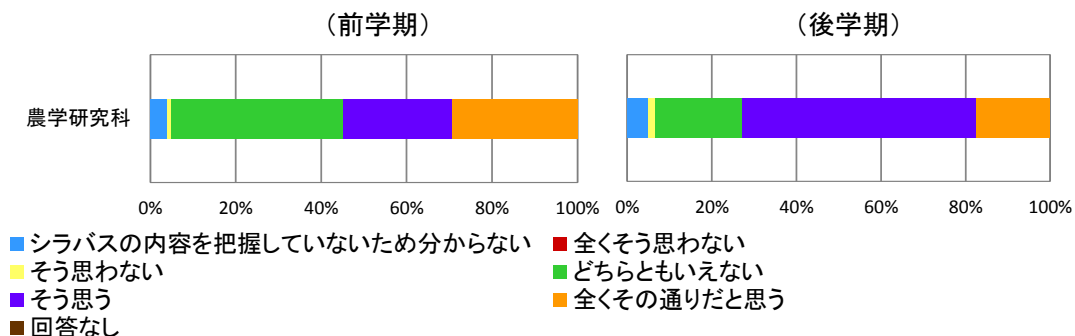
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



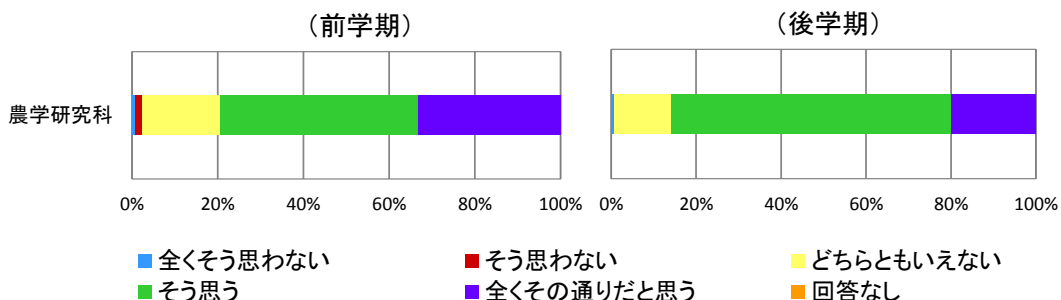
学習到達目標を達成できたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では59.52%、後期では83.47%であった。前期よりも後期の方が多価格、前期では「どちらともいえない」が39.68%と目立つ結果となった。

G-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



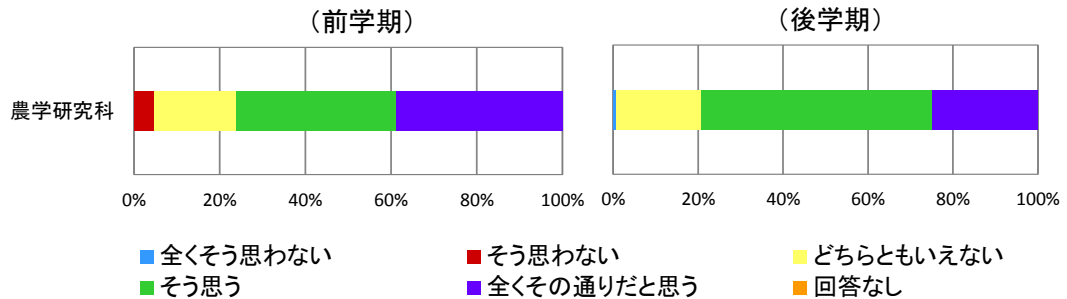
授業内容がシラバスに基づいていたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では54.76%、後期では72.73%であり、後期の方が高かった。また、「シラバスの内容を把握していないため分からない」と回答した学生も見られ、シラバス活用の周知をより一層図る必要がある。

G-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



教材やICT環境が授業の理解に役立ったかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では79.37%、後期では85.95%であった。これらは学部生の結果よりも高く、かなり高い満足感が得られていることが分かった。

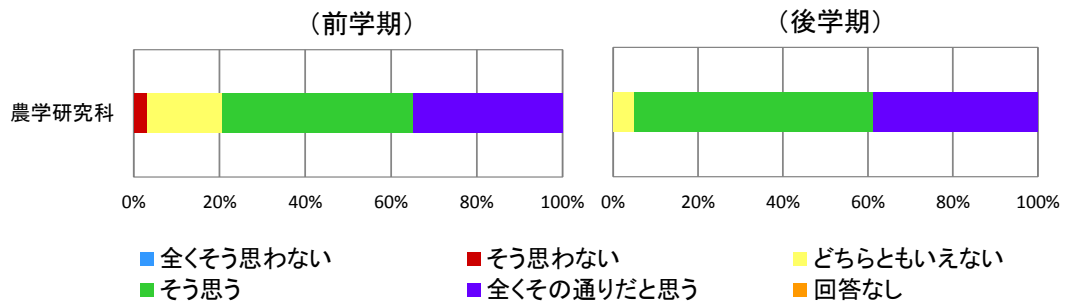
G-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があったかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では76.19%、後期では79.34%であり、おおむね良好な結果だと言える。なお、これらの率は、学部生よりも高かった。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



授業に全体として満足できた（「全くその通りだと思う」、「そう思う」）と答えた学生の割合は、前期では79.37%、後期では95.04%であり、特に後期では非常に高い満足度が得られていることが分かった。

総括

「学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準」

「学生から高い評価を得ている授業科目」については、学部の総括でも述べたとおり、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは困難であると判断した。特に、農学研究科では 1 科目の受講者数が少ないため、授業科目を選択することは適切ではないと考えられる。

「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」

出席率は、出席率 80%以上の学生が、前期で 98.41%、後期で 93.39%と高かった。また、教員の授業に対する意欲や熱意、並びに授業の全体としての満足度に関しては、前後期でばらつきがあったものの良好であったと言える。また、学部ではアクティブラーニングの実施は十分とは言い難かったが、大学院に関しては、アンケートの結果からかなり充実していると考えられる。一方、授業時間外学習については、全くしていない、あるいは 1 時間未満と答えた学生が、前期で合計 27.78%、後期で合計 47.11%と高い率を示した。大学院では自ら学ぶ姿勢も非常に重要であることから、今後、指導を行っていく必要があると考えられる。また、シラバスの活用に関しても、学部生と比較すると若干高いものの十分とは言い難い状況であるため、この点も改善が必要である。

「次年度の授業改善目標」

上記に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上とポートフォリオシステム（研究指導実施報告）の効果的活用に取り組む。

平成27年度 組織別授業評価報告書

平成28年9月

佐賀大学全学教育機構

1. はじめに

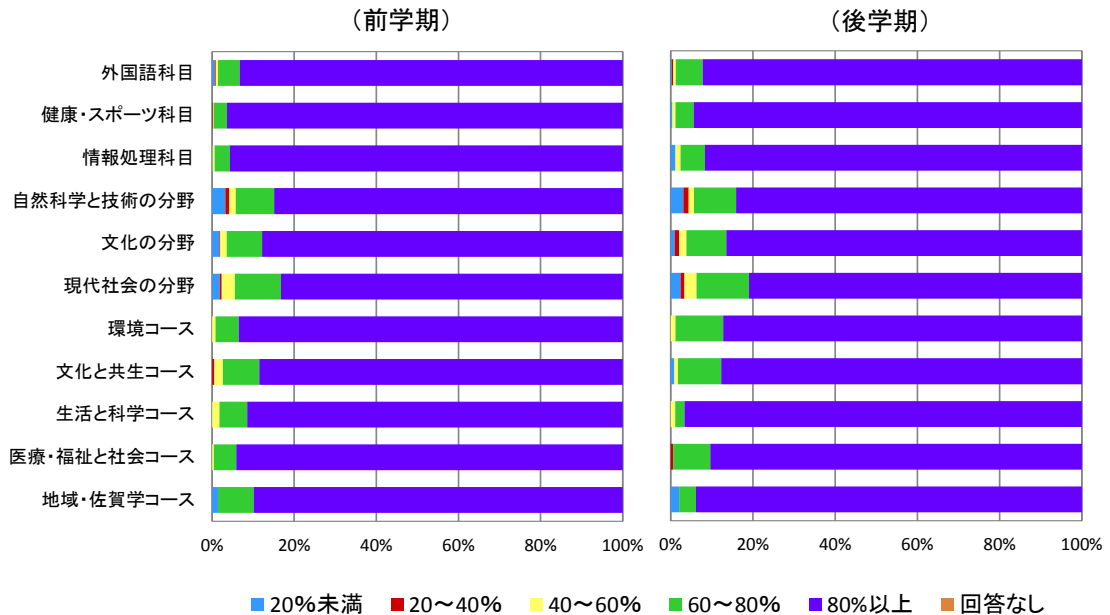
全学教育機構は、これまでの教養教育運営機構に代わり、平成 25 年度より、1 年次生を対象に新しい教育カリキュラムを開始した。平成 27 年度には、完成年度を迎え、大学入門科目、外国語科目、健康・スポーツ科目、情報リテラシー科目、基本教養科目（「自然科学と技術の分野」、「文化の分野」、「現代社会の分野」）、インターフェース科目の全科目が開講された。

全学教育機構では、教員の授業改善とカリキュラム改善を目的として全ての授業科目において「学生による授業アンケート」を実施している。平成 27 年度は LiveCampus による共通アンケートシステムを利用した。ほとんどの科目で授業評価アンケートが実施され、その結果を用いた授業点検・改善報告が各教員により行われた。分野による特徴は見てとれるものの、いずれの分野・コースとも学生の授業への取り組みは良好であると思われる。具体的には、学生による「学習目標」および「成績評価基準」の把握、教員による教材および学生への対応などが良好である。しかしながら、学習到達目標の達成状況や満足度については分野の違いが現れていると思われ、授業時間外学習時間については、十分とはいえない。この点については、組織的なシラバス点検を通じたシラバスの継続的な見直しやティーチング・ポートフォリオを活用した教育情報の共有等による教育改善が必要だと思われる。

2. 授業アンケート結果と分析

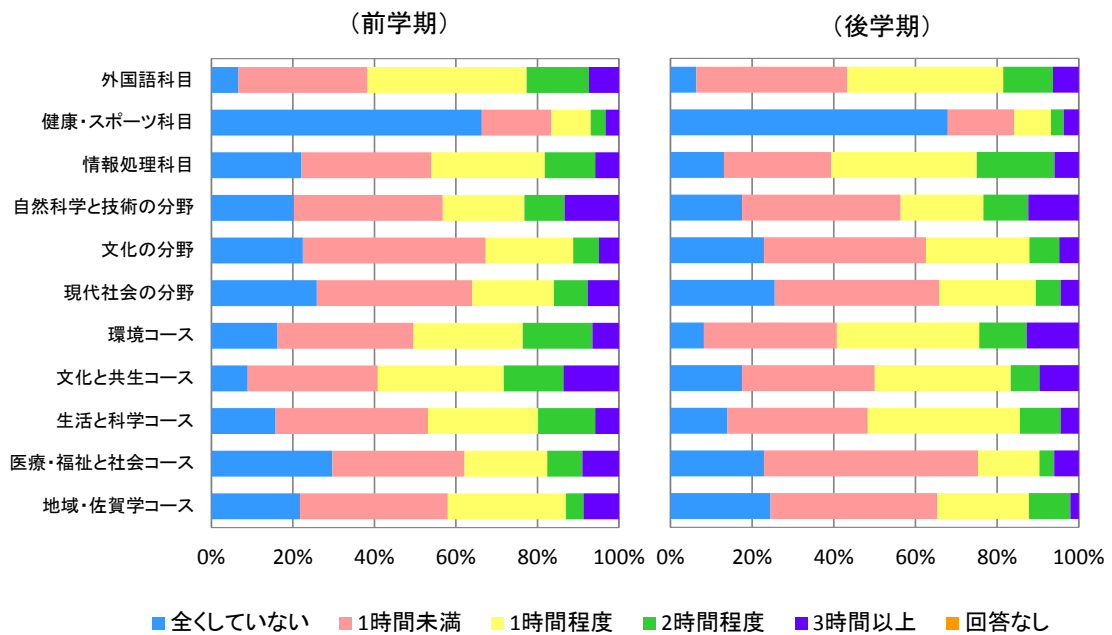
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



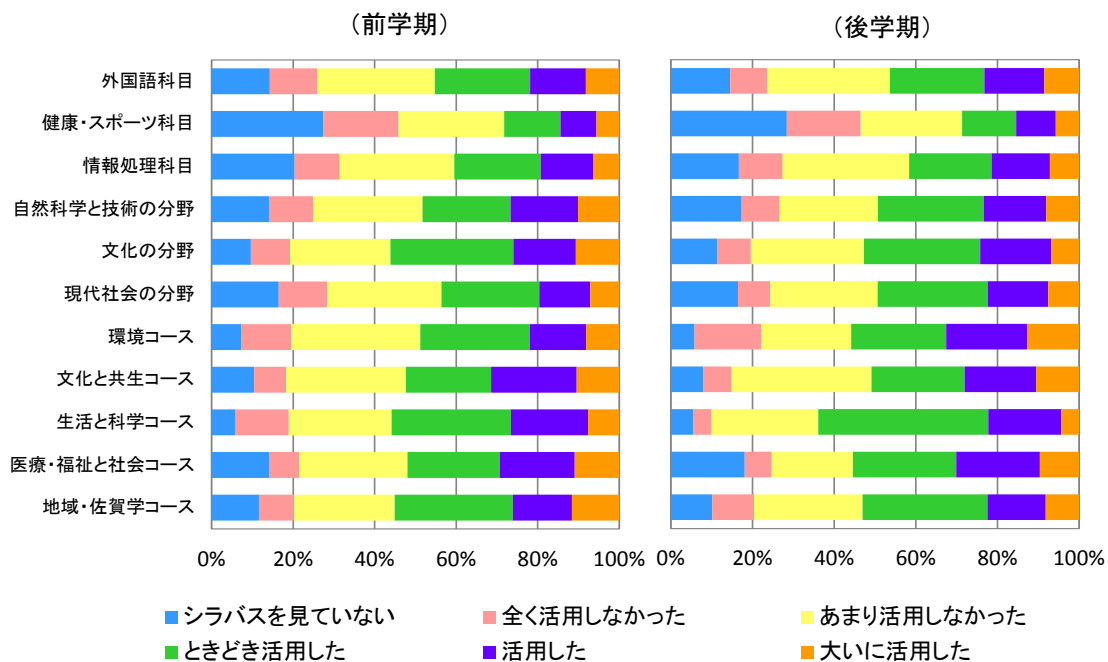
前期、後期とも、出席の状況は良好である。いずれも「80%以上」出席をした学生が最も多く、特に、「外国語科目」、「健康・スポーツ科目」、「情報処理科目」、インターフェース科目「生活と科学コース」「医療・福祉と社会コース」「地域・佐賀学コース」では「80%以上」の割合が約90%である。分野間に差はあるものの、おおむね高い出席率となっている。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



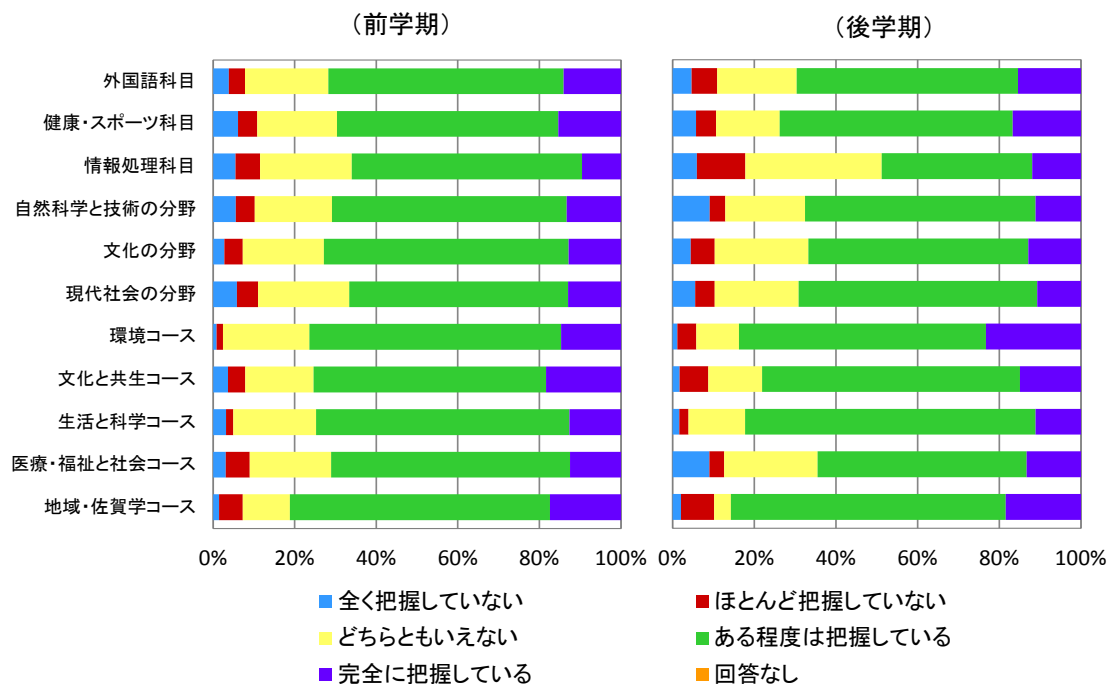
「1 時間程度」以上でみた場合、「外国語科目」、「情報処理科目」、インターフェース科目「環境コース」、「文化と共生コース」、「生活と科学コース」の授業時間外学習時間が多い。これらの科目では、授業時間外学習に対する指導が適切に行われていることが伺える。しかしながら、時間数で見ると約 8 割の学生が 1 時間未満の状態、シラバスの組織的な点検以外にも、授業時間外学習を増やす取り組みが望まれる。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



「健康・スポーツ科目」および「情報処理科目」を除けば、いずれの分野・コースとも「大いに活用した」と「活用した」「ときどき活用した」の回答が 40～50%程度であり、「シラバスを見ていない・全く活用しなかった」の回答が 20%程度である。授業の第1回目において、授業担当者が、今まで以上にシラバスの説明を丁寧に行ったり、普段の授業において学生にシラバスを読ませるなど、シラバスを見る習慣をつける工夫が必要と思われる。

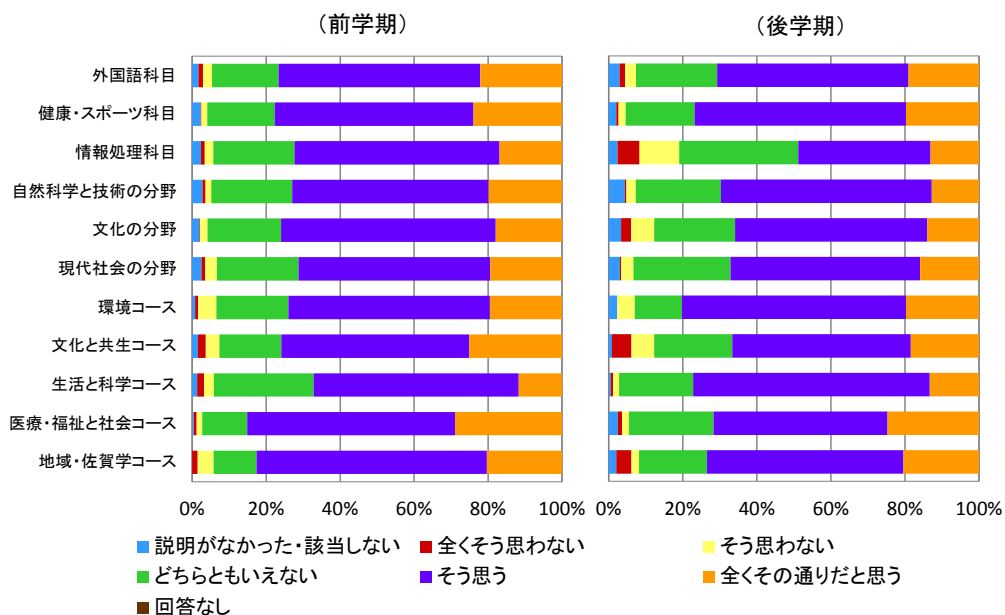
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



後学期の「情報処理科目」を除けば、おおむね60-70%の学生が授業の学習目標と成績評価基準を「完全に把握している」及び「ある程度は把握している」と答えており、全体的に、後学期よりも前学期の方が良好である。一方、「把握していない」「全く把握していない」と回答した学生は10%~15%程度であった。全体としては、組織的なシラバス点検や授業でのシラバスの説明が有効に機能していると判断されるが、「情報処理科目」では、学習目標の把握度はやや低い。組織的なシラバス点検を継続し、授業において学習目標や成績評価基準をより丁寧に説明したりするなど、更なる改善に努めたい。

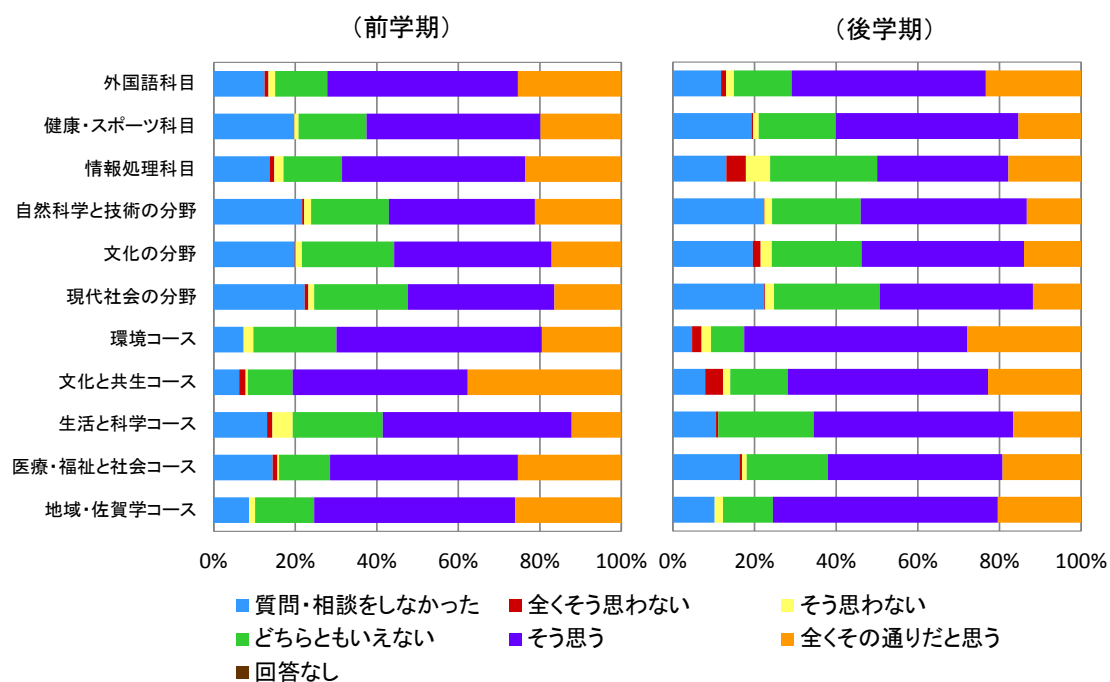
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



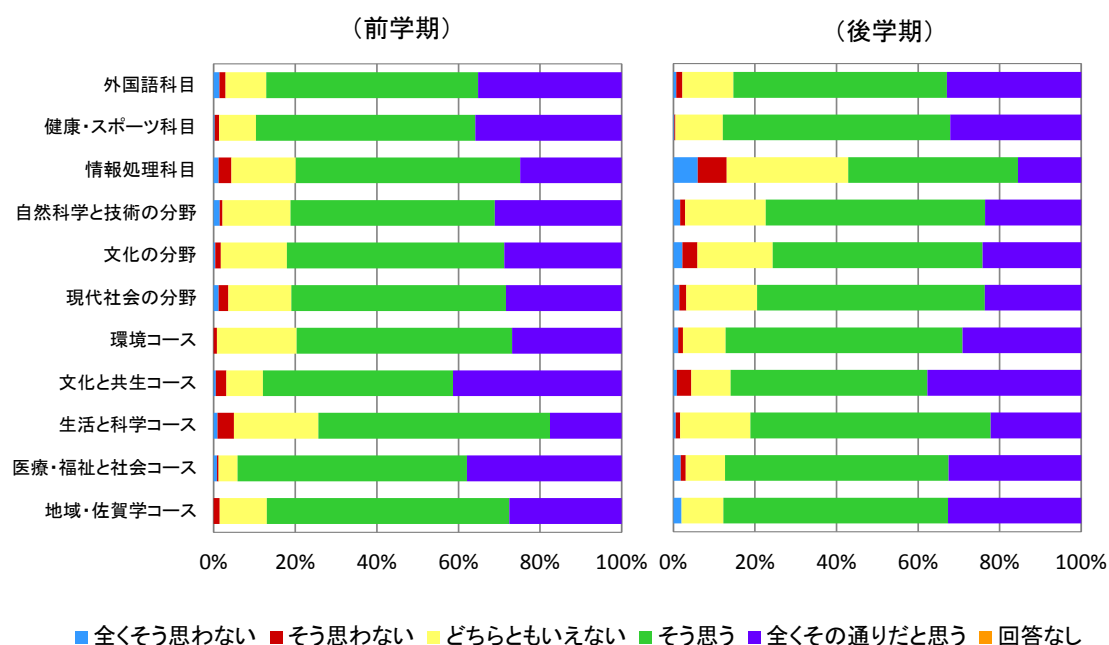
後期の「情報処理科目」を除けば、平均して7割程度が有益だと感じている。また、後学期よりも前学期の方が良好である。これは、今年から追加されたアンケート項目であるため、次年度以降の結果を注視したい。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



すべての分野・コースにおいて50%以上の学生が肯定的に回答しており、概ね適切な対応が取られていると判断される。特に、インターフェース科目では、肯定的な回答が高い傾向にあり、おおむね60%以上の学生が肯定的に回答している。一方で、「質問・相談をしなかった」との回答も一定数ある。これは、教員の指導力が向上して学生の理解度が増したのか、単に質問したくてもできない状況にあるのか、分からないが、このような現状を教員は把握しておくべきであろう。

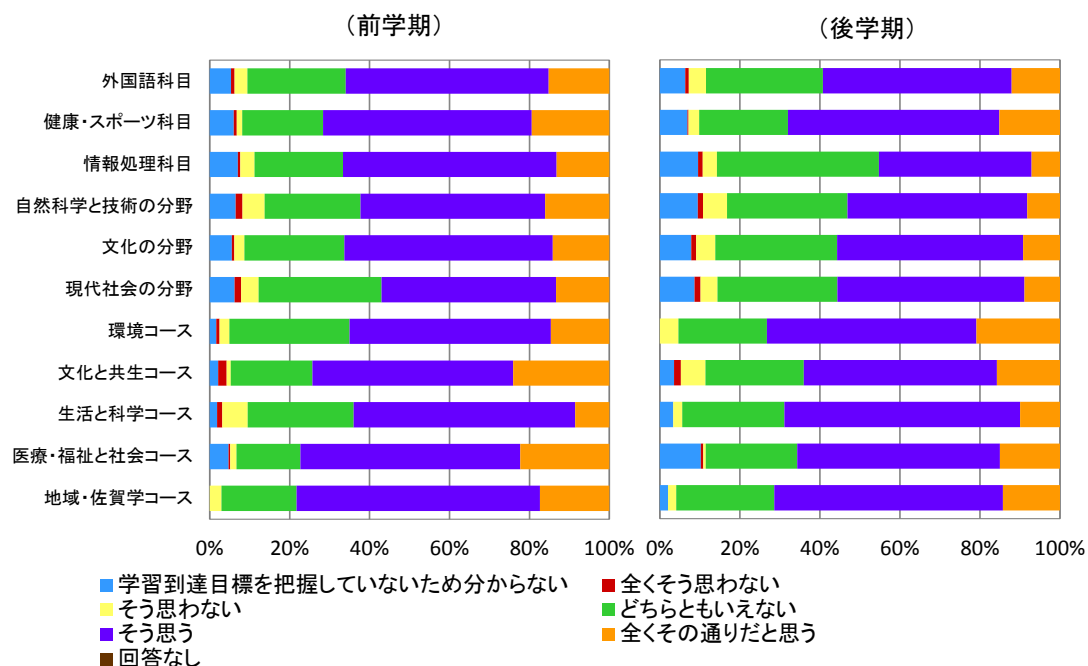
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



後学期の「情報処理科目」を除けば、「全くその通りだと思う」と「そう思う」との回答が80%前後あり、教員の授業への意欲や熱意が学生へ伝わっていると思われる。後学期の「情報処理科目」において、「全くそうは思わない」、「そうは思わない」の回答がやや高いが、これはB-1の傾向と同じである。授業に対する意欲や熱意を学生に伝える上では、教員が自身の教育理念を語る事が大切であることを示しているのかもしれない。

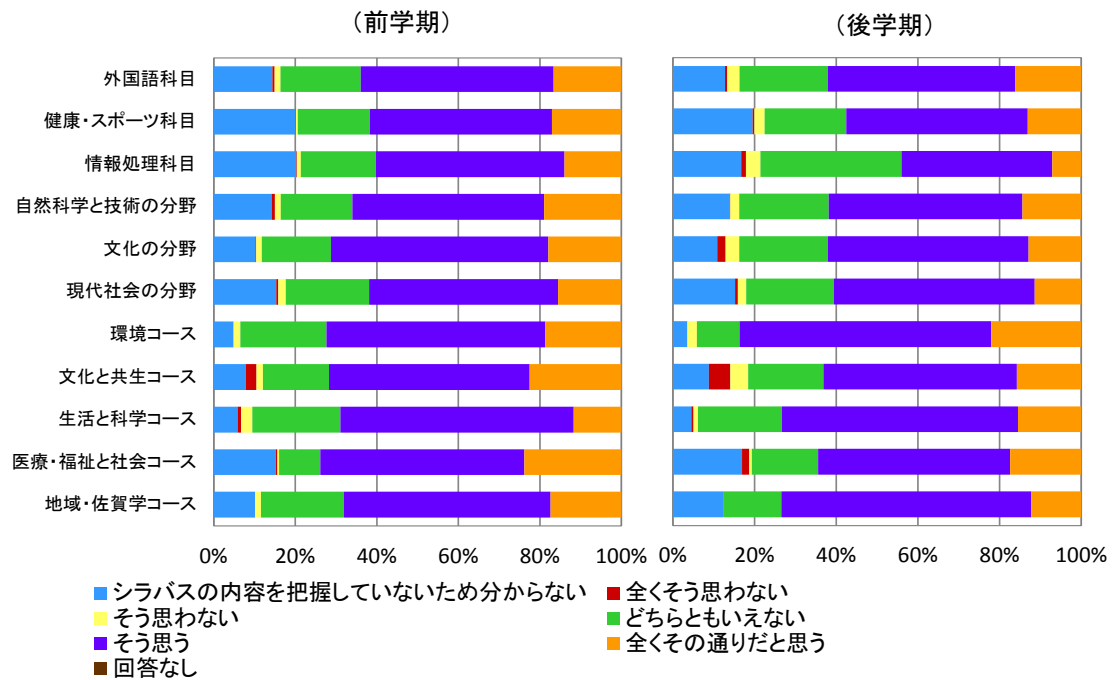
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



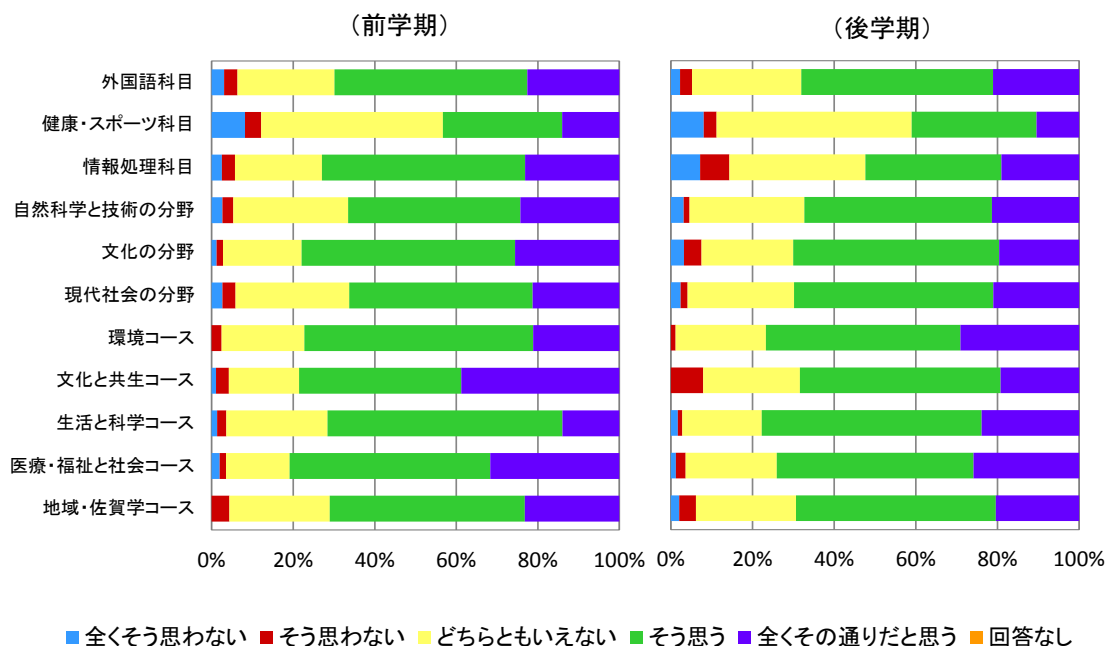
後ろ学期の「情報処理科目」を除けば、おおむね 60-70%の学生が「全くその通りだと思う」及び「そう思う」と答えており、全体的に、後学期よりも前学期の方がよい。一方、「学習到達目標を把握していないため分からない」との回答が 5%-10%あり、組織的なシラバス点検を継続し、授業においては学習到達目標を意識した授業展開を図るなど、更なる改善に努めたい。

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



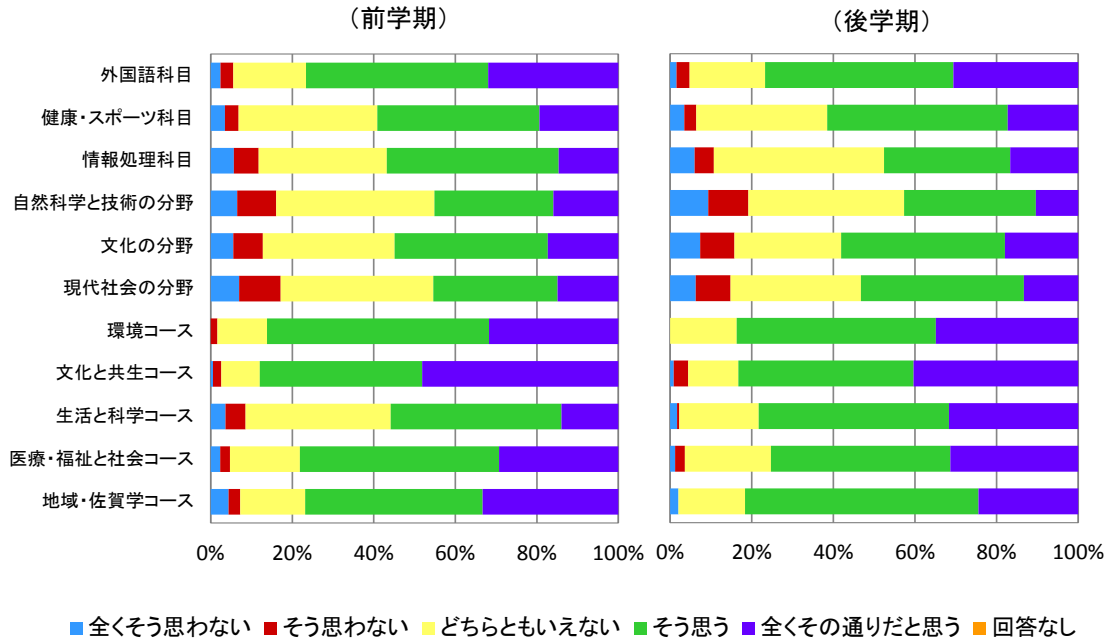
後学期の「情報処理科目」を除けば、いずれの分野・コースとも「全くその通りだと思う」と「そう思う」の回答 60～70%程度であり、「全くそう思わない」と「そう思わない」の回答が 10%程度であり、概ねシラバスに基づいた授業が行われていると判断できる。一方、「シラバスの内容を把握していないため分からない」との回答が一定数あり、A-3と同様にシラバスを見る習慣を学生に付けさせる工夫が必要だと思われる。

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



「健康・スポーツ科目」と後学期の「情報処理科目」を除けば、「全くその通りだと思う」と「そう思う」の回答が、60%~70%あり、教材やICT環境が授業の理解に役立っていると評価されている。一方、全体的に「どちらともいえない」との回答が20%前後ある上、「健康・スポーツ科目」と後学期の「情報処理科目」では、20%以上ある。情報処理科目ではコンピューターについて学んでいるはずだが、そこではICT環境を活用していると実感していないのかもしれない。今後は、これを踏まえ、学生に見える形での教材開発やICT環境の活用について検討したい。

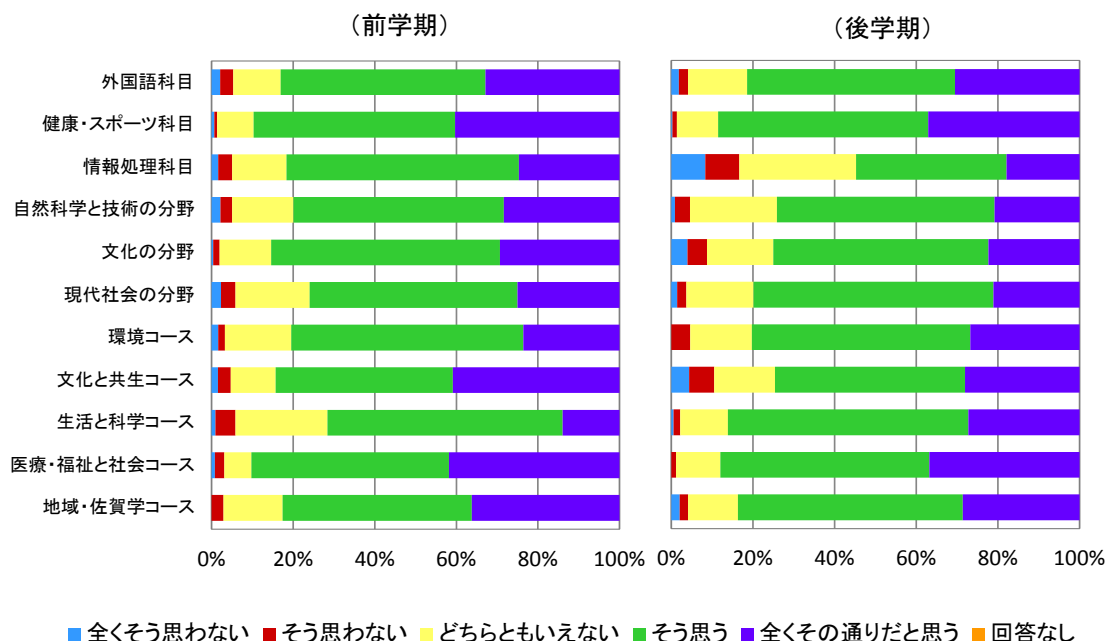
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



本項目は、アクティブ・ラーニングの全学的な導入を踏まえて本年度から授業アンケートに追加されたものである。インターフェース科目では、前学期の「生活と科学コース」を除けば、約80%の学生が肯定的に回答している。インターフェース科目はアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れており、この結果はそのことを示している。今後は、基本教養科目にもアクティブ・ラーニングを展開していきたい。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



後学期の「情報処理科目」を除き、いずれの分野・コースとも、「全くその通りだと思う」と「そう思う」と回答している学生が、70-80%であり、概ね満足のいく授業がなされていると判断されるが、後学期の「情報処理科目」においては、「全くそうは思わない」と「そうは思わない」という回答が約20%ある。後期の「情報処理科目」は難易度が上がるため、学生の満足度は低くなってくると推察されるが、引き続き授業点検・改善報告書の作成等を通じて、授業担当教員による検証が必要と思われる。

3. 学生から高い評価を得ている授業科目の選定基準

全学教育機構では、この項目に対する明確な選考基準の確定に至っていないが、佐賀大学教育功績等表彰（2号表彰）の選考時には授業アンケート結果も利用している。

4. 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

優れた点：

インターフェース科目では、アクティブラーニングを積極的に取り入れている。また、「インターフェース科目履修者に対するアンケート」を実施し、インターフェース教育の中間段階における教育目的の達成度や学生の関心度などを調査した。その結果、平成26年度に比べて、「履修しているプログラムのテーマについて興味が沸きましたか」、「グループ活動や調査・実習などに、積極的に参加できましたか」、「グループ活動などで、相手の立場に立って考え、発言することができましたか」などの項目で肯定的に回答する割合が向上しているのを確認した。

改善すべき点：

授業改善に対する取り組みとして、シラバス組織的な点検、教員会議におけるFD講演会の開催、授業評価アンケートの実施、TA実施報告書の作成、および授業点検・改善報告書のオンライン入力を行った。しかしながら、授業点検・改善報告書の作成率が50%に留まっている。

5. 次年度の授業改善目標

平成27年度にはインターフェース科目の完成年度を迎えた。これまでの実績や教員の退職や異動などの状況を踏まえて、インターフェース科目を継続実施できるよう必要に応じて見直しを行う。また、授業点検・改善報告書および標準版ティーチング・ポートフォリオの作成率向上を図る。

おわりに

平成 27 年の授業評価アンケートは LiveCampus による共通アンケートシステムを用いて実施された。Web システムによるアンケートのため、アンケートの実施率は高いが、各部署の報告にもあるように回答率は必ずしも高いとはいえない。特に、本年度は、アンケート項目を見直し、項目数も大幅に削減したが、残念ながら回収率の向上には繋がらなかった。

平成 20 年度から義務化された FD 活動も見直しの時期に来ており、本学でも平成 23 年度の佐賀大学ポートフォリオ学習統合システムの運用開始、平成 24 年度のティーチング・ポートフォリオ実施要項および実施要領の策定など、FD 活動の改善を図っている。しかしながら、佐賀大学の全教員がその趣旨を理解し、授業改善に利用されているかと問われれば、まだまだ不十分であると言わざるを得ない。数字だけ見れば、簡易版ティーチング・ポートフォリオの作成率については、平成 27 年度末時点で 100% を達成し、「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」に基づき実施されている「授業点検・評価報告書」の作成率はようやく 100% に近づいてきた。今後は、これらの活動を有機的に結び付け、大学全体として教育力の向上を図る必要がある。

現に、認証評価基準において「教育の内部質保証」が重点項目になる見込みで、第 3 期中期目標・中期計画期間中は、これまで以上に教育の質保証が問われ、組織として、教育の質向上を図るための PDCA サイクルの実行が強く求められる。組織的な取り組みとしては、授業点検・改善報告書や簡易版 TP に加え、平成 26 年度開講科目より行った組織的なシラバスの点検や授業科目毎の成績分布の検証がある。これらの活動が、継続的に行われ、実を結び本学全体の教育力の向上につながることを切に願っている。

資料1 佐賀大学学生による授業評価実施要領

佐賀大学学生による授業評価実施要領

(趣旨)

第1条 授業改善を目的とする学生による授業評価（以下「授業評価」という。）の実施に関する事項は、この要領に定めるところによる。

(評価の実施)

第2条 授業を担当する教員（非常勤講師を含む。）は、授業科目毎に授業評価（以下「個別授業評価」という。）を実施する。

2 学部及び学科等の教育組織（以下「教育組織」という。）は、前項の個別授業評価等进行分析し、教育組織毎に授業評価（以下「組織別授業評価」という。）を実施する。

(評価の支援)

第3条 大学は、授業評価の実施に必要な全学共通のアンケートシステム（以下「授業評価アンケートシステム」という。）を提供し、集計を行うなどの方法により、前条の授業評価の実施を支援する。

(個別評価結果の利用)

第4条 個別授業評価の結果は、授業担当者に提供し、授業担当者は、個別授業評価の結果を授業の改善等に利用するものとする。

2 前項の規定は、各授業担当者による評価結果の公表又は提供及び組織別授業評価のための集計を妨げるものではない。

3 個別授業評価の結果は、教員個人の評価には用いない。

4 個別授業評価の結果は、学生個人の成績評価に利用してはならない。

(組織別評価結果の利用)

第5条 教育改善のための調査研究を行う組織は、大学教育委員会の了承を得て、授業評価の結果を利用することができる。

(調査方法)

第6条 大学教育委員会は、個別授業評価のための授業評価アンケートシステムを利用した調査方法等について定める。

2 前項の規定は、教員又は教育組織が調査項目等を追加することを妨げるものではない。

(調査対象)

第7条 個別授業評価の対象となる授業科目は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 学部が開設する授業科目
- (2) 全学教育機構が開設する授業科目
- (3) 研究科が開設する授業科目

2 授業科目を開設する学部等（全学教育機構及び研究科を含む。）の長が、授業科目の特性により、授業評価アンケートシステムを用いて調査することが適切でないと判断した場合は、他の方法により調査することができるものとする。この場合において、授業評

価アンケートシステムを用いない授業担当者は、大学教育委員会が指定する日までに当該授業科目名を教務課に届け出るものとする。

(実施方法)

第8条 個別授業評価の実施、集計及び集計結果の公表の方法については、大学教育委員会の議を経て、委員長が別に定める。

2 前項の規定は、教員又は教育組織が、独自の調査を実施することを妨げるものではない。

(雑則)

第9条 この要領に定めるものの他、授業評価の実施に関して必要な事項は、大学教育委員会の議を経て、委員長が定める。

附 則

1 この要領は、平成18年10月1日から実施する。

2 この要領は、当分の間、医学部・医学系研究科には適用しない。

附 則 (平成22年11月22日改正)

この要領は、平成22年11月22日から実施する。

附 則 (平成25年2月5日改正)

この要領は、平成25年4月1日から実施する。

附 則 (平成26年2月18日改正)

この要領は、平成26年4月1日から実施する。

資料2 佐賀大学学生による授業評価結果を用いた授業改善実施要領

佐賀大学学生による授業評価結果を用いた授業改善実施要領

(平成18年12月22日制定)

(趣旨)

第1条 佐賀大学学生による授業評価実施要領(平成18年6月27日制定。以下「授業評価実施要領」という。)第2条に定める個別授業評価及び組織別授業評価の結果は、授業評価実施要領に定めるもののほか、この要領の定めるところにより、授業の改善を通じて教育の質の向上に利用する。

(報告)

第2条 授業を担当する教員(非常勤講師を含む。)は、授業科目ごとに実施する授業評価の結果及び授業の改善目標について、学期ごとに、ポートフォリオ学習支援統合システムを利用して、授業全体について又は授業科目別に報告する。

2 前項の規定にかかわらず、非常勤講師については、同項中「ポートフォリオ学習支援統合システムを利用して」とあるのを「別紙様式に定める授業点検・評価報告書に準じて」と読み替えて適用する。

3 学部又は学科等(以下「教育組織」という。)は、個別授業評価及び組織別授業評価の結果に基づき、次に掲げる事項について組織別授業点検・評価報告書を作成する。

(1) 各種アンケートの学科等別及び授業科目別の集計結果

(2) 各種アンケートの結果から総合的に判断して、学生から高い評価を得ていると教育組織が認定する授業科目

(3) 個別授業評価に係る情報が一切ない授業科目

(4) 教育組織の授業改善の取組状況に係る優れた点及び改善を要する点

(5) 次年度の学部又は学科等の授業改善目標

(報告書等の利用)

第3条 教育組織の長は、前条第3項に定める組織別授業点検・評価報告書に基づき、必要に応じて教育課程の見直し等の具体的かつ継続的な方策を講じる。

2 前条第1項及び第2項の規定による個別授業点検・評価報告書及び同条第3項の組織別授業点検・評価報告書は、教育組織が実施する研修会等に利用し、オンラインで公表する。

3 前条第3項第2号に該当する授業科目における取組は、授業の改善に広く資するよう、教育組織が実施する研修会等又は公開授業により周知する。

附 則

1 この要領は、平成18年12月22日から実施する。

2 この要領は、当分の間、医学部及び医学系研究科において実施される授業評価には適用しない。

附 則

この要領は、平成20年2月8日から実施する。

附 則(平成25年9月12日改正)

この要領は、平成25年9月12日から実施する。

資料3 学生による授業評価アンケート様式

ホーム > 授業評価アンケートメニュー > 授業評価アンケート管理メニュー > 授業評価アンケート詳細 > 授業評価アンケート設問一覧 > 授業評価アンケートプレビュー



アンケート 授業評価アンケートプレビュー

◀ 一覧へ戻る

一部結果公開中

平成27年度前学期「学生による授業アンケート」

提出有効期限

2015/07/24【00:00】 - 2015/09/02【00:00】

匿名区分

実名

プレビュー

このアンケートは授業改善に役立てることを目的としています。回答は、成績評価に影響することは一切ありません。This survey is used to improve the classes. This survey is never connected with your grading.

参考資料

- A あなた自身について
- 出席率はどのくらいですか。/ What is the percentage of your own class attendance during the whole class?
- A-1 ※
- | | | | | |
|--|--|--|--|---|
| <input type="radio"/> 20%未満
(under 20%) | <input type="radio"/> 20~40%未満
(20~40%) | <input type="radio"/> 40~60%未満
(40~60%) | <input type="radio"/> 60~80%未満
(60~80%) | <input type="radio"/> 80%以上 (more than 80%) |
|--|--|--|--|---|
- A-2 How many hours did you spend doing your homework (the preparation and review of lessons, the writing of research papers, etc.) for each lesson?
授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。
- A-2 ※
- | | | | | |
|--|---|---|--|---|
| <input type="radio"/> 全くしていない
(0 hours) | <input type="radio"/> 1時間未満
(under 1 hour) | <input type="radio"/> 1時間程度
(about 1 hour) | <input type="radio"/> 2時間程度
(about 2 hours) | <input type="radio"/> 3時間以上 (more than 3 hours) |
|--|---|---|--|---|
- この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。/ Did you make use of a syllabus to choose this class or to prepare and review the lessons?
- A-3 ※
- | | | | | | |
|---|---|--|---|--|--|
| <input type="radio"/> シラバスを見
ていない (no
idea) | <input type="radio"/> 全く活用し
なかった (never) | <input type="radio"/> あまり活用
しなかった
(little) | <input type="radio"/> ときどき活用した
(sometimes) | <input type="radio"/> 活用した (to
some extent) | <input type="radio"/> 大いに活
用した (much) |
|---|---|--|---|--|--|
- この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。/ I understand the objectives and assessment of academic achievement of this class.
- A-4 ※
- | | | | | |
|---|--|---|---|--|
| <input type="radio"/> 全く把握してい
ない (Strongly Disagree) | <input type="radio"/> ほとんど把握し
ていない (Disagree) | <input type="radio"/> どちらともい
えない (Neutral) | <input type="radio"/> ある程度は把
握している (Agree) | <input type="radio"/> 完全に把握し
ている (Strongly Agree) |
|---|--|---|---|--|
- B 教員の対応
- B-1 The teacher's explanation of his/her teaching methods and information about the assessment based on his/her teaching philosophy was useful.
教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。
- B-1 ※
- | | | | | | |
|---|---|---|---|--|--|
| <input type="radio"/> 説明がな
かった・該当し
ない (no idea) | <input type="radio"/> 全くそう思わ
ない (Strongly
Disagree) | <input type="radio"/> そう思わな
い (Disagree) | <input type="radio"/> どちらともい
えない (Neutral) | <input type="radio"/> そう思
う (Agree) | <input type="radio"/> 全くその通りだ
と思う (Strongly
Agree) |
|---|---|---|---|--|--|
- 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。/ The teacher's responsiveness to students' questions and concerns was appropriate.
- B-2 ※
- | | | | | | |
|--|---|---|---|--|--|
| <input type="radio"/> 質問・相談
をしなかった
(no idea) | <input type="radio"/> 全くそう思わ
ない (Strongly
Disagree) | <input type="radio"/> そう思わな
い (Disagree) | <input type="radio"/> どちらともい
えない (Neutral) | <input type="radio"/> そう思
う (Agree) | <input type="radio"/> 全くその通りだ
と思う (Strongly
Agree) |
|--|---|---|---|--|--|
- 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。/ The teacher appeared enthusiastic and interested.
- B-3 ※
- | | | | | |
|--|---|---|--|---|
| <input type="radio"/> 全くそう思わ
ない (Strongly Disagree) | <input type="radio"/> そう思わ
ない (Disagree) | <input type="radio"/> どちらともい
えない (Neutral) | <input type="radio"/> そう思
う (Agree) | <input type="radio"/> 全くその通りだ
と思う (Strongly Agree) |
|--|---|---|--|---|
- C 授業内容および授業方法について
- この授業の学習到達目標を達成できましたか。/ I reached the class objectives.
- C-1 ※
- | | | | | | |
|---|---|---|---|--|--|
| <input type="radio"/> 学習到達目標を
把握していないた
め分からない (no idea) | <input type="radio"/> 全くそう思わ
ない (Strongly
Disagree) | <input type="radio"/> そう思わな
い (Disagree) | <input type="radio"/> どちらともい
えない (Neutral) | <input type="radio"/> そう思
う (Agree) | <input type="radio"/> 全くその通りだ
と思う (Strongly
Agree) |
|---|---|---|---|--|--|
- 授業の内容はシラバスに基づいていましたか。/ The class was conducted based on the syllabus.
- C-2 ※
- | | | | | | |
|--|---|---|---|--|--|
| <input type="radio"/> シラバスの内容を
把握していないた
め分からない (no idea) | <input type="radio"/> 全くそう思わ
ない (Strongly
Disagree) | <input type="radio"/> そう思わな
い (Disagree) | <input type="radio"/> どちらともい
えない (Neutral) | <input type="radio"/> そう思
う (Agree) | <input type="radio"/> 全くその通りだ
と思う (Strongly
Agree) |
|--|---|---|---|--|--|
- C-3 The learning materials (textbooks, handouts, etc.) and the ICT environment (LiveCampus, Web pages for each class, e-learning, etc.) were useful.
教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか。
- C-3 ※
- | | | | | |
|--|---|---|--|---|
| <input type="radio"/> 全くそう思わ
ない (Strongly Disagree) | <input type="radio"/> そう思わ
ない (Disagree) | <input type="radio"/> どちらともい
えない (Neutral) | <input type="radio"/> そう思
う (Agree) | <input type="radio"/> 全くその通りだ
と思う (Strongly Agree) |
|--|---|---|--|---|
- C-4 The teacher stimulated critical thinking and analysis using a variety of instructional methods (e.g. group works, class discussions, etc.).

この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

C-4 ※ 全くそう思わない (Strongly Disagree) そう思わない (Disagree) どちらともいえない (Neutral) そう思う (Agree) 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

D 満足度

この授業は全体として満足できるものでしたか。 / Overall, the class was satisfactory.

D-1 ※ 全くそう思わない (Strongly Disagree) そう思わない (Disagree) どちらともいえない (Neutral) そう思う (Agree) 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

E 指定項目①

指定項目①(この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

E-1 該当しない・わからない (no idea) 全くそう思わない (Strongly Disagree) そう思わない (Disagree) どちらともいえない (Neutral) そう思う (Agree) 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

指定項目①(この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

E-2 該当しない・わからない (no idea) 全くそう思わない (Strongly Disagree) そう思わない (Disagree) どちらともいえない (Neutral) そう思う (Agree) 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

指定項目①(この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

E-3 該当しない・わからない (no idea) 全くそう思わない (Strongly Disagree) そう思わない (Disagree) どちらともいえない (Neutral) そう思う (Agree) 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

指定項目①(この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

E-4 該当しない・わからない (no idea) 全くそう思わない (Strongly Disagree) そう思わない (Disagree) どちらともいえない (Neutral) そう思う (Agree) 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

指定項目①(この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

E-5 該当しない・わからない (no idea) 全くそう思わない (Strongly Disagree) そう思わない (Disagree) どちらともいえない (Neutral) そう思う (Agree) 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

F 指定項目②

指定項目②(この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

F-1 0 1 2 3 4 5

指定項目②(この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

F-2 0 1 2 3 4 5

指定項目②(この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

F-3 0 1 2 3 4 5

指定項目②(この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

F-4 0 1 2 3 4 5

指定項目②(この部分は教員の指示に従って記入してください。) / Questions specially given. (Use this column according to the teacher's instruction)

F-5 0 1 2 3 4 5

この授業科目について気づいたことがあれば、何でもお書き下さい。 / Please give your comments about this class freely.

自由記述欄

※999文字以内で入力してください。
※スペースや改行(Enterキー)も文字としてカウントされます。

◀ 一覧へ戻る

各種設定 ▶

Copyright (c) 2015 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

資料 4 共通様式以外のアンケート様式
 < 医学部アンケート様式 >

学生による授業評価アンケート I (講義科目)

※5桁の場合は左づめで記入すること
 8桁の場合は初めの0を省略

実施年月日：平成 年 月 日

氏名	
----	--

授業科目名	
-------	--

※ 学 籍 番 号							
<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>
<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>
<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>
<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>
<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>
<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>
<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>
<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>
<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>
<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>

〔 注 意 事 項 〕

- (1) 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- (2) 記入にはHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- (3) 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- (4) < > の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。



1. この授業に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高 い	中 間	やや 低 い	低 い
1) 講義に対する出席の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) 復習や関連事項の自己学習の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 授業内容の修得、理解度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-1. この授業科目全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高 い	中 間	やや 低 い	低 い
1) この授業に対する総合的満足度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) あなたが感じたこの教科目の重要性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 授業内容に対して抱いた興味	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
4) 講義の編成や内容における一貫性、統合性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
5) 講義の工夫、講義資料等の活用・有効性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
6) この授業に対する配分時間の妥当性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可）、その記号をマークして下さい。
<A> 学習要項(シラバス)と講義の内容が一致していない 講義の内容がばらばらである <C> 講義内容に無意味な重複がある <D> 一方的な講義で追いついていけない <E> 講義資料が分かりにくい <F> スライド、OHPなどが分かりにくい <G> 講義内容が多すぎる <H> 授業時間が多すぎる <I> もっと授業時間を増やして欲しい <J> 現行より早い時期に開講して欲しい <K> 現行より遅い時期に開講して欲しい

2-3. この授業科目について、上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。

.....

.....

2-4. この授業科目について、よかったと思うことを書いて下さい。

.....

.....

学生による授業評価アンケートⅢ (PBL授業科目)

※5桁の場合は左づめで記入すること
8桁の場合は初めの0を省略

実施年月日：平成 年 月 日

氏名	
----	--

授業科目名	
-------	--

〔注意事項〕

- (1) 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- (2) 記入にはHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- (3) 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- (4) ◁ ▷ の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。

良い例 ◁ ▷ ◁ ▷ ◁ ▷

※ 学 籍 番 号					
◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷
◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷
◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷
◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷
◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷
◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷
◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷
◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷
◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷
◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷

1. この授業に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高い	中 間	やや 低い	低 い
1) 講義に対する出席の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
2) 復習や関連事項の自己学習の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
3) 授業内容の修得, 理解度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷

2-1. この授業科目全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高い	中 間	やや 低い	低 い
1) この授業に対する総合的満足度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
2) あなたが感じたこの教科目の重要性の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
3) 授業内容に対して抱いた興味の種類	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
4) 講義の編成や内容における統一性, 統合性の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
5) シナリオに対する興味の種類	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
6) この授業に対する配分時間の妥当性	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可）、その記号をマークして下さい。		
◁A▷ 講義の内容がばらばらである	◁B▷ 講義内容に重複がある	◁C▷ 講義内容が少なすぎる
◁D▷ 講義分担教官が多すぎる	◁E▷ シラバスが統一されていない	◁F▷ シナリオが複雑すぎる
◁G▷ シナリオが単純すぎる	◁H▷ もっと授業時間を増やして欲しい	◁I▷ もっと実習時間を増やして欲しい
◁J▷ 現行より早い時期に開講して欲しい	◁K▷ もっと遅い時期に開講して欲しい	

2-3. この授業科目について、上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。

.....

.....

2-4. この授業科目について、よかったと思うことを書いて下さい。

.....

.....

※このアンケートと成績は関係ありません。

学生による授業評価アンケートⅡ（実習科目）

※5桁の場合は左づめで記入すること
8桁の場合は初めの0を省略

実施年月日：平成 年 月 日

氏名	
----	--

授業科目名	
-------	--

〔注意事項〕

- (1) 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- (2) 記入にはHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- (3) 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- (4) < > の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。

良い例
悪い例
<•>
< >
<X>
—

※ 学 籍 番 号									
<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>
<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>
<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>
<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>
<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>
<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>
<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>
<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>
<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>
<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>

1. この実習に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高 い	や や 高 い	中 間	や や 低 い	低 い
1) 実習に対する出席の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) 復習や関連事項の自己学習の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 実習内容の修得、理解度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-1. この実習全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。	高 い	や や 高 い	中 間	や や 低 い	低 い
1) この実習に対する総合的満足度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) あなたが感じたこの実習の重要性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 実習内容に対して抱いた興味の種類	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
4) 実習の編成や内容における一貫性、統合性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
5) 実習の工夫、実習書や配布資料の活用・有効性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
6) この実習に対する配分時間の妥当性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
7) 実習環境の充実性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可）、その記号をマークして下さい。		
<A> 学習要項(シラバス)と実習の内容が一致していない	 実習内容が多すぎる	<C> 実習時間が多すぎる
<D> もっと実習時間を増やして欲しい	<E> 現行より早い時期に開講して欲しい	<F> もっと遅い時期に開講して欲しい
<G> もっと指導教官を増やして欲しい	<H> 実習書が分かりにくい	<I> 機材が不足している
<J> グループの人数が多すぎる		

2-3. この実習について、上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。
<div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 5px;"></div>

2-4. この実習について、よかったと思うことを書いて下さい。
<div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 5px;"></div>

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
文化教育学部	0.71%	0.13%	0.51%	6.38%	92.27%	0.00%
経済学部	1.04%	1.46%	2.51%	12.25%	82.74%	0.00%
理工学部	0.72%	0.26%	1.08%	5.39%	92.56%	0.00%
農学部	0.26%	0.13%	0.58%	1.98%	97.06%	0.00%
教養教育運営機構	0.91%	0.29%	1.03%	6.23%	91.54%	0.00%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
文化教育学部	14.64%	30.84%	28.95%	14.51%	11.07%	0.00%
経済学部	18.44%	43.77%	23.80%	7.86%	6.12%	0.00%
理工学部	5.54%	26.06%	37.32%	17.18%	13.90%	0.00%
農学部	12.92%	35.36%	31.14%	10.36%	10.23%	0.00%
教養教育運営機構	24.15%	31.91%	26.02%	10.75%	7.17%	0.00%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを覚えていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
文化教育学部	10.05%	13.90%	31.04%	21.90%	14.64%	8.47%	0.00%
経済学部	12.53%	13.15%	29.92%	20.81%	14.27%	9.32%	0.00%
理工学部	8.18%	10.54%	27.29%	27.19%	17.34%	9.46%	0.00%
農学部	9.53%	12.92%	36.06%	23.72%	10.36%	7.42%	0.00%
教養教育運営機構	16.70%	12.20%	27.55%	22.09%	13.58%	7.87%	0.00%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
文化教育学部	1.79%	3.17%	16.30%	61.07%	17.68%	0.00%
経済学部	2.71%	5.71%	20.95%	54.07%	16.56%	0.00%
理工学部	2.56%	3.87%	18.34%	60.09%	15.13%	0.00%
農学部	1.53%	6.01%	19.76%	58.95%	13.75%	0.00%
教養教育運営機構	4.68%	4.64%	20.53%	56.88%	13.27%	0.00%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・無効	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	1.08%	0.40%	1.59%	13.63%	54.72%	28.58%	0.00%
経済学部	1.18%	1.25%	3.55%	21.50%	52.05%	20.46%	0.00%
理工学部	1.51%	1.15%	3.13%	20.26%	55.53%	18.41%	0.00%
農学部	0.96%	1.09%	2.05%	18.54%	56.97%	20.40%	0.00%
教養教育運営機構	2.03%	0.94%	2.33%	19.70%	54.37%	20.63%	0.00%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	7.93%	0.27%	1.38%	12.28%	45.14%	33.00%	0.00%
経済学部	21.36%	0.63%	2.92%	23.45%	34.10%	17.54%	0.00%
理工学部	10.64%	1.13%	2.49%	18.90%	46.22%	20.62%	0.00%
農学部	14.13%	0.64%	1.92%	18.03%	43.41%	21.87%	0.00%
教養教育運営機構	16.21%	0.75%	1.68%	16.49%	42.82%	22.06%	0.00%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	0.40%	1.05%	8.03%	47.10%	43.42%	0.00%
経済学部	1.32%	3.62%	16.21%	50.38%	28.46%	0.00%
理工学部	1.82%	4.18%	16.57%	52.76%	24.67%	0.00%
農学部	0.38%	1.66%	12.34%	53.90%	31.71%	0.00%
教養教育運営機構	1.04%	1.78%	12.79%	52.91%	31.48%	0.00%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	目標が達成できなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	3.04%	0.37%	2.09%	19.43%	54.28%	20.78%	0.00%
経済学部	4.18%	1.32%	5.36%	27.35%	46.62%	15.17%	0.00%
理工学部	3.54%	1.28%	4.92%	25.49%	51.60%	13.16%	0.00%
農学部	3.71%	0.70%	4.86%	28.39%	48.59%	13.75%	0.00%
教養教育運営機構	5.63%	1.00%	3.30%	23.98%	50.52%	15.56%	0.00%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くその通りではない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	9.92%	0.34%	1.18%	17.85%	49.43%	21.29%	0.00%
経済学部	15.24%	0.35%	2.37%	20.39%	45.93%	15.73%	0.00%
理工学部	7.90%	0.72%	1.62%	18.29%	54.66%	16.80%	0.03%
農学部	11.89%	0.51%	1.60%	20.59%	49.55%	15.86%	0.00%
教養教育運営機構	15.45%	0.48%	1.26%	18.56%	47.53%	16.72%	0.00%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	2.80%	2.90%	22.00%	43.49%	28.81%	0.00%
経済学部	2.02%	3.90%	21.92%	48.16%	24.01%	0.00%
理工学部	1.90%	3.98%	23.49%	50.76%	19.88%	0.00%
農学部	1.92%	3.32%	26.09%	47.31%	21.36%	0.00%
教養教育運営機構	3.32%	3.09%	26.71%	44.87%	22.01%	0.00%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	1.15%	4.08%	18.76%	42.34%	33.67%	0.00%
経済学部	5.43%	11.20%	33.40%	35.63%	14.34%	0.00%
理工学部	4.74%	8.28%	31.37%	39.75%	15.85%	0.00%
農学部	5.31%	9.46%	29.73%	38.04%	17.46%	0.00%
教養教育運営機構	4.23%	5.43%	28.13%	39.82%	22.39%	0.00%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	0.57%	1.82%	8.77%	46.09%	42.75%	0.00%
経済学部	2.02%	5.36%	17.75%	49.20%	25.68%	0.00%
理工学部	1.72%	4.80%	18.57%	53.37%	21.54%	0.00%
農学部	0.58%	3.45%	15.03%	54.03%	26.92%	0.00%
教養教育運営機構	1.61%	2.77%	12.94%	51.87%	30.80%	0.00%

全体（後期%）

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
文化教育学部	0.81%	0.46%	0.61%	7.71%	90.41%	0.00%
経済学部	1.09%	1.42%	4.48%	12.57%	80.44%	0.00%
理工学部	0.68%	0.28%	0.62%	8.01%	90.41%	0.00%
農学部	0.34%	0.54%	0.75%	3.20%	95.17%	0.00%
教養教育運営機構	0.96%	0.54%	1.15%	7.82%	89.53%	0.00%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
文化教育学部	14.81%	37.44%	27.40%	12.23%	8.12%	0.00%
経済学部	22.73%	40.33%	25.14%	6.99%	4.81%	0.00%
理工学部	7.01%	31.75%	35.13%	14.93%	11.17%	0.00%
農学部	13.61%	38.33%	30.50%	9.87%	7.69%	0.00%
教養教育運営機構	23.52%	34.62%	26.78%	8.82%	6.25%	0.00%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを覚えていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
文化教育学部	13.09%	13.09%	29.22%	21.92%	15.68%	7.00%	0.00%
経済学部	15.19%	8.63%	26.34%	23.72%	17.60%	8.52%	0.00%
理工学部	7.45%	9.59%	27.96%	27.59%	17.85%	9.56%	0.00%
農学部	10.55%	9.80%	32.47%	28.66%	12.59%	5.92%	0.00%
教養教育運営機構	16.39%	10.18%	27.24%	23.75%	14.76%	7.67%	0.00%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度把握している	完全に把握している	回答なし
文化教育学部	2.38%	5.07%	17.86%	58.09%	16.59%	0.00%
経済学部	4.92%	7.21%	17.38%	54.64%	15.85%	0.00%
理工学部	2.82%	4.03%	19.65%	59.03%	14.46%	0.00%
農学部	2.25%	5.45%	19.47%	59.43%	13.41%	0.00%
教養教育運営機構	5.33%	5.42%	19.09%	56.03%	14.13%	0.00%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・無効	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	1.22%	0.46%	2.89%	18.92%	53.07%	23.44%	0.00%
経済学部	2.95%	1.42%	5.68%	22.19%	48.85%	18.91%	0.00%
理工学部	1.52%	0.78%	3.82%	23.00%	54.56%	16.33%	0.00%
農学部	1.91%	0.61%	3.34%	22.40%	53.51%	18.24%	0.00%
教養教育運営機構	2.82%	1.38%	3.35%	21.89%	53.25%	17.31%	0.00%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	11.82%	0.41%	2.28%	14.05%	44.80%	26.64%	0.00%
経済学部	22.51%	1.09%	2.84%	22.95%	34.32%	16.28%	0.00%
理工学部	10.34%	0.90%	2.45%	18.68%	48.17%	19.46%	0.00%
農学部	14.02%	0.34%	2.25%	21.10%	40.64%	21.65%	0.00%
教養教育運営機構	16.33%	1.02%	1.94%	18.75%	44.03%	17.92%	0.00%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	0.41%	1.12%	10.45%	51.04%	36.99%	0.00%
経済学部	1.97%	3.93%	17.16%	50.71%	26.23%	0.00%
理工学部	1.21%	2.11%	17.29%	56.18%	23.22%	0.00%
農学部	0.61%	1.77%	16.61%	53.91%	27.09%	0.00%
教養教育運営機構	1.17%	1.67%	14.78%	53.52%	28.85%	0.00%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	目標が達成できなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	3.50%	0.66%	3.55%	25.06%	53.83%	13.39%	0.00%
経済学部	7.98%	1.53%	6.89%	27.32%	44.37%	11.91%	0.00%
理工学部	3.63%	1.74%	5.71%	28.40%	48.32%	12.20%	0.00%
農学部	3.61%	0.95%	4.83%	31.45%	47.17%	11.98%	0.00%
教養教育運営機構	7.11%	0.90%	4.10%	27.95%	48.32%	11.62%	0.00%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全く関係ない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	13.60%	0.71%	1.73%	18.16%	48.91%	16.89%	0.00%
経済学部	12.13%	0.87%	3.28%	19.45%	46.89%	17.38%	0.00%
理工学部	6.73%	0.53%	2.33%	19.43%	55.62%	15.36%	0.00%
農学部	8.58%	0.48%	1.91%	21.03%	52.28%	15.72%	0.00%
教養教育運営機構	13.63%	0.86%	2.61%	21.03%	47.42%	14.45%	0.00%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	2.18%	3.20%	23.59%	45.36%	25.67%	0.00%
経済学部	2.73%	4.15%	24.37%	47.32%	21.42%	0.00%
理工学部	1.30%	2.79%	25.95%	51.06%	18.90%	0.00%
農学部	2.04%	2.45%	29.75%	48.40%	17.36%	0.00%
教養教育運営機構	3.37%	2.93%	29.23%	44.97%	19.51%	0.00%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	1.42%	4.92%	19.79%	45.21%	28.67%	0.00%
経済学部	5.90%	9.40%	36.28%	34.97%	13.44%	0.00%
理工学部	2.89%	5.62%	32.06%	41.87%	17.57%	0.00%
農学部	4.15%	10.42%	35.06%	35.13%	15.25%	0.00%
教養教育運営機構	4.08%	5.02%	25.82%	42.53%	22.56%	0.00%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
文化教育学部	0.51%	2.84%	11.01%	50.74%	34.91%	0.00%
経済学部	3.28%	6.99%	17.92%	48.63%	23.17%	0.00%
理工学部	1.06%	3.38%	16.76%	57.05%	21.76%	0.00%
農学部	0.61%	2.72%	16.61%	54.46%	25.60%	0.00%
教養教育運営機構	1.76%	2.74%	15.01%	52.44%	28.06%	0.00%

文教（前期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育課程	1.26%	0.07%	0.59%	5.64%	92.43%	0.00%
国際文化課程	0.00%	0.11%	0.22%	6.48%	93.19%	0.00%
人間環境課程	0.64%	0.21%	0.21%	6.78%	92.16%	0.00%
美術・工芸課程	0.43%	0.43%	1.70%	9.36%	88.09%	0.00%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしてない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育課程	12.40%	27.77%	30.73%	15.44%	13.66%	0.00%
国際文化課程	11.21%	36.04%	33.08%	14.40%	5.27%	0.00%
人間環境課程	25.00%	33.90%	19.92%	12.71%	8.47%	0.00%
美術・工芸課程	20.00%	22.13%	20.85%	13.19%	23.83%	0.00%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育課程	7.05%	11.88%	29.77%	23.24%	15.89%	12.18%	0.00%
国際文化課程	10.00%	14.29%	30.66%	23.30%	16.37%	5.38%	0.00%
人間環境課程	16.10%	15.89%	31.57%	19.28%	11.86%	5.30%	0.00%
美術・工芸課程	15.32%	20.00%	38.72%	14.04%	6.38%	5.53%	0.00%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育課程	1.78%	2.23%	15.37%	58.65%	21.97%	0.00%
国際文化課程	1.87%	3.74%	14.84%	64.95%	14.62%	0.00%
人間環境課程	1.69%	4.45%	24.15%	57.42%	12.29%	0.00%
美術・工芸課程	1.70%	3.83%	11.49%	67.23%	15.74%	0.00%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった/無意味な説明	全く思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	1.19%	0.45%	1.56%	12.10%	52.19%	32.52%	0.00%
国際文化課程	1.21%	0.22%	1.54%	11.76%	58.24%	27.03%	0.00%
人間環境課程	0.85%	0.85%	1.91%	22.03%	57.42%	16.95%	0.00%
美術・工芸課程	0.43%	0.00%	1.28%	12.77%	50.21%	35.32%	0.00%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全く思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	6.01%	0.30%	1.63%	13.07%	44.02%	34.97%	0.00%
国際文化課程	11.32%	0.11%	1.32%	10.77%	43.30%	33.19%	0.00%
人間環境課程	8.26%	0.64%	1.48%	15.89%	51.48%	22.25%	0.00%
美術・工芸課程	5.11%	0.00%	0.00%	6.38%	45.96%	42.55%	0.00%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全く思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.59%	0.74%	9.95%	43.58%	45.14%	0.00%
国際文化課程	0.11%	1.21%	4.51%	48.13%	46.04%	0.00%
人間環境課程	0.64%	2.12%	11.65%	55.08%	30.51%	0.00%
美術・工芸課程	0.00%	0.00%	3.40%	47.23%	49.36%	0.00%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	目標を達成できなかった/達成しなかった	全く思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	2.75%	0.45%	1.48%	17.45%	51.89%	25.98%	0.00%
国際文化課程	3.08%	0.33%	3.63%	19.89%	56.59%	16.48%	0.00%
人間環境課程	2.54%	0.21%	0.85%	26.91%	55.72%	13.77%	0.00%
美術・工芸課程	5.53%	0.43%	2.13%	14.04%	56.17%	21.70%	0.00%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスに基づいていない	全く思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	8.54%	0.22%	0.59%	17.30%	48.18%	25.17%	0.00%
国際文化課程	10.22%	0.44%	1.43%	16.04%	51.32%	20.55%	0.00%
人間環境課程	10.59%	0.42%	2.33%	24.15%	50.00%	12.50%	0.00%
美術・工芸課程	15.32%	0.43%	1.28%	15.32%	48.09%	19.57%	0.00%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全く思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	2.52%	1.86%	20.27%	46.33%	29.03%	0.00%
国際文化課程	2.31%	4.29%	14.95%	43.85%	34.62%	0.00%
人間環境課程	4.66%	3.39%	32.84%	38.98%	20.13%	0.00%
美術・工芸課程	2.55%	2.55%	37.45%	34.89%	22.55%	0.00%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全く思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	1.19%	3.04%	15.29%	41.43%	39.05%	0.00%
国際文化課程	1.10%	4.51%	16.92%	42.09%	35.38%	0.00%
人間環境課程	1.48%	7.42%	32.20%	41.95%	16.95%	0.00%
美術・工芸課程	0.43%	1.70%	18.72%	49.36%	29.79%	0.00%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全く思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.89%	1.71%	8.69%	45.14%	43.58%	0.00%
国際文化課程	0.11%	1.43%	7.36%	46.92%	44.18%	0.00%
人間環境課程	0.85%	3.81%	14.41%	50.00%	30.93%	0.00%
美術・工芸課程	0.00%	0.00%	3.40%	40.43%	56.17%	0.00%

文教（後期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育課程	0.41%	0.21%	0.62%	6.06%	92.71%	0.00%
国際文化課程	2.05%	0.19%	0.37%	8.21%	89.18%	0.00%
人間環境課程	0.00%	1.85%	0.31%	4.62%	93.23%	0.00%
美術・工芸課程	0.74%	0.00%	2.21%	25.00%	72.06%	0.00%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしてない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育課程	10.37%	37.06%	28.13%	13.24%	11.19%	0.00%
国際文化課程	11.94%	40.67%	29.66%	12.87%	4.85%	0.00%
人間環境課程	30.15%	33.23%	25.54%	7.38%	3.69%	0.00%
美術・工芸課程	21.32%	37.50%	17.65%	13.97%	9.56%	0.00%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育課程	10.68%	10.27%	29.36%	24.13%	15.71%	9.86%	0.00%
国際文化課程	10.07%	13.25%	29.66%	20.52%	19.59%	6.90%	0.00%
人間環境課程	20.31%	20.31%	28.92%	17.54%	11.69%	1.23%	0.00%
美術・工芸課程	25.00%	15.44%	27.21%	22.06%	9.56%	0.74%	0.00%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育課程	1.44%	4.72%	16.63%	57.91%	19.30%	0.00%
国際文化課程	1.49%	5.41%	17.54%	60.82%	14.74%	0.00%
人間環境課程	5.23%	7.08%	23.08%	53.54%	11.08%	0.00%
美術・工芸課程	5.88%	1.47%	15.44%	59.56%	17.65%	0.00%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった/無意味な説明	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	1.33%	0.51%	2.87%	16.12%	51.54%	27.62%	0.00%
国際文化課程	1.31%	0.56%	2.99%	17.35%	58.02%	19.78%	0.00%
人間環境課程	0.92%	0.31%	3.38%	31.08%	49.54%	14.77%	0.00%
美術・工芸課程	0.74%	0.00%	1.47%	16.18%	52.94%	28.68%	0.00%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	12.73%	0.62%	2.98%	14.99%	41.99%	26.69%	0.00%
国際文化課程	11.94%	0.19%	1.12%	8.96%	51.68%	26.12%	0.00%
人間環境課程	11.08%	0.31%	3.08%	22.15%	41.85%	21.54%	0.00%
美術・工芸課程	6.62%	0.00%	0.00%	8.09%	44.85%	40.44%	0.00%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.62%	1.44%	11.40%	47.02%	39.53%	0.00%
国際文化課程	0.19%	0.56%	5.41%	55.97%	37.87%	0.00%
人間環境課程	0.31%	1.54%	18.77%	53.85%	25.54%	0.00%
美術・工芸課程	0.00%	0.00%	3.68%	53.68%	42.65%	0.00%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	目標を達成できなかった/達成しなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	2.98%	0.72%	3.59%	20.64%	55.85%	16.22%	0.00%
国際文化課程	2.80%	0.56%	3.54%	25.75%	55.22%	12.13%	0.00%
人間環境課程	4.62%	0.62%	2.77%	37.85%	46.46%	7.69%	0.00%
美術・工芸課程	7.35%	0.74%	5.15%	23.53%	51.47%	11.76%	0.00%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスに基づいていない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	10.47%	0.92%	2.16%	16.53%	49.28%	20.64%	0.00%
国際文化課程	11.94%	0.56%	1.12%	18.84%	52.61%	14.93%	0.00%
人間環境課程	18.77%	0.62%	2.15%	26.46%	43.38%	8.62%	0.00%
美術・工芸課程	30.15%	0.00%	0.00%	7.35%	44.85%	17.65%	0.00%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	2.36%	2.98%	21.46%	46.61%	26.59%	0.00%
国際文化課程	0.37%	4.29%	12.87%	52.61%	29.85%	0.00%
人間環境課程	4.62%	2.46%	40.00%	35.69%	17.23%	0.00%
美術・工芸課程	2.21%	2.21%	41.91%	30.88%	22.79%	0.00%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	1.54%	3.39%	16.12%	46.20%	32.75%	0.00%
国際文化課程	0.93%	8.40%	17.16%	45.15%	28.36%	0.00%
人間環境課程	2.15%	4.92%	34.46%	39.69%	18.77%	0.00%
美術・工芸課程	0.74%	2.21%	21.32%	51.47%	24.26%	0.00%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.82%	3.29%	10.99%	48.87%	36.04%	0.00%
国際文化課程	0.37%	2.99%	7.84%	51.68%	37.13%	0.00%
人間環境課程	0.00%	2.15%	18.77%	55.69%	23.38%	0.00%
美術・工芸課程	0.00%	0.74%	5.15%	48.53%	45.59%	0.00%

経済（前期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
1年次	1.50%	2.00%	3.67%	10.33%	82.50%	0.00%
経済学科	0.61%	0.30%	1.52%	16.67%	80.91%	0.00%
経営学科	0.37%	1.48%	2.22%	8.52%	87.41%	0.00%
経済法学科	1.27%	1.69%	1.27%	15.19%	80.59%	0.00%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
1年次	20.83%	44.67%	24.17%	7.00%	3.33%	0.00%
経済学科	12.73%	41.82%	28.18%	11.52%	5.76%	0.00%
経営学科	20.00%	45.56%	18.89%	6.67%	8.89%	0.00%
経済法学科	18.57%	42.19%	22.36%	6.33%	10.55%	0.00%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
1年次	20.00%	15.83%	26.83%	20.83%	11.17%	5.33%	0.00%
経済学科	5.76%	10.91%	29.09%	23.33%	18.48%	12.42%	0.00%
経営学科	8.15%	7.78%	37.04%	22.96%	12.96%	11.11%	0.00%
経済法学科	8.02%	15.61%	30.80%	14.77%	17.72%	13.08%	0.00%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
1年次	4.33%	9.67%	24.83%	49.67%	11.50%	0.00%
経済学科	0.61%	3.03%	19.09%	55.76%	21.52%	0.00%
経営学科	1.48%	1.48%	18.15%	58.15%	20.74%	0.00%
経済法学科	2.95%	4.22%	16.88%	58.23%	17.72%	0.00%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	1.50%	1.67%	4.33%	26.83%	49.17%	16.50%	0.00%
経済学科	0.30%	0.91%	2.12%	17.27%	56.36%	23.03%	0.00%
経営学科	0.37%	0.74%	2.96%	17.04%	55.56%	23.33%	0.00%
経済法学科	2.53%	1.27%	4.22%	18.99%	49.37%	23.63%	0.00%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談がなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	25.50%	1.00%	4.33%	24.67%	32.00%	12.50%	0.00%
経済学科	18.79%	0.30%	1.52%	23.64%	36.36%	19.39%	0.00%
経営学科	16.30%	0.37%	2.22%	21.11%	37.04%	22.96%	0.00%
経済法学科	20.25%	0.42%	2.11%	22.78%	32.91%	21.52%	0.00%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	1.50%	5.50%	17.50%	49.67%	25.83%	0.00%
経済学科	0.61%	1.52%	13.94%	56.06%	27.88%	0.00%
経営学科	1.11%	3.33%	16.67%	47.04%	31.85%	0.00%
経済法学科	2.11%	2.11%	15.61%	48.10%	32.07%	0.00%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	達成できなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	7.83%	1.83%	4.83%	29.33%	46.00%	10.17%	0.00%
経済学科	1.82%	0.91%	6.06%	24.85%	48.48%	17.88%	0.00%
経営学科	1.48%	1.11%	5.56%	24.07%	48.52%	19.26%	0.00%
経済法学科	1.27%	0.84%	5.49%	29.54%	43.46%	19.41%	0.00%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていますか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	23.17%	0.50%	2.00%	22.00%	40.83%	11.50%
経済学科	8.18%	0.00%	2.73%	16.67%	52.12%	20.30%
経営学科	7.04%	0.74%	2.22%	21.48%	49.26%	19.26%
経済法学科	14.35%	0.00%	2.95%	20.25%	46.41%	16.03%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	2.33%	3.83%	24.50%	48.67%	20.67%	0.00%
経済学科	1.82%	5.15%	16.36%	50.91%	25.76%	0.00%
経営学科	1.48%	3.33%	21.48%	48.52%	25.19%	0.00%
経済法学科	2.11%	2.95%	23.63%	42.62%	28.69%	0.00%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	7.67%	13.33%	34.33%	35.17%	9.50%	0.00%
経済学科	4.85%	13.33%	26.97%	37.58%	17.27%	0.00%
経営学科	2.59%	7.41%	36.67%	36.67%	16.67%	0.00%
経済法学科	3.80%	7.17%	36.29%	32.91%	19.83%	0.00%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	2.50%	7.00%	20.00%	48.50%	22.00%	0.00%
経済学科	0.91%	5.45%	14.24%	56.06%	23.33%	0.00%
経営学科	1.85%	3.33%	15.93%	48.52%	30.37%	0.00%
経済法学科	2.53%	3.38%	18.99%	42.19%	32.91%	0.00%

経済（後期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
1年次	0.24%	2.36%	5.20%	14.66%	77.54%	0.00%
経済学科	1.14%	0.57%	4.57%	12.00%	81.71%	0.00%
経営学科	2.97%	0.50%	3.96%	12.87%	79.70%	0.00%
経済法学科	0.87%	0.87%	2.61%	5.22%	90.43%	0.00%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしてない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
1年次	23.17%	43.26%	25.53%	4.26%	3.78%	0.00%
経済学科	22.86%	34.29%	25.14%	11.43%	6.29%	0.00%
経営学科	20.79%	43.56%	22.28%	8.91%	4.46%	0.00%
経済法学科	24.35%	33.04%	28.70%	6.96%	6.96%	0.00%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
1年次	18.68%	8.98%	31.68%	20.33%	15.84%	4.49%	0.00%
経済学科	14.86%	10.29%	20.57%	25.14%	18.29%	10.86%	0.00%
経営学科	11.39%	7.92%	22.28%	26.73%	18.81%	12.87%	0.00%
経済法学科	9.57%	6.09%	22.61%	28.70%	20.87%	12.17%	0.00%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
1年次	7.09%	10.17%	21.99%	51.77%	8.98%	0.00%
経済学科	2.29%	8.57%	13.71%	53.71%	21.71%	0.00%
経営学科	4.46%	0.50%	13.86%	57.92%	23.27%	0.00%
経済法学科	1.74%	6.09%	12.17%	60.87%	19.13%	0.00%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・無意味だった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	4.96%	2.36%	8.04%	28.13%	45.15%	11.35%	0.00%
経済学科	2.29%	0.57%	5.14%	21.71%	46.86%	23.43%	0.00%
経営学科	0.50%	0.99%	0.99%	16.83%	52.48%	28.22%	0.00%
経済法学科	0.87%	0.00%	6.09%	10.43%	59.13%	23.48%	0.00%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	28.37%	1.65%	4.73%	29.79%	27.66%	7.80%	0.00%
経済学科	16.57%	1.71%	2.29%	21.14%	39.43%	18.86%	0.00%
経営学科	16.34%	0.00%	0.00%	14.85%	39.60%	29.21%	0.00%
経済法学科	20.87%	0.00%	1.74%	14.78%	41.74%	20.87%	0.00%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	3.07%	5.67%	22.46%	52.01%	16.78%	0.00%
経済学科	2.29%	2.86%	17.71%	48.00%	29.14%	0.00%
経営学科	0.00%	0.99%	10.89%	51.49%	36.63%	0.00%
経済法学科	0.87%	4.35%	7.83%	48.70%	38.26%	0.00%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	目標が達成できなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	10.17%	2.60%	8.98%	32.39%	39.72%	6.15%	0.00%
経済学科	5.71%	1.71%	4.57%	30.86%	39.43%	17.71%	0.00%
経営学科	6.44%	0.00%	4.95%	19.80%	50.00%	18.81%	0.00%
経済法学科	6.09%	0.00%	6.09%	16.52%	59.13%	12.17%	0.00%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	13.71%	1.42%	4.96%	26.00%	43.26%	10.64%
経済学科	12.57%	1.14%	1.14%	16.57%	46.86%	21.71%
経営学科	10.40%	0.00%	1.49%	11.88%	48.51%	27.72%
経済法学科	8.70%	0.00%	3.48%	13.04%	57.39%	17.39%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	4.73%	5.67%	30.02%	44.21%	15.37%	0.00%
経済学科	1.71%	4.00%	20.00%	49.14%	25.14%	0.00%
経営学科	0.99%	1.49%	22.28%	47.52%	27.72%	0.00%
経済法学科	0.00%	3.48%	13.91%	55.65%	26.96%	0.00%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	8.04%	13.48%	40.43%	30.26%	7.80%	0.00%
経済学科	5.71%	9.14%	31.43%	31.43%	22.29%	0.00%
経営学科	1.98%	2.97%	35.64%	43.07%	16.34%	0.00%
経済法学科	5.22%	6.09%	29.57%	43.48%	15.65%	0.00%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	5.20%	10.87%	23.40%	46.10%	14.42%	0.00%
経済学科	4.00%	5.14%	15.43%	49.14%	26.29%	0.00%
経営学科	0.50%	1.49%	14.36%	50.99%	32.67%	0.00%
経済法学科	0.00%	5.22%	7.83%	53.04%	33.91%	0.00%

理工（前期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
数理科学科	6.94%	0.46%	0.00%	3.70%	88.89%	0.00%
物理科学科	0.00%	0.91%	0.91%	7.31%	90.87%	0.00%
知能情報システム学科	0.15%	0.15%	1.68%	8.41%	89.60%	0.00%
機能物質化学科	0.00%	0.17%	1.36%	5.26%	93.21%	0.00%
機械システム工学科	0.00%	0.38%	0.25%	3.02%	96.35%	0.00%
電気電子工学科	0.00%	0.00%	1.78%	6.40%	91.82%	0.00%
都市工学科	2.06%	0.34%	0.69%	3.77%	93.14%	0.00%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理科学科	10.19%	13.89%	43.37%	17.59%	12.96%	0.00%
物理科学科	5.48%	31.96%	38.81%	18.26%	5.48%	0.00%
知能情報システム学科	5.66%	23.55%	35.78%	23.39%	11.62%	0.00%
機能物質化学科	5.09%	19.02%	37.69%	18.34%	19.86%	0.00%
機械システム工学科	5.29%	31.86%	34.26%	18.64%	9.95%	0.00%
電気電子工学科	2.73%	26.78%	41.47%	13.98%	15.05%	0.00%
都市工学科	8.58%	29.33%	33.28%	11.15%	17.67%	0.00%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理科学科	15.28%	16.20%	18.06%	26.39%	12.04%	12.04%	0.00%
物理科学科	19.63%	18.72%	30.14%	20.09%	10.05%	1.37%	0.00%
知能情報システム学科	7.49%	10.09%	26.76%	29.20%	19.42%	7.03%	0.00%
機能物質化学科	8.83%	9.51%	25.98%	26.32%	19.02%	10.36%	0.00%
機械システム工学科	9.70%	11.96%	30.60%	22.17%	14.48%	11.08%	0.00%
電気電子工学科	4.15%	7.58%	29.27%	32.46%	16.82%	9.72%	0.00%
都市工学科	5.15%	9.26%	24.19%	27.96%	22.64%	10.81%	0.00%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
数理科学科	9.72%	3.70%	18.98%	53.70%	13.89%	0.00%
物理科学科	8.68%	4.11%	20.09%	53.42%	13.70%	0.00%
知能情報システム学科	3.52%	4.28%	17.74%	65.60%	8.87%	0.00%
機能物質化学科	1.02%	4.41%	14.77%	64.52%	15.28%	0.00%
機械システム工学科	1.76%	4.03%	18.64%	61.21%	14.36%	0.00%
電気電子工学科	0.71%	3.20%	18.13%	59.48%	18.48%	0.00%
都市工学科	1.89%	3.60%	21.61%	53.69%	19.21%	0.00%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・役に立たない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	5.09%	1.39%	1.85%	21.76%	49.07%	20.83%	0.00%
物理科学科	0.00%	0.46%	4.11%	23.29%	57.08%	15.07%	0.00%
知能情報システム学科	2.14%	2.45%	3.98%	22.02%	54.59%	14.83%	0.00%
機能物質化学科	3.74%	0.51%	1.87%	19.19%	57.39%	17.32%	0.00%
機械システム工学科	0.50%	1.39%	2.90%	18.77%	58.82%	17.63%	0.00%
電気電子工学科	0.36%	0.47%	2.61%	19.43%	55.81%	21.33%	0.00%
都市工学科	0.86%	1.20%	4.63%	20.93%	51.63%	20.75%	0.00%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談しなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	14.35%	0.93%	1.85%	24.54%	34.26%	24.07%	0.00%
物理科学科	11.42%	0.46%	0.91%	15.98%	50.23%	21.00%	0.00%
知能情報システム学科	10.86%	2.60%	4.28%	19.88%	47.55%	14.83%	0.00%
機能物質化学科	9.51%	0.68%	1.19%	14.26%	52.97%	21.39%	0.00%
機械システム工学科	8.56%	1.13%	1.89%	18.89%	48.87%	20.65%	0.00%
電気電子工学科	11.02%	0.24%	2.73%	19.67%	44.91%	21.45%	0.00%
都市工学科	12.18%	1.54%	3.09%	20.41%	39.11%	23.67%	0.00%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	5.09%	2.78%	13.43%	54.63%	24.07%	0.00%
物理科学科	0.00%	0.91%	13.24%	56.62%	29.22%	0.00%
知能情報システム学科	3.36%	8.87%	23.55%	46.02%	18.20%	0.00%
機能物質化学科	2.89%	3.23%	12.05%	56.88%	24.96%	0.00%
機械システム工学科	1.13%	4.41%	16.12%	54.16%	24.18%	0.00%
電気電子工学科	0.36%	1.78%	16.71%	55.57%	25.59%	0.00%
都市工学科	1.54%	4.80%	16.12%	48.03%	29.50%	0.00%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成できなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	6.94%	1.85%	6.48%	28.70%	40.28%	15.74%	0.00%
物理科学科	9.59%	0.46%	4.57%	35.62%	42.01%	7.76%	0.00%
知能情報システム学科	3.36%	0.92%	4.13%	26.61%	56.73%	8.26%	0.00%
機能物質化学科	5.09%	1.36%	3.23%	24.28%	51.78%	14.26%	0.00%
機械システム工学科	3.65%	0.88%	4.03%	23.17%	53.65%	14.61%	0.00%
電気電子工学科	1.54%	1.42%	6.40%	24.64%	52.01%	13.98%	0.00%
都市工学科	1.37%	2.06%	6.17%	24.87%	50.09%	15.44%	0.00%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスに基づいていません	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	9.72%	1.39%	1.85%	27.78%	39.81%	19.44%	0.00%
物理科学科	24.20%	0.00%	0.00%	17.81%	51.60%	6.39%	0.00%
知能情報システム学科	7.65%	1.22%	2.91%	20.80%	54.13%	13.30%	0.00%
機能物質化学科	10.36%	0.51%	0.34%	16.13%	55.01%	17.66%	0.00%
機械システム工学科	8.69%	0.50%	1.51%	17.25%	55.92%	15.99%	0.13%
電気電子工学科	4.03%	0.36%	2.01%	17.54%	56.64%	19.43%	0.00%
都市工学科	3.43%	1.20%	1.54%	16.81%	56.95%	20.07%	0.00%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	5.66%	4.17%	22.69%	47.22%	20.37%	0.00%
物理科学科	0.91%	2.74%	24.66%	55.71%	15.98%	0.00%
知能情報システム学科	1.99%	3.36%	22.48%	53.52%	18.65%	0.00%
機能物質化学科	3.40%	4.92%	23.43%	49.41%	18.85%	0.00%
機械システム工学科	1.76%	4.66%	24.31%	48.49%	20.78%	0.00%
電気電子工学科	0.59%	3.08%	22.04%	54.50%	19.79%	0.00%
都市工学科	1.37%	4.46%	25.56%	46.14%	22.47%	0.00%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	8.33%	4.17%	33.33%	32.87%	21.30%	0.00%
物理科学科	0.91%	11.42%	35.16%	40.18%	12.33%	0.00%
知能情報システム学科	6.57%	11.01%	33.33%	37.92%	11.16%	0.00%
機能物質化学科	5.43%	7.64%	27.16%	43.12%	16.64%	0.00%
機械システム工学科	3.27%	8.82%	29.22%	42.44%	16.25%	0.00%
電気電子工学科	3.79%	7.11%	30.09%	42.18%	16.82%	0.00%
都市工学科	5.49%	7.20%	36.02%	33.62%	17.67%	0.00%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	6.02%	3.24%	14.81%	52.78%	23.15%	0.00%
物理科学科	0.91%	1.83%	18.72%	56.16%	22.37%	0.00%
知能情報システム学科	3.21%	7.49%	22.94%	49.54%	16.82%	0.00%
機能物質化学科	1.19%	4.07%	12.73%	58.06%	23.94%	0.00%
機械システム工学科	1.13%	5.16%	18.26%	55.42%	20.03%	0.00%
電気電子工学科	0.83%	3.44%	20.02%	53.67%	22.04%	0.00%
都市工学科	1.37%	5.66%	19.21%	48.89%	24.87%	0.00%

理工（後期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
数理科学科	4.19%	2.40%	2.40%	4.19%	86.83%	0.00%
物理科学科	1.69%	1.69%	3.39%	7.63%	85.59%	0.00%
知能情報システム学科	0.00%	0.00%	0.35%	9.39%	90.26%	0.00%
機能物質化学科	0.33%	0.00%	0.00%	1.66%	98.01%	0.00%
機械システム工学科	1.20%	0.00%	0.17%	7.23%	91.39%	0.00%
電気電子工学科	0.10%	0.10%	0.69%	10.93%	88.19%	0.00%
都市工学科	0.87%	0.43%	0.43%	6.51%	91.76%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理科学科	7.19%	17.37%	51.50%	14.37%	9.58%	0.00%
物理科学科	11.86%	32.20%	34.75%	5.93%	15.25%	0.00%
知能情報システム学科	3.48%	26.26%	31.65%	25.39%	13.22%	0.00%
機能物質化学科	3.64%	29.14%	29.47%	15.56%	22.19%	0.00%
機械システム工学科	7.57%	33.73%	35.28%	14.97%	8.43%	0.00%
電気電子工学科	6.89%	35.53%	37.50%	11.32%	8.76%	0.00%
都市工学科	11.71%	34.49%	32.10%	11.93%	9.76%	0.00%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理科学科	13.77%	17.96%	30.54%	19.16%	7.19%	11.38%	0.00%
物理科学科	20.34%	11.02%	23.73%	22.88%	9.32%	12.71%	0.00%
知能情報システム学科	12.17%	10.61%	32.52%	27.30%	14.09%	3.30%	0.00%
機能物質化学科	9.93%	3.97%	30.46%	21.85%	19.54%	14.24%	0.00%
機械システム工学科	5.68%	12.05%	29.43%	28.57%	16.18%	8.09%	0.00%
電気電子工学科	3.84%	8.56%	27.07%	28.64%	21.36%	10.53%	0.00%
都市工学科	4.56%	7.81%	21.04%	32.32%	21.69%	12.58%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している
数理科学科	5.99%	2.99%	26.35%	52.10%	12.57%	0.00%
物理科学科	10.17%	9.32%	16.10%	44.92%	19.49%	0.00%
知能情報システム学科	2.96%	5.91%	21.39%	64.17%	5.57%	0.00%
機能物質化学科	1.32%	2.65%	15.23%	56.29%	24.50%	0.00%
機械システム工学科	4.65%	5.51%	20.65%	57.14%	12.05%	0.00%
電気電子工学科	1.08%	2.17%	20.77%	59.45%	16.54%	0.00%
都市工学科	2.17%	3.90%	15.18%	62.04%	16.70%	0.00%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	4.79%	0.00%	1.80%	22.16%	54.49%	16.77%	0.00%
物理科学科	0.85%	0.00%	2.54%	23.73%	44.07%	28.81%	0.00%
知能情報システム学科	0.87%	1.04%	4.70%	24.70%	59.48%	9.22%	0.00%
機能物質化学科	3.97%	0.33%	2.65%	15.23%	52.98%	24.83%	0.00%
機械システム工学科	0.86%	1.38%	3.27%	23.92%	55.25%	15.32%	0.00%
電気電子工学科	1.18%	0.49%	3.64%	23.82%	53.94%	16.93%	0.00%
都市工学科	1.30%	1.08%	5.64%	23.21%	52.49%	16.27%	0.00%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	19.16%	0.00%	3.59%	12.57%	41.32%	23.35%	0.00%
物理科学科	11.86%	0.00%	0.00%	22.03%	33.90%	32.20%	0.00%
知能情報システム学科	8.70%	1.22%	2.61%	19.48%	52.70%	15.30%	0.00%
機能物質化学科	7.95%	0.00%	0.66%	12.25%	48.34%	30.79%	0.00%
機械システム工学科	7.75%	1.38%	2.93%	19.62%	50.95%	17.38%	0.00%
電気電子工学科	10.24%	0.59%	2.56%	21.06%	48.33%	17.22%	0.00%
都市工学科	13.45%	1.74%	2.82%	16.92%	44.90%	20.17%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わからない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	4.79%	0.60%	16.77%	51.50%	26.35%	0.00%
物理科学科	1.69%	0.00%	18.64%	35.59%	44.07%	0.00%
知能情報システム学科	0.52%	2.61%	18.43%	57.39%	21.04%	0.00%
機能物質化学科	2.32%	1.32%	9.60%	56.29%	30.46%	0.00%
機械システム工学科	0.34%	2.24%	20.48%	56.63%	20.31%	0.00%
電気電子工学科	0.69%	1.77%	17.03%	59.25%	21.26%	0.00%
都市工学科	2.17%	3.69%	17.35%	54.01%	22.78%	0.00%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していないからわからない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	4.79%	0.60%	6.59%	38.92%	37.72%	11.38%	0.00%
物理科学科	8.47%	2.54%	4.24%	31.36%	38.14%	15.25%	0.00%
知能情報システム学科	5.22%	1.91%	6.96%	24.87%	55.83%	5.22%	0.00%
機能物質化学科	4.97%	1.66%	4.30%	26.16%	45.36%	17.55%	0.00%
機械システム工学科	6.71%	1.03%	4.82%	28.92%	46.99%	11.53%	0.00%
電気電子工学科	0.69%	1.48%	4.63%	30.91%	48.62%	13.68%	0.00%
都市工学科	1.52%	3.25%	8.68%	23.64%	48.37%	14.53%	0.00%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないからわからない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	8.38%	0.00%	2.40%	32.34%	44.91%	11.98%	0.00%
物理科学科	22.88%	0.00%	1.69%	22.03%	35.59%	17.80%	0.00%
知能情報システム学科	9.39%	0.52%	2.09%	19.48%	59.83%	8.70%	0.00%
機能物質化学科	8.61%	0.66%	2.32%	13.58%	50.99%	23.84%	0.00%
機械システム工学科	9.98%	0.52%	1.89%	19.28%	54.04%	14.29%	0.00%
電気電子工学科	2.17%	0.39%	2.46%	19.19%	58.27%	17.52%	0.00%
都市工学科	3.47%	1.08%	3.04%	18.66%	58.35%	15.40%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・わからない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	4.19%	0.60%	28.14%	52.10%	14.97%	0.00%
物理科学科	0.85%	5.93%	30.51%	30.51%	32.20%	0.00%
知能情報システム学科	0.00%	3.48%	20.35%	61.57%	14.61%	0.00%
機能物質化学科	2.98%	1.66%	27.15%	48.01%	20.20%	0.00%
機械システム工学科	1.38%	2.24%	29.43%	46.30%	20.65%	0.00%
電気電子工学科	1.28%	2.85%	24.80%	51.28%	19.78%	0.00%
都市工学科	0.87%	3.25%	28.20%	50.33%	17.35%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている

	該当しない・わからない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	8.38%	4.19%	35.33%	35.93%	16.17%	0.00%
物理科学科	8.47%	8.47%	45.76%	18.64%	18.64%	0.00%
知能情報システム学科	2.61%	5.91%	27.65%	48.35%	15.48%	0.00%
機能物質化学科	3.97%	3.97%	32.78%	37.75%	21.52%	0.00%
機械システム工学科	1.72%	6.88%	36.66%	38.90%	15.83%	0.00%
電気電子工学科	1.97%	4.13%	29.63%	45.08%	19.19%	0.00%
都市工学科	2.60%	7.59%	31.89%	41.43%	16.49%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・わからない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	4.79%	0.60%	14.97%	57.49%	22.16%	0.00%
物理科学科	0.85%	1.69%	21.19%	40.68%	35.59%	0.00%
知能情報システム学科	0.52%	4.17%	19.48%	59.30%	16.52%	0.00%
機能物質化学科	0.00%	1.99%	8.94%	57.62%	31.46%	0.00%
機械システム工学科	0.86%	1.55%	18.93%	57.83%	20.83%	0.00%
電気電子工学科	0.98%	3.35%	16.73%	57.48%	21.46%	0.00%
都市工学科	1.52%	7.16%	15.40%	55.75%	20.17%	0.00%

農（前期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
応用生物科学科	0.00%	0.24%	0.24%	1.43%	98.10%	0.00%
生物環境保全学コース	0.38%	0.00%	0.38%	1.15%	98.08%	0.00%
資源循環生産学コース	0.29%	0.00%	0.29%	1.45%	97.97%	0.00%
地域社会開発学コース	2.27%	0.00%	1.14%	7.95%	88.64%	0.00%
生命機能科学科	0.00%	0.22%	1.11%	2.22%	96.44%	0.00%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
応用生物科学科	14.49%	38.24%	30.17%	7.60%	9.50%	0.00%
生物環境保全学コース	5.38%	39.23%	35.38%	7.31%	12.69%	0.00%
資源循環生産学コース	24.35%	32.17%	21.74%	11.59%	10.14%	0.00%
地域社会開発学コース	14.77%	31.82%	30.68%	17.05%	5.68%	0.00%
生命機能科学科	6.67%	33.56%	36.89%	12.44%	10.44%	0.00%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを覚えていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
応用生物科学科	10.69%	12.59%	34.20%	25.65%	9.98%	6.89%	0.00%
生物環境保全学コース	7.31%	16.15%	38.08%	23.08%	6.15%	9.23%	0.00%
資源循環生産学コース	12.46%	12.17%	31.59%	20.87%	14.49%	8.41%	0.00%
地域社会開発学コース	9.09%	10.23%	43.18%	18.18%	12.50%	6.82%	0.00%
生命機能科学科	7.56%	12.44%	38.67%	25.56%	9.56%	6.22%	0.00%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度把握している	完全に把握している	回答なし
応用生物科学科	1.66%	5.23%	18.53%	58.67%	15.91%	0.00%
生物環境保全学コース	1.54%	6.92%	18.08%	56.92%	16.54%	0.00%
資源循環生産学コース	2.03%	6.67%	22.32%	54.20%	14.78%	0.00%
地域社会開発学コース	2.27%	3.41%	11.36%	73.86%	9.09%	0.00%
生命機能科学科	0.89%	6.22%	21.56%	61.11%	10.22%	0.00%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった/無かった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.24%	0.48%	2.38%	16.63%	59.62%	20.67%	0.00%
生物環境保全学コース	0.38%	1.15%	0.77%	17.31%	57.31%	23.08%	0.00%
資源循環生産学コース	2.32%	0.29%	2.03%	19.42%	50.14%	25.80%	0.00%
地域社会開発学コース	1.14%	0.00%	3.41%	20.45%	53.41%	21.59%	0.00%
生命機能科学科	0.89%	2.44%	2.22%	20.00%	60.22%	14.22%	0.00%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問/相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	15.44%	0.48%	0.95%	15.20%	42.28%	25.65%	0.00%
生物環境保全学コース	14.23%	0.38%	1.92%	17.69%	41.54%	24.23%	0.00%
資源循環生産学コース	12.75%	0.29%	0.58%	16.81%	44.06%	25.51%	0.00%
地域社会開発学コース	15.91%	0.00%	5.68%	12.50%	43.18%	22.73%	0.00%
生命機能科学科	13.56%	1.33%	3.11%	22.89%	45.11%	14.00%	0.00%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.48%	0.95%	8.08%	55.34%	35.15%	0.00%
生物環境保全学コース	0.38%	1.92%	14.62%	48.85%	34.23%	0.00%
資源循環生産学コース	0.29%	0.58%	10.14%	52.46%	36.52%	0.00%
地域社会開発学コース	1.14%	5.68%	12.50%	53.41%	27.27%	0.00%
生命機能科学科	0.22%	2.22%	16.67%	56.67%	24.22%	0.00%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	目標が達成できなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	4.28%	0.00%	6.18%	30.17%	45.61%	13.78%	0.00%
生物環境保全学コース	2.31%	0.38%	3.46%	26.54%	49.62%	17.69%	0.00%
資源循環生産学コース	6.09%	0.58%	4.64%	24.35%	46.09%	18.26%	0.00%
地域社会開発学コース	2.27%	0.00%	2.27%	27.27%	56.82%	11.36%	0.00%
生命機能科学科	2.44%	1.78%	5.11%	31.11%	51.11%	8.44%	0.00%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし	
応用生物科学科	12.35%	0.48%	1.43%	18.53%	49.17%	18.05%	0.00%
生物環境保全学コース	11.54%	0.00%	2.31%	17.31%	50.00%	18.85%	0.00%
資源循環生産学コース	14.49%	0.58%	2.03%	24.93%	40.29%	17.68%	0.00%
地域社会開発学コース	18.18%	0.00%	0.00%	18.18%	54.55%	9.09%	0.00%
生命機能科学科	8.44%	0.89%	1.33%	21.56%	55.78%	12.00%	0.00%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	1.90%	3.09%	20.19%	50.83%	23.99%	0.00%
生物環境保全学コース	2.31%	3.08%	22.31%	47.31%	25.00%	0.00%
資源循環生産学コース	2.90%	2.61%	32.17%	42.32%	20.00%	0.00%
地域社会開発学コース	0.00%	4.55%	22.73%	47.73%	25.00%	0.00%
生命機能科学科	1.33%	4.00%	29.78%	47.78%	17.11%	0.00%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	5.94%	9.26%	31.35%	35.87%	17.58%	0.00%
生物環境保全学コース	6.15%	5.38%	22.69%	41.54%	24.23%	0.00%
資源循環生産学コース	4.06%	10.72%	32.75%	35.36%	17.10%	0.00%
地域社会開発学コース	3.41%	9.09%	22.73%	40.91%	23.86%	0.00%
生命機能科学科	5.56%	11.11%	31.33%	39.56%	12.44%	0.00%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.95%	3.56%	11.16%	57.01%	27.32%	0.00%
生物環境保全学コース	0.38%	4.62%	15.77%	53.08%	26.15%	0.00%
資源循環生産学コース	0.58%	1.16%	14.20%	48.12%	35.94%	0.00%
地域社会開発学コース	0.00%	4.55%	14.77%	48.86%	31.82%	0.00%
生命機能科学科	0.44%	4.22%	18.89%	57.33%	19.11%	0.00%

農（後期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
応用生物学科	0.18%	0.72%	1.09%	3.26%	94.75%	0.00%
生物環境保全学コース	1.13%	0.56%	0.00%	6.78%	91.53%	0.00%
資源循環生産学コース	0.45%	0.00%	0.00%	1.80%	97.75%	0.00%
地域社会開発学コース	0.64%	0.64%	0.64%	2.56%	95.51%	0.00%
生命機能科学科	0.00%	0.55%	1.10%	2.49%	95.86%	0.00%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
応用生物学科	15.76%	40.76%	27.90%	9.24%	6.34%	0.00%
生物環境保全学コース	14.12%	37.85%	33.33%	9.04%	5.65%	0.00%
資源循環生産学コース	21.62%	32.88%	28.38%	6.31%	10.81%	0.00%
地域社会開発学コース	14.10%	34.62%	36.54%	12.18%	2.56%	0.00%
生命機能科学科	4.97%	39.78%	31.77%	12.43%	11.05%	0.00%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを覚えていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
応用生物学科	14.67%	8.33%	34.42%	25.18%	11.41%	5.98%	0.00%
生物環境保全学コース	9.04%	9.04%	29.38%	27.68%	14.12%	10.73%	0.00%
資源循環生産学コース	8.56%	11.26%	30.18%	24.32%	18.92%	6.76%	0.00%
地域社会開発学コース	8.97%	8.97%	35.26%	30.77%	10.90%	5.13%	0.00%
生命機能科学科	6.91%	11.88%	31.22%	36.19%	10.50%	3.31%	0.00%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
応用生物学科	3.80%	7.61%	22.83%	53.26%	12.50%	0.00%
生物環境保全学コース	1.13%	5.08%	14.69%	56.50%	22.60%	0.00%
資源循環生産学コース	2.25%	2.70%	20.72%	59.46%	14.86%	0.00%
地域社会開発学コース	1.28%	1.92%	12.82%	73.72%	10.26%	0.00%
生命機能科学科	0.83%	5.52%	18.78%	64.09%	10.77%	0.00%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった/無意味	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物学科	2.72%	0.36%	3.80%	25.91%	50.91%	16.30%	0.00%
生物環境保全学コース	1.69%	1.13%	4.52%	19.77%	48.59%	24.29%	0.00%
資源循環生産学コース	3.15%	0.00%	3.15%	16.22%	55.86%	21.62%	0.00%
地域社会開発学コース	1.28%	0.00%	1.92%	18.59%	58.33%	19.87%	0.00%
生命機能科学科	0.28%	1.38%	2.76%	23.76%	56.35%	15.47%	0.00%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物学科	20.11%	0.00%	2.36%	25.54%	35.87%	16.12%	0.00%
生物環境保全学コース	9.60%	0.56%	2.82%	18.64%	40.68%	27.68%	0.00%
資源循環生産学コース	8.11%	0.00%	0.90%	13.51%	47.75%	29.73%	0.00%
地域社会開発学コース	8.33%	0.64%	1.28%	16.67%	45.51%	27.56%	0.00%
生命機能科学科	12.98%	0.83%	3.04%	22.10%	41.44%	19.61%	0.00%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物学科	1.09%	0.91%	18.30%	54.35%	25.36%	0.00%
生物環境保全学コース	0.56%	3.39%	18.64%	45.76%	31.64%	0.00%
資源循環生産学コース	0.00%	0.45%	11.26%	56.76%	31.53%	0.00%
地域社会開発学コース	0.64%	3.85%	8.33%	54.49%	32.69%	0.00%
生命機能科学科	0.28%	2.21%	19.89%	55.25%	22.38%	0.00%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	目標が達成できなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物学科	4.89%	0.54%	6.88%	35.69%	44.20%	7.79%	0.00%
生物環境保全学コース	2.82%	1.69%	3.39%	29.94%	44.63%	17.51%	0.00%
資源循環生産学コース	2.25%	0.45%	2.70%	28.83%	50.00%	15.77%	0.00%
地域社会開発学コース	5.13%	0.64%	1.92%	27.56%	46.79%	17.95%	0.00%
生命機能科学科	2.21%	1.66%	4.97%	29.01%	51.38%	10.77%	0.00%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物学科	10.14%	0.18%	1.81%	21.56%	51.99%	14.31%
生物環境保全学コース	3.95%	0.56%	2.82%	20.90%	50.28%	21.47%
資源循環生産学コース	8.11%	0.00%	2.25%	21.62%	50.00%	18.02%
地域社会開発学コース	12.18%	0.00%	2.56%	21.15%	49.36%	14.74%
生命機能科学科	7.18%	1.38%	1.10%	19.89%	56.35%	14.09%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物学科	1.27%	2.72%	31.34%	48.91%	15.76%	0.00%
生物環境保全学コース	5.08%	5.65%	32.20%	38.42%	18.64%	0.00%
資源循環生産学コース	0.45%	0.45%	31.08%	48.20%	19.82%	0.00%
地域社会開発学コース	1.92%	0.00%	26.28%	51.28%	20.51%	0.00%
生命機能科学科	2.76%	2.76%	26.80%	51.38%	16.30%	0.00%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物学科	5.43%	12.50%	39.86%	32.43%	9.78%	0.00%
生物環境保全学コース	5.65%	9.04%	32.77%	35.03%	17.51%	0.00%
資源循環生産学コース	0.45%	3.15%	25.68%	45.05%	25.68%	0.00%
地域社会開発学コース	1.28%	3.21%	20.51%	47.44%	27.56%	0.00%
生命機能科学科	4.97%	15.47%	40.88%	27.90%	10.77%	0.00%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物学科	0.54%	2.72%	19.20%	57.43%	20.11%	0.00%
生物環境保全学コース	2.26%	5.65%	18.64%	46.33%	27.12%	0.00%
資源循環生産学コース	0.00%	0.90%	9.46%	55.86%	33.78%	0.00%
地域社会開発学コース	0.64%	3.21%	10.90%	51.92%	33.33%	0.00%
生命機能科学科	0.28%	2.21%	18.51%	54.14%	24.86%	0.00%

教養（前期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
外国語科目	0.65%	0.26%	0.52%	5.26%	93.32%	0.00%
健康・スポーツ科目	0.08%	0.17%	0.17%	3.20%	96.37%	0.00%
情報処理科目	0.15%	0.00%	0.46%	3.67%	95.72%	0.00%
自然科学と技術の分野	3.24%	0.96%	1.56%	9.36%	84.87%	0.00%
文化の分野	1.77%	0.20%	1.57%	8.66%	87.80%	0.00%
現代社会の分野	1.85%	0.51%	3.19%	11.20%	83.25%	0.00%
環境コース	0.00%	0.00%	0.81%	5.69%	93.50%	0.00%
文化と共生コース	0.00%	0.52%	2.09%	8.90%	88.48%	0.00%
生活と科学コース	0.00%	0.00%	1.80%	6.76%	91.44%	0.00%
医療・福祉と社会コース	0.00%	0.00%	0.39%	5.47%	94.14%	0.00%
地域・佐賀学コース	1.45%	0.00%	0.00%	8.70%	89.86%	0.00%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
外国語科目	6.68%	31.64%	39.01%	15.30%	7.37%	0.00%
健康・スポーツ科目	66.36%	17.03%	9.70%	3.63%	3.29%	0.00%
情報処理科目	22.09%	31.88%	27.83%	12.39%	5.81%	0.00%
自然科学と技術の分野	20.29%	36.49%	20.05%	9.84%	13.33%	0.00%
文化の分野	22.44%	44.88%	21.46%	6.30%	4.92%	0.00%
現代社会の分野	25.90%	38.13%	20.04%	8.22%	7.71%	0.00%
環境コース	16.26%	33.33%	26.83%	17.07%	6.50%	0.00%
文化と共生コース	8.90%	31.94%	30.89%	14.66%	13.61%	0.00%
生活と科学コース	15.77%	37.39%	27.03%	13.96%	5.86%	0.00%
医療・福祉と社会コース	29.69%	32.42%	20.31%	8.59%	8.98%	0.00%
地域・佐賀学コース	21.74%	36.23%	28.99%	4.35%	8.70%	0.00%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを覚えていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
外国語科目	14.27%	11.68%	28.84%	23.36%	13.66%	8.19%	0.00%
健康・スポーツ科目	27.40%	18.47%	25.89%	13.83%	8.85%	5.56%	0.00%
情報処理科目	20.34%	11.09%	28.13%	21.18%	12.92%	6.35%	0.00%
自然科学と技術の分野	14.05%	10.92%	26.77%	21.61%	16.57%	10.08%	0.00%
文化の分野	9.65%	9.65%	24.61%	30.12%	15.35%	10.63%	0.00%
現代社会の分野	16.44%	11.92%	28.06%	23.95%	12.54%	7.09%	0.00%
環境コース	7.32%	12.20%	31.71%	26.83%	13.82%	8.13%	0.00%
文化と共生コース	10.47%	7.85%	29.32%	20.94%	20.94%	10.47%	0.00%
生活と科学コース	5.86%	13.06%	25.23%	29.28%	18.92%	7.66%	0.00%
医療・福祉と社会コース	14.06%	7.42%	26.56%	22.66%	18.36%	10.94%	0.00%
地域・佐賀学コース	11.59%	8.70%	24.64%	28.99%	14.49%	11.59%	0.00%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
外国語科目	3.84%	3.97%	20.43%	57.72%	14.05%	0.00%
健康・スポーツ科目	6.07%	4.72%	19.56%	54.30%	15.35%	0.00%
情報処理科目	5.50%	5.96%	22.55%	56.42%	9.56%	0.00%
自然科学と技術の分野	5.52%	4.68%	18.97%	57.50%	13.33%	0.00%
文化の分野	2.76%	4.53%	19.88%	60.04%	12.80%	0.00%
現代社会の分野	5.86%	5.14%	22.40%	53.65%	12.95%	0.00%
環境コース	0.81%	1.63%	21.14%	61.79%	14.63%	0.00%
文化と共生コース	3.66%	4.19%	16.75%	57.07%	18.32%	0.00%
生活と科学コース	3.15%	1.80%	20.27%	62.16%	12.61%	0.00%
医療・福祉と社会コース	3.13%	5.86%	19.92%	58.59%	12.50%	0.00%
地域・佐賀学コース	1.45%	5.80%	11.59%	63.77%	17.39%	0.00%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった/無用/不明	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.68%	1.25%	2.46%	17.97%	54.57%	22.07%	0.00%
健康・スポーツ科目	2.28%	0.25%	1.52%	18.30%	53.71%	23.95%	0.00%
情報処理科目	2.37%	0.99%	2.37%	21.94%	55.43%	16.90%	0.00%
自然科学と技術の分野	2.76%	0.84%	1.56%	21.85%	53.18%	19.81%	0.00%
文化の分野	1.97%	0.20%	1.97%	19.88%	58.07%	17.91%	0.00%
現代社会の分野	2.47%	1.03%	3.19%	22.10%	51.80%	19.42%	0.00%
環境コース	0.81%	0.81%	4.88%	19.51%	54.47%	19.51%	0.00%
文化と共生コース	1.57%	2.09%	3.66%	16.75%	50.79%	25.13%	0.00%
生活と科学コース	1.35%	1.80%	2.70%	27.03%	55.41%	11.71%	0.00%
医療・福祉と社会コース	0.39%	0.78%	1.56%	12.11%	56.25%	28.91%	0.00%
地域・佐賀学コース	0.00%	1.45%	4.35%	11.59%	62.32%	20.29%	0.00%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	12.50%	0.91%	1.68%	12.80%	46.72%	25.39%	0.00%
健康・スポーツ科目	19.73%	0.08%	1.01%	16.69%	42.66%	19.81%	0.00%
情報処理科目	13.69%	1.15%	2.29%	14.37%	44.95%	23.55%	0.00%
自然科学と技術の分野	21.73%	0.48%	1.68%	19.09%	35.77%	21.25%	0.00%
文化の分野	19.88%	0.20%	1.57%	22.64%	38.58%	17.13%	0.00%
現代社会の分野	22.30%	0.92%	1.44%	22.92%	35.97%	16.44%	0.00%
環境コース	7.32%	0.00%	2.44%	20.33%	50.41%	19.51%	0.00%
文化と共生コース	6.28%	1.57%	0.52%	10.99%	42.93%	37.70%	0.00%
生活と科学コース	13.06%	1.35%	4.95%	22.07%	46.40%	12.16%	0.00%
医療・福祉と社会コース	14.45%	1.17%	0.39%	12.50%	46.09%	25.39%	0.00%
地域・佐賀学コース	8.70%	0.00%	1.45%	14.49%	49.28%	26.09%	0.00%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.42%	1.51%	9.96%	51.90%	35.22%	0.00%
健康・スポーツ科目	0.25%	1.10%	9.02%	53.79%	35.83%	0.00%
情報処理科目	1.22%	3.13%	15.75%	55.05%	24.85%	0.00%
自然科学と技術の分野	1.44%	0.72%	16.69%	50.06%	31.09%	0.00%
文化の分野	0.39%	1.38%	16.14%	53.35%	28.74%	0.00%
現代社会の分野	1.23%	2.36%	15.42%	52.62%	28.37%	0.00%
環境コース	0.00%	0.81%	19.51%	52.85%	26.83%	0.00%
文化と共生コース	0.52%	2.62%	8.90%	46.60%	41.36%	0.00%
生活と科学コース	0.90%	4.05%	20.72%	56.76%	17.57%	0.00%
医療・福祉と社会コース	0.78%	0.39%	4.69%	56.25%	37.89%	0.00%
地域・佐賀学コース	0.00%	1.45%	11.59%	59.42%	27.54%	0.00%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	5.30%	0.91%	3.23%	24.61%	50.78%	15.17%
健康・スポーツ科目	5.99%	0.76%	1.35%	20.24%	52.28%	19.39%
情報処理科目	7.03%	0.61%	3.52%	22.17%	53.44%	13.23%
自然科学と技術の分野	6.48%	1.68%	5.52%	24.01%	46.22%	16.09%
文化の分野	5.51%	0.59%	2.56%	25.00%	52.17%	14.17%
現代社会の分野	6.17%	1.64%	4.42%	30.73%	43.68%	13.36%
環境コース	1.63%	0.81%	2.44%	30.08%	50.41%	14.63%
文化と共生コース	2.09%	2.09%	1.05%	20.42%	50.26%	24.08%
生活と科学コース	1.80%	1.35%	6.31%	26.58%	55.41%	8.56%
医療・福祉と社会コース	4.69%	0.39%	1.56%	16.02%	55.08%	22.27%
地域・佐賀学コース	0.00%	0.00%	2.90%	18.84%	60.87%	17.39%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	14.35%	0.56%	1.47%	19.66%	47.33%	16.64%
健康・スポーツ科目	19.98%	0.17%	0.42%	17.71%	44.69%	17.03%
情報処理科目	20.26%	0.15%	0.92%	18.43%	46.25%	13.99%
自然科学と技術の分野	14.17%	0.84%	1.44%	17.53%	47.06%	18.97%
文化の分野	10.24%	0.20%	1.38%	16.93%	53.35%	17.91%
現代社会の分野	15.31%	0.51%	1.85%	20.45%	46.35%	15.52%
環境コース	4.88%	0.00%	1.63%	21.14%	53.66%	18.70%
文化と共生コース	7.85%	2.62%	1.57%	16.23%	49.21%	22.51%
生活と科学コース	5.86%	0.90%	2.70%	21.62%	57.21%	11.71%
医療・福祉と社会コース	15.23%	0.39%	0.39%	10.16%	50.00%	23.83%
地域・佐賀学コース	10.14%	0.00%	1.45%	20.29%	50.72%	17.39%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	3.06%	3.28%	23.79%	47.33%	22.54%	0.00%
健康・スポーツ科目	8.18%	3.96%	44.60%	29.26%	14.00%	0.00%
情報処理科目	2.52%	3.21%	21.33%	49.85%	23.09%	0.00%
自然科学と技術の分野	2.64%	2.64%	28.21%	42.26%	24.25%	0.00%
文化の分野	1.18%	1.57%	19.29%	52.36%	25.59%	0.00%
現代社会の分野	2.67%	3.19%	27.85%	45.02%	21.27%	0.00%
環境コース	0.00%	2.44%	20.33%	56.10%	21.14%	0.00%
文化と共生コース	1.05%	3.14%	17.28%	39.79%	38.74%	0.00%
生活と科学コース	1.35%	2.25%	24.77%	57.66%	13.96%	0.00%
医療・福祉と社会コース	1.95%	1.56%	15.63%	49.22%	31.64%	0.00%
地域・佐賀学コース	0.00%	4.35%	24.64%	47.83%	23.19%	0.00%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.37%	3.15%	17.84%	44.70%	31.94%	0.00%
健康・スポーツ科目	3.46%	3.37%	34.06%	39.71%	19.39%	0.00%
情報処理科目	5.66%	6.12%	31.42%	42.13%	14.68%	0.00%
自然科学と技術の分野	6.48%	9.60%	38.78%	29.17%	15.97%	0.00%
文化の分野	5.51%	7.28%	32.28%	37.60%	17.32%	0.00%
現代社会の分野	6.99%	10.17%	37.41%	30.52%	14.90%	0.00%
環境コース	0.00%	1.63%	12.20%	54.47%	31.71%	0.00%
文化と共生コース	0.52%	2.09%	9.42%	39.79%	48.17%	0.00%
生活と科学コース	3.60%	4.95%	35.59%	41.89%	13.96%	0.00%
医療・福祉と社会コース	2.34%	2.34%	17.19%	48.83%	29.30%	0.00%
地域・佐賀学コース	4.35%	2.90%	15.94%	43.48%	33.33%	0.00%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.11%	3.19%	11.64%	50.22%	32.84%	0.00%
健康・スポーツ科目	0.67%	0.67%	8.94%	49.41%	40.30%	0.00%
情報処理科目	1.61%	3.44%	13.30%	56.96%	24.69%	0.00%
自然科学と技術の分野	2.16%	2.88%	15.01%	51.62%	28.33%	0.00%
文化の分野	0.39%	1.57%	12.60%	56.10%	29.33%	0.00%
現代社会の分野	2.26%	3.60%	18.19%	50.98%	24.97%	0.00%
環境コース	1.63%	1.63%	16.26%	56.91%	23.58%	0.00%
文化と共生コース	1.57%	3.14%	10.99%	43.46%	40.84%	0.00%
生活と科学コース	0.90%	4.95%	22.52%	57.66%	13.96%	0.00%
医療・福祉と社会コース	0.78%	2.34%	6.64%	48.44%	41.80%	0.00%
地域・佐賀学コース	0.00%	2.90%	14.49%	46.38%	36.23%	0.00%

教養（後期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
外国語科目	0.25%	0.37%	0.62%	6.55%	92.20%	0.00%
健康・スポーツ科目	0.38%	0.00%	0.76%	4.46%	94.39%	0.00%
情報処理科目	1.19%	0.00%	1.19%	5.95%	91.67%	0.00%
自然科学と技術の分野	3.10%	1.28%	1.28%	10.22%	84.12%	0.00%
文化の分野	0.96%	1.11%	1.75%	9.71%	86.46%	0.00%
現代社会の分野	2.40%	0.92%	2.96%	12.75%	80.96%	0.00%
環境コース	0.00%	0.00%	1.16%	11.63%	87.21%	0.00%
文化と共生コース	0.88%	0.00%	0.88%	10.53%	87.72%	0.00%
生活と科学コース	0.00%	0.00%	1.11%	2.22%	96.67%	0.00%
医療・福祉と社会コース	0.00%	0.60%	0.00%	9.04%	90.36%	0.00%
地域・佐賀学コース	2.04%	0.00%	0.00%	4.08%	93.88%	0.00%

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
外国語科目	6.30%	36.95%	38.20%	12.17%	6.37%	0.00%
健康・スポーツ科目	67.90%	16.31%	8.92%	3.18%	3.69%	0.00%
情報処理科目	13.10%	26.19%	35.71%	19.05%	5.95%	0.00%
自然科学と技術の分野	17.52%	38.87%	20.26%	10.95%	12.41%	0.00%
文化の分野	22.93%	39.65%	25.32%	7.32%	4.78%	0.00%
現代社会の分野	25.51%	40.30%	23.66%	6.10%	4.44%	0.00%
環境コース	8.14%	32.56%	34.88%	11.63%	12.79%	0.00%
文化と共生コース	17.54%	32.46%	33.33%	7.02%	9.65%	0.00%
生活と科学コース	13.89%	34.44%	37.22%	10.00%	4.44%	0.00%
医療・福祉と社会コース	22.89%	52.41%	15.06%	3.61%	6.02%	0.00%
地域・佐賀学コース	24.49%	40.82%	22.45%	10.20%	2.04%	0.00%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
外国語科目	14.54%	8.99%	30.15%	23.10%	14.67%	8.55%	0.00%
健康・スポーツ科目	28.41%	18.09%	24.84%	13.25%	9.68%	5.73%	0.00%
情報処理科目	16.67%	10.71%	30.95%	20.24%	14.29%	7.14%	0.00%
自然科学と技術の分野	17.34%	9.31%	24.09%	25.91%	15.33%	8.03%	0.00%
文化の分野	11.31%	8.28%	27.71%	28.50%	17.36%	6.85%	0.00%
現代社会の分野	16.45%	7.95%	26.25%	26.99%	14.79%	7.58%	0.00%
環境コース	5.81%	16.28%	22.09%	23.26%	19.77%	12.79%	0.00%
文化と共生コース	7.89%	7.02%	34.21%	22.81%	17.54%	10.53%	0.00%
生活と科学コース	5.56%	4.44%	26.11%	41.67%	17.78%	4.44%	0.00%
医療・福祉と社会コース	18.07%	6.63%	19.88%	25.30%	20.48%	9.64%	0.00%
地域・佐賀学コース	10.20%	10.20%	26.53%	30.61%	14.29%	8.16%	0.00%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
外国語科目	4.68%	6.24%	19.48%	54.18%	15.42%	0.00%
健康・スポーツ科目	5.73%	4.97%	15.54%	57.07%	16.69%	0.00%
情報処理科目	5.95%	11.90%	33.33%	36.90%	11.90%	0.00%
自然科学と技術の分野	9.12%	3.83%	19.53%	56.39%	11.13%	0.00%
文化の分野	4.46%	5.89%	22.93%	53.82%	12.90%	0.00%
現代社会の分野	5.55%	4.81%	20.52%	58.41%	10.72%	0.00%
環境コース	1.16%	4.65%	10.47%	60.47%	23.26%	0.00%
文化と共生コース	1.75%	7.02%	13.16%	63.16%	14.91%	0.00%
生活と科学コース	1.67%	2.22%	13.89%	71.11%	11.11%	0.00%
医療・福祉と社会コース	9.04%	3.61%	22.89%	51.20%	13.25%	0.00%
地域・佐賀学コース	2.04%	8.16%	4.08%	67.35%	18.37%	0.00%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった/無効	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.93%	1.50%	2.93%	21.91%	51.69%	19.04%	0.00%
健康・スポーツ科目	2.04%	0.64%	1.91%	18.60%	57.07%	19.75%	0.00%
情報処理科目	2.38%	5.95%	10.71%	32.14%	35.71%	13.10%	0.00%
自然科学と技術の分野	4.38%	0.36%	2.55%	22.99%	56.93%	12.77%	0.00%
文化の分野	3.34%	2.71%	6.21%	21.82%	51.91%	14.01%	0.00%
現代社会の分野	2.96%	0.37%	3.33%	26.25%	51.20%	15.90%	0.00%
環境コース	2.33%	0.00%	4.65%	12.79%	60.47%	19.77%	0.00%
文化と共生コース	0.88%	5.26%	6.14%	21.05%	48.25%	18.42%	0.00%
生活と科学コース	0.56%	0.56%	1.67%	20.00%	63.89%	13.33%	0.00%
医療・福祉と社会コース	2.41%	1.20%	1.81%	22.89%	46.99%	24.70%	0.00%
地域・佐賀学コース	2.04%	4.08%	2.04%	18.37%	53.06%	20.41%	0.00%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	11.90%	1.19%	1.94%	14.11%	47.63%	23.35%	0.00%
健康・スポーツ科目	19.24%	0.38%	1.40%	18.85%	44.71%	15.41%	0.00%
情報処理科目	13.10%	4.76%	5.95%	26.19%	32.14%	17.86%	0.00%
自然科学と技術の分野	22.26%	0.18%	1.82%	21.72%	40.69%	13.32%	0.00%
文化の分野	19.59%	1.91%	2.71%	21.97%	39.81%	14.01%	0.00%
現代社会の分野	22.37%	0.18%	2.22%	25.88%	37.52%	11.83%	0.00%
環境コース	4.65%	2.33%	2.33%	8.14%	54.65%	27.91%	0.00%
文化と共生コース	7.89%	4.39%	1.75%	14.04%	49.12%	22.81%	0.00%
生活と科学コース	10.56%	0.56%	0.00%	23.33%	48.89%	16.67%	0.00%
医療・福祉と社会コース	16.27%	0.60%	1.20%	19.88%	42.77%	19.28%	0.00%
地域・佐賀学コース	10.20%	0.00%	2.04%	12.24%	55.10%	20.41%	0.00%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	0.89%	1.50%	12.55%	52.31%	32.96%	0.00%
健康・スポーツ科目	0.25%	0.25%	11.59%	55.80%	32.10%	0.00%
情報処理科目	5.95%	7.14%	29.76%	41.67%	15.48%	0.00%
自然科学と技術の分野	1.64%	1.28%	19.71%	53.83%	23.54%	0.00%
文化の分野	2.23%	3.66%	18.47%	51.43%	24.20%	0.00%
現代社会の分野	1.48%	1.66%	17.38%	55.82%	23.66%	0.00%
環境コース	1.16%	1.16%	10.47%	58.14%	29.07%	0.00%
文化と共生コース	0.88%	3.51%	9.65%	48.25%	37.72%	0.00%
生活と科学コース	0.56%	1.11%	17.22%	58.89%	22.22%	0.00%
医療・福祉と社会コース	1.81%	1.20%	9.64%	54.82%	32.53%	0.00%
地域・佐賀学コース	2.04%	0.00%	10.20%	55.10%	32.65%	0.00%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	6.37%	0.87%	4.31%	29.21%	47.13%	12.11%
健康・スポーツ科目	6.88%	0.25%	2.68%	22.17%	52.87%	15.16%
情報処理科目	9.52%	1.19%	3.57%	40.48%	38.10%	7.14%
自然科学と技術の分野	9.49%	1.28%	6.02%	30.11%	44.89%	8.21%
文化の分野	7.80%	1.27%	4.78%	30.41%	46.50%	9.24%
現代社会の分野	8.69%	1.48%	4.25%	29.94%	46.77%	8.87%
環境コース	0.00%	0.00%	4.65%	22.09%	52.33%	20.93%
文化と共生コース	3.51%	1.75%	6.14%	24.56%	48.25%	15.79%
生活と科学コース	3.33%	0.00%	2.22%	25.56%	58.89%	10.00%
医療・福祉と社会コース	10.24%	0.60%	2.89%	22.89%	50.60%	15.06%
地域・佐賀学コース	2.04%	0.00%	2.04%	24.49%	57.14%	14.29%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	12.73%	0.56%	3.00%	21.66%	45.82%	16.23%
健康・スポーツ科目	19.49%	0.38%	2.55%	20.00%	44.46%	13.12%
情報処理科目	16.67%	1.19%	3.57%	34.52%	36.90%	7.14%
自然科学と技術の分野	13.87%	0.18%	2.19%	21.90%	47.45%	14.42%
文化の分野	10.83%	2.07%	3.34%	21.66%	49.20%	12.90%
現代社会の分野	15.16%	0.74%	2.03%	21.44%	49.17%	11.46%
環境コース	3.49%	0.00%	2.33%	10.47%	61.63%	22.09%
文化と共生コース	8.77%	5.26%	4.39%	18.42%	47.37%	15.79%
生活と科学コース	4.44%	0.56%	1.11%	20.56%	57.78%	15.56%
医療・福祉と社会コース	16.87%	1.81%	0.60%	16.27%	46.99%	17.47%
地域・佐賀学コース	12.24%	0.00%	0.00%	14.29%	61.22%	12.24%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.25%	2.93%	26.78%	46.94%	21.10%	0.00%
健康・スポーツ科目	8.03%	3.18%	47.77%	30.57%	10.45%	0.00%
情報処理科目	7.14%	7.14%	33.33%	33.33%	19.05%	0.00%
自然科学と技術の分野	3.10%	1.46%	28.10%	45.99%	21.35%	0.00%
文化の分野	3.18%	4.30%	22.45%	50.48%	19.59%	0.00%
現代社会の分野	2.40%	1.66%	26.06%	48.80%	21.07%	0.00%
環境コース	0.00%	1.16%	22.09%	47.67%	29.07%	0.00%
文化と共生コース	0.00%	7.89%	23.68%	49.12%	19.30%	0.00%
生活と科学コース	1.67%	1.11%	19.44%	53.89%	23.89%	0.00%
医療・福祉と社会コース	1.20%	2.41%	22.29%	48.19%	25.90%	0.00%
地域・佐賀学コース	2.04%	4.08%	24.49%	48.98%	20.41%	0.00%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.56%	3.18%	18.48%	46.19%	30.59%	0.00%
健康・スポーツ科目	3.44%	2.93%	32.10%	44.20%	17.32%	0.00%
情報処理科目	5.95%	4.76%	41.67%	30.95%	16.67%	0.00%
自然科学と技術の分野	9.31%	9.85%	38.14%	32.30%	10.40%	0.00%
文化の分野	7.32%	8.44%	26.11%	40.13%	17.99%	0.00%
現代社会の分野	6.28%	8.50%	31.98%	39.93%	13.31%	0.00%
環境コース	0.00%	0.00%	16.28%	48.84%	34.88%	0.00%
文化と共生コース	0.88%	3.51%	12.28%	42.98%	40.35%	0.00%
生活と科学コース	1.67%	0.56%	19.44%	46.67%	31.67%	0.00%
医療・福祉と社会コース	1.20%	2.41%	21.08%	43.98%	31.33%	0.00%
地域・佐賀学コース	2.04%	0.00%	16.33%	57.14%	24.49%	0.00%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.87%	2.25%	14.48%	50.87%	30.52%	0.00%
健康・スポーツ科目	0.25%	1.15%	10.06%	51.46%	37.07%	0.00%
情報処理科目	8.33%	8.33%	28.57%	36.90%	17.86%	0.00%
自然科学と技術の分野	0.91%	3.65%	21.35%	53.28%	20.80%	0.00%
文化の分野	3.98%	4.78%	16.24%	52.71%	22.29%	0.00%
現代社会の分野	1.48%	2.22%	16.45%	58.78%	21.07%	0.00%
環境コース	0.00%	4.65%	15.12%	53.49%	26.74%	0.00%
文化と共生コース	4.39%	6.14%	14.91%	46.49%	28.07%	0.00%
生活と科学コース	0.56%	1.67%	11.67%	58.89%	27.22%	0.00%
医療・福祉と社会コース	0.00%	1.20%	10.84%	51.20%	36.75%	0.00%
地域・佐賀学コース	2.04%	2.04%	12.24%	55.10%	28.57%	0.00%

教育研（前期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育専攻	0	0	0	1	96	0
教科教育専攻	0	0	2	4	133	0

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていません	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育専攻	0	20	41	26	10	0
教科教育専攻	3	8	36	34	58	0

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを拝見していない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育専攻	0	2	31	17	28	19	0
教科教育専攻	6	2	27	29	41	34	0

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育専攻	0	2	10	60	25	0
教科教育専攻	0	2	5	70	62	0

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった/様解らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0	0	0	9	49	39	0
教科教育専攻	2	0	0	1	60	76	0

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0	1	0	4	47	45	0
教科教育専攻	1	0	0	1	44	93	0

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0	0	1	39	57	0
教科教育専攻	0	0	2	40	97	0

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習目標を把握していない/理解できていない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0	0	1	6	56	34	0
教科教育専攻	0	0	1	8	61	69	0

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	内容が不明確/理解できていない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0	0	1	16	48	32	0
教科教育専攻	3	0	0	6	60	70	0

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0	1	6	53	37	0
教科教育専攻	0	0	9	54	76	0

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	1	3	4	44	45	0
教科教育専攻	0	0	7	44	88	0

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0	4	3	39	51	0
教科教育専攻	0	0	5	36	98	0

教育研（後期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育専攻	0	0	0	3	20	0
教科教育専攻	0	0	0	4	72	0

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていません	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育専攻	0	3	10	3	7	0
教科教育専攻	1	9	14	20	32	0

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを拝見していない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育専攻	1	1	14	2	4	1	0
教科教育専攻	1	6	13	8	24	24	0

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育専攻	0	0	7	15	1	0
教科教育専攻	0	1	3	27	45	0

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった/様解らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0	0	0	2	17	4	0
教科教育専攻	0	0	0	4	20	52	0

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0	0	0	1	14	8	0
教科教育専攻	1	0	0	1	11	63	0

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0	0	0	10	13	0
教科教育専攻	0	0	1	13	62	0

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習目標を把握していない/理解できていない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0	0	0	7	12	4	0
教科教育専攻	0	0	0	5	31	40	0

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	内容が不明確/理解できていない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0	0	0	13	6	4	0
教科教育専攻	4	0	0	8	21	43	0

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0	0	5	9	9	0
教科教育専攻	0	0	6	15	55	0

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0	0	0	9	14	0
教科教育専攻	0	0	2	16	58	0

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育専攻	0	0	2	11	10	0
教科教育専攻	0	0	1	19	56	0

経済研（前期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
1年次	1.50%	2.00%	3.67%	10.33%	82.50%	0.00%
経済学科	0.61%	0.30%	1.52%	16.67%	80.91%	0.00%
経営学科	0.37%	1.48%	2.22%	8.52%	87.41%	0.00%
経済法学科	1.27%	1.69%	1.27%	15.19%	80.59%	0.00%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
1年次	20.83%	44.67%	24.17%	7.00%	3.33%	0.00%
経済学科	12.73%	41.82%	28.18%	11.52%	5.76%	0.00%
経営学科	20.00%	45.56%	18.89%	6.67%	8.89%	0.00%
経済法学科	18.57%	42.19%	22.36%	6.33%	10.55%	0.00%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
1年次	20.00%	15.83%	26.83%	20.83%	11.17%	5.33%	0.00%
経済学科	5.76%	10.91%	29.09%	23.33%	18.48%	12.42%	0.00%
経営学科	8.15%	7.78%	37.04%	22.96%	12.96%	11.11%	0.00%
経済法学科	8.02%	15.61%	30.80%	14.77%	17.72%	13.08%	0.00%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
1年次	4.33%	9.67%	24.83%	49.67%	11.50%	0.00%
経済学科	0.61%	3.03%	19.09%	55.76%	21.52%	0.00%
経営学科	1.48%	1.48%	18.15%	58.15%	20.74%	0.00%
経済法学科	2.95%	8.02%	16.88%	58.23%	17.72%	0.00%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・無意味な説明	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	1.50%	1.67%	4.33%	26.83%	49.17%	16.50%	0.00%
経済学科	0.30%	0.91%	2.12%	17.27%	56.36%	23.03%	0.00%
経営学科	0.37%	0.74%	2.96%	17.04%	55.56%	23.33%	0.00%
経済法学科	2.53%	1.27%	4.22%	18.99%	49.37%	23.63%	0.00%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	25.50%	1.00%	4.33%	24.67%	32.00%	12.50%	0.00%
経済学科	18.79%	0.30%	1.52%	23.64%	36.36%	19.39%	0.00%
経営学科	16.30%	0.37%	2.22%	21.11%	37.04%	22.96%	0.00%
経済法学科	20.25%	0.42%	2.11%	22.78%	32.91%	21.52%	0.00%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	1.50%	5.50%	17.50%	49.67%	25.83%	0.00%
経済学科	0.61%	1.52%	13.94%	56.06%	27.88%	0.00%
経営学科	1.11%	3.33%	16.67%	47.04%	31.85%	0.00%
経済法学科	2.11%	2.11%	15.61%	48.10%	32.07%	0.00%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	目標を達成できなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	7.83%	1.83%	4.83%	29.33%	46.00%	10.17%	0.00%
経済学科	1.82%	0.91%	6.06%	24.85%	48.48%	17.88%	0.00%
経営学科	1.48%	1.11%	5.56%	24.07%	48.52%	19.26%	0.00%
経済法学科	1.27%	0.84%	5.49%	29.54%	43.46%	19.41%	0.00%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	23.17%	0.50%	2.00%	22.00%	40.83%	11.50%
経済学科	8.18%	0.00%	2.73%	16.67%	52.12%	20.30%
経営学科	7.04%	0.74%	2.22%	21.48%	49.26%	19.26%
経済法学科	14.35%	0.00%	2.95%	20.25%	46.41%	16.03%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	2.33%	3.83%	24.50%	48.67%	20.67%	0.00%
経済学科	1.82%	5.15%	16.36%	50.91%	25.76%	0.00%
経営学科	1.48%	3.33%	21.48%	48.52%	25.19%	0.00%
経済法学科	2.11%	2.95%	23.63%	42.62%	28.69%	0.00%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	7.67%	13.33%	34.33%	35.17%	9.50%	0.00%
経済学科	4.85%	13.33%	26.97%	37.58%	17.27%	0.00%
経営学科	2.59%	7.41%	36.67%	36.67%	16.67%	0.00%
経済法学科	3.80%	7.17%	36.29%	32.91%	19.83%	0.00%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	2.50%	7.00%	20.00%	48.50%	22.00%	0.00%
経済学科	0.91%	5.45%	14.24%	56.06%	23.33%	0.00%
経営学科	1.85%	3.33%	15.93%	48.52%	30.37%	0.00%
経済法学科	2.53%	3.38%	18.99%	42.19%	32.91%	0.00%

経済研（後期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
1年次	0.24%	2.36%	5.20%	14.66%	77.54%	0.00%
経済学科	1.14%	0.57%	4.57%	12.00%	81.71%	0.00%
経営学科	2.97%	0.50%	3.96%	12.87%	79.70%	0.00%
経済法学科	0.87%	0.87%	2.61%	5.22%	90.43%	0.00%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
1年次	23.17%	43.26%	25.53%	4.26%	3.78%	0.00%
経済学科	22.86%	34.29%	25.14%	11.43%	6.29%	0.00%
経営学科	20.79%	43.56%	22.28%	8.91%	4.46%	0.00%
経済法学科	24.35%	33.04%	28.70%	6.96%	6.96%	0.00%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
1年次	18.68%	8.98%	31.68%	20.33%	15.84%	4.49%	0.00%
経済学科	14.86%	10.29%	20.57%	25.14%	18.29%	10.86%	0.00%
経営学科	11.39%	7.92%	22.28%	26.73%	18.81%	12.87%	0.00%
経済法学科	9.57%	6.09%	22.61%	28.70%	20.87%	12.17%	0.00%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
1年次	7.09%	10.17%	21.99%	51.77%	8.98%	0.00%
経済学科	2.29%	8.57%	13.71%	53.71%	21.71%	0.00%
経営学科	4.46%	0.50%	13.86%	57.92%	23.27%	0.00%
経済法学科	1.74%	6.09%	12.17%	60.87%	19.13%	0.00%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・役に立たない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	4.96%	2.36%	8.04%	28.13%	45.15%	11.35%	0.00%
経済学科	2.29%	0.57%	5.14%	21.71%	46.86%	23.43%	0.00%
経営学科	0.50%	0.99%	0.99%	16.83%	52.48%	28.22%	0.00%
経済法学科	0.87%	0.00%	6.09%	10.43%	59.13%	23.48%	0.00%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談がなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	28.37%	1.65%	4.73%	29.79%	27.66%	7.80%	0.00%
経済学科	16.57%	1.71%	2.29%	21.14%	39.43%	18.86%	0.00%
経営学科	16.34%	0.00%	0.00%	14.85%	39.60%	29.21%	0.00%
経済法学科	20.87%	0.00%	1.74%	14.78%	41.74%	20.87%	0.00%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	3.07%	5.67%	22.46%	52.01%	16.78%	0.00%
経済学科	2.29%	2.86%	17.71%	48.00%	29.14%	0.00%
経営学科	0.00%	0.99%	10.89%	51.49%	36.63%	0.00%
経済法学科	0.87%	4.35%	7.83%	48.70%	38.26%	0.00%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	達成できなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	10.17%	2.60%	8.98%	32.39%	39.72%	6.15%	0.00%
経済学科	5.71%	1.71%	4.57%	30.86%	39.43%	17.71%	0.00%
経営学科	6.44%	0.00%	4.95%	19.80%	50.00%	18.81%	0.00%
経済法学科	6.09%	0.00%	6.09%	16.52%	59.13%	12.17%	0.00%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	13.71%	1.42%	4.96%	26.00%	43.26%	10.64%
経済学科	12.57%	1.14%	1.14%	16.57%	46.86%	21.71%
経営学科	10.40%	0.00%	1.49%	11.88%	48.51%	27.72%
経済法学科	8.70%	0.00%	3.48%	13.04%	57.39%	17.39%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	4.73%	5.67%	30.02%	44.21%	15.37%	0.00%
経済学科	1.71%	4.00%	20.00%	49.14%	25.14%	0.00%
経営学科	0.99%	1.49%	22.28%	47.52%	27.72%	0.00%
経済法学科	0.00%	3.48%	13.91%	55.65%	26.96%	0.00%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	8.04%	13.48%	40.43%	30.26%	7.80%	0.00%
経済学科	5.71%	9.14%	31.43%	31.43%	22.29%	0.00%
経営学科	1.98%	2.97%	35.64%	43.07%	16.34%	0.00%
経済法学科	5.22%	6.09%	29.57%	43.48%	15.65%	0.00%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次	5.20%	10.87%	23.40%	46.10%	14.42%	0.00%
経済学科	4.00%	5.14%	15.43%	49.14%	26.29%	0.00%
経営学科	0.50%	1.49%	14.36%	50.99%	32.67%	0.00%
経済法学科	0.00%	5.22%	7.83%	53.04%	33.91%	0.00%

工学系（前期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
数理科学科	6.94%	0.46%	0.00%	3.70%	88.89%	0.00%
物理科学科	0.00%	0.91%	0.91%	7.31%	90.87%	0.00%
知能情報システム学科	0.15%	0.15%	1.68%	8.41%	89.60%	0.00%
機能物質化学科	0.00%	0.17%	1.36%	5.26%	93.21%	0.00%
機械システム工学科	0.00%	0.38%	0.25%	3.02%	96.35%	0.00%
電気電子工学科	0.00%	0.00%	1.78%	6.40%	91.82%	0.00%
都市工学科	2.06%	0.34%	0.69%	3.77%	93.14%	0.00%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理科学科	10.19%	13.89%	43.37%	17.59%	12.96%	0.00%
物理科学科	5.48%	31.96%	38.81%	18.26%	5.48%	0.00%
知能情報システム学科	5.66%	23.55%	35.78%	23.39%	11.62%	0.00%
機能物質化学科	5.09%	19.02%	37.69%	18.34%	19.86%	0.00%
機械システム工学科	5.29%	31.86%	34.26%	18.64%	9.95%	0.00%
電気電子工学科	2.73%	26.78%	41.47%	13.98%	15.05%	0.00%
都市工学科	8.58%	29.33%	33.28%	11.15%	17.67%	0.00%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理科学科	15.28%	16.20%	18.06%	26.39%	12.04%	12.04%	0.00%
物理科学科	19.63%	18.72%	30.14%	20.09%	10.05%	1.37%	0.00%
知能情報システム学科	7.49%	10.09%	26.76%	29.20%	19.42%	7.03%	0.00%
機能物質化学科	8.83%	9.51%	25.98%	26.32%	19.02%	10.36%	0.00%
機械システム工学科	9.70%	11.96%	30.60%	22.17%	14.48%	11.08%	0.00%
電気電子工学科	4.15%	7.58%	29.27%	32.46%	16.82%	9.72%	0.00%
都市工学科	5.15%	9.26%	24.19%	27.96%	22.64%	10.81%	0.00%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
数理科学科	9.72%	3.70%	18.98%	53.70%	13.89%	0.00%
物理科学科	8.68%	4.11%	20.09%	53.42%	13.70%	0.00%
知能情報システム学科	3.52%	4.28%	17.74%	65.60%	8.87%	0.00%
機能物質化学科	1.02%	4.41%	14.77%	64.52%	15.28%	0.00%
機械システム工学科	1.76%	4.03%	18.64%	61.21%	14.36%	0.00%
電気電子工学科	0.71%	3.20%	18.13%	59.48%	18.48%	0.00%
都市工学科	1.89%	3.60%	21.61%	53.69%	19.21%	0.00%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・理解しにくい	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	5.09%	1.39%	1.85%	21.76%	49.07%	20.83%	0.00%
物理科学科	0.00%	0.46%	4.11%	23.29%	57.08%	15.07%	0.00%
知能情報システム学科	2.14%	2.45%	3.98%	22.02%	54.59%	14.83%	0.00%
機能物質化学科	3.74%	0.51%	1.87%	19.19%	57.39%	17.32%	0.00%
機械システム工学科	0.50%	1.39%	2.90%	18.77%	58.82%	17.63%	0.00%
電気電子工学科	0.36%	0.47%	2.61%	19.43%	55.81%	21.33%	0.00%
都市工学科	0.86%	1.20%	4.63%	20.93%	51.63%	20.75%	0.00%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談しなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	14.35%	0.93%	1.85%	24.54%	34.26%	24.07%	0.00%
物理科学科	11.42%	0.46%	0.91%	15.98%	50.23%	21.00%	0.00%
知能情報システム学科	10.86%	2.60%	4.28%	19.88%	47.55%	14.83%	0.00%
機能物質化学科	9.51%	0.68%	1.19%	14.26%	52.97%	21.39%	0.00%
機械システム工学科	8.56%	1.13%	1.89%	18.89%	48.87%	20.65%	0.00%
電気電子工学科	11.02%	0.24%	2.73%	19.67%	44.91%	21.45%	0.00%
都市工学科	12.18%	1.54%	3.09%	20.41%	39.11%	23.67%	0.00%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	5.09%	2.78%	13.43%	54.63%	24.07%	0.00%
物理科学科	0.00%	0.91%	13.24%	56.62%	29.22%	0.00%
知能情報システム学科	3.36%	8.87%	23.55%	46.02%	18.20%	0.00%
機能物質化学科	2.89%	3.23%	12.05%	56.88%	24.96%	0.00%
機械システム工学科	1.13%	4.41%	16.12%	54.16%	24.18%	0.00%
電気電子工学科	0.36%	1.78%	16.71%	55.57%	25.59%	0.00%
都市工学科	1.54%	4.80%	16.12%	48.03%	29.50%	0.00%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標が不明	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	6.94%	1.85%	6.48%	28.70%	40.28%	15.74%	0.00%
物理科学科	9.59%	0.46%	4.57%	35.62%	42.01%	7.76%	0.00%
知能情報システム学科	3.36%	0.92%	4.13%	26.61%	56.73%	8.26%	0.00%
機能物質化学科	5.09%	1.36%	3.23%	24.28%	51.78%	14.26%	0.00%
機械システム工学科	3.65%	0.88%	4.03%	23.17%	53.65%	14.61%	0.00%
電気電子工学科	1.54%	1.42%	6.40%	24.64%	52.01%	13.98%	0.00%
都市工学科	1.37%	2.06%	6.17%	24.87%	50.09%	15.44%	0.00%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスが不明	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	9.72%	1.39%	1.85%	27.78%	39.81%	19.44%	0.00%
物理科学科	24.20%	0.00%	0.00%	17.81%	51.60%	6.39%	0.00%
知能情報システム学科	7.65%	1.22%	2.91%	20.80%	54.13%	13.30%	0.00%
機能物質化学科	10.36%	0.51%	0.34%	16.13%	55.01%	17.66%	0.00%
機械システム工学科	8.69%	0.50%	1.51%	17.25%	55.92%	15.99%	0.13%
電気電子工学科	4.03%	0.36%	2.01%	17.54%	56.64%	19.43%	0.00%
都市工学科	3.43%	1.20%	1.54%	16.81%	56.95%	20.07%	0.00%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	5.66%	4.17%	22.69%	47.22%	20.37%	0.00%
物理科学科	0.91%	2.74%	24.66%	55.71%	15.98%	0.00%
知能情報システム学科	1.99%	3.36%	22.48%	53.52%	18.65%	0.00%
機能物質化学科	3.40%	4.92%	23.43%	49.41%	18.85%	0.00%
機械システム工学科	1.76%	4.66%	24.31%	48.49%	20.78%	0.00%
電気電子工学科	0.59%	3.08%	22.04%	54.50%	19.79%	0.00%
都市工学科	1.37%	4.46%	25.56%	46.14%	22.47%	0.00%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	8.33%	4.17%	33.33%	32.87%	21.30%	0.00%
物理科学科	0.91%	11.42%	35.16%	40.18%	12.33%	0.00%
知能情報システム学科	6.57%	11.01%	33.33%	37.92%	11.16%	0.00%
機能物質化学科	5.43%	7.64%	27.16%	43.12%	16.64%	0.00%
機械システム工学科	3.27%	8.82%	29.22%	42.44%	16.25%	0.00%
電気電子工学科	3.79%	7.11%	30.09%	42.18%	16.82%	0.00%
都市工学科	5.49%	7.20%	36.02%	33.62%	17.67%	0.00%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	6.02%	3.24%	14.81%	52.78%	23.15%	0.00%
物理科学科	0.91%	1.83%	18.72%	56.16%	22.37%	0.00%
知能情報システム学科	3.21%	7.49%	22.94%	49.54%	16.82%	0.00%
機能物質化学科	1.19%	4.07%	12.73%	58.06%	23.94%	0.00%
機械システム工学科	1.13%	5.16%	18.26%	55.42%	20.03%	0.00%
電気電子工学科	0.83%	3.44%	20.02%	53.67%	22.04%	0.00%
都市工学科	1.37%	5.66%	19.21%	48.89%	24.87%	0.00%

工学系（後期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20-40%	40-60%	60-80%	80%以上	なし
数理科学科	4.19%	2.40%	2.40%	4.19%	86.83%	0.00%
物理科学科	1.69%	1.69%	3.39%	7.63%	85.59%	0.00%
知能情報システム学科	0.00%	0.00%	0.35%	9.39%	90.26%	0.00%
機能物質化学科	0.33%	0.00%	0.00%	1.66%	98.01%	0.00%
機械システム工学科	1.20%	0.00%	0.17%	7.23%	91.39%	0.00%
電気電子工学科	0.10%	0.10%	0.69%	10.93%	88.19%	0.00%
都市工学科	0.87%	0.43%	0.43%	6.51%	91.76%	0.00%

A-2 予習を毎週どの程度していますか

	0時間	1時間未満	2時間未満	3時間未満	3時間以上	なし
数理科学科	7.19%	17.37%	51.50%	14.37%	9.58%	0.00%
物理科学科	11.86%	32.20%	34.75%	5.93%	15.25%	0.00%
知能情報システム学科	3.48%	26.26%	31.65%	25.39%	13.22%	0.00%
機能物質化学科	3.64%	29.14%	29.47%	15.56%	22.19%	0.00%
機械システム工学科	7.57%	33.73%	35.28%	14.97%	8.43%	0.00%
電気電子工学科	6.89%	35.53%	37.50%	11.32%	8.76%	0.00%
都市工学科	11.71%	34.49%	32.10%	11.93%	9.76%	0.00%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理科学科	13.77%	17.96%	30.54%	19.16%	7.19%	11.38%	0.00%
物理科学科	20.34%	11.02%	23.73%	22.88%	9.32%	12.71%	0.00%
知能情報システム学科	12.17%	10.61%	32.52%	27.30%	14.09%	3.30%	0.00%
機能物質化学科	9.93%	3.97%	30.46%	21.85%	19.54%	14.24%	0.00%
機械システム工学科	5.68%	12.05%	29.43%	28.57%	16.18%	8.09%	0.00%
電気電子工学科	3.84%	8.56%	27.07%	28.64%	21.36%	10.53%	0.00%
都市工学科	4.56%	7.81%	21.04%	32.32%	21.69%	12.58%	0.00%

A-4 この授業の学習目標を把握している

	説明がなかった	全く把握していない	把握していない	どちらともいえない	少しは把握している	完全に把握している
数理科学科	5.99%	2.99%	26.35%	52.10%	12.57%	0.00%
物理科学科	10.17%	9.32%	16.10%	44.92%	19.49%	0.00%
知能情報システム学科	2.96%	5.91%	21.39%	64.17%	5.57%	0.00%
機能物質化学科	1.32%	2.65%	15.23%	56.29%	24.50%	0.00%
機械システム工学科	4.65%	5.51%	20.65%	57.14%	12.05%	0.00%
電気電子工学科	1.08%	2.17%	20.77%	59.45%	16.54%	0.00%
都市工学科	2.17%	3.90%	15.18%	62.04%	16.70%	0.00%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	4.79%	0.00%	1.80%	22.16%	54.49%	16.77%	0.00%
物理科学科	0.85%	0.00%	2.54%	23.73%	44.07%	28.81%	0.00%
知能情報システム学科	0.87%	1.04%	4.70%	24.70%	59.48%	9.22%	0.00%
機能物質化学科	3.97%	0.33%	2.65%	15.23%	52.98%	24.83%	0.00%
機械システム工学科	0.86%	1.38%	3.27%	23.92%	55.25%	15.32%	0.00%
電気電子工学科	1.18%	0.49%	3.64%	23.82%	53.94%	16.93%	0.00%
都市工学科	1.30%	1.08%	5.64%	23.21%	52.49%	16.27%	0.00%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	19.16%	0.00%	3.59%	12.57%	41.32%	23.35%	0.00%
物理科学科	11.86%	0.00%	0.00%	22.03%	33.90%	32.20%	0.00%
知能情報システム学科	8.70%	1.22%	2.61%	19.48%	52.70%	15.30%	0.00%
機能物質化学科	7.95%	0.00%	0.66%	12.25%	48.34%	30.79%	0.00%
機械システム工学科	7.75%	1.38%	2.93%	19.62%	50.95%	17.38%	0.00%
電気電子工学科	10.24%	0.59%	2.56%	21.06%	48.33%	17.22%	0.00%
都市工学科	13.45%	1.74%	2.82%	16.92%	44.90%	20.17%	0.00%

B-3 黒板・ホワイトボード、スライド等の使い方が効果的である

	該当しない・わからない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	4.79%	0.60%	16.77%	51.50%	26.35%	0.00%
物理科学科	1.69%	0.00%	18.64%	35.59%	44.07%	0.00%
知能情報システム学科	0.52%	2.61%	18.43%	57.39%	21.04%	0.00%
機能物質化学科	2.32%	1.32%	9.60%	56.29%	30.46%	0.00%
機械システム工学科	0.34%	2.24%	20.48%	56.63%	20.31%	0.00%
電気電子工学科	0.69%	1.77%	17.03%	59.25%	21.26%	0.00%
都市工学科	2.17%	3.69%	17.35%	54.01%	22.78%	0.00%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成できなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	4.79%	0.60%	6.59%	38.92%	37.72%	11.38%	0.00%
物理科学科	8.47%	2.54%	4.24%	31.36%	38.14%	15.25%	0.00%
知能情報システム学科	5.22%	1.91%	6.96%	24.87%	55.83%	5.22%	0.00%
機能物質化学科	4.97%	1.66%	4.30%	26.16%	45.36%	17.55%	0.00%
機械システム工学科	6.71%	1.03%	4.82%	28.92%	46.99%	11.53%	0.00%
電気電子工学科	0.69%	1.48%	4.63%	30.91%	48.62%	13.68%	0.00%
都市工学科	1.52%	3.25%	8.68%	23.64%	48.37%	14.53%	0.00%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を参照していません	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	8.38%	0.00%	2.40%	32.34%	44.91%	11.98%	0.00%
物理科学科	22.88%	0.00%	1.69%	22.03%	35.59%	17.80%	0.00%
知能情報システム学科	9.39%	0.52%	2.09%	19.48%	59.83%	8.70%	0.00%
機能物質化学科	8.61%	0.66%	2.32%	13.58%	50.99%	23.84%	0.00%
機械システム工学科	9.98%	0.52%	1.89%	19.28%	54.04%	14.29%	0.00%
電気電子工学科	2.17%	0.39%	2.46%	19.19%	58.27%	17.52%	0.00%
都市工学科	3.47%	1.08%	3.04%	18.66%	58.35%	15.40%	0.00%

C-1 授業をわかりやすくする工夫が感じられる

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	4.19%	0.60%	28.14%	52.10%	14.97%	0.00%
物理科学科	0.85%	5.93%	30.51%	30.51%	32.20%	0.00%
知能情報システム学科	0.00%	3.48%	20.35%	61.57%	14.61%	0.00%
機能物質化学科	2.98%	1.66%	27.15%	48.01%	20.20%	0.00%
機械システム工学科	1.38%	2.24%	29.43%	46.30%	20.65%	0.00%
電気電子工学科	1.28%	2.85%	24.80%	51.28%	19.78%	0.00%
都市工学科	0.87%	3.25%	28.20%	50.33%	17.35%	0.00%

C-2 学生の質問に適切に対応してくれている

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	8.38%	4.19%	35.33%	35.93%	16.17%	0.00%
物理科学科	8.47%	8.47%	45.76%	18.64%	18.64%	0.00%
知能情報システム学科	2.61%	5.91%	27.65%	48.35%	15.48%	0.00%
機能物質化学科	3.97%	3.97%	32.78%	37.75%	21.52%	0.00%
機械システム工学科	1.72%	6.88%	36.66%	38.90%	15.83%	0.00%
電気電子工学科	1.97%	4.13%	29.63%	45.08%	19.19%	0.00%
都市工学科	2.60%	7.59%	31.89%	41.43%	16.49%	0.00%

D-1 この授業を受講して満足が得られた

	該当しない・わからない	全くそうは思わない	そうは思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	4.79%	0.60%	14.97%	57.49%	22.16%	0.00%
物理科学科	0.85%	1.69%	21.19%	40.68%	35.59%	0.00%
知能情報システム学科	0.52%	4.17%	19.48%	59.30%	16.52%	0.00%
機能物質化学科	0.00%	1.99%	8.94%	57.62%	31.46%	0.00%
機械システム工学科	0.86%	1.55%	18.93%	57.83%	20.83%	0.00%
電気電子工学科	0.98%	3.35%	16.73%	57.48%	21.46%	0.00%
都市工学科	1.52%	7.16%	15.40%	55.75%	20.17%	0.00%

農学研（前期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
農学研究科	0	0	0	2	124	0

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
農学研究科	6	29	41	13	37	0

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
農学研究科	10	9	55	16	17	19	0

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
農学研究科	2	1	34	60	29	0

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・理解しなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0	0	1	38	42	45	0

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	1	0	3	13	55	54	0

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0	5	34	37	50	0

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成できなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0	0	1	50	37	38	0

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし	
農学研究科	5	0	1	51	32	37	0

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	1	2	23	58	42	0

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0	6	24	47	49	0

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0	4	22	56	44	0

農学研（後期）%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
農学研究科	0	0	0	8	113	0

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
農学研究科	11	46	30	19	15	0

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
農学研究科	15	3	21	46	27	9	0

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
農学研究科	5	0	12	86	18	0

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0	0	0	9	82	30	0

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	11	0	0	6	66	38	0

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0	1	10	68	42	0

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	非常に満足できなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	3	0	3	14	80	21	0

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	非常に満足できなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	6	0	2	25	67	21	0

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	1	0	16	80	24	0

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	1	0	24	66	30	0

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0	0	6	68	47	0